The essentials of imaging

bizhub 750/600

ユーザーズガイド　FK-502 ファクシミリ機能編

bizhub
750

もくじ

3 受信する
電話をかける／受ける
5 トラブル処置
6 仕様
7 便利な送信
8 便利な受信
9 ポーリング
10 登録／設定する
11 設定メニュー
12 レポート／リストの見かた
13 PageScope Web Connection
14 付録
15 索引

警告

この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、死亡や重傷を負う可能性がある行為を示しています。ユーザーズガイド（コピー機能編）にまとめて記載されていますので、必ずご一読ください。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、軽傷や中程度の傷害および物的損傷を負う可能性がある行為を示しています。ユーザーズガイド（コピー機能編）にまとめて記載されていますので、必ずご一読ください。

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、ファクシミリ機能を使用するために必要な機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。

最適な状態でファクシミリ機能をご使用いただくために、このユーザーズガイドをお読みになった後も、すぐに使用できる場所に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「ユーザーズガイドコピー機能編『設置取扱い注意』」をお読みください。

■ 登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat ロゴ、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- 本書に記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標です。

■ 免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

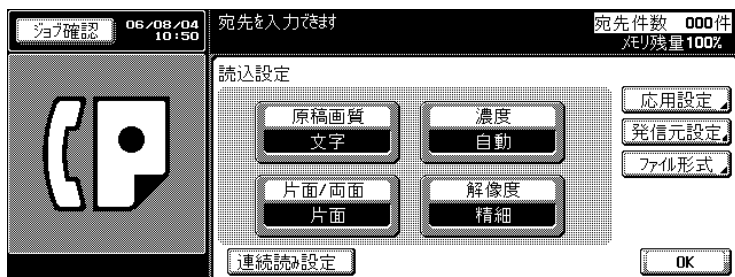
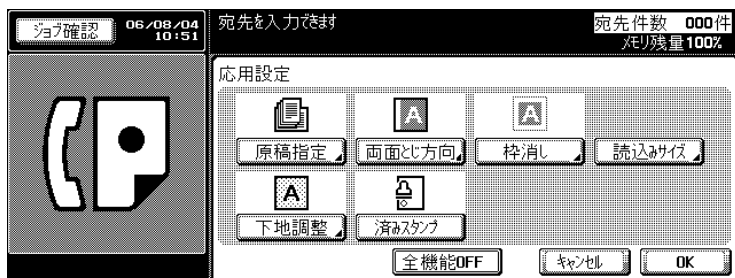
送ってみよう（ファクス）

はじめてファクスを送るときの基本的な操作の手順を説明します。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクスモードにします。

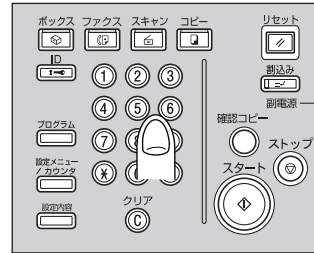
2 必要に応じて機能を設定します。

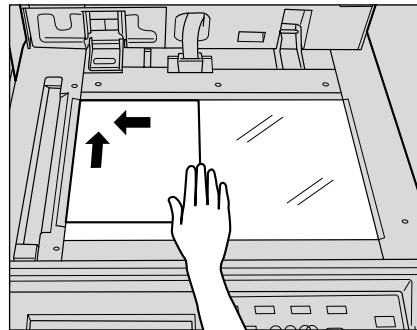
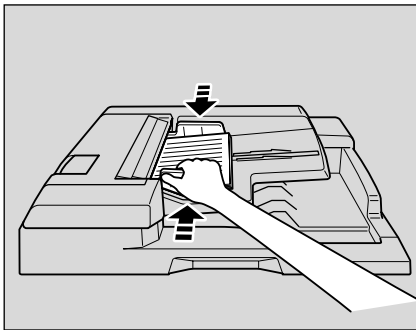
●ファクス画面

●読込設定画面

●応用設定画面

●通信設定画面

3

テンキーで相手のファクス番号を入力します。

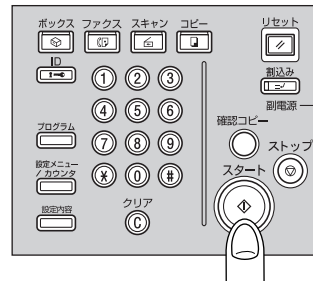
- 誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
- 【クリア】を押すと入力した番号がすべて削除されます。

4

原稿をセットします。

原稿セットについては p. 2-6 をごらんください。

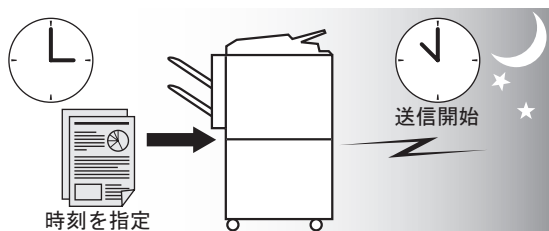
5

操作パネルの【スタート】を押します。

参照

送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

こんな機能があります

時刻を指定して送る

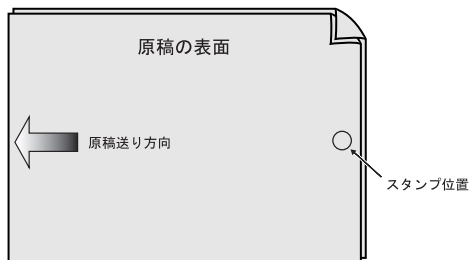
指定した時刻に通信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

詳しくは、p. 2-45 をごらんください。

海外に送る

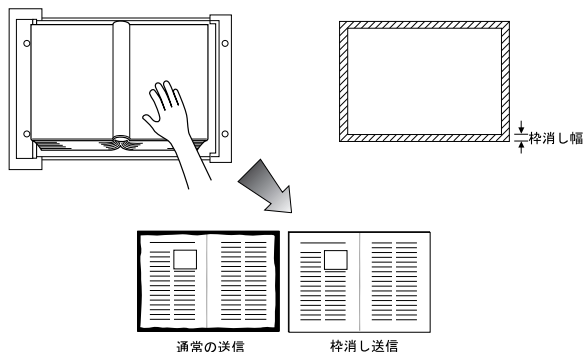
通信状態の悪いところへ送信するときに、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して確実に送信できます。

詳しくは、p. 2-47 をごらんください。

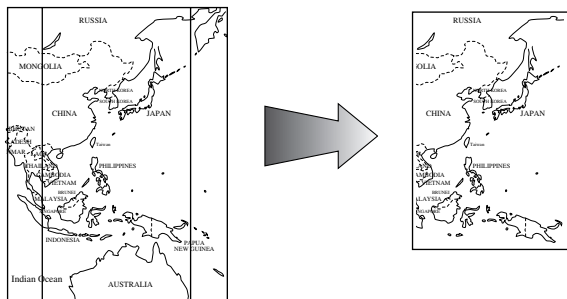
読み取ったことを確認する

読み取った原稿に済みスタンプを押すことができます。

詳しくは、p. 7-23 をごらんください。

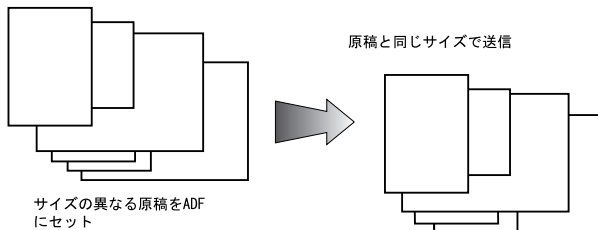
黒い影を消して送る

冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信できます。

詳しくは、p. 7-18 をごらんください。

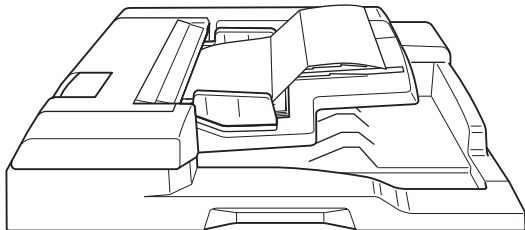
原稿を読み込むサイズを指定して送る

読み込むサイズを指定して送信できます。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。

詳しくは、p. 7-25 をごらんください。

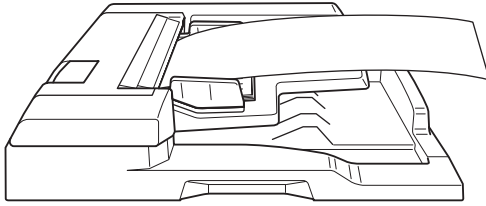
サイズの異なる原稿を一度の操作で送る

サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを正しく認識して送信できます。

詳しくは、p. 7-6 をごらんください。

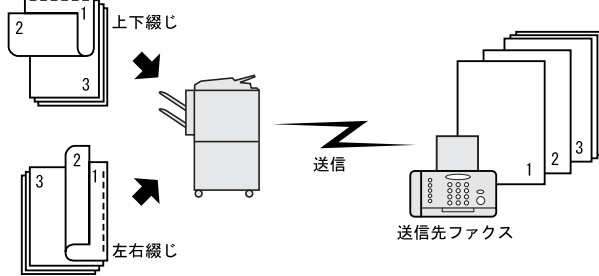
折り目のある原稿を送る

折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を正しいサイズで送信できます。

詳しくは、p. 7-9 をごらんください。

長い原稿を送る

432 mm より長い原稿を送信できます。

詳しくは、p. 7-12 をごらんください。

両面原稿の綴じ位置を指定する

原稿の綴じ位置を指定し、原稿の裏面の上下関係を補正して送信できます。

詳しくは、p. 7-15 をごらんください。

受信側からの指示で送信させる

送信側にセットまたは蓄積されている原稿を、受信側からの指示で送信させる機能です。

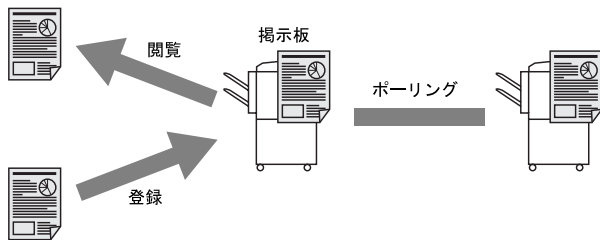
詳しくは、p. 9-5 をごらんください。

ECM モードを解除して送る

ECM モードを解除し、通信時間を短縮して送る機能です。

詳しくは、p. 7-41 をごらんください。

文書を指定してポーリングする

掲示板ボックスに、閲覧させたい文書を蓄積し、ポーリング送信できます。また外部の掲示板からポーリング受信できます。

詳しくは、p. 9-7 をごらんください。

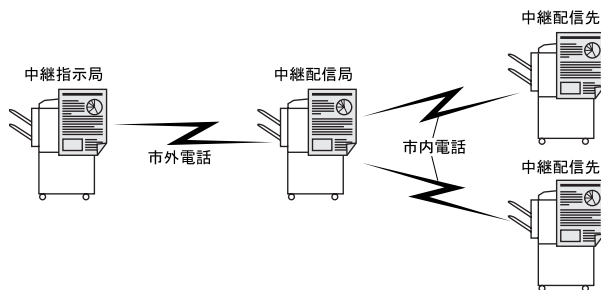
スーパー G3 モードを解除して送る

構内交換機などの制約によりスーパー G3 モード（V34）を使用できない場合に、スーパー G3 モード（V34）を解除して送信できます。

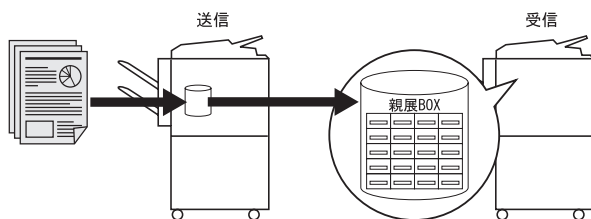
詳しくは、p. 7-43 をごらんください。

中継先を指定して送る

いったん中継局に原稿を送信し、中継局から送信先に同報できます。

参照

詳しくは、p. 7-38 をごらんください。

親展ボックスを使う

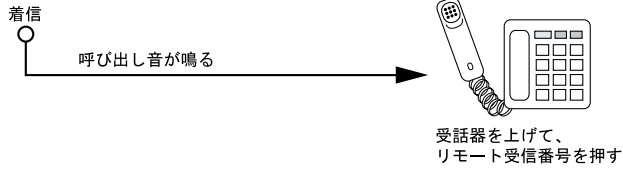
特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信できます。

詳しくは、p. 7-35 をごらんください。

パスワードをつけて送る

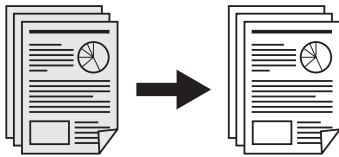
相手側が閉域通信を設定している場合に、パスワードをつけて送信できます。

詳しくは、p. 7-33 をごらんください。

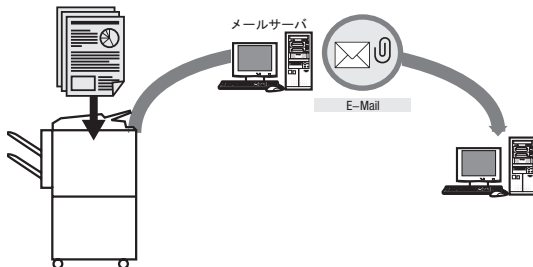
外部電話から受信の指示をする

リモート受信番号を使い、外部電話から受信の指示をすることができます。

詳しくは、p. 8-2 をごらんください。

背景色の濃度を調整して送る

原稿の背景色の濃さを調整して送信できます。

詳しくは、p. 7-21 をごらんください。

ファクス画面から E-Mail を送る

読み込んだ原稿を、E-Mail の添付ファイルとしてファクス画面から送信できます。ファクス番号のかわりに宛先として E-Mail アドレスを指定します。

詳しくは、p. 2-25 をごらんください。

ボックスに保存する

読み込んだ原稿を、本機のハードディスクに作成されたボックスにファクス画面から保存できます。ファクス番号のかわりに宛先としてボックスを指定します。またボックスに保存したファイルを、さらにファクス送信することもできます。

詳しくは、p. 1-16、p. 7-44 をごらんください。

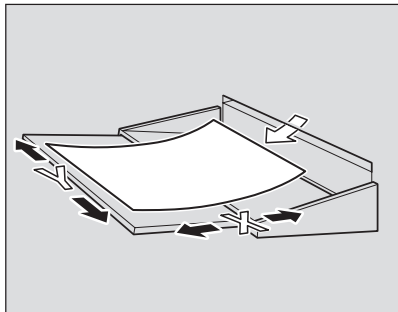
ページの見かた

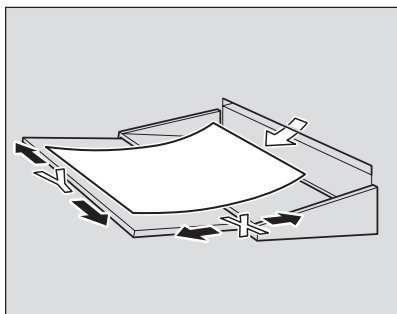
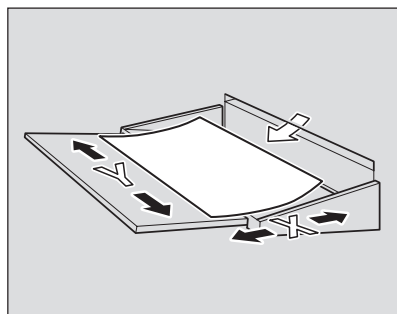
※このページは実際には存在しません。

原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

■ 幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅と呼び、X 辺を長さと呼びます。

■ ▭ と ▯

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを ▭ と表示します。

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを ▯ と表示します。

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー機能編）

基本操作、コピー機能の操作について記載しています。

- 設置・取扱の注意事項、電源の入れ方 / 切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたなど、本機の操作に関する内容を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）

標準装備のネットワーク機能の設定方法、スキャナ機能の操作について記載しています。

- ネットワーク機能、Scan to E-Mail、Scan to FTP、Scan to SMB の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ボックス機能の操作について記載しています。

- ハードディスクを利用したボックス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

コピー機能、ネットワーク／スキャナ機能、ファクシミリ機能の操作を拡大表示画面で行う方法について記載しています。

- 【拡大表示】を押したあとの操作方法を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（FK-502 ファクシミリ機能編）< 本書 >

ファクシミリの操作について記載しています。

- FAX キットを装着した場合のファクシミリ機能の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワークファクス機能編）

ネットワークファクスの操作について記載しています。

- ネットワークファクス機能（インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス）の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ IC-202 ユーザーズガイド / クイックガイド

オプションのイメージコントローラ IC-202 が装着されて使用できるプリンタ機能の操作について記載しています。

- プリンタ機能の使い方を知りたい場合は、IC-202 に付属の User Software CD-ROM 内にあるユーザーズガイド（PDF データ）またはクイックガイド（印刷物）をごらんください。

第 1 章
ご使用いただく前に

ご使用いただく前に知っておきたいことについて説明します。

1.1　ご注意

本機を接続することのできる電話回線は次のとおりです。

- 加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）
- PBX（構内交換機　2 線式）

使用する電話回線について次の項目をご確認ください。

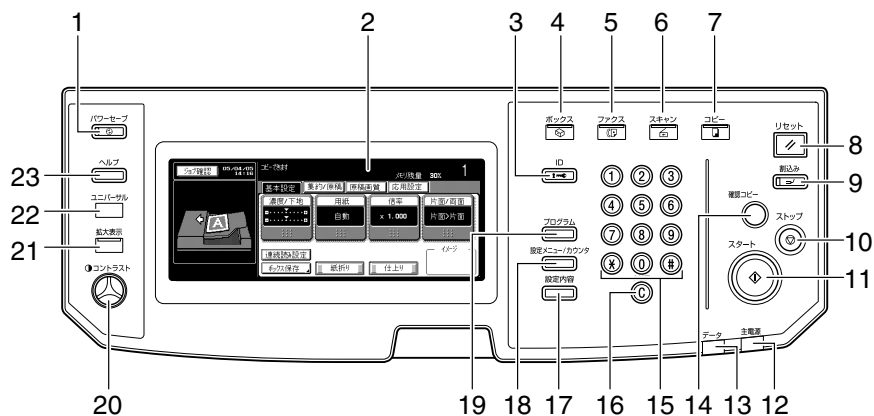
- 外部電話としてビジネスホンを接続することはできません。
- キャッチホンとの併用はできません。
- お客様のお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクシミリ通信に以下の制約が生ずる可能性があります。
  - 伝送速度が制限される。
  - Super G3 による通信ができない。

ごくまれに工場出荷時の設定では、通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域をぎりぎりまで制限しているためです。

なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様がお使いのネットワーク管理者にお問い合わせください。

電源の OFF/ON を続けて繰り返すと故障の原因となります。
本機の電源を OFF にした場合は、5 秒以上待ってから ON してください。

1.2 操作パネルの使いかた

■ 操作パネル

No.	名称	説明
1	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
2	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
3	【ID】キー	ユーザ認証および部門管理を設定している場合、ユーザ名とパスワード（ユーザ認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
4	【ボックス】キー	ボックス機能に切換わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
5	【ファクス】キー	ファクス機能に切換わります。 ファクス機能中は【ファクス】が緑色に点灯します。
6	【スキャン】キー	スキャン機能に切換わります。スキャン機能中は【スキャン】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
7	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
8	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
9	【割込み】キー	割込み機能に切換わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です。」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。
10	【ストップ】キー	原稿の読込みを停止します。

No.	名称	説明
11	【スタート】キー	各ボックス、ファクス、スキャン、コピーの選択されているモードの動作を開始するときに押します。ファクスモードが選択されているときは、ファクス通信を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは、【スタート】が緑色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは動作を開始できません。
12	主電源ランプ	【主電源スイッチ】が ON のときに緑色に点灯します。
13	データランプ	ファクスの送受信時や、掲示板ボックス、ポーリング送信ボックス、強制メモリ受信ボックス、再送信ボックス内に文書が保存されているときに点灯します。
14	【確認コピー】キー	ファクス機能では使用しません。
15	テンキー	数字を入力します。電話番号や各種設定値の入力に使用します。
16	【クリア】キー	テンキーで入力した数値が取消されます。
17	【設定内容】キー	各設定の確認画面に切換わります。
18	【設定メニュー / カウンタ】キー	設定メニュー画面、セールスカウンタ画面に切換わります。
19	【プログラム】キー	ファクス機能では使用しません。
20	コントラスト調整ダイアル	タッチパネルのコントラストを調整します。
21	【拡大表示】キー	拡大表示画面に切換わります。
22	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。
23	【ヘルプ】キー	ヘルプ画面に切換わります。 本機機能の解説や操作方法を画面上に表示できます。

タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。
サービスコール画面（p. 5-6）が表示されコピーできなくなったときは、故障の原因になるおそれがありますので、トラブルコードを書き留め、直ちに本体電源プラグを抜いてサービス実施店にご連絡ください。そのとき、書き留めたトラブルコードをお知らせください。

1.3 はじめに設定してください

■ 設定が必要な項目

本機の設置が終了したら、ファクス機能を使うために、次の項目を設定します。これらの項目が正しく登録されていないと、ファクス通信できない場合があります。必ず登録してください。

- ファクス ID/ 発信元名
  本機のファクス番号と名前を登録します。
- 回線パラメータ設定
  電話回線と受信のしかたを設定します。

■ 発信元名 / ファクス ID

次の項目を設定します。

詳しくは、p. 11-24 をごらんください。

- 発信元名
  発信元名は、漢字、英数カナで表す本機の名前のことで、送信した原稿の先端に発信元記録の一部として記録されます。全角 15 文字（半角 30 文字）以内で登録します。
- ファクス ID
  通常は、本機のファクス番号を登録します。0 ～ 9 の数字と、+、スペース、*、# を使い、20 桁以内で登録します。

■ 回線パラメータ設定

次の項目を設定します。

詳しくは、p. 11-28 をごらんください。

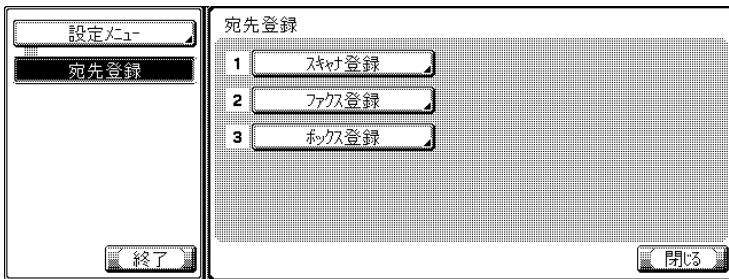
- ダイアル方式
  プッシュ回線、ダイアル（パルス）回線（20PPS、10PPS）の種別を選択します。
- 受信方式
  自動受信、手動受信の種別を選択します。
  自動受信する場合は自動受信に設定します。外部電話を接続している場合などで電話がかかる機会が多い場合や、リモート受信機能を使いたい場合には、手動受信に設定します。
- 留守電接続設定
  外部電話として留守番電話を接続する場合に、ON に設定します。着信すると、留守番電話が応答した後、メッセージを録音する間に、相手がファクスか電話かを自動的に検知します。ファクスの場合は受信を開始します。
- TEL/FAX 自動切換え
  外部電話を接続している場合で、ファクスを優先して使う場合に TEL/FAX 自動切換えを ON に設定します。着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。ファクスの場合は受信が開始され、TEL の場合は外部電話の呼び出し音が鳴ります。

1.4 設定しておくと便利な機能

プログラムと短縮 / アドレスにプログラム宛先や短縮宛先を登録しておくと、プログラムキーや短縮 / アドレスキーを押すだけで登録内容を呼び出すことができます。

■ 短縮 / アドレス

よくファクスを送信する宛先を短縮宛先に登録しておくと短縮 / アドレスキーを押すだけで、宛先を呼び出すことができます。

ここでは、短縮 / アドレスにファクス番号、E-Mail アドレス、ボックス名、宛先名、検索文字などを登録する操作を説明します。

短縮 / アドレスに短縮宛先を登録するときに、登録名と検索文字を登録しておけば、検索文字を利用して宛先を指定することもできます。

オプションのハードディスクを装着している場合は、短縮宛先は、スキャナ /E-Mail など、本機のほかの機能の短縮宛先を合わせて 2000 か所（0001 ～ 2000）まで登録できます。
（ハードディスクを装着していない場合は、最大で 1000 か所まで登録できます）。

登録した内容は、短縮宛先リストで確認できます。
p. 12-33 をごらんください。

1 操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

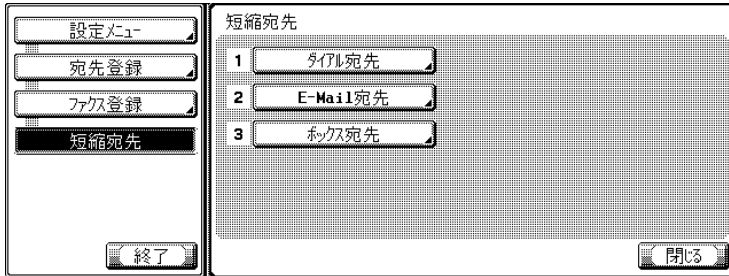
2 ［宛先登録］を押します。

3 ［ファクス登録］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

［短縮宛先］を押します。

5

登録する宛先を押します。

❍ 短縮宛先に登録できる項目は、次の 3 種類があります。

- ダイアル宛先
  ファクス番号を登録します。

- E-Mail 宛先
  E-Mail アドレスを登録します。本機はファクス送信先として E-Mail アドレスを指定できます。

- ボックス宛先
  ボックス名を登録します。本機はファクス送信先として内蔵ハードディスク内のボックスを指定できます。

短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。

PageScope Web Connection の使い方については、「第 13 章 PageScope Web Connection」または、ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。

参照

すでに短縮宛先が登録されている場合は、ここで［編集］を押して内容を変更することもできます。p. 10-13 をごらんください。

ファクス送信と同時に E-Mail アドレスに画像を送信する場合、登録しておくと便利な機能です。

ファクス送信と同時にボックスに画像を保存する場合、登録しておくと便利な機能です。

6 ［新規登録］を押します。

7 ［登録名］を押し、短縮宛先の名前を入力し、［OK］を押します。

参照

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

名前は半角で 24 文字まで登録できます。

8 宛先を入力します。

- 手順 5 で［ダイアル宛先］を選択した場合は、テンキーで宛先にファクス番号を入力します。
- 手順 5 で［E-Mail 宛先］を選択した場合は、［E-Mail アドレス］を押して、E-Mail アドレスを入力します。

- ファクス番号は、38 桁まで入力できます。
- このとき、［短縮 No.］には、未登録短縮 No. が表示されます。
- 誤って入力した場合は、［削除］を押すか、または【クリア】を押して訂正します。

- 手順 5 で［ボックス宛先］を選択した場合は、［ボックス名］を押して、ボックスを選択します。

ボックスを選択するには、事前にボックスを登録しておく必要があります。

ボックスの登録について詳しくは、ユーザーズガイド（ボックス機能編）をごらんください。

9 ［検索文字］を押し、検索文字を登録し、［OK］を押します。

- ［常用］～［etc］の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。

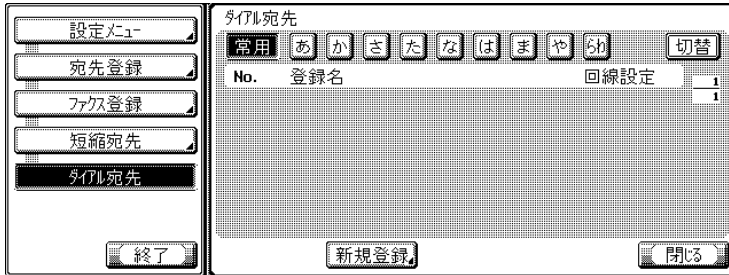
10 必要に応じて、［回線設定］を押し、海外通信モード、ECM オフ、V34 オフ、宛先確認送信、回線指定（2 回線使用時のみ）を設定し、［OK］を押します。

手順 5 で［E-Mail 宛先］または［ボックス宛先］を選択した場合は、［回線設定］は表示されません。

11 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

❍ 短縮宛先の登録を続けるときは手順 6 に戻ります。

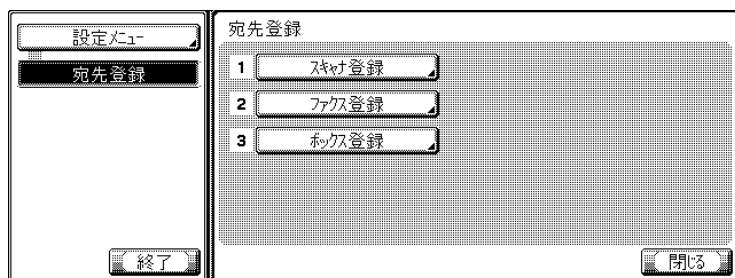
12 ［終了］を押します。

■ プログラム

プログラム宛先に相手先や通信機能を登録しておくと、プログラムキーを押すだけで登録内容を呼び出すことができます。

ここでは、プログラム宛先に登録名、宛先を登録する操作を説明します。

1 操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー / カウンタ画面を表示します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［ファクス登録］を押します。

4 ［プログラム宛先］を押します。

参照

プログラム宛先には、読込設定や通信設定の機能を登録することもできます。詳しくは p. 10-20 をごらんください。

オプションのハードディスクを装着している場合は、プログラム宛先は、400 個（001 ～ 400）まで登録できます。
（ハードディスクを装着していない場合は、200 個まで登録できます）

詳しく説明します

- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力し選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「1」を入力します。
- 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。

参照

PageScope Web Connection の使い方については、「第 13 章 PageScope Web Connection」または、ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。

5 登録したいプログラム No. を選択して、[編集] を押します。

6 [登録名] を押し、プログラム宛先の名前を入力し、[OK] を押します。

7 [宛先] を押し、宛先を入力します。

- すでに登録されている宛先を登録する場合は、[宛先表から検索] を選択し、ダイアル宛先、ボックス宛先、グループ宛先、E-Mail 宛先のいずれかを選択し、[OK] を押します。
- ファクス番号、ボックス宛先、E-Mail アドレス、を直接入力する場合は、[ダイレクト入力] を押し、ダイアル宛先、E-Mail アドレスを入力するか、ボックス宛先を選択し、[OK] を押します。

名前は半角で 24 文字まで登録できます。

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

誤って入力したときは、[削除] を押すかまたは【クリア】を押して訂正します。

ボックス宛先を選択するには、事前にボックスの登録が必要です。

ボックスの登録について詳しくは、ユーザーズガイド (ボックス機能編) をごらんください。

8 [閉じる] を押して、[OK] を押します。

プログラム宛先の一覧に戻ります。

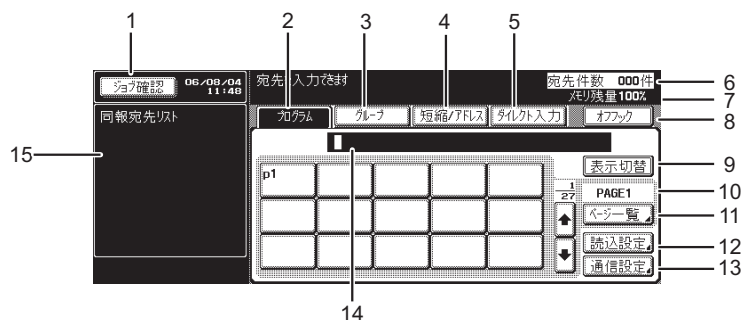
❍ プログラム宛先の登録を続けるときは、手順 5 に戻ります。

9 [終了] を押します。

プログラム宛先の登録を中止するときは、[キャンセル] を押します。

1.5 ファクス機能で表示される画面

操作パネルのファクスボタンを押すと、ファクス画面が表示されます。

ファクス画面には、[プログラム]、[グループ]、[短縮 / アドレス]、[ダイレクト入力] が用意され、設定別に分けられています。

番号	名称	説明
1	ジョブ確認	実行待ちのジョブ、ジョブ履歴、エラージョブの一覧が表示されます。
2	プログラム	プログラム宛先選択画面が表示されます。
3	グループ	グループ宛先選択画面が表示されます。
4	短縮 / アドレス	短縮宛先選択画面が表示されます。
5	ダイレクト入力	トーンやポーズなどの特殊記号を使ってダイアルするための画面が表示されます。[E-Mail 送信] を押すと、E-Mail を入力するためのキーボード画面を表示できます。
6	宛先件数	設定した送信先の件数が表示されます。
7	メモリ残量	作業中に使用するメモリの残量が表示されます。
8	オフフック	手動で送信 / 受信する場合に押します。 このキーを押すと、回線上の音がスピーカーから流れます。
9	表示切替	表示されている宛先の登録名と電話番号の表示を切り替えることができます。
10	ページ表示部	プログラム宛先のリストのページが表示されます。
11	ページ一覧	プログラム宛先のリストのページを指定できます。
12	読込設定	原稿画質、解像度、応用設定など、原稿の読み込み方法を設定するメニューが表示されます。
13	通信設定	タイマー通信、ポーリング受信など、通信方法を設定するメニューが表示されます。
14	宛先表示部	設定した宛先が表示されます。

番号	名称	説明
15	サブエリア	右側で設定中の操作に応じた内容が表示されます。ファクスの操作では、各機能の説明や、送信先リストが表示されます。

1.6 ユーザ認証と部門認証について

本機を使用するときに、ユーザ名、部門名、パスワードを入力するように設定されている場合があります。表示された画面で、必要な情報を入力すると、通常の画面が表示されます。部門名やユーザ名は管理者に確認してください。

■ ユーザ認証が設定されている場合

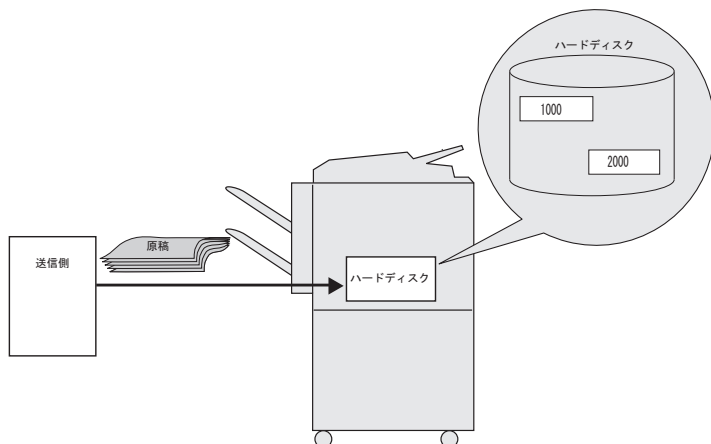
■ 部門認証が設定されている場合

参照

ユーザ認証と部門認証について詳しくは、ユーザーズガイド（コピー機能編）をごらんください。

1.7 ボックスを使ったファクス受信

本機では、PC-FAX 受信や強制メモリ受信の機能を使用すると、受信文書をすぐにプリントせずに、ハードディスク内のボックスに保存しておくことができます。また、親展文書を受信すると、自動的にハードディスク内の親展ボックスに保存されます。

ボックスに保存されている文書は、本機でプリントしたり、ネットワーク上のコンピュータに取り込んだりできます。ここでは、ボックスを使ったファクス受信の概要について説明します。

詳しく説明します

- ボックスの作成方法、および PC-FAX 受信でボックスに受信した文書をコンピュータに取り込む方法については、「ユーザーズガイド（ボックス機能編）」をごらんください。
- ファクス送信時に、宛先として本機のボックスを指定すると、読み込んだ原稿をボックスに保存できます。

■ ボックスの種類（ハードディスク装着時）

オプションのハードディスクが装着されている場合は、共有 / 個人ボックスとシステムボックスが用意されています。

- 共有 / 個人ボックスには、指定ボックス（No.1 ～ 999999999）があります。
- システムボックスには、掲示板ボックス／ポーリング送信ボックス／強制メモリ受信ボックス／機密文書ボックス / ファイリングナンバーボックス / 再送信ボックスがあります。

本機では、これらのボックスを使って、次表の機能を使用できます。

ボックス名		機能
共有 / 個人ボックス	指定ボックス (ボックス No.1 ～ 999999999)	共有 / 個人ボックスは、通常の共有 / 個人ボックスと親展ボックスからなり、親展ボックスには通信パスワードを設定できます。親展ボックスは最大 20 個まで設定できます。 PC-FAX 受信で、受信文書の保存先を指定ボックスに設定している場合、および TSI 振分けを設定している場合は、受信文書が該当する番号のボックスに保存されます。 PC-FAX 受信の場合： 送信側がサブアドレスで指定した番号のボックスに保存されます。 TSI 振分けの場合： TSI 振分けの設定に応じた番号のボックスに保存されます。 親展ボックスは振分け先の対象外です。 参照 詳しくは、「PC-FAX 受信の動作について」（p. 1-20）をごらんください。

ボックス名		機能
システムボックス	掲示板ボックス	閲覧用の文書を登録するためのボックスです。掲示板ボックスに登録されている文書は、相手からのポーリングの指示でポーリング送信できます。 掲示板ボックスについては、9-7 ページをごらんください。
	ポーリング送信ボックス	ポーリング送信用に読み込んだ原稿が、このボックスに保存されます。 参照 ポーリング送信ボックスについては、9-2 ページをごらんください。
	強制メモリ受信ボックス (ボックス No.0)	強制メモリ受信を ON に設定している場合、受信した文書はプリントされず、このボックスに保存されます。 参照 強制メモリ受信については、8-5 ページをごらんください。 PC-FAX 受信で、受信文書の保存先を強制メモリ受信ボックスに設定している場合は、このボックスに受信文書が保存されます。 参照 詳しくは、「PC-FAX 受信の動作について」（p. 1-20）をごらんください。
	機密文書ボックス	機密プリント文書が保存されます。 参照 機密文書ボックスについては、「ユーザーズガイド（プリンタ機能編）」をごらんください。
	ファイリングナンバーボックス	スキャナモードで保存した文書データに日付 / 時刻やファイリング番号の画像を付加してネット配信する場合に使用します。付加する文字の種類は配信時に設定できます。 参照 ファイリングナンバーボックスへの文書保存の方法は「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
	再送信ボックス	相手側が話中などのため、リダイアルしてもなお送信できなかった文書は、このボックスに一定期間保存されます。保存されている文書は、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信することができます。 参照 再送信については、p. 2-34 をごらんください。
中継ボックス		中継配信用の文書を格納する通信パスワード付きのボックスです。中継配信局で登録します。最大 5 個まで登録できます。 参照 中継ボックスについては、p. 10-55 をごらんください。

■ ボックスの種類（ハードディスク非装着時）

オプションのハードディスクを装着していない場合は、以下のボックスが使用できます。

ボックス名		機能
システムボックス	掲示板ボックス	閲覧用の文書を登録するためのボックスです。掲示板ボックスに登録されている文書は、相手からのポーリングの指示でポーリング送信できます。 参照 掲示板ボックスについては、p. 9-2 をごらんください。
	ポーリング送信ボックス	ポーリング送信用に読み込んだ原稿が、このボックスに保存されます。 参照 ポーリング送信ボックスについては、p. 9-2 をごらんください。
	強制メモリ受信ボックス	強制メモリ受信を ON に設定している場合、受信した文書はプリントされず、このボックスに保存されます。 参照 強制メモリ受信については、p. 10-58 をごらんください。
	親展受信ボックス	親展受信した文書が保存されます。 プリントされず、このボックスに保存されます。 参照 親展受信については、p. 10-46 をごらんください。
	再送信ボックス	相手側が話中などのため、リダイアルしてもなお送信できなかった文書は、このボックスに一定期間保存されます。保存されている文書は、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信することができます。 参照 再送信については、p. 2-34 をごらんください。
中継ボックス		中継配信用の文書を格納する通信パスワード付きのボックスです。中継配信局で登録します。最大 5 個まで登録できます。 参照 中継ボックスについては、p. 10-55 をごらんください。

■ PC-FAX 受信の動作について

参照

• PC-FAX 受信の設定については、11-49 ページをごらんください。

PC-FAX 受信の受信文書は、ハードディスク内の強制メモリ受信ボックス（ボックス No.0）、または共有 / 個人ボックス（ボックス No.1 ～ 999999999）に保存されます。

受信文書を保存するボックスは、設定メニューの［PC-FAX 受信設定］で設定します。［PC-FAX 受信設定］と受信方法の関係については、次表を参照してください。

設定メニューの［PC-FAX 受信設定］	受信のしかた
PC-FAX 受信設定：OFF	受信文書はボックスに保存されず、プリントされます。 ただし、次の場合は受信文書がボックスに保存されます。 ①親展受信および中継依頼受信の場合 （F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合）： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。サブアドレスが各ボックスの番号と異なったり、F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。 ② **TSI** 受信振り分けが **ON** に設定されている場合： TSI 受信振り分けで設定されたボックスに受信文書を保存します。 ③強制メモリ受信が **ON** に設定されている場合： 上記①～②に該当しない場合、受信文書は、強制メモリ受信ボックスに保存されます。
PC-FAX 受信設定：ON 受信出力先：強制メモリ受信ボックス	受信文書は強制メモリ受信ボックスに保存されます。 ただし、次の場合は、受信文書が他のボックスに保存されます。 ①親展受信および中継依頼受信の場合 （F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合）： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。サブアドレスが各ボックスの番号と異なったり、F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。
PC-FAX 受信設定：ON 受信出力先：指定ボックス	受信文書はサブアドレスで指定された番号の指定ボックス（1 ～ 999999999）に保存されます。 ただし、次の場合は、受信文書が他のボックスに保存されます。 ①サブアドレス指定がない場合： 受信文書は、強制メモリ受信ボックスに保存されます。 ②該当する指定ボックスがない場合： 設定メニューの［ボックス番号エラー動作］の設定に従います。 ③親展受信および中継依頼受信の場合 （F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合）： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。 ④ダイアルイン番号が **PC-FAX** または **FAX** の場合： 受信文書は、強制メモリ受信ボックスに保存されます。

設定メニューの［PC-FAX 受信設定］	受信のしかた
PC-FAX 受信設定：ダイアルインのみ 受信出力先：強制メモリ受信ボックス	①ダイアルイン番号が **PC-FAX** の場合： 受信文書は、強制メモリ受信ボックスに保存されます。 ②ダイアルイン番号が **FAX** の場合： 受信文書は、プリントされます。 ③親展受信および中継依頼受信の場合 （F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合）： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。サブアドレスが各ボックスの番号と異なったり、F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。
PC-FAX 受信設定：ダイアルインのみ 受信出力先：指定ボックス	①親展受信および中継依頼受信の場合 （F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合）： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。 ②該当する指定ボックスがある場合： 受信文書はサブアドレスで指定された番号の指定ボックス（1 ～ 999999999）に保存されます。 ③サブアドレスの指定がない場合：受信文書は、プリントされます。 ④該当する指定ボックスがない場合： 設定メニューの［ボックス番号エラー動作］の設定に従います。 ⑤ダイアルイン番号が **PC-FAX** の場合： 受信文書は、強制メモリ受信ボックスに保存されます。 ⑥ダイアルイン番号が **FAX** の場合： 受信文書は、プリントされます。

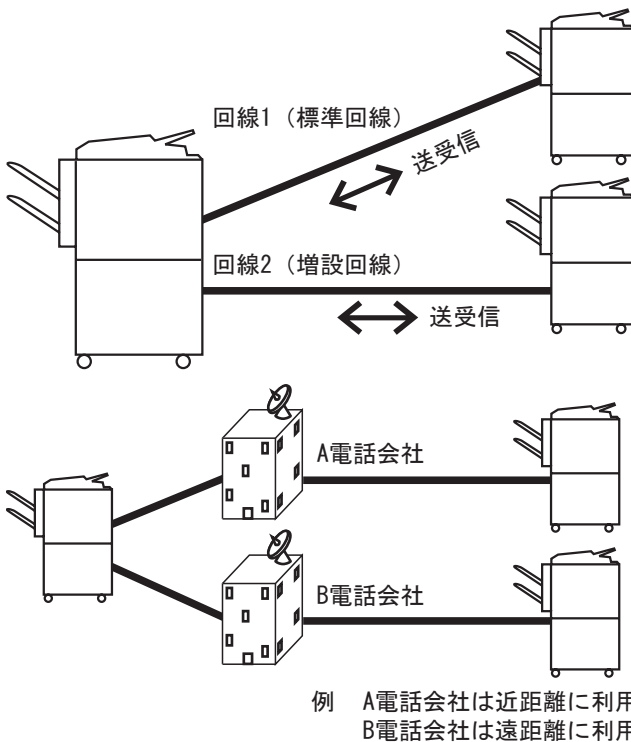
1.8 増設回線を使用した送受信

回線を増設すると、2 回線を使用した送受信ができます。

- 回線 2(増設回線) に外部電話を接続することはできません。
- オフフックは、回線 1(標準回線) でのみ使用できます。
- 回線 2(増設回線) を使用した受信は、自動受信のみになります。

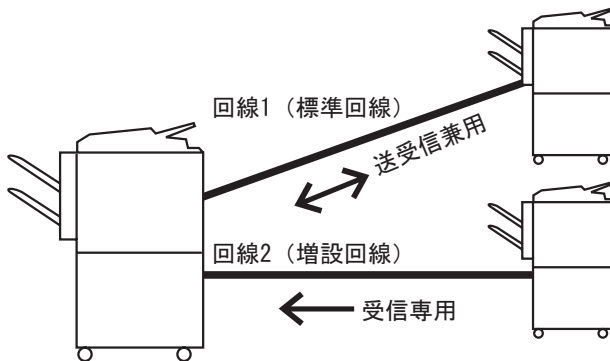
■ 送信 / 受信兼用の回線として使用する

複数の宛先に同報送信する場合、2 回線を使用して送信するため、複数宛先送信を早く終了することができます。これを一斉同報といいます。また回線ごとに別の電話会社を割り当てたり、送信中に受信および送信することができます。

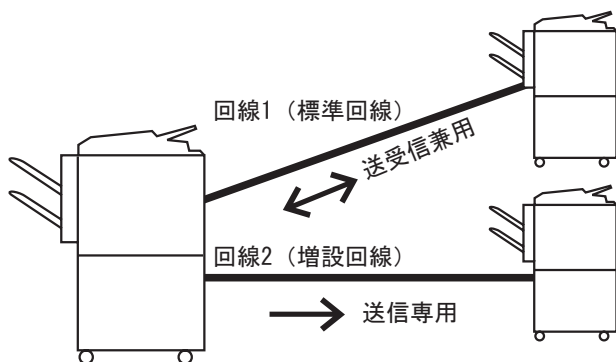
必要な設定については、p. 11-62 をごらんください。

■ 受信専用の回線として使用する

回線 2（増設回線）を受信専用に設定しておくことができます。回線 2 を受信専用に設定すると、送信には回線 1 のみが使用されます。送信回線と受信回線を分けて使用する場合に便利です。

回線 1 は、送受信兼用で、受信専用の設定はありません。

必要な設定については、p. 11-62 をごらんください。

■ 送信専用の回線として使用する

回線 2（増設回線）を送信専用に設定しておくことができます。回線 2 を送信専用に設定すると、受信には回線 1 のみが使用されます。送信回線と受信回線を分けて使用する場合に便利です。

必要な設定については、p. 11-62 をごらんください。

1.9 SIP ファクス使用時の注意事項

SIP ファクス使用時に、G3 ファクス機へ送信するには以下の方法があります。

- FAX over IP 通信
- G3 ファクス

■ FAX over IP 通信

相手先のファクス番号を指定して、G3 ファクス機へ送信することができます。

- ファクス番号の先頭に“-”を付加するか、または回線設定の［V34 オフ］を選択して送信します。
- 指定したファクス番号にダイアル発信が行われると、SIP-FAX アダプタが FAX over IP 送信と識別します。
- FAX over IP 番号で着信すると、SIP-FAX アダプタが FAX over IP 受信と識別します。
- 特番を付加した場合に、FAX over IP 送信を行うようにすることもできます。

原則

FAX over IP 通信を使用する場合は、ナンバーディスプレイ、ダイアルイン機能は使用できません。

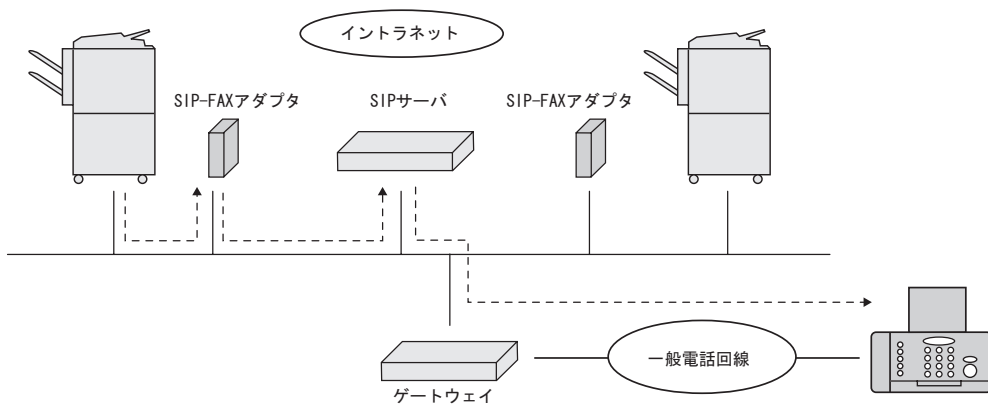
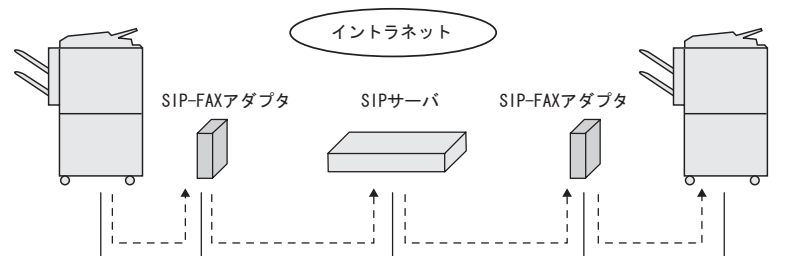
参照

特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

● 外線の場合

イントラネット
SIP-FAXアダプタ
SIPサーバ
SIP-FAXアダプタ
一般電話回線
ゲートウェイ

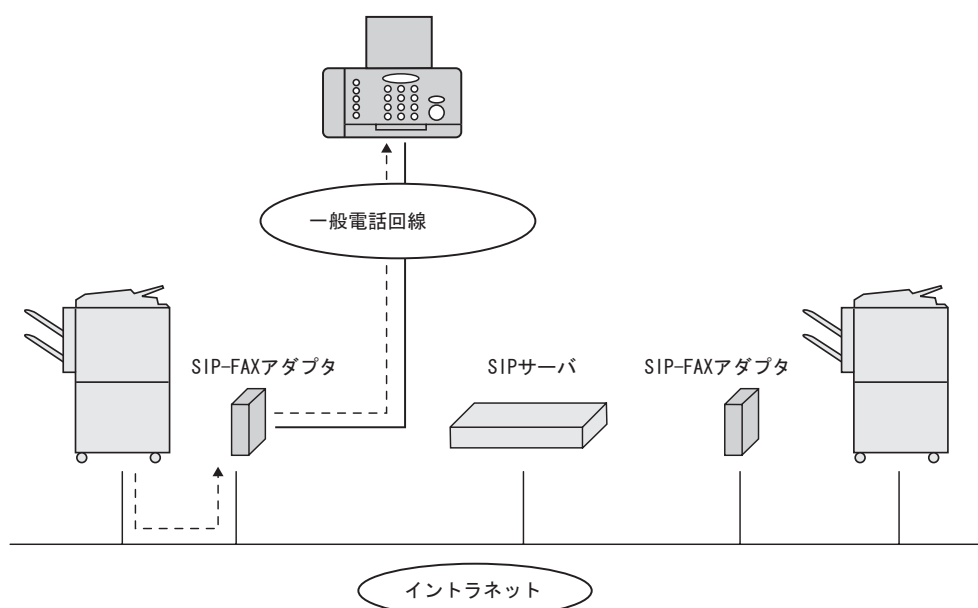
● 内線の場合

イントラネット
SIP-FAXアダプタ
SIPサーバ
SIP-FAXアダプタ

■ G3 ファクス

相手先のファクス番号に特番（0009）を付加することで、G3 ファクス機へ送信することができます。

- 「“特番 (0009)” - “ファクス番号”」にダイアル発信が行われると、SIP-FAX アダプタが G3 ファクス送信と識別します。
- G3 ファクス番号で着信すると、SIP-FAX アダプタが G3 ファクス受信と識別します。
- G3 ファクス送信時に特番を付加しないようにすることもできます。

参照

- 特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

■ 宛先の指定方法

以下のように宛先を指定します。
その他の機能については、通常の G3 ファクスと同じです。

● FAX over IP 送信の場合：
ファクス番号の前に“-”を付加します。
ファクス番号が xxxx の場合、「-xxxx」と入力します。

● G3 ファクス送信の場合：
ファクス番号の前に特番“0009”を付加します。
ファクス番号が xxxx の場合、「0009-xxxx」と入力します。

FAX over IP 通信では、V17 モードを使用してください。ファクス番号の先頭に“-”を付加するか、回線設定の［V34 オフ］を選択することで、V17 モードを指定できます。

参照

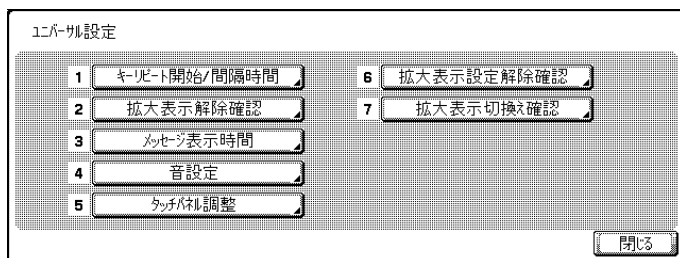
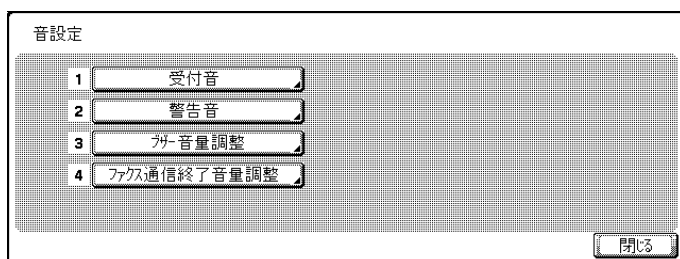
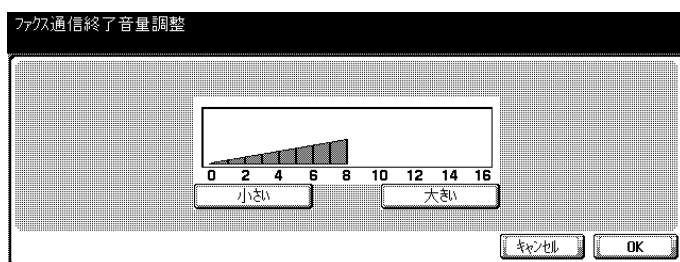
- 左記の宛先指定方法は、SIP-FAX アダプタの特番設定が初期値の場合です。
- 特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

1.10 通信終了時のブザー音量調整

ファクス通信終了時のブザー音量を調整することができます。

設定できる値：0 ～ 16（初期値：8）

1 操作パネルの【ユニバーサル】を押し、ユニバーサル設定画面を表示します。

2 ［音設定］を押します。

3 ［ファクス通信終了音量調整］を押します。

4 ［小さい］または［大きい］を押して音量を調整し、［OK］を押します。

第 2 章
送信する

ファクス送信の操作について説明します。

2.1 操作のながれ

ファクスを送るときの操作のながれを説明します。

1

操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

ここでは、片面の原稿を基本的な操作で送信する方法を説明します。本機には、さらに便利にファクス送信をするためのいろいろな機能が用意されています。詳しくは「第 7 章 便利な送信」をごらんください。

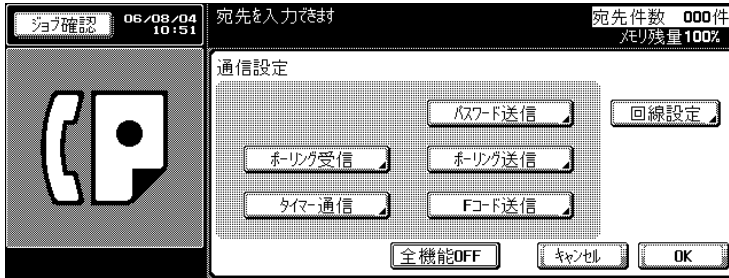
2

［読込設定］を押し、機能を設定し、［OK］を押します。

❍ お買い上げ時は、読込設定の機能は次のように設定されています。
［原稿画質］: 文字
［濃度］: ふつう
［片面 / 両面］: 片面
［解像度］: 精細

参 照

- 読込設定画面の原稿設定については、p. 2-12 をごらんください。
- 応用設定画面の詳細については、p. 7-2 をごらんください。

［通信設定］を押し、機能を設定し、［OK］を押します。

4

相手のファクス番号を指定します。

❍ 相手先の指定には、次の方法があります。
- テンキー
- プログラム
- グループ
- 短縮 / アドレス
- ダイレクト入力

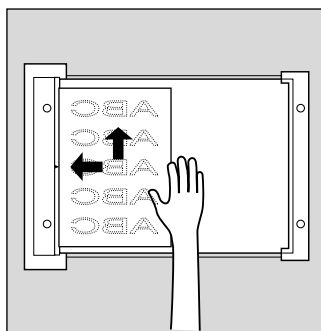
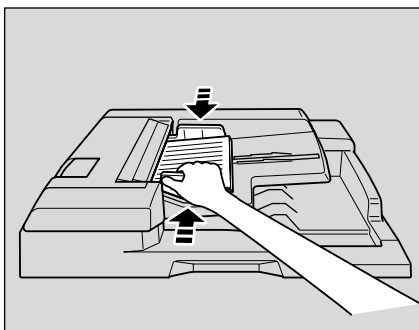
❍ 相手の電話番号をプログラムや短縮 / アドレスに登録しておくと、簡単に相手のファクス番号を指定することができます。

入力したファクス番号が、サブエリアの同報送信先リストに表示されます。

通信設定画面の詳細については、「第 7 章 便利な送信」をごらんください。

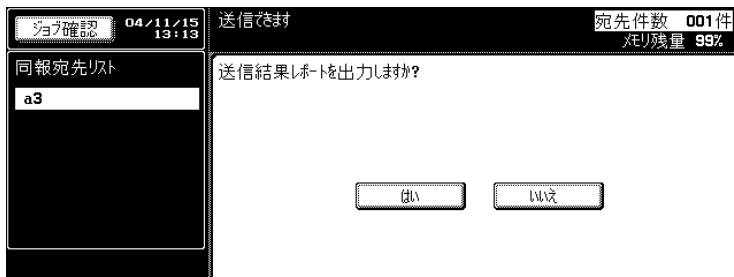
- 選択した宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
- 【リセット】を押すと、入力した番号がすべて削除されます。
- 設定メニューの［セキュリティ設定］にある［手動宛先入力］を禁止にすると、［ダイレクト入力］が表示されません［手動宛先入力］の設定については、管理者にお問い合わせください。

短縮 / アドレスの短縮宛先やプログラムのプログラム宛先の登録については、それぞれ p. 10-3、p. 10-20 をごらんください。

原稿をセットします。

原稿セットについては、
p. 2-6 をごらんください。

操作パネルの【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。

❍ 送信結果レポート画面を表示するように設定しているときは、次の画面が表示されます。［はい］を押すと、送信結果レポートがプリントされます。

- 宛先確認表示機能が設定されている場合は、宛先確認一覧画面が表示されるので、宛先が正しいことを確認して［送信］を押します。詳しくは、p. 7-49 をごらんください。
- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- 送信できない場合は、p. 5-2 をごらんください。
- 送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）
- 送信結果レポートについては、p. 12-9 をごらんください。

2.2 原稿をセットする

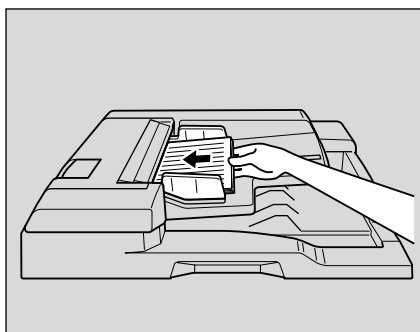
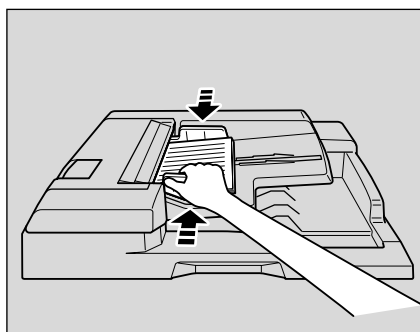
本機では、ADF と原稿ガラスに原稿をセットできます。ADF に原稿をセットすると、自動的に ADF から読み込まれます。

■ ADF に原稿をセットする

ADF を使用すると、複数枚の原稿を自動的に読み込むことができます。また、両面原稿を送信することもできます。

1. ADF を閉じます。

2. 1 ページ目から順に原稿を揃えます。

3. 送信する面を上にして ADF に原稿を置きます。

正しく送信元情報を記録するためには、原稿の先端を ADF に挿入します。

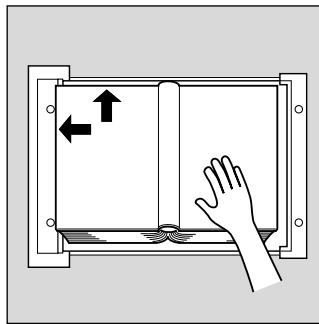
4. 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。

混載原稿の場合、原稿ガイド板を原稿の最大幅にして、原稿を奥側に突き当てます。

■ 原稿ガラスに原稿をセットする

原稿ガラスを使用すると、ADF にセットできない原稿（本などのように厚みのある原稿や薄い原稿など）を送信することができます。

ADF を開きます。

送信する面を下に向け、左側のスケール板に合わせて原稿を左奥側に突き当てます。

3

ADF を静かに閉じます。

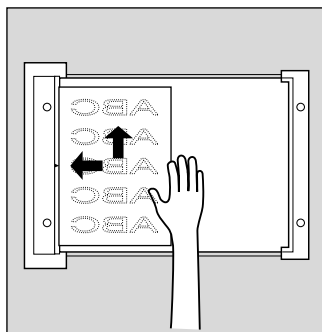
■ 原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには

ADF で送ることのできない複数枚の原稿を、原稿ガラスを使って送信することができます。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. 宛先を指定します。

3. 必要に応じて機能を設定します。

4. 原稿ガラスに原稿をセットし、[読込設定]、[連続読み設定]、[OK] の順に押し、【スタート】を押します。

5. 原稿ガラスに続きの原稿をセットし、【スタート】を押します。

   ❍ この操作を送信したい原稿すべてを読み込むまで繰り返します。

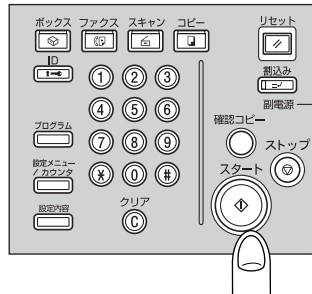
   読み込んだ原稿がメモリに蓄積されます。

6. [読込み終了] を押します。

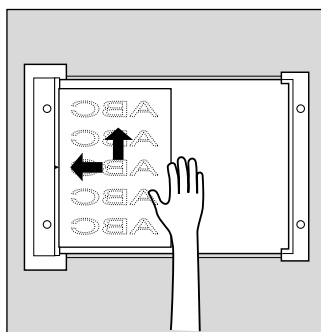
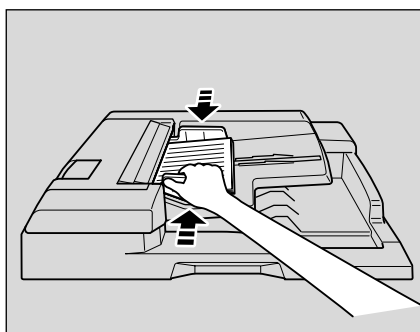
   原稿読込モードが解除されます。

[設定変更] を押すと、原稿読み込み時の設定（[片面 / 両面]、[枠消し]、[濃度 / 下地]、[原稿画質]）を変更できます。

7 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

■ ADF/ 原稿ガラスの両方を使って原稿を送るには

ADF と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み込んだり、大量の原稿を何回かに分けて ADF にセットして読み込むことができます。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. 宛先を指定します。
3. 必要に応じて機能を設定します。
4. ADF、または原稿ガラスに原稿をセットし、［読込設定］、［連続読み設定］、［OK］の順に押し、【スタート】を押します。

- 原稿ガラスと ADF では、ADF が優先されます。
- 原稿セットについては、p. 2-6 をごらんください。

5 ADF、または原稿ガラスに続きの原稿をセットし、【スタート】を押します。

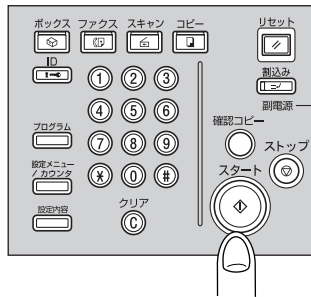
- この操作を送信したい原稿すべてを読み込むまで繰り返します。

読み込んだ原稿がメモリに蓄積されます。

6 ［読込み終了］を押します。

原稿読込モードが解除されます。

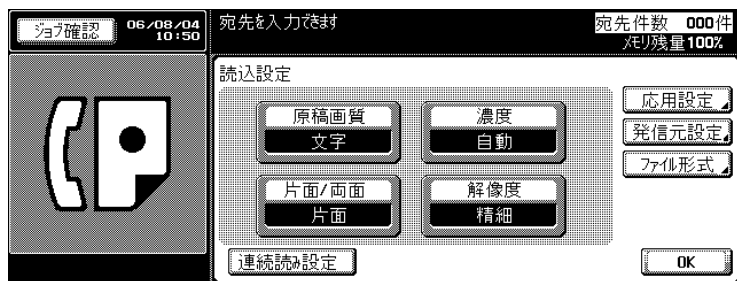
7 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

［設定変更］を押すと、原稿読み込み時の設定（［片面 / 両面］、［枠消し］、［濃度 / 下地］、［原稿画質］）を変更できます。

2.3 送信条件を設定する

ファクス画面の［読込設定］を押すと、［原稿画質］、［濃度］、［片面 / 両面］、［解像度］が表示され、送信する原稿に合わせて送信条件を設定できます。

ファクス画面の［読込設定］を押します。

2 設定したいキーを押します。

■ 原稿画質

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。

原稿画質には、次の 4 種類があります。

お買い上げ時は、［文字］に設定されています。

- ［文字］：
  文字だけの原稿を読込む場合に押します。このモードを選択して写真原稿を読込むと、写真の中間色が再現されず、黒くなります。
- ［文字 / 写真］：
  文字と写真（ハーフトーン）が混ざった原稿を読込む場合に押します。1 ページ中に文字と写真が混ざっているとき、文書の中に文字のページと写真のページが混ざっているとき、どちらのときもこのモードを選択します。
- ［写真］：
  写真（ハーフトーン）だけの原稿を読込む場合に押します。
- ［薄文字］:
  鉛筆書きなど、薄く書かれた文字の原稿を読込む場合に押します。

■ 濃度

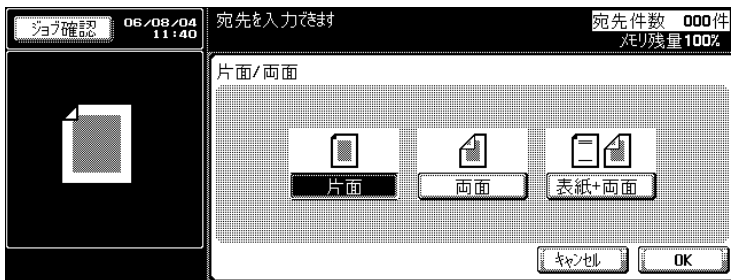
原稿の濃度に応じて濃度を設定します。

濃度は 9 段階に設定できます。

お買い上げ時は［ふつう（自動)］に設定されています。

- ［うすく］:
  うすく読込みたい場合に押します。
- ［ふつう］:
  初期設定に戻す場合に使用します。
- ［こく］:
  こく読込みたい場合に押します。

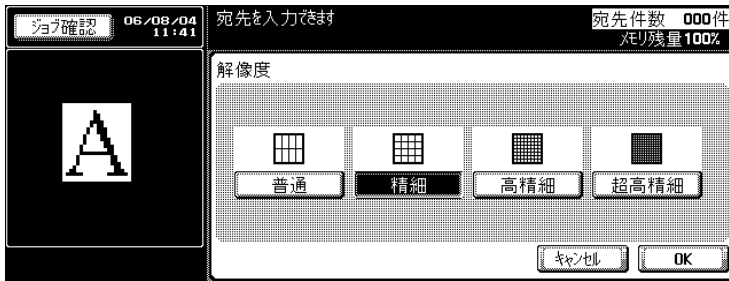
■ 片面 / 両面

原稿の状態に応じて ADF での読込み方法を設定します。

読込み方法には、次の 3 種類があります。

お買い上げ時は、［片面］に設定されています。

- ［片面］: 片面原稿を読込む場合に押します。
- ［両面］: 両面原稿を読込む場合に押します。
- ［表紙 + 両面］: 表紙と両面原稿を読込む場合に押します。

■ 解像度

原稿を読込む細かさを設定します。

解像度には、次の 4 種類があります。

お買い上げ時には、［精細］に設定されています。

- ［普通］:
  送信時間を短くしたい場合に押します。
- ［精細］:
  通常の原稿を読込む場合に押します。
- ［高精細］:
  小さな文字や図などがある原稿を読込む場合に押します。
- ［超高精細］:
  精細な図面や文字などがある特に細かい原稿を読込む場合に押します。

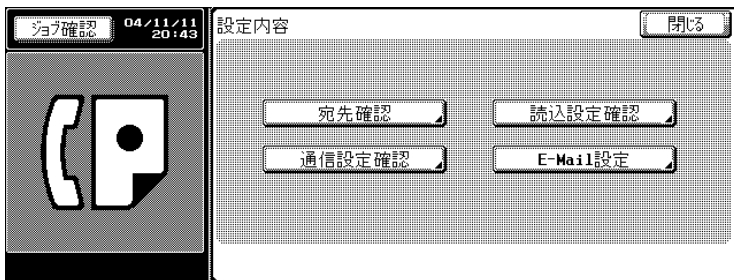
- より精細に読み込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。
- ［超高精細］や［高精細］を選択した場合、受信側にその解像度で受信をする機能がないときは、相手側の受信能力に応じた解像度で送信されます。

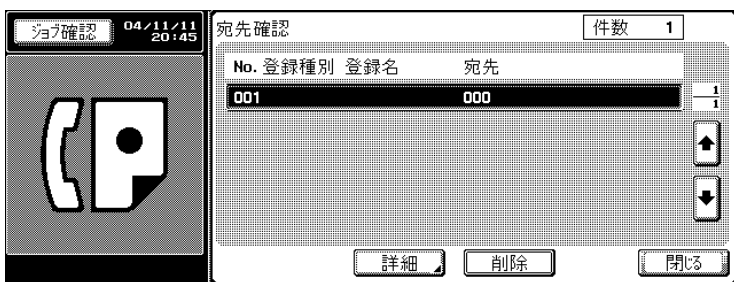
■ 設定状態を確認する

操作パネルの設定内容ボタンを使い、機能の設定状態や宛先を確認できます。

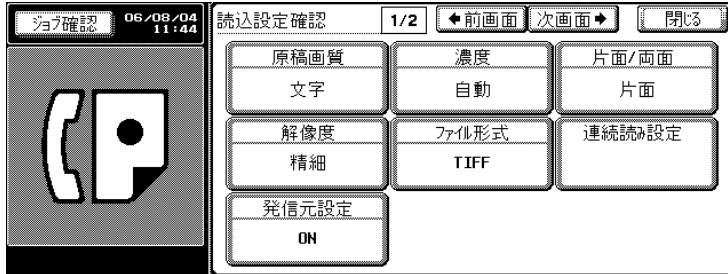
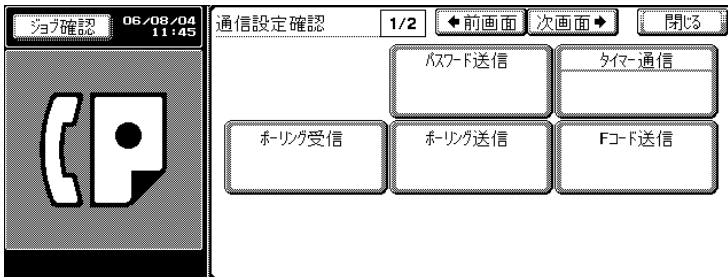
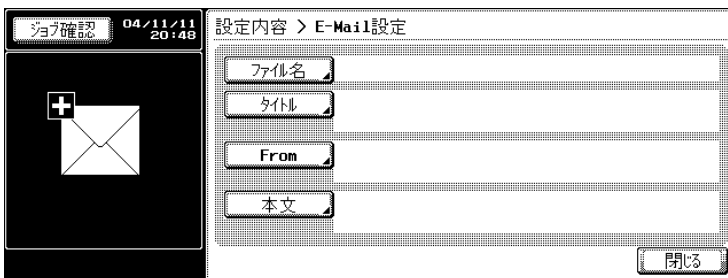
1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. 操作パネルの【設定内容】を押します。

3. 確認したい設定内容のキーを押します。

4. 確認したい項目を押し、設定内容を確認します。

❍ 確認できる設定は、次の 4 種類があります。

- 宛先確認
  宛先を確認できます。

［詳細］を押して表示される画面で、［宛先］を押すと、宛先を変更することができます。

- 読込設定確認
  読込設定の確認ができます。画面上の各設定を押すと、対応する読込設定画面が表示され、設定を変更できます。

- 通信設定確認
  通信設定の確認ができます。画面上の各設定を押すと、対応する通信設定画面または回線設定画面が表示され、設定を変更できます。

- E-Mail 設定
  E-Mail で送信する場合に、ファイル名、タイトル、From（送信者のメールアドレス）、本文を確認したり、入力できます。

参照

読込設定画面について詳しくは、「読込設定と通信設定の機能一覧」（p. 7-4）をごらんください。

次の画面を表示したい場合は［次画面→］、前の画面を表示したい場合は［←前画面］を押します。

参照

通信設定画面について詳しくは、「読込設定と通信設定の画面を表示するには」（p. 7-2）をごらんください。

次の画面を表示したい場合は［次画面→］、前の画面を表示したい場合は［←前画面］を押します。

何も設定しなければ From には、設定メニューで設定された「管理者登録」のメールアドレスが入ります。

参照

- 「管理者登録」について詳しくは、ユーザーズガイド（コピー機能編）をごらんください。
- 本文、タイトルの初期設定値について詳しくは、p. 10-32、p. 10-40 をごらんください。

確認が終了したら、［閉じる］を 2 回押します。

ファクス画面に戻ります。

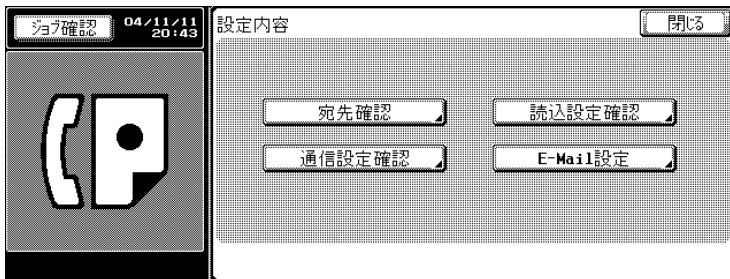
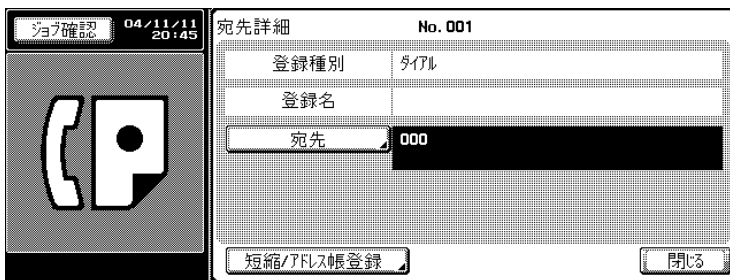
読込設定、通信設定を変更した場合は、読込設定画面、通信設定画面へ移動します。設定内容画面には戻りません。

■ 宛先確認画面から短縮宛先を登録するには

宛先確認画面で表示される送信先を［短縮 / アドレス帳］に登録することができます。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 操作パネルの【設定内容】を押します。

3 ［宛先確認］を押します。

4 ［短縮 / アドレス帳］に登録したい送信先を選択して、［詳細］を押します。

5 ［短縮 / アドレス帳登録］を押します。

- 送信先がすでに登録済みの場合は、［短縮 / アドレス帳登録］は表示されません。
- ボックスを宛先にした場合は、［通知先指定］が表示されます。［通知先指定］にメールアドレスを入力しておくと、ジョブ終了後に、ジョブ終了を知らせる E-Mail を送信させることができます。

6 ［検索文字］を押し、検索文字を設定して、［OK］を押します。

7 ［登録名］を押して登録名を入力し、［OK］を押します。

8 登録内容に問題がなければ、［はい］を押します。

登録を中止する場合は、［いいえ］を押します。

9 ［閉じる］を 3 回押して、ファクス画面に戻ります。

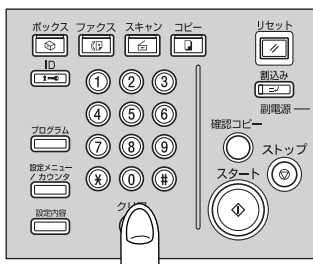
選択した送信先が［短縮宛先］に登録されます。

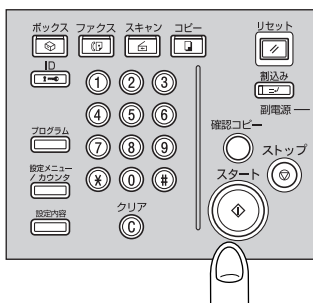
■ 宛先を 1 か所だけ指定する

宛先を 1 か所だけ指定する方法には、次の方法があります。

- テンキーを使う
- プログラムを使う
- 短縮 / アドレスを使う
- ダイレクト入力を使う

●テンキーを使う

1 相手のファクス番号をテンキーで入力します。

入力したファクス番号が、サブエリアの同報宛先リストに表示されます。

2 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

- 38 桁まで入力することができます。
- 誤って入力した場合は、ファクス画面の［削除］を押して訂正します。
- 【クリア】を押すと、入力した番号がすべて削除されます。

●プログラムを使う

プログラムに宛先が登録されている場合は、[プログラム]を押すとダイアルできます。

1 ファクス画面の[プログラム]を押します。

2 使用したいプログラムのキーを押します。

指定したプログラム宛先が、サブエリアの同報送信先リストに表示されます。

3 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

- プログラム宛先に通信機能が設定されている場合は、自動的に機能が設定されます。
- プログラム宛先を1件指定できます。

次の画面または前の画面を表示したい場合は、 または を押します。

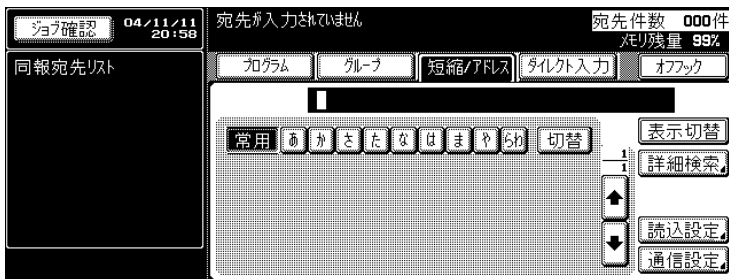
宛先がE-Mailアドレスの場合、E-Mailのタイトル、本文、画像のファイル名、送信元のFromを手動で設定できます。詳しくは、p. 2-17をごらんください。

●短縮 / アドレスを使う

短縮宛先が登録されている場合は、登録されている検索文字から検索してダイアルできます。

ボックス、E-Mail を短縮宛先にしている場合、ボックス、E-Mail を宛先にできます。ボックスに保存されたジョブは、あとから送信したり、ネット配信したりできます。

1 ファクス画面の［短縮 / アドレス］を押します。

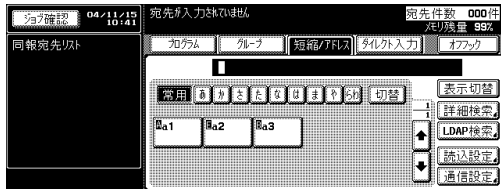
2 検索したい検索文字の検索キーを押します。

❍［詳細検索］で検索するには

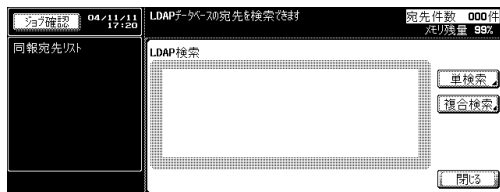
1 ［詳細検索］を押します。
2 ［名称］、［ファクス番号］、または［E-Mail］を押して、検索したい内容を入力します。
3 ［OK］を押します。
検索結果が表示されます。

ボックスに保存されたジョブの送信については、p. 7-45 を、ネット配信については、「ユーザーズガイド（ボックス機能編）」をごらんください。

- ［表示切替］を押すと、ファクス番号と登録名の表示を切替えることができます。
- 複数の短縮宛先を指定できます。
- 検索は先頭一致で行われます。

❍ [LDAP 検索] で検索するには

1 [LDAP 検索] を押します。

2 LDAP 認証が必要な場合は認証を行います。

3 [単検索] または、[複合検索] を押して検索条件を入力します。

4 [OK] を押します。

検索結果が表示されます。

LDAP 検索の詳細について詳しくはユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。

3 送信したい宛先のキーを押します。

指定した短縮宛先が、サブエリアの同報送信先リストに表示されます。

詳しく説明します

キーの前に表示されているアルファベットは、短縮宛先に登録された次の内容を表します。

A　ダイアル宛先
B　ボックス宛先
E　E-Mail 宛先

宛先が E-Mail アドレスの場合、E-Mail のタイトル、本文、画像のファイル名、送信元の From を手動で設定できます。詳しくは、p. 2-17 をごらんください。

4 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

2

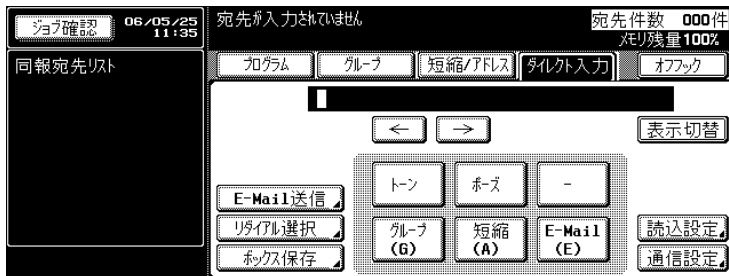
●ダイレクト入力を使う

ダイレクト入力では、トーン・ポーズ・ーなど、特殊なダイアル記号を入力することもできます。E-Mail アドレス、ボックス保存の宛先を入力することもできます。

原則

ボックス保存を使用するには、オプションのハードディスクが必要になります。

1 ファクス画面の［ダイレクト入力］を押します。

2 必要に応じてトーン・ポーズ・ーなど、特殊なダイアル記号を入力し、相手のファクス番号をテンキーで入力します。

［トーン］
ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には［T］が表示されます。

- ボックス保存を行うには、事前にボックスの登録が必要です。
- 設定メニューの［セキュリティ設定］にある［手動宛先入力］を禁止にすると、［ダイレクト入力］が表示されません。［手動宛先入力］の設定については、管理者にお問い合わせください。

参照

ボックスの登録について詳しくは、ユーザーズガイド（ボックス機能編）をごらんください。

ダイアル（パルス）回線の場合、㊀を使ってプッシュトーンに切り換えることができます。

［ポーズ］
ダイアルに間をあけたいときに押します。［ポーズ］1回で1秒の間隔を入力することができ、繰り返して入力することもできます。画面には［P］が表示されます。

［ - ］
ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。画面には［-］が表示されます。

［短縮］
テンキーで短縮番号（0001 ～ 2000 までの 2,000 種）を入力し、短縮宛先で登録した宛先を指定します。
画面には「A0001:FAX1」のように、A 短縮番号：宛先名の形式で表示されます。

PBX（構内交換機）接続が［ON］に設定されている場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに［ポーズ］を押します。画面には［P］と表示されます。

［E-Mail 送信］
E-Mail アドレスに画像を送信します。

カラーでファクス送受信することはできません。カラーで E-Mail を送りたいときは、スキャン機能を使用してください。スキャン機能については、「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）」をごらんください。

宛先が E-Mail アドレスの場合、E-Mail のタイトル、本文、画像のファイル名、送信元の From を手動で設定できます。詳しくは、p. 2-17 をごらんください。

［リダイアル選択］
以前に送信したことがある相手にファクス送信します。

参 照

リダイアルについて詳しくは「リダイアル選択」（p. 2-29）をごらんください。

［ボックス保存］
内蔵ハードディスクに画像を保存します。

3 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

2

■ 複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）

一度の操作で複数の宛先に原稿を送信することができます。この機能を順次同報送信または同報送信と呼びます。

複数の宛先を指定するには次の方法があります。

- テンキーを使う
- グループを使う
- 短縮 / アドレスを使う
- ダイレクト入力を使う

上記の指定方法を組み合わせて指定することもできます。

「宛先を 1 か所だけ指定する」（p. 2-21）を参照して、送信したい宛先を必要なだけ指定します。

❍ グループを使う場合

1. ファクス画面の［グループ］を押します。
2. グループ No. のキーを押します。
3. グループ内の宛先のキーを押して選択します。全てを選択するときは、［全選択］を押します。

2 【スタート】を押します。

最大 605 件（短縮 500 件、テンキー 100 件、ダイレクト入力による E-Mail 宛先 5 件）を宛先として指定できます。

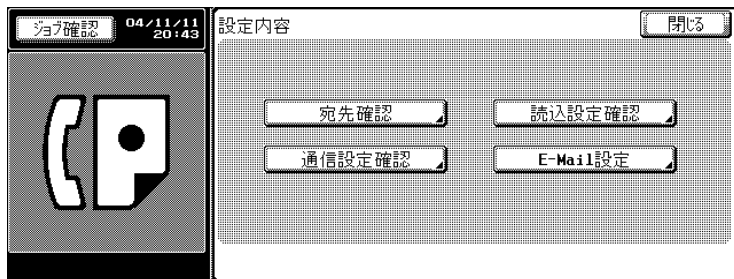
テンキーまたはダイレクト入力を使う場合、宛先を指定して表示される［次宛先］を押すと、次の送信先を指定することができます。

- ［ダイレクト入力］で［グループ］を押し、グループ No.（01 ～ 99、00）を入力して指定することもできます。
- 上記の方法で指定した場合は、グループに登録されているすべての宛先へ送信されます。

■ 宛先を確認 / 削除するには

指定した宛先を確認したり、削除したりすることができます。

1. 【ファクス】を押してファクス画面を表示して、操作パネルの［設定内容］を押します。

2. ［宛先確認］を押します。

3. 送信先を確認します。

4. 送信先を削除する場合は、宛先の一覧から削除したい宛先を選択して［削除］を押します。

   確認メッセージ画面が表示されます。

5. ［はい］を押します。

6. ［閉じる］を２回押します。

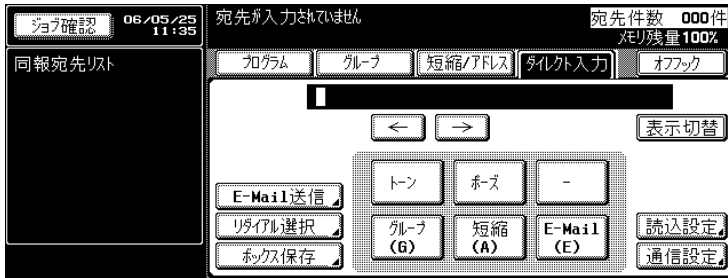
   ファクス画面に戻ります。

詳しく説明します

- ［詳細］を押すと、詳しい情報の画面を表示できます。
- ▼ または ▲ を押すと前後のページが表示されます。

■ リダイアル選択

送信したファクスジョブのうち、最新 5 件から宛先を呼び出すことができます。

［ダイレクト入力］を押し、［リダイアル選択］を押します。

宛先表示部にはダイアル済みの最新のファクス番号が、順番に 5 件まで表示されます。

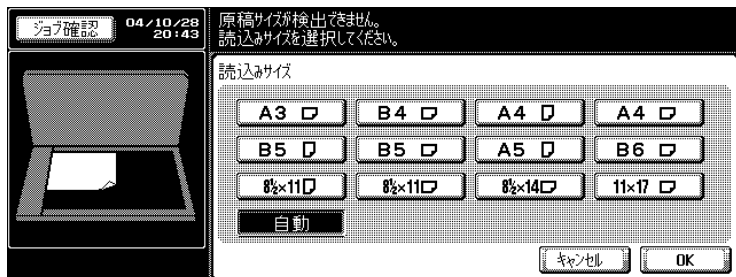
2

表示された宛先からリダイアル先を指定します。

2.5 原稿読み込み中の動作

■ 原稿サイズが検知できないときは

原稿サイズが検知できない場合は、読込みサイズの画面が表示されます。原稿サイズを設定してください。

1. 原稿サイズのキーを押します。

2. ［OK］を押します。

■ メモリオーバーしたときは

原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリオーバーすることがあります。

詳しくは、p. 5-5 をごらんください。

■ 原稿の自動回転について

A4（▯）や 8 1/2 x 11（▯）の原稿は送信時に自動的に、A4（▭）や 8 1/2 x 11（▭）に回転して送信されます。

自動回転を行いたくない場合は、サービス管理店までお問い合わせください。

2.6 送信できないときは

受信側が話中などで送信できないときは、リダイアル機能をつかってもう一度送信することができます。

本機のリダイアル機能は、オートリダイアル、手動リダイアルと再送信機能があります。

原則

オートリダイアル、手動リダイアルとも、宛先を変更することはできません。
リダイアルを行っても、回線異常などで送信できない場合は、p. 5-2 をごらんください。

■ リダイアルについて

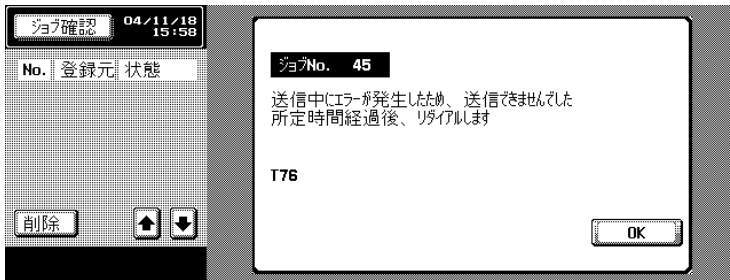
同じ宛先にもう一度ダイアルすることをリダイアルと呼びます。

受信側が話し中などで送信できない場合は、一定時間が経過してから再度ダイアルされます。リダイアルされるまでの間、送信文書はリダイアル待機の予約文書として扱われます。

■ オートリダイアル機能

受信側が話中などで送信ができなかった場合は、回線パラメータ設定で設定されているオートリダイアル回数にしたがって自動的にオートリダイアルされます。

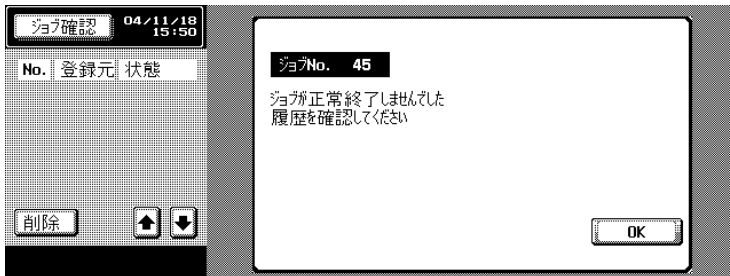
リダイアル確認画面

回線異常などで送信できないときは、リダイアルを確認する画面が表示されます。

［OK］を押します。

設定時間経過後、リダイアルが開始されます。

リダイアルしても、なお送信できない場合は、ジョブが正常終了しなかった事を確認する画面が表示されます。

2

［OK］を押します。

送信に失敗したジョブを削除するには、［ジョブ確認］を押して該当するジョブを削除します。

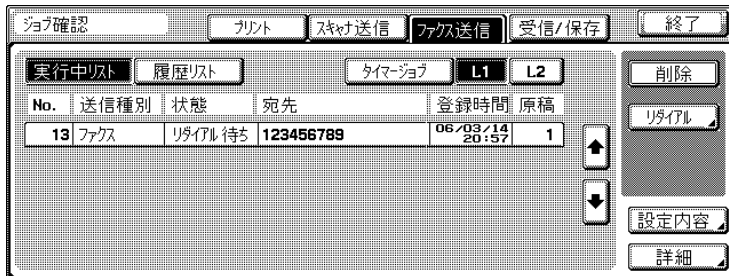
オートリダイアル回数はお買い上げ時は、3 分おきに 3 回リダイアルするように設定されています。オートリダイアル回数の設定については、p. 11-28 をごらんください。

■ 手動リダイアル

リダイアル待ちの文書を、手動でリダイアルします。

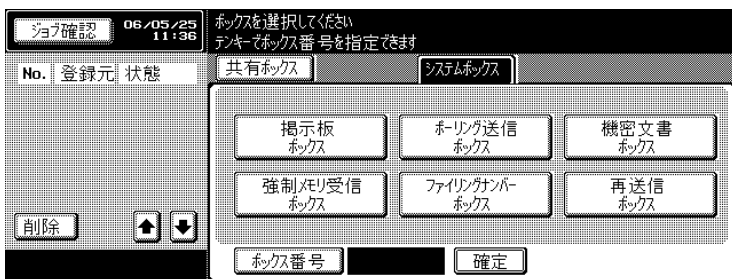
1. ［ジョブ確認］を押します。

2. ［ファクス送信］タブを押します。

3. 状態が［リダイアル待ち］の文書を選択し、［リダイアル］を押します。

4. リダイアル画面が表示されるので、［実行］を押して、選択文書のリダイアルを実行します。

■ 再送信

回線パラメータ設定で設定されているオートリダイアル回数をすぎても、送信できない場合、再送信ボックスにジョブが保存されます。再送信ボックスのジョブは手動でリダイアルを行うことができます。

1. 操作パネルの【ボックス】を押します。
2. ［システムボックス］タブを押します。
3. ［再送信ボックス］を押します。

4. 再送信したいジョブを選択して、［ファクス送信］を押します。

5. 宛先を確認し、【スタート】を押します。

   ジョブが再送信されます。

再送信は設定メニューの機能設定で［再送信設定］をONに設定しておく必要があります。再送信設定については、p. 11-47をごらんください。

- 再送信をした場合は、宛先確認表示をONにしていても確認画面は表示されません。
- 再送信後に、自動的に再送信ボックスからジョブが削除されます。

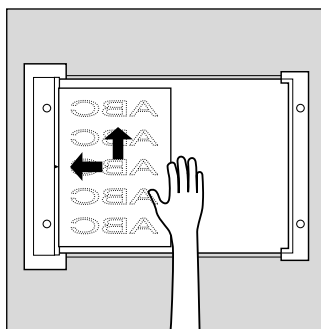
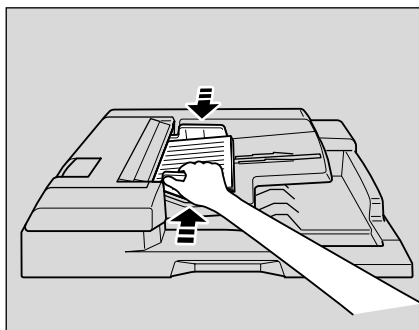
宛先を変更することもできます。

2.7 送信を予約する

通信中やプリント中に、次の送信を予約することができます。
この機能を送信予約と呼びます。

原則

送信予約に［オフフック］を使用することはできません。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. ［次ジョブ予約］を押します。

- 送信中画面表示がされない設定になっている場合は、［次ジョブ予約］は表示されません。
  送信中画面表示については、p. 11-16 をごらんください。

3. 原稿をセットします。

原稿セットについては、
p. 2-6 をごらんください。

送信予約を解除したい場合は、ジョブリストを表示し、［実行中リスト］で［削除］を押してください。

4 必要に応じて機能を設定します。

5 宛先を指定します。

6 【スタート】を押します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、応用機能画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

2.8 相手側の状態を確認しながら送信する（手動送信）

相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。これを手動送信といいます。

1 操作パネルの【ファクス】を押しファクス画面を表示します。

2 原稿をセットします。

参照

原稿セットについては、p. 2-6 をごらんください。

3 ［オフフック］を押します。

❍［受信］が選択されている場合は、［送信］を押し、送信モードにします。

4 必要に応じて読込設定の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、応用機能画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

5 テンキー、［プログラム］または［短縮 / アドレス］で宛先を指定します。

詳しく説明します

- 60 桁まで入力できます。
- ［オンフック］を押すと、ファクス画面に戻ります。
- 外部電話を接続している場合は、外部電話の受話器を上げて送信することもできます。

6 「ポーポー」というくり返し音が聞こえたら、オフフック画面の［実行］を押します。

送信が開始されます。

❍ 操作パネルの【スタート】を押した場合は、オフフックスタート確認画面が表示されます。［はい］を押すと送信が開始されます。

- 外部電話からもダイアルできます。
- 外部電話の場合は、外部電話の受話器を戻します。

2.9 送信を中止する

本機の状態が通信中か予約中かで、送信を中止する操作が異なります。

本機では、蓄積されている送信指示や画像を予約 JOB（ジョブ）と呼びます。ジョブリスト画面には、通信の予約ジョブと動作中のジョブが同時に表示されます。

■ 通信中に中止する

通信中の場合は、次の操作で送信を中止できます。

1. ［ジョブ確認］を押します。
2. ［ファクス送信］タブを押します。
3. ［実行中リスト］の［動作中ジョブ］が選択されていることを確認します。
4. 中止したいジョブを選択して、［削除］を押します。
5. ［はい］を押します。

ジョブが削除されます。

6. ［終了］を押します。

ファクス画面に戻ります。

2

■ 予約ジョブを取り消す

予約ジョブを削除することで送信を取り消すことができます。

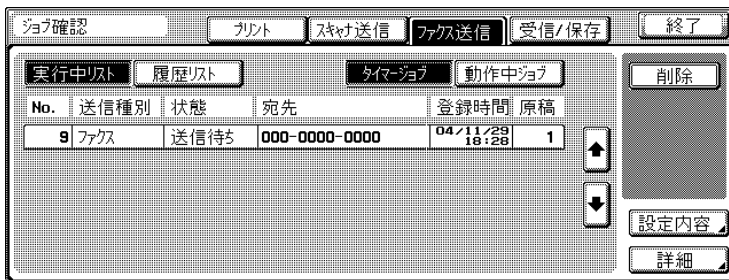
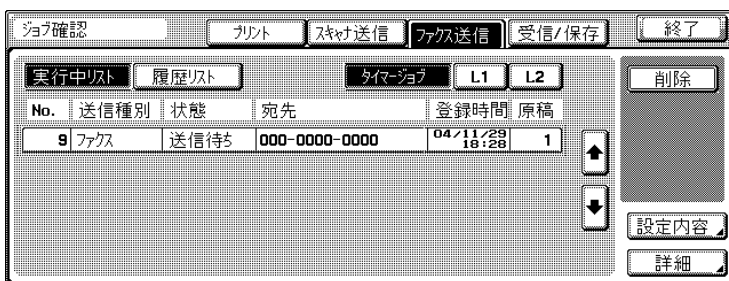
1. ［ジョブ確認］を押します。

2. ［ファクス送信］タブを押します。

3. ［実行中リスト］を押します。

4. ［タイマージョブ］を押します。

5. 中止したいジョブを選択して、［削除］を押します。

1 回線の場合

2 回線の場合

次の画面または前の画面を表示したい場合は、 または を押します。

2 回線使用時は、［ファクス送信］の実行中リストで回線別にリスト表示ができます。
回線 1 の実行中リストを表示したい場合は、［L1］を、回線 2 の実行中リストを表示したい場合は、［L2］を押します。

［はい］を押します。

ジョブが削除されます。

［終了］を押します。

ファクス画面に戻ります。

2.10 送信予約ジョブを確認する

メモリに蓄積されている送信予約状態を、画面に表示される
ジョブリストで確認することができます。

1. ［ジョブ確認］を押します。

2. ［ファクス送信］タブを押します。

3. ［実行中リスト］を押します。

4. ［タイマージョブ］または［動作中ジョブ］を押します。

5. 確認が終了したら、［終了］を押します。

   ファクス画面に戻ります。

- 2 回線使用時は、［ファクス送信］の実行中リストで回線別にリスト表示ができます。回線 1 の実行中リストを表示したい場合は、［L1］を、回線 2 の実行中リストを表示したい場合は、［L2］を押します。
- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼ または ▲ を押します。
- ジョブを選択して［設定内容］または［詳細］を押すとジョブの詳しい内容を確認できます。

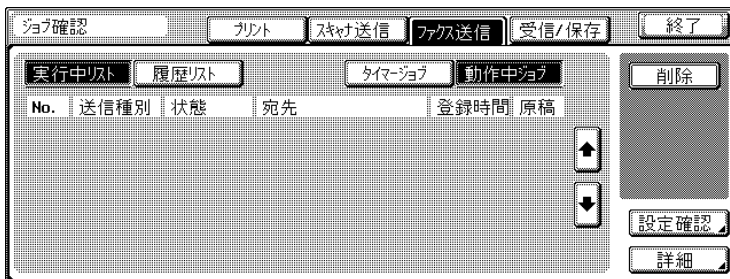
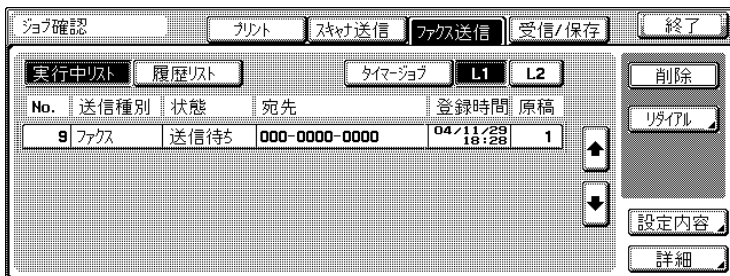
2

2.11 通信結果を確認する

［ジョブ確認］を押すと、通信結果を確認することができます。

1 ［ジョブ確認］を押します。

2 ［プリント］タブ、［ファクス送信］タブまたは［受信 / 保存］タブを押します。

3 ［履歴リスト］を押します。

1 回線の場合

2 回線の場合

2 回線使用時は、［ファクス送信］の実行中リストで回線別にリスト表示ができます。
回線 1 の実行中リストを表示したい場合は、［L1］を、回線 2 の実行中リストを表示したい場合は、［L2］を押します。

通信結果を確認します。

ジョブ確認　[プリント] [スキャナ送信] [ファクス送信] [受信/保存] [終了]

[実行中リスト] [履歴リスト]　[エラージョブ] [終了ジョブ] [全ジョブ]　[通信リスト]

No.	送信種別	宛先	登録時間	原稿	実行結果
23	E-Mail	000001	04/11/11 16:59	1	正常終了
22	ﾌｧｸｽ	000000	04/11/11 15:02	1	ｴﾗｰ消去
21	E-Mail	000001	04/11/11 13:51	1	正常終了
22	ﾌｧｸｽ	0000000	04/11/09 20:33	1	ｴﾗｰ消去
21	ﾌｧｸｽ	0896	04/11/09 20:22	1	ｴﾗｰ消去

[詳細]

・ファクス送信

❍ 送信種別　：ファクス、E-Mail、ボックスの種別が表示されます。

❍ 宛先　：相手のファクス番号、E-Mail アドレス、ボックス名が表示されます。

❍ 登録時間　：送信を指示した日時が表示されます。

❍ 原稿　：送信した枚数が表示されます。

❍ 実行結果　：正常終了、ユーザ消去、エラー消去、解除（ステープル、パンチ等）、ジョブ中断のいずれかが表示されます。

ジョブ確認　[プリント] [スキャナ送信] [ファクス送信] [受信/保存] [終了]

[実行中リスト] [履歴リスト]　[ファクスジョブ] [ボックスジョブ] [全ジョブ]　[通信リスト]

No.	登録元	ドキュメント名	登録時間	原稿	実行結果
18	FAX-TX	FRhein1041108	04/11/08 18:35	3	正常終了
17	COPY	CRhein1041108	04/11/08 18:32	1	正常終了
16	SCAN	SRhein1041108	04/11/08 18:32	1	正常終了
15	FAX-TX	FRhein1041108	04/11/08 18:27	1	正常終了
14	FAX-TX	FRhein1041108	04/11/08 18:24	1	正常終了

[詳細]

・受信 / 保存

❍ 登録元　：ユーザ認証中は［ユーザ名］、部門管理中は［部門名］が表示されます。それ以外の場合は、COPY、PRINT、FAX-RX 等の登録元が表示されます。

❍ ドキュメント名：受信または保存した文書名が表示されます。

❍ 登録時間　：受信した日時が表示されます。

❍ 原稿　：受信した枚数が表示されます。

❍ 実行結果　：正常終了、ユーザ消去、エラー消去、解除（ステープル、パンチ等）、分割プリント、登録完了、登

詳しく説明します

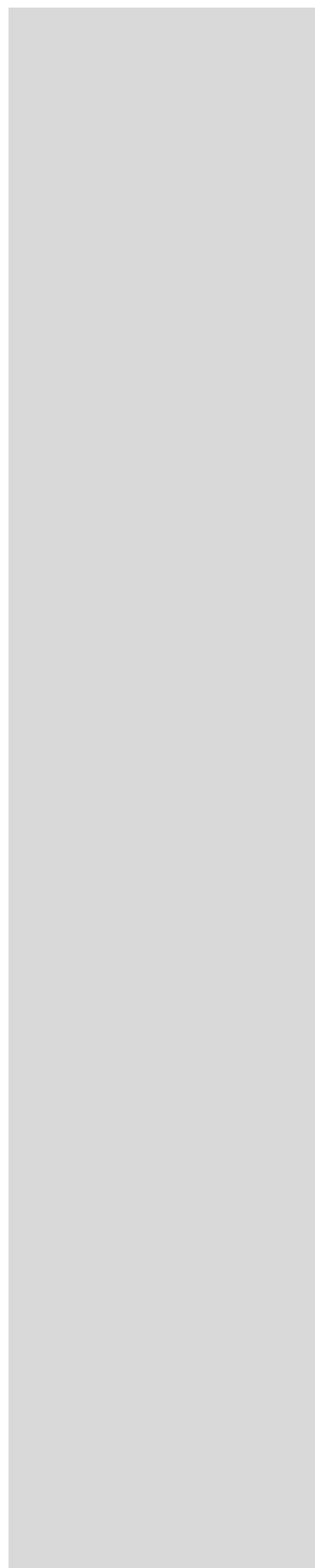
- ［通信リスト］を押すと、ファクス送信レポート、ファクス受信レポートの形式で通信結果を確認できます。このとき通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートをプリントできます。
- ［詳細］を押すと、ジョブの詳細情報を確認できます。
- 2 回線使用時は、［受信 / 保存］の実行中リストで回線別にリスト表示ができます。回線 1 の実行中リストを表示したい場合は、［L1］を、回線 2 の実行中リストを表示したい場合は、［L2］を押します。
- 同報送信の場合は、宛先に［-(同報)］と表示されます。これを選択して［詳細］を押すと、ジョブの詳細情報を確認できます。

2

録失敗、ジョブ中断のいずれかが
表示されます。

5

確認が終了したら、［終了］を押します。

ジョブ確認前の画面に戻ります。

2.12 時刻を指定して通信する（タイマー通信）

タイマー通信とは、通信の時刻を指定する機能です。

深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

2

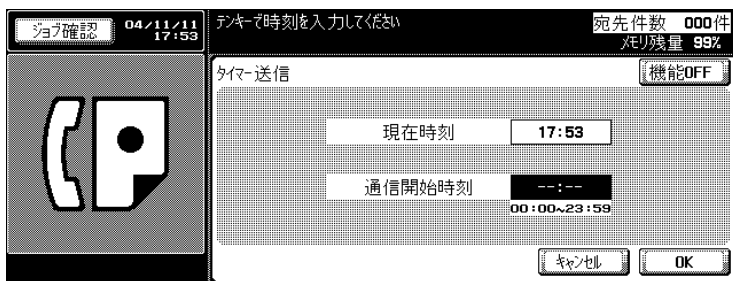
原則

[タイマー通信のスペック]
指定できる時刻は 24 時間までです。日付の指定はできません。
時、分単位で指定します。
通常の送信 20 件、ポーリング受信 1 件のあわせて 21 件のタイマー通信を指定することができます。
[タイマー通信と併用できない機能]
原稿枚数、ポーリング送信、掲示板

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 [通信設定] を押します。

3 [タイマー通信] を押します。

4 テンキーで通信開始時刻を入力します。

5 [OK] を押します。

通信設定画面に戻ります。

- 通信開始時刻は、24 時間方式で 2 桁入力します。
  例：
  通信開始時刻を午後 9 時 7 分に設定する場合は、「21」と「07」を入力します。
- タイマー通信の設定を解除する場合は、[機能 OFF] を押します。

6 ［OK］を押します。

タイマー通信が設定され、ファクス画面に戻ります。

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、応用機能画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

8 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

9 原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

10 【スタート】を押します。

読み込んだ文書は、予約文書としてメモリに蓄積され、指定された時刻に送信が開始されます。

詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

2.13 海外に送る（海外通信モード）

海外通信モードとは、通信状態の悪いところへ通信する場合に情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信する機能です。

ここでは、海外通信する手順を説明します。

使用している回線の種類、契約内容、ダイアル方法などについては、ご使用になる電話会社（KDDI 等）に直接お問い合わせください。

海外通信モードは「国番号」などを電話番号と一緒にプログラム宛先や短縮宛先に登録することができます。

p. 10-20、p. 10-3 をごらんください。

原則

［海外通信モードと併用できない機能］
ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［通信設定］を押します。

3 ［回線設定］を押します。

4 ［海外通信モード］を押します。

- 設定を解除するときは、もう一度［海外通信モード］を押します。
- 画面は、2 回線使用時の画面です。

5 ［宛先確認送信］を行う場合は［する］を押します。

6 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

［宛先確認送信］を［する］に設定すると、誤送信を防止することができます。

p. 7-47 をごらんください。

2

7

［OK］を押します。

海外通信モードが設定され、ファクス画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、応用機能画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

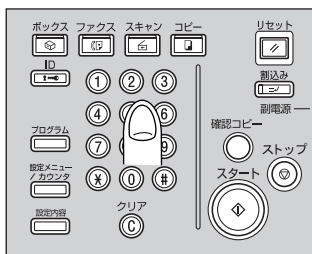
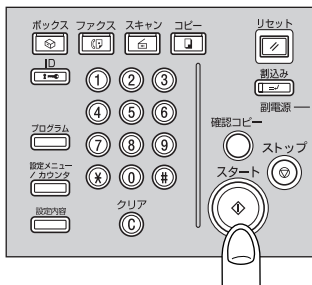
9

原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

10

国際電話サービス番号に続いて相手の国番号、地域番号、相手のファクス番号をダイアルします。

詳しく説明します

電話会社により、国際電話サービス番号は異なります。国際電話サービス番号は、電話会社に直接お問い合わせください。

参照

海外通信のダイアル操作を短縮宛先に登録することができます。登録方法は p. 10-3 をごらんください。

11

【スタート】を押します。

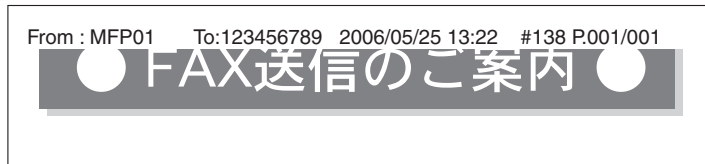
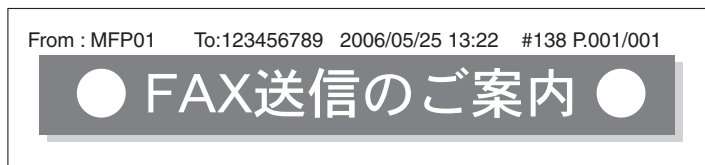
送信が開始されます。

詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

2.14 発信元情報について

送信した原稿は、受信側で次のように記録されます。

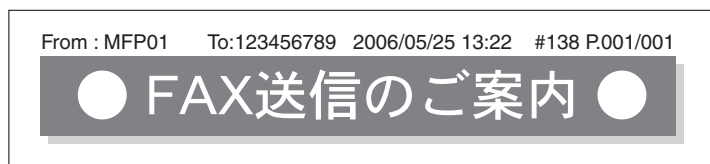
■ 発信元情報が［原稿内］に設定されているとき

■ 発信元情報が［原稿外］に設定されているとき

■ 発信元情報が［OFF］に設定されているとき

発信元情報は、設定メニューの [管理者設定] ＞ [ファクス設定] ＞ [発信元 / ファクス ID 登録] で設定します。複数の発信元名を登録することもできます。
p. 11-24 をごらんください。

設定については、p. 11-26 をごらんください。

■ 相手先印字について

発信元情報に宛先を印字するかどうかを設定できます。

- ［相手先印字］が ON の場合は、発信元名と宛先が印字されます。
- ［相手先印字］が OFF の場合は、発信元とファクス ID が印字されます。

相手先印字の設定については、p. 11-26 をごらんください。

■ 相手先印字が［ON］に設定されているとき

■ 相手先印字が［OFF］に設定されているとき

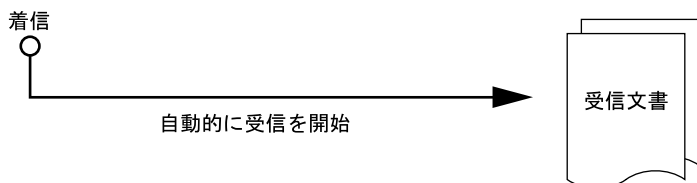
第 3 章
受信する

ファクス受信の操作について説明します。

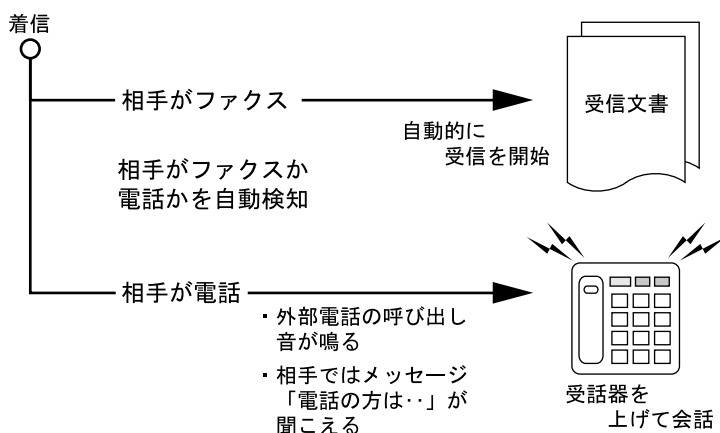
3.1 いろいろな受信モード

本機には、次の受信モードが用意されています。電話回線をお使いの状況に合わせて設定してください。

■ 自動受信（ファクス専用モード）

電話回線をファクス専用で使う場合はこのモードに設定します。

参照
詳しくは p. 3-4 をごらんください。

■ 自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード）

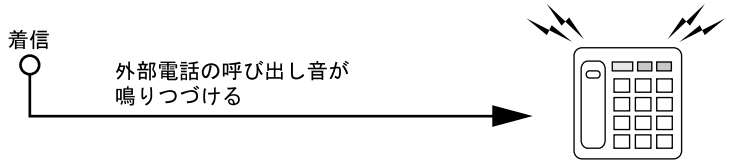
外部電話（留守番電話など）を接続している場合で、ファクス優先で使う場合はこのモードに設定しておくと便利です。

参照
詳しくは p. 3-5 をごらんください。

■ 留守番電話が接続しているとき

外部電話として留守番電話を接続することができます。留守番電話を接続する場合は、設定メニューの［回線パラメータ設定］で、［留守電接続設定］を［ON］に設定します。

参照
詳しくは p. 3-6 をごらんください。

■ 手動受信（電話専用モード）

外部電話（留守番電話など）を接続している場合で、電話がかかってくる機会が多いときは、このモードに設定しておくと便利です。

・受話器を上げて会話

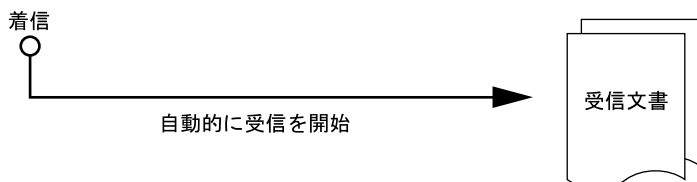
・相手がファクスのときはリモート受信番号を指定すると受信開始

詳しくは p. 3-7 をごらんください。

3

3.2 自動受信（ファクス専用モード）

電話回線をファクス専用で使う場合はこのモードに設定します。設定されている回数分のリング信号を検知すると、自動的に受信が開始されます。受信中は、画面のメッセージ表示部に［受信中です］と表示されます。

このモードは、設定メニューの［回線パラメータ設定］で、［受信方式］が［自動受信］に設定されている場合にはたらきます。

［受信中画面表示］が［OFF］の場合は表示されません。

参照

- 設定方法については p. 11-28 をごらんください。
- リング信号の着信回数については p. 11-28 をごらんください。

3.3 自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード）

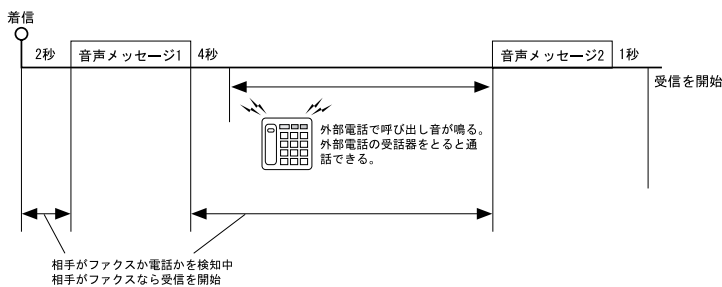
外部電話（留守番電話など）を接続している場合で、ファクス優先で使う場合はこのモードに設定しておくと便利です。着信後、相手側がファクスか電話かを自動的に検知し、送信側に対して音声メッセージを流します。

このモードは、設定メニューの［回線パラメータ設定］で、［TEL/FAX 自動切換え］が［ON］に設定されている場合にはたらきます。

■ 相手がファクスのとき

受信が開始されます。送信側には音声メッセージが聞こえています。

■ 相手が電話のとき

外部電話から呼び出し音が鳴ります。呼び出し音が鳴っている間に外部電話の受話器をとると通話できます。送信側では音声メッセージが聞こえています。

- 音声メッセージ１（約６秒間）
  「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」
- 音声メッセージ２（約４秒間）
  「ただいま近くにおりません。ファクスに切り替えます。」

- 留守番電話を接続するときは、設定メニューの「回線パラメータ設定」で、［留守電接続設定］を［ON］に設定してください。詳しくは、p. 11-28 をごらんください。
- 相手がファクスのときは外部電話の受話器を上げたときに、「ピー」という音が聞こえたり、無音のときは、相手はファクスです。リモート受信番号を指定すると受信できます。

参照

- 設定方法については、p. 11-28 をごらんください。
- 着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーンの回数については、p. 11-28 をごらんください。
- リモート受信については、p. 8-2 をごらんください。

3.4 留守番電話を接続するときは

外部電話として留守番電話を接続することができます。留守番電話を接続する場合は、設定メニューの［回線パラメータ設定］で、［留守電接続設定］を［ON］に設定します。

■ 相手がファクスのとき

留守番電話から本機に自動的に切り換わり、受信が開始されます。

■ 相手が電話のとき

送信側に対して留守番電話のメッセージが流れます。

留守番電話が応答しない場合（留守番設定がされていない場合など）は、20 秒後に受信が開始されます。

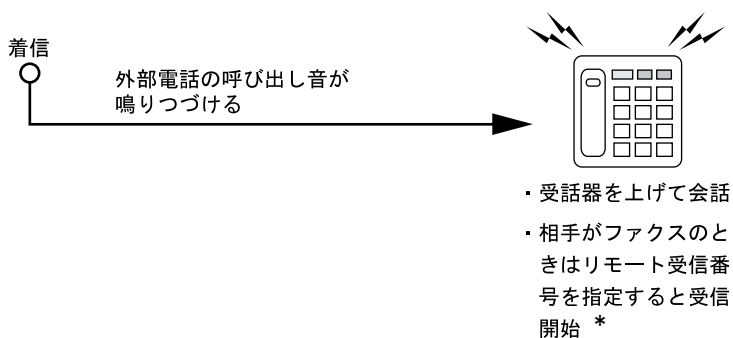
設定方法については、p. 11-28 をごらんください。

3.5 手動受信（電話専用モード）

外部電話（留守番電話など）を接続している場合で、電話がかかってくる機会が多いときは、このモードを設定しておくと便利です。

このモードは、設定メニューの［回線パラメータ設定］で、［受信方式］が［手動受信］に設定されている場合にはたらきます。

・受話器を上げて会話

・相手がファクスのときはリモート受信番号を指定すると受信開始 ＊

＊ 設定メニューの［機能設定］で［リモート受信設定］が ON でリモート受信番号が設定されているときに有効です。

手動で受信するときは、次の手順で操作します。

■ 本機で操作するとき

1. 外部電話のベルが鳴ったらファクス画面の［オフフック］を押します。
2. ［受信］が反転表示していることを確認します。
3. オフフック画面の［実行］を押します。

   受信が開始されます。

   ❍ 操作パネルの【スタート】を押した場合、オフフックスタート確認画面で［はい］を押すと受信が開始されます。

■ 外部電話で操作するとき（リモート受信）

p. 8-2 をごらんください。

• 設定方法については p. 11-28 をごらんください。
• 手動受信の操作については p. 3-7 をごらんください。

ファクス情報サービスから受信する場合は、［オンフック］を押して、ダイアルした後に【スタート】を押します。

ADF または、原稿ガラスに原稿がセットされている場合は、着信しても［受信］は反転表示しません。
この場合は、［受信］を押して反転表示させてください。

3.6 受信できないとき

受信できない場合は、エラーメッセージが表示されます。p. 5-3を参照して処置をしてください。エラーメッセージの表示は、【ストップ】を押すと消えます。

- 外部電話のベルが鳴り続ける場合は、設定メニューの回線パラメータ設定で、［受信方式］が［手動受信］に設定されている場合があります。自動的に受信するためには［自動受信］に設定しておく必要があります。詳しくは、p. 11-28をごらんください。
- メモリが一杯で受信できない場合があります。用紙トレイに用紙がセットされていることを確認してください。

3.7 メモリ代行受信とは

用紙づまりなどで受信した文書をプリントできない場合は、プリントできる状態になるまで受信文書がメモリに蓄積されます。この機能をメモリ代行受信といいます。

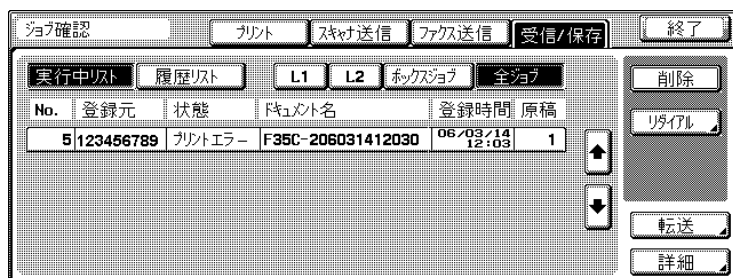
- 紙づまりなどのトラブル処置が終了すると、蓄積されていた受信文書のプリントが開始されます。
- メモリが一杯で代行受信できない場合があります。

■ メモリ代行受信したジョブを転送する

メモリ代行受信したジョブを別の宛先に転送することができます。

1 ［ジョブ確認］を押します。

2 ［受信 / 保存］タブを押します。

3 ［転送］を押します。

画面は、2 回線使用時の画面です。

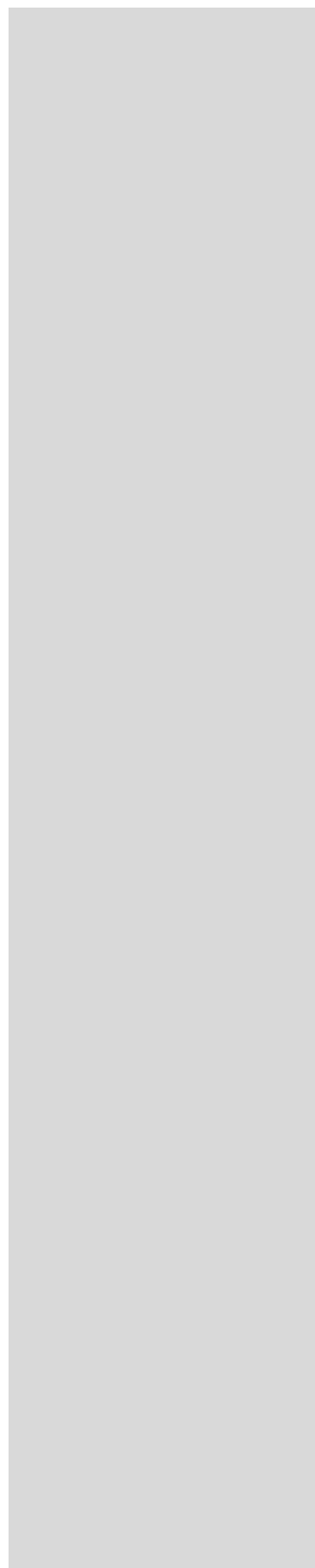
4 リストから転送したいジョブを選択して［宛先］を押します。

5 宛先を指定します。

- ダイレクト入力で宛先を指定する場合は、［ダイレクト入力］を押します。
- 宛先表から指定する場合は、［宛先表から選択］を押します。

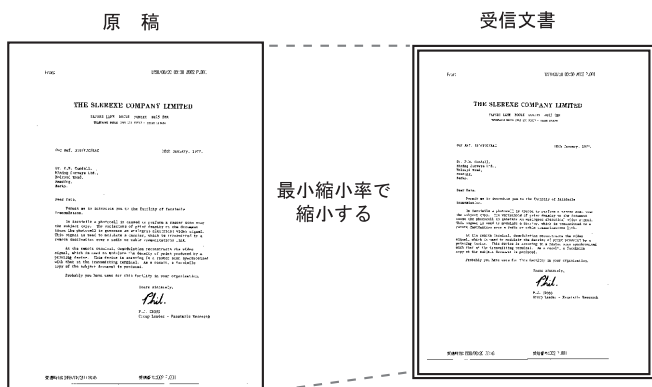
［宛先表から選択］、［ダイレクト入力］については、p. 2-23、p. 2-25 をごらんください。

［実行］を押します。

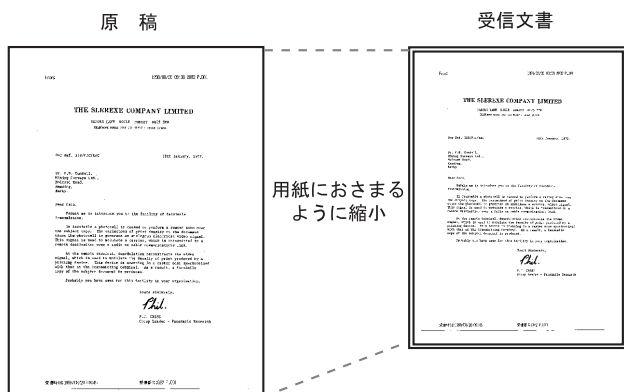
ファクスが送信されます。

3.8 受信時の記録について

受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

■ 縮小して記録するとき

定形サイズの文書を受信した場合は、そのサイズの用紙に設定された縮小率で縮小して記録されます。（初期値は 96%）

■ 用紙におさまるように縮小して記録するとき

定形サイズより長い文書を受信した場合は、受信文書の幅と長さから最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に記録されます。最適な用紙サイズが用紙トレイにセットされていない場合は、近いサイズの用紙に縮小して記録されます。

参 照

縮小率については、p. 11-31 をごらんください。

最適な用紙サイズの決定と、用紙選択の基準は次のとおりです。

Step 1 最適な用紙を選択する

- 受信文書の幅と長さから、最適な用紙サイズを次の原則で決定します。

受信原稿の幅	受信情報の記録位置	受信文書の長さ			
A4 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 154	155 ～ 314	315 ～ 386	387 ～
	［原稿外］	0 ～ 146	147 ～ 306	307 ～ 378	379 ～
選択される用紙サイズ		A5	A4	B4	A3
B4 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 195	196 ～ 395	396 ～	
	［原稿外］	0 ～ 186	187 ～ 386	387 ～	
選択される用紙サイズ		B5	B4	A3	
A3 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 226	227 ～		
	［原稿外］	0 ～ 217	218 ～		
選択される用紙サイズ		A4	A3		

Step 2 実際にプリントする用紙を選択する

- Step 1 で決定した最適な用紙サイズが、本機にセットされているかをチェックします。
  - 最適な用紙がセットされている：
    記録開始
  - 最適な用紙がセットされていない、または該当する用紙トレイの自動トレイ切替機能が禁止になっている：
    次に最適な用紙を表の上から順にチェックします。このとき、設定メニューで［ページ分割記録］が［ON］に設定されている場合は、ページ分割をして記録するように用紙をチェックします。

❍［ページ分割記録］が［OFF］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	A4 ▯	B5 ▭	A3 ▭	A4 ▭	B4 ▭
	A4 ▭	F4 ▭	B4 ▭	A4 ▭	F4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯	B4 ▭	A4 ▭	A4 ▯	B4 ▭	F4 ▭
	B5 ▯	A3 ▭	A4 ▯	F4 ▭	A3 ▭	
	B5 ▭		F4 ▭			
	F4 ▭		A3 ▭			
	B4 ▭					
	A3 ▭					

• [ページ分割記録] が [OFF] のときでも長尺原稿または高解像度で受信した場合は、ページ分割記録される場合があります。

❍［ページ分割記録］が［ON］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	F4 ▭	B5 ▭	B5 ▯	A4 ▭	A4 ▯
	A4 ▭	B4 ▭	B4 ▭	B5 ▭	F4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯	A3 ▭	A4 ▭	A3 ▭	B4 ▭	
	B5 ▭		A4 ▯	A4 ▯	A3 ▭	
	F4 ▭		F4 ▭	A4 ▭		
	B5 ▯		A3 ▭	F4 ▭		
	B4 ▭					
	A3 ▭					

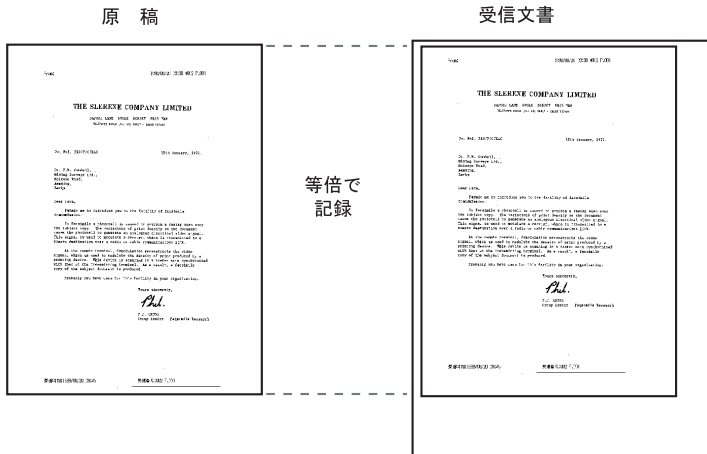
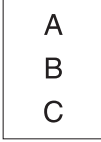
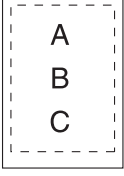
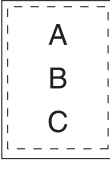
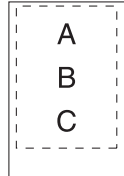
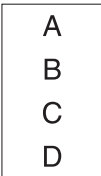
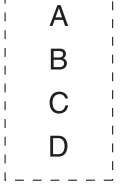
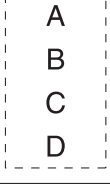
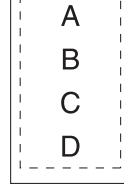
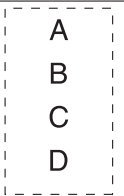
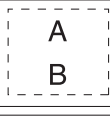
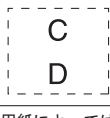
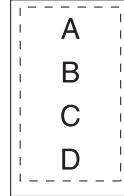
• [ページ分割記録] が [ON] のときでも受信文書の画像幅より選択された記録紙の幅が短い場合には用紙幅に合わせて縮小されます。

* B5 ▭、B5 ▯、A4 ▭、A4 ▯ の場合にはページを分割して記録されます。

詳しく説明します

- 実際にプリントする用紙が、Step 1 で決定した用紙より小さい場合は、縮小してプリントされます。
- ページ分割記録が OFF の場合は、実際にプリントする用紙の方向と、Step 1 で決定した用紙の方向が一致しない場合は、自動的に 90 度回転してプリントされます。
- 異なるサイズが混在した文書をプリントする場合は、1 ページごとにこれらの処理が行われます。
- Step 1、Step 2 で決定した用紙サイズが、複数の用紙トレイにセットされている場合は、自動紙サイズ選択機能で設定された設定に従い、用紙トレイが選択されます。詳しくは「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。
- 必要な用紙サイズが手差しトレイのみにセットされている場合は、手差しトレイから給紙してプリントされます。ただし手差しトレイが、自動紙サイズ選択機能 / 自動トレイ切替機能禁止給紙段に設定されている場合、手差しトレイは対象外となります。
- ページ分割を ON に設定している場合、設定メニューの［送信 / 受信設定］が次のように設定されているときはページ分割されません。
  - ［給紙トレイ固定］が設定されている
  - ［縮小率］が［等倍］のとき
  - ［記録紙用紙優先選択］が［サイズ固定］または［サイズ優先］のとき
  - ［受信原稿両面プリント］が［ON］のとき
- プリントできる用紙がセットされていない場合は、用紙をセットするようにメッセージが表示されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［サイズ優先］に設定されているとき
    最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、通常の用紙選択を行い記録されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［サイズ固定］に設定されているとき
    最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
  - ［給紙トレイ固定］が［自動］以外に設定されているとき
    ［給紙トレイ固定］で設定されている用紙トレイ（手差しトレイを除く）の用紙に記録されます。受信文書よりサイズが小さい場合は、縮小して記録されます。設定されている用紙トレイに用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［自動］以外に、［給紙トレイ固定］も［自動］以外に設定されているとき
    ［給紙トレイ固定］の設定が優先されます。

■ 等倍で記録するとき

設定メニューで［縮小率］が［等倍］に設定されている場合は、同じサイズの用紙に等倍で記録されます。同じサイズの用紙がセットされていない場合は、大きいサイズの用紙に記録されます。

- ページ分割をすることはできません。
- A3 サイズより大きな画像は記録できません。
- 最適なサイズの用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

■ 受信時の記録方法

受信文書の用紙サイズと実際に記録される文書の関係は次のとおりです。

受信した用紙のサイズ		［縮小率］の設定		［給紙トレイ固定］でトレイを指定
		等倍	96～87%	
定形サイズ（A3～A5） A B C		A B C 大きめの用紙に等倍で記録	A B C 同じサイズの用紙に縮小して記録	A B C 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
長尺印刷（定形サイズより長め） A B C D	ページ分割記録 OFF	A B C D 大きめの用紙に等倍で記録	A B C D 最適なサイズに用紙を縮小して記録	A B C D 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
	ページ分割記録 ON	A B C D 大きめの用紙に等倍で記録	A B / C D 用紙によっては分割して記録	A B C D 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録

［受信原稿両面プリント］を指定しておき、用紙の両面に記録することもできます。詳しくは、p. 11-31 をごらんください。

3.9 受信情報について

設定メニューの発信元 / 受信情報で、受信情報が原稿内、原稿外に設定されている場合は、受信文書に受信情報（日付、時刻、受信番号、ページ番号）が記録されます。

設定については、p. 11-26 をごらんください。

■ 受信情報が［原稿内］に設定されているとき

■ 受信情報が［原稿外］に設定されているとき

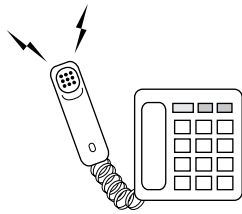
■ 受信情報が［OFF］に設定されているとき

第 4 章
電話をかける／受ける

電話のかけ方、受け方について説明します。

4.1 電話をかける

外部電話を接続している場合の電話のかけかたを説明します。

1 受話器を上げます。

2 相手先を指定します。

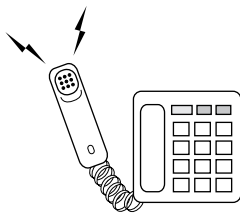
3 相手に電話がかかったら通話します。.

4 通話が終了したら、受話器を戻します。

4.2 電話を受ける

外部電話を接続している場合の、電話の受けかたを説明します。

電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。

- 「ピーッ」という音がするか、無音の場合は、相手がファクスです。外部電話で、リモート受信番号（2 桁）を指定すると、受信できます。

2

通話が終了したら、受話器を戻します。

ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でパルスをトーンに切り替える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。パルスをトーンに切り替える機能については、電話機の取扱説明書をごらんください。

リモート受信については、p. 8-2 をごらんください。

第 5 章
トラブル処置

トラブルが発生した場合の処置について説明します。

5.1 送信できない

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。
処置をしても正常に送信できない場合は、サービス管理店にお
問い合わせください。

参照

- エラーメッセージについては p. 5-5 をごらんください。
- 原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。

チェックポイント	処　置
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
相手のファクス番号は正しいですか？　短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。 誤りがある場合は修正してください。
電話回線の設定は正しいですか？	設定メニューの［回線パラメータ］の［ダイアル方式］はお使いの電話回線に合っていますか？ 設定を確認して、誤りがある場合は修正してください。
電話線の接続は正しいですか？	電話線が外れていませんか？ 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけて確認してください。

5.2 受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。
処置をしても正常に受信できない場合は、サービス管理店にお問い合わせください。

参照

- エラーメッセージについては p. 5-5 をごらんください。
- 原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。

トラブルの内容	チェックポイント	処　置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリに受信原稿が蓄積されています。 用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。
	紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、用紙がつまり、メモリに受信原稿が蓄積されています。 つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。
	トナーが切れていませんか？	トナーがなくなると、受信できません。 すぐにトナーボトルを交換してください。 トナーボトルの交換操作については、「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。
	手動受信に設定されていませんか？	設定メニューの［回線パラメータ］の［受信方式］が［手動受信］に設定されている場合は、受信の操作が必要です。手動受信（p. 3-7）を参照して受信の操作をしてください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線が外れていませんか？ 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	閉域受信が設定されていませんか？	閉域受信機能が設定されている場合は、特定の相手からのファクスだけを受信します。 管理者にお問い合わせください。
	送信側から F コードで正しくない SUB が送信されていませんか？	親展ボックスや中継ボックスが設定されている場合、正しくない SUB を受信すると、通信エラーが発生し、受信できない場合があります。送信側に SUB の設定を確認してください。

トラブルの内容	チェックポイント	処　置
プリントされない	PC-FAX 受信が設定されていませんか？	PC-FAX 受信で保存されたボックスを確認してください。
	TSI 受信振分けが設定されていませんか？	TSI 受信振分けで保存されたボックスを確認してください。
	強制メモリ受信が設定されていませんか？	強制メモリ受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 1. 【ボックス】を押します。 2. オプションのハードディスクを使用している場合は、［システムボックス］を押します。 3. ［強制メモリ受信ボックス］を押します。 4. パスワードを入力して［OK］を押します。 5. プリントしたい文書を選択し、［プリント］を押します。 6. プリントが終了したら、［閉じる］を押します。 または、強制メモリ受信設定を［OFF］にします。

5.3 エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス管理店にお問い合わせください。

エラーメッセージ	処　置
話中	設定されている回数分のリダイアルをしましたが、相手が話し中などで送信できませんでした。 受信側の状態を確認して、もう一度送信してください。
無応答	相手側が受信できない状態です。 受信側に電話をかけて、状態を確認し、もう一度送信してください。
メモリオーバーフロー	原稿読込中に、メモリが一杯になりました。 読込みが終わった原稿を送信する場合は、【スタート】を、中止する場合は【ストップ】を押してください。

5

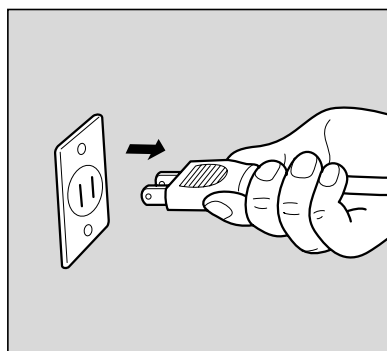
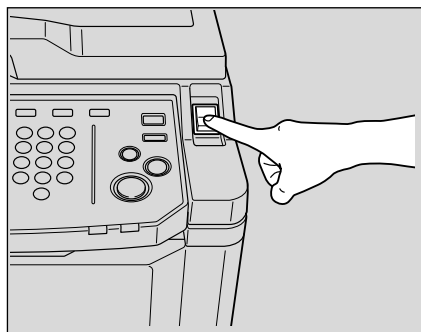
5.4 「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡してください」というメッセージが画面上に表示されます。（サービスコール画面）

サービスコール画面中央には、通常、お客様のサービス管理店の電話番号とファクス番号が表示されます。

ここでは、サービス管理店に電話でトラブルを知らせる手順を説明します。

⚠ 注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。
1.トラブルコード番号を書き留めます。
2.操作電源スイッチ、主電源スイッチを OFF にします。
3.電源プラグをコンセントから抜きます。
4.サービス管理店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。

第 6 章
仕様

ファクス機能の仕様について説明します。

6.1 仕様

ファクスに関する主な製品仕様は次のとおりです。製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

項　目	仕　様
画像メモリ容量	ハードディスク装着時 : 30 GB* ハードディスク非装着時 : 32 MB
蓄積枚数	ハードディスク装着時 : 最大 9000 枚 *（ハードディスク非装着時は、画像メモリ容量によって制限されます） A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、解像度［精細］で蓄積した場合の枚数です。
適応回線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含みます） PBX 回線
走査線密度	G3 超高精細 :　600 dpi × 600 dpi 高精細 :　16 dot/mm × 15.4 line/mm、 8 dot/mm × 15.4 line/mm、 400 dpi × 400 dpi 精細 :　8 dot/mm × 7.7 line/mm、 200 dpi × 200 dpi 普通 :　8 dot/mm × 3.85 line/mm、 相手機の能力に応じて、上記のいずれかの走査線密度で通信されます。
伝送速度	2400 / 4800 / 7200 / 9600 / 12000 / 14400 / 16800 / 19200 / 21600 / 24000 / 26400 / 28800 / 31200 / 33600 bps
伝送時間	約 2 秒 A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、解像度［普通］で送信した場合の時間です。 これは画像だけの伝送時間で、通信の制御にかかる時間はふくみません。実際の通信時間は、原稿の内容や相手側の機種電話回線の状態などにより異なります。
符号化方式	MH / MR / MMR / JBIG
最大読み取りサイズ	420 × 297 mm（A3 サイズ） 幅 : 297 mm 長さ : 最大 1000 mm
最大記録サイズ	420 × 297 mm（A3 サイズ） 1000 mm を超える原稿は受信できません。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがって印字されます。

*　コピー、スキャン、プリンタ、ボックスの各機能とハードディスクを共通使用。

第 7 章
便利な送信

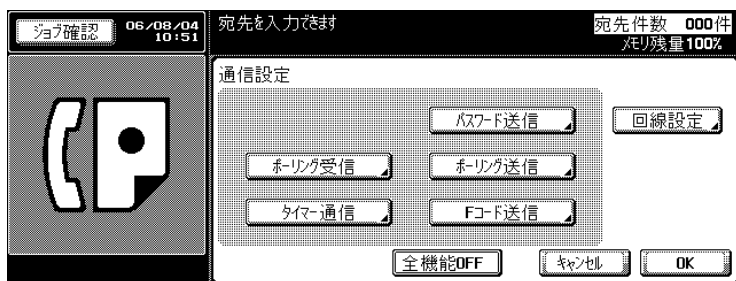
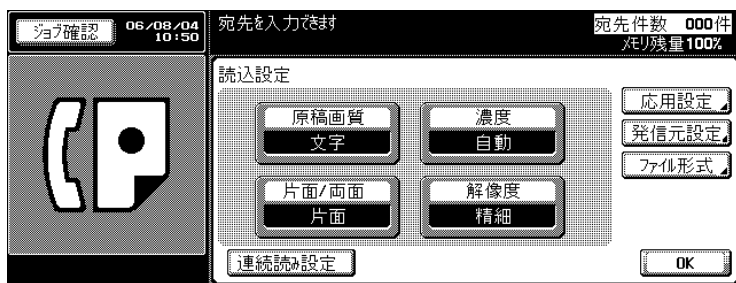
読込設定や通信設定のメニューを使った、便利なファクス送信について説明します。

7.1 読込設定と通信設定の画面を表示するには

便利な機能を使ってファクス送信をするときは、読込設定画面または通信設定画面を表示し、使いたい機能を設定します。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［読込設定］または［通信設定］を押します。

3 使いたい機能のキーを押します。読込設定画面で［応用設定］を押すと、応用設定の画面が表示されます。

- 設定したい機能のキーを押すと、それぞれの機能専用の画面が表示されます。
（V34 オフ、ECM オフ、海外通信モードはキーを押すことで機能が設定されるため、専用の画面はありません。）
- 複数の機能を組み合わせて設定することができますが、併用できない機能キーは、選択できません。

次のいずれかの操作を行います。

❍ さらに機能を設定する画面が表示された場合：
表示された画面で機能を設定し、［OK］を押します。

❍ 機能が選択された場合：
［OK］を押します。

❍ 元の通信条件に戻すときは、［キャンセル］を押します。

ファクス画面に戻ります。

7.2 読込設定と通信設定の機能一覧

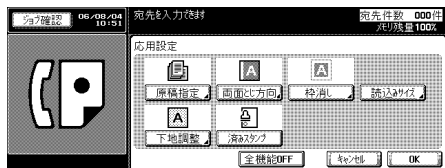
読込設定や通信設定の画面には、次の機能が表示されます。

読込設定画面

応用設定画面

通信設定画面

[キャンセル]
前の画面に戻ります。

[OK]
設定中の設定を確定し、前の画面に戻ります。

[機能 OFF]
設定されている設定を解除し、前の画面に戻ります。

[全機能 OFF]
その画面にある機能をすべて OFF にします。

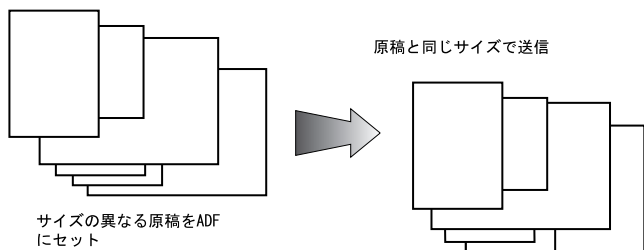
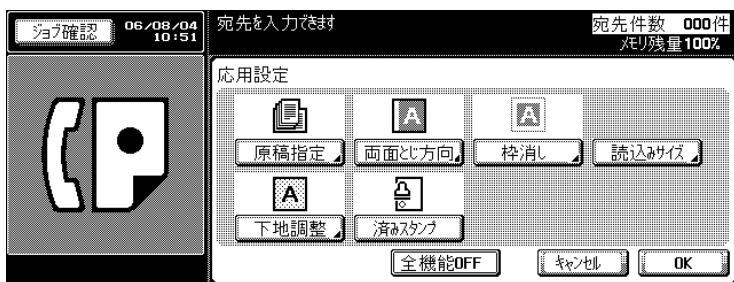
キー	説明	
原稿指定	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、一度の操作で原稿サイズを検知して送信する機能です。→ p. 7-6
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を送信する機能です。→ p. 7-9
	長尺原稿	432 mm より長い長尺原稿を送信する機能です。 → p. 7-12
両面とじ方向	両面原稿を ADF で読み込む場合に、原稿の綴じ位置を指定し、原稿の裏面の上下関係を補正する機能です。→ p. 7-15	
枠消し	冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能です。 → p. 7-18	
下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能です。 → p. 7-21	
済みスタンプ	読み取った原稿に済みスタンプを押すことができます（FAX 済みスタンプユニット装着時のみ）。→ p. 7-23	
読込みサイズ	読み込むサイズを指定して送信する機能です。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。 → p. 7-25	

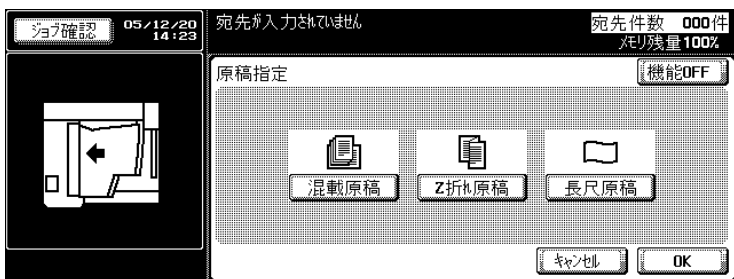
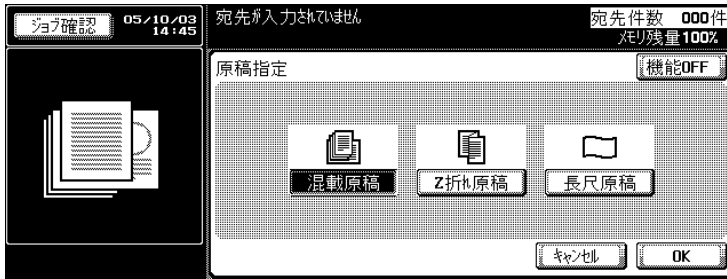
キー	説明	
発信元設定	ファクス送信の際に、ジョブごとに発信元情報のつけ方を指定できます。→ p. 7-28	
ファイル形式	E-Mail で送信する場合の添付ファイルの形式を指定します。→ p. 7-31	
パスワード送信 *1	相手側が閉域通信を設定している場合に、パスワードをつけて送信する機能です。→ p. 7-33	
ポーリング送信	受信側からの指示でポーリング送信するために、メモリ内のポーリング送信専用メモリに読み込んだ原稿を蓄積しておく機能です。→ p. 9-2	
ポーリング受信	送信側にセットされている原稿、またはポーリング送信予約された原稿を、受信側からの指示で送信させる機能です。→ p. 9-5	
タイマー通信	指定した時刻に通信を開始する機能です。 → p. 2-45	
F コード送信 *2	SUB アドレスとパスワードを指定することにより、親展通信、中継依頼を使用する機能です。 → p. 7-35、p. 7-38	
回線設定	海外通信モード	通信状態の悪いところへ送信する場合に、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信する機能です。→ p. 2-47
	ECM オフ	ECM モードを解除して送る機能です。→ p. 7-41
	V34 オフ	交換機などの制約によりスーパー G3 モードを使用できない場合に、スーパー G3 モードを解除して送信する機能です。 → p. 7-43
	宛先確認送信	誤送信を防止するための機能です。送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報 (CSI) を比較して、一致した場合のみ送信します。→ p. 7-47
	回線指定	送信に使用する回線を設定します（2 回線使用時のみ）。 → p. 7-50

- ＊ 1：閉域通信を設定している同機械への送信時に使用します。
- ＊ 2：F コードを使って通信します。F コード通信機能を持たないファクスとの通信はできません。相手ファクスをご確認ください。
- 設定された項目は、反転表示されます。
- V34 とは、スーパー G3 ファクスで使われている通信方式です。

7.3 サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）

混載原稿とは、サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能です。

原則

読込みサイズと混載原稿を同時に指定した場合は、読込みサイズで指定したサイズが適用されます。
［混載原稿と併用できない機能］
Z 折れ原稿、長尺原稿、両面とじ方向、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［原稿指定］を押します。

4. ［混載原稿］を押します。

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

5

［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6

［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7

［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

9

宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

10

原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

【スタート】を押します。

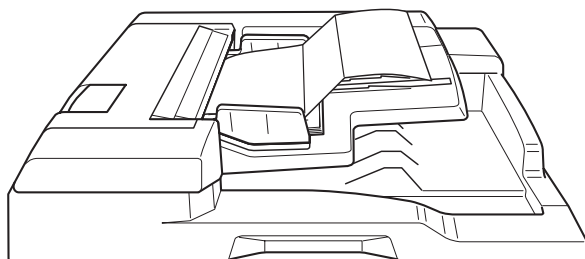
読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

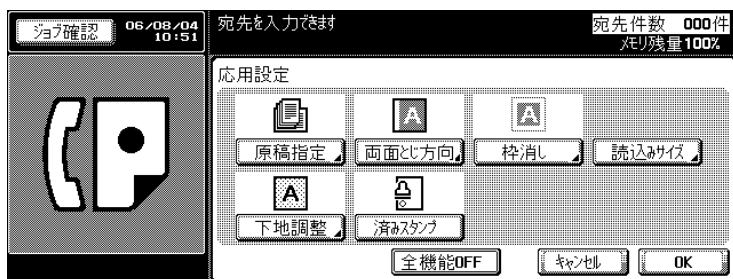
参照

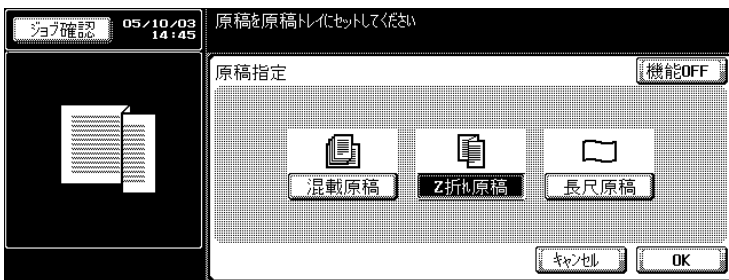
- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.4 折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿）

折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を送信する機能です。

原則

ADF を使用します。原稿ガラスを使用して Z 折原稿の送信をすることはできません。
2 枚目以降の原稿は、1 枚目の原稿と同じサイズで送信されます。原稿サイズがページごとに異なる場合は、Z 折れ原稿を設定せず、［混載原稿］を指定してください。
［Z 折れ原稿と併用できない機能］
混載原稿、長尺原稿、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信、連続読み設定

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［原稿指定］を押します。

4 ［Z 折れ原稿］を押します。

5 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

9 宛先を指定します。

詳しく説明します

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

原稿をセットします。

原稿のセットについては
p. 2-6 をごらんください。

【スタート】を押します。

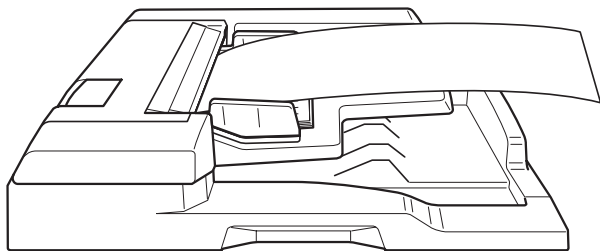
読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

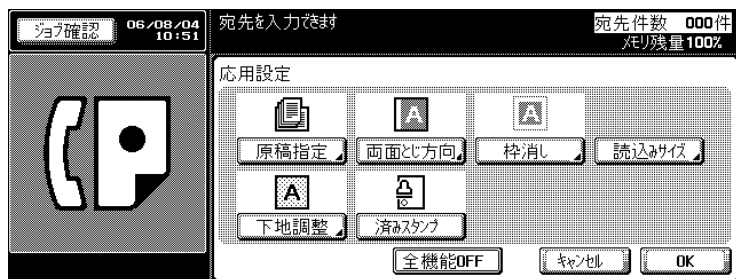
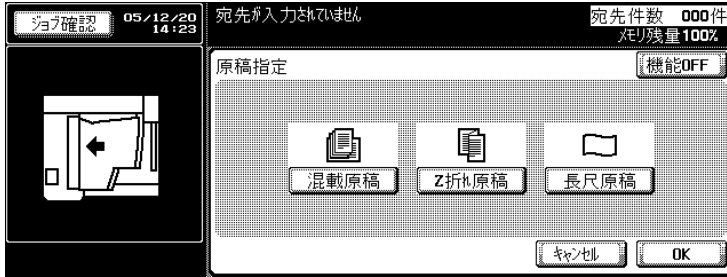
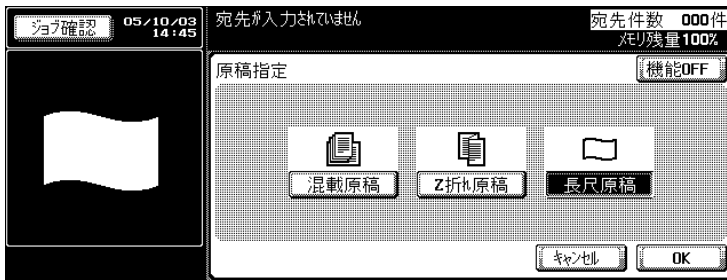
• 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
• 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
• 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.5 長い原稿を送る（長尺原稿）

432 mm より長い長尺原稿を送信する機能です。

長尺原稿を指定することにより、1000 mm までの長さの原稿を送信することができます。

原則

ADF を使用します。原稿ガラスを使用して長尺原稿の送信をすることはできません。
長尺原稿は複数枚の原稿に対応していません。長尺原稿を送信する際は、ADF に 1 枚ずつセットして使用してください。
［長尺原稿と併用できない機能］
両面、枠消し、混載原稿、Z 折れ原稿、両面とじ方向、連続読み設定、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［原稿指定］を押します。

4 ［長尺原稿］を押します。

5 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

9 宛先を指定します。

詳しく説明します

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

原稿をセットします。

原稿のセットについては
p. 2-6 をごらんください。

【スタート】を押します。

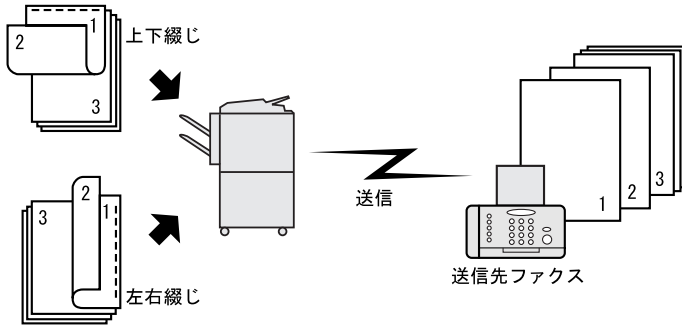
読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

参 照

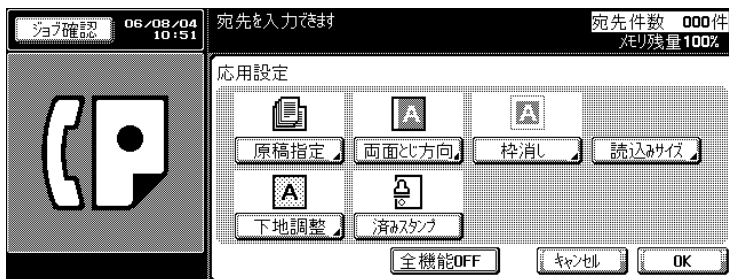
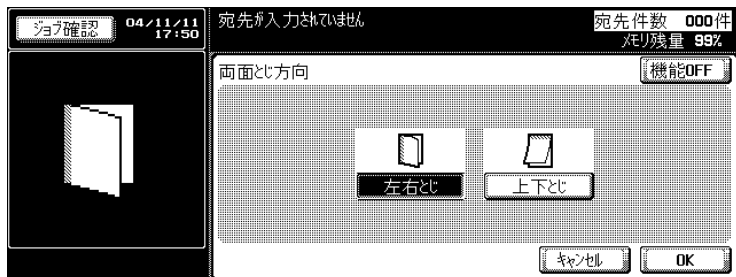
- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.6 両面原稿の綴じ位置を指定する（両面とじ方向）

ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿の綴じ位置を設定する機能です。両面原稿の綴じ位置には、原稿の上側（または下側）に綴じ位置がある上下綴じと、原稿の左（または右側）に綴じ位置がある左右綴じがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。

原則

ADF を使用します。原稿ガラスを使用して両面とじ方向の送信をすることはできません。
[両面とじ方向と併用できない機能]
混載原稿、長尺原稿、連続読み設定、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. [読込設定]、[応用設定] の順に押します。
3. [両面とじ方向] を押します。

7

4
［左右とじ］または［上下とじ］を押し、両面原稿の綴じ位置を選択します。

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

5
［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6
［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7
［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8
必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

9
宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

10
原稿をセットします。

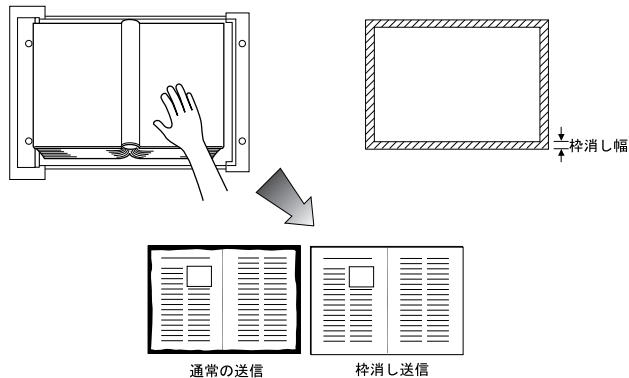
原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

【スタート】を押します。

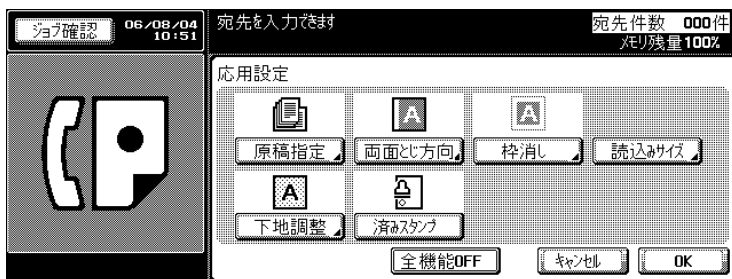
読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

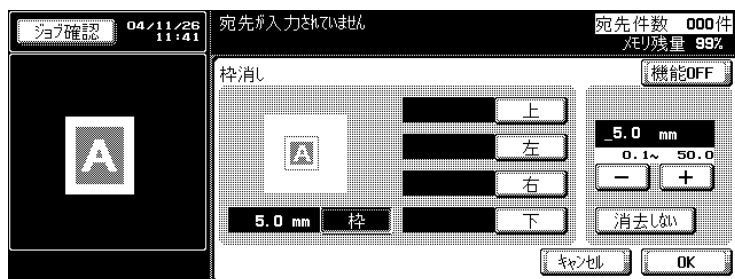
- 送信を中止する場合はp. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについてはp. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合はp. 5-2 をごらんください。

7.7 黒い影を消して送る（枠消し）

ADF を開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、原稿のまわりに黒い影が付いて送信されることがあります。枠消しとは、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能です。

原則

［枠消しのスペック］
原稿ガラス、ADF ともに使用できます。
枠消し量は、0.1 ～ 50 mm の範囲で、0.1 mm きざみで設定できます。
お買い上げ時の初期値枠消し量：5.0 mm
［枠消しと併用できない機能］
ポーリング受信、掲示板ポーリング受信、長尺原稿

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［枠消し］を押します。

4

[上]、[左]、[右]、[下] を選択し、テンキーまたは[-]、[+] を押して、それぞれに枠消し量を設定します。

5

[OK] を押します。

応用設定画面に戻ります。

6

[OK] を押します。

読込設定画面に戻ります。

7

[OK] を押します。

ファクス画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

9

宛先を指定します。

10

原稿をセットします。

枠消しの設定を解除する場合は、[機能 OFF] を押します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

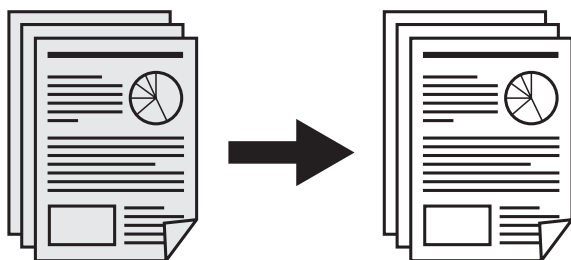
【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

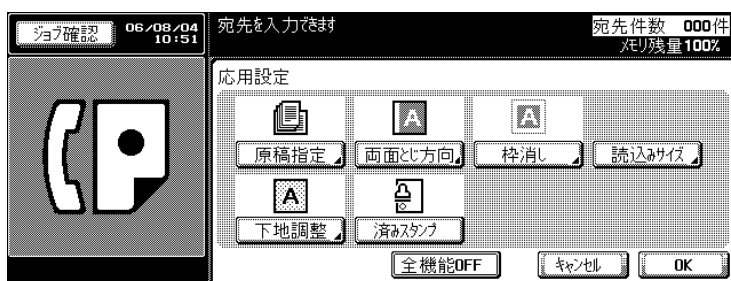
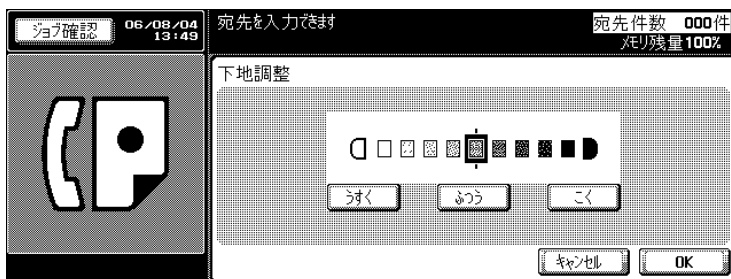
参照

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.8 背景色の濃度を調整して送る（下地調整）

下地調整とは、送信データの背景色の濃さを調整する機能です。原稿の背景に色がついている場合、色を読み込んで送信データの下地が黒くなることがあります。このような場合に、送信データの背景色の濃さを調整して送信できます。

原則

[下地調整のスペック]
原稿ガラス、ADF ともに使用できます。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. [読込設定]、[応用設定] の順に押します。
3. [下地調整] を押します。

4. 原稿の背景色を濃くしたいときは、[こく] を、薄くしたいときは [うすく] を押します。

元の設定に戻す場合は、[キャンセル] を押します。

5 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

9 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

10 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

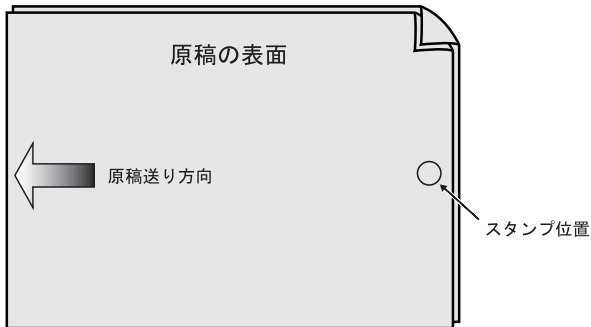
11 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

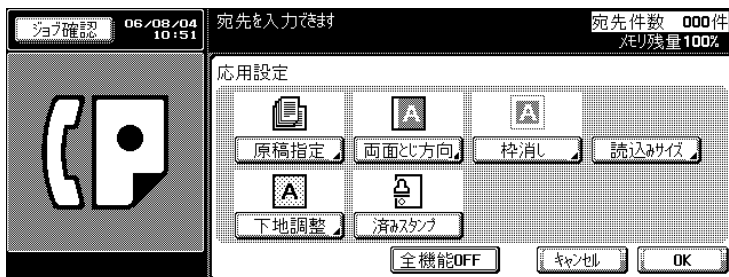
詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.9 読み取ったことを確認する（済みスタンプ）

ADF を使用して送信する場合に、読み取った原稿に済みスタンプを付け、1 枚ずつ読み取ったかどうかを確認できます。済みスタンプは、直径 4 mm のピンク色の⊕印で、原稿の表面の後端に下図のようにして付けられます。なお、両面を送信する場合は、表面に済みスタンプが付けられます。

原則

FAX 済みスタンプユニット装着時のみ使用できます。
スタンプのインクは消耗品です。スタンプが薄くなった場合は、サービス管理店にお問い合わせください。
混載原稿を選択している場合は、上記の位置に済みスタンプが押されない場合があります。
済みスタンプを設定していても、原稿が多重送りした場合などは、済みスタンプは付きません。再度送信してください。
実際に、原稿が正しく送られたかどうかについては、送信結果レポートや設定確認画面の送信結果で確認してください。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［済みスタンプ］を押します。

詳しく説明します

設定を解除するときは、もう一度［済みスタンプ］を押します。

7

4 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

5 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

6 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照
ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

7 宛先を指定します。

参照
宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

8 原稿をセットします。

参照
原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

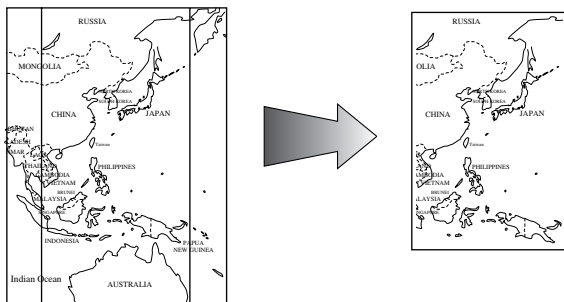
9 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

参照
- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.10 原稿を読み込むサイズを指定して送る（読込みサイズ）

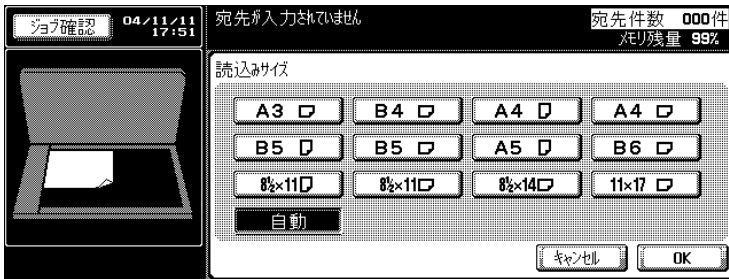
読込みサイズとは、原稿を読み込むサイズを指定して送信する機能です。

受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。

原則

原稿を ADF にセットした場合と、原稿ガラスにセットした場合では、原稿の読み込み位置が異なります。
読込みサイズと混載原稿を同時に指定した場合は、読込みサイズで指定したサイズが適用されます。
［読込みサイズと併用できない機能］
ポーリング受信、掲示板ポーリング受信

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［読込みサイズ］を押します。

4

原稿の状態に合わせ、指定する原稿サイズのキーを押します。

5

［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6

［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7

［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

9

宛先を指定します。

10

原稿をセットします。

詳しく説明します

元の設定に戻す場合は、［キャンセル］を押します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

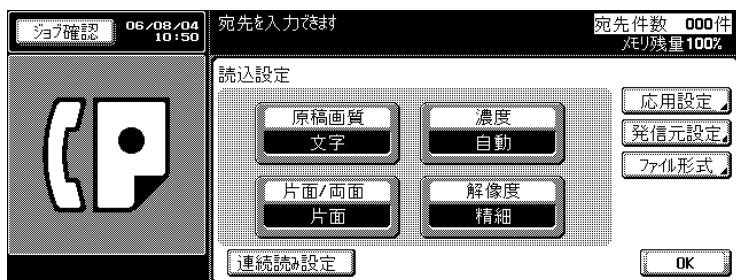
- 送信を中止する場合はp. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについてはp. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合はp. 5-2 をごらんください。

7

7.11 発信元情報のつけ方を指定する（発信元設定）

ファクス送信の際に、ジョブごとに発信元情報をつけるかどうかを指定できます。

発信元情報として原稿に付加する内容は、設定メニューの［発信元 / ファクス ID 登録］で登録します。

発信元情報のつけ方は、設定メニューの［発信元 / 受信情報］で設定します。

［発信元 / ファクス ID 登録］、［発信元 / 受信情報］については、p. 11-24、p. 11-26 をごらんください。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［読込設定］を押します。

3 ［発信元設定］を押します。

4 発信元情報をつけるかどうかを指定します。

詳しく説明します

- 元の設定に戻す場合は、［キャンセル］を押します。
- 発信元情報については、p. 2-49 をごらんください。
- ［発信元 / 受信情報］が OFF に設定されている場合、ファクス画面から［発信元設定］を ON に変更すると、発信元情報は原稿外に付加されます。

5 発信元名を変更する場合は［する］を押して、リストから変更したい発信元名を選択して［OK］を押します。

参照
発信元名について、詳しくは、p. 11-24 をごらんください。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

9 宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

10 原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

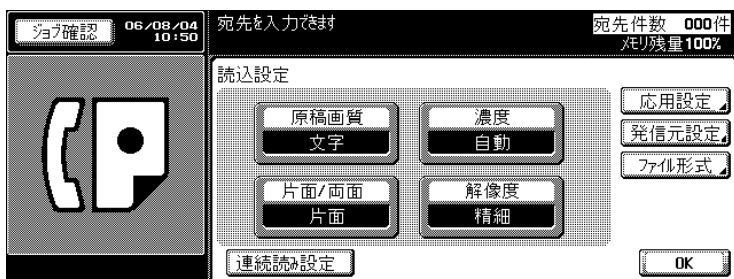
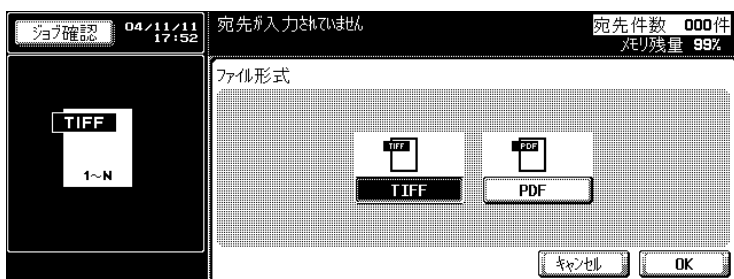
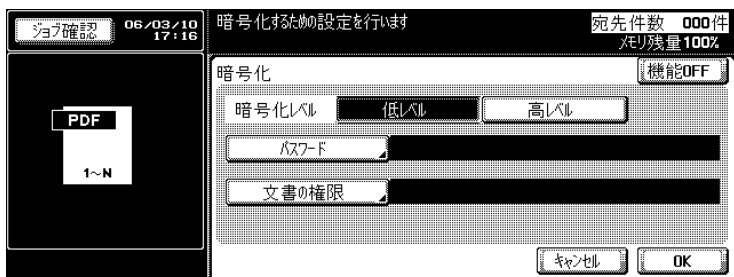
7.12 ファイル形式を指定して送信する

宛先に E-Mail またはボックスを指定した場合の読込画像のファイル形式を指定する機能です。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. ［読込設定］を押します。

3. ［ファイル形式］を押します。

4. ファイル形式を選択します。

元の設定に戻す場合は、［キャンセル］を押します。

5. ［PDF］を選択した場合、［暗号化］を押すと、暗号化の設定ができます。必要に応じて暗号化の設定をします。

PDF の暗号化は、暗号レベル、パスワード、文書の権限のほかに詳細設定として、印刷許可レベル、画像抽出レベル、変更許可レベルを設定できます。

6. ［OK］を押します。

   読込設定画面に戻ります。

7

［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

9

宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

10

原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

11

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.13 パスワードをつけて送る（パスワード送信）

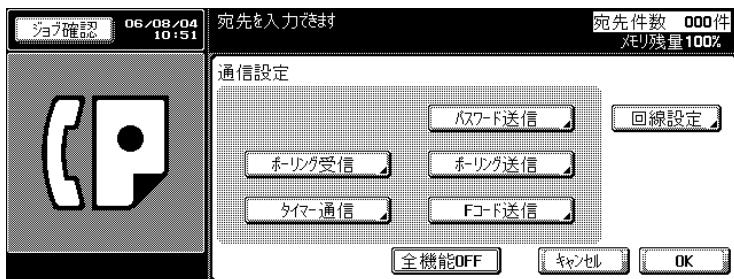
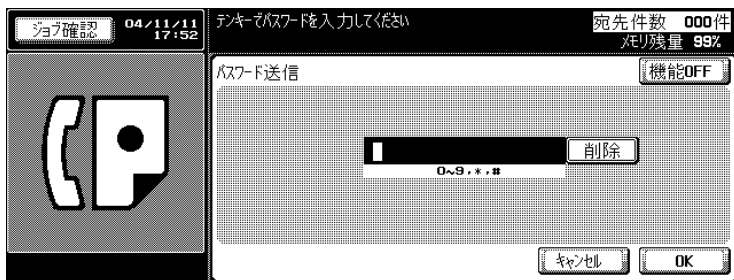
パスワード送信とは、パスワードをつけて送信する機能です。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。

原則

この機能は、相手機が閉域受信（パスワード）機能をもつ機種の場合だけ使用できます。
[パスワード送信と併用できない機能]
ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、F コード送信

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 [通信設定] を押します。

3 [パスワード送信] を押します。

4 パスワード（最大 20 桁）をテンキーで入力します。

- パスワードには、0 ～ 9 までの数字、#、 * を入力することができます。
- 誤って入力した場合は、[削除] を押して訂正します。
- 【クリア】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。

5 [OK] を押します。

通信設定画面に戻ります。

6 [OK] を押します。

ファクス画面に戻ります。

設定を解除するときは、[機能 OFF] を押します。

7

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

8 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

9 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

10 【スタート】を押します。

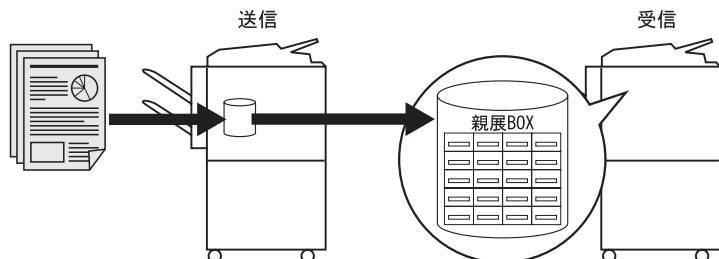
読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.14 親展ボックスを使う（F コード送信）

親展通信とは、特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信する機能です。相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信と呼びます。ここでは、親展送信をする手順について説明します。

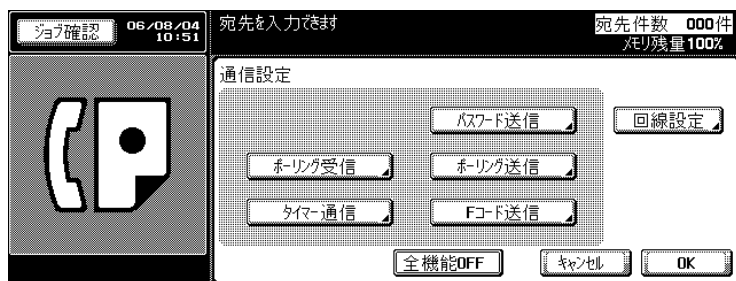
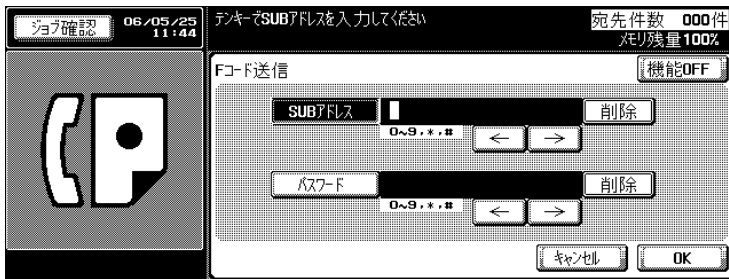
原則

- 親展送信をするためには、相手機に親展ボックスや通信パスワードが設定されている必要があります。
- 通信パスワードは相手機により必要ない場合があります。
- この機能は、相手機が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。
- F コードについては付録のファクス用語集をごらんください。

［親展送信と併用できない機能］
ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、パスワード送信

■ 親展送信をする

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［通信設定］を押します。
3. ［F コード送信］を押します。

7

4

［SUB アドレス］に相手機の親展ボックス No. をテンキーで入力します。パスワードが必要な場合は、［パスワード］を押し、パスワードを入力します。

- ［SUB アドレス］と［パスワード］には、20 桁まで入力することができます。
  相手機が FK-502 の場合、親展ボックス No. は 9 桁以内、パスワードは 8 桁以内を入力します。それ以外の場合は、相手機により異なります。
- ［パスワード］には、0 ～ 9 までの数字、#、＊を入力することができます。
- 誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
- 【クリア】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。

5

［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

6

［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

7

必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

8

宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

9

原稿をセットします。

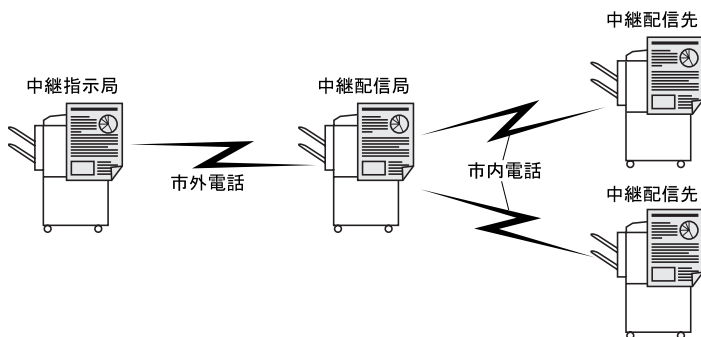
原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

原稿の登録を中止したい場合は、【ストップ】を押します。

7.15 中継先を指定して送る（F コード送信）

中継依頼とは、いったん中継配信局に原稿を送信し、中継配信局から送信先に同報する機能です。遠方の相手先への同報が頻繁に発生する場合には、中継配信局と中継配信先を地域別にグループ化しておくことにより、全体の通信コストを削減することができます。

原則

- 中継依頼を行うファクスを「中継指示局」、実際に中継同報を行うファクスを「中継配信局」、最終的に受信するファクスを「中継配信先」と呼びます。
- 中継依頼を使用するためには、中継配信局となるファクスに、中継ボックス No.、中継パスワード、宛先グループ No. が設定されている必要があります。
- この機能は中継配信局となる相手機が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。F コードについては付録のファクス用語集をごらんください。

［中継依頼と併用できない機能］
ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、パスワード送信

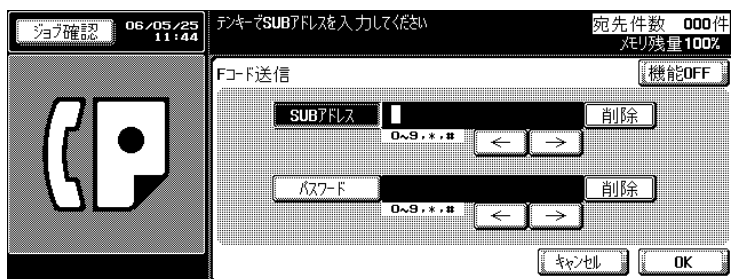
1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［通信設定］を押します。

3 ［F コード送信］を押します。

詳しく説明します

- 本機では、中継ボックスを設定することで、中継配信局としてもご利用できます。本機を中継配信局として使用するには、設定メニューの機能 ON/OFF 設定で、［中継受信機能］を ON に設定して、中継ボックスを登録する必要があります。詳しくは、p. 10-55、p. 11-34 をごらんください。
- 中継配信局において、機能 ON/OFF 設定の［中継プリント］を ON に設定すると、中継配信後に中継した文書をプリントします。詳しくは、p. 11-34 をごらんください。

［SUB アドレス］に中継局の中継ボックス No. をテンキーで入力します。［パスワード］を押し、パスワードを入力します。

- ［SUB アドレス］と［パスワード］には、20 桁まで入力することができます。
- パスワードは必須です。［パスワード］には、0 ～ 9 までの数字、#、＊を入力することができます。
- 誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
- 【クリア】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。

5 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

6 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

8 中継配信局の宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

9 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

原稿の登録を中止したい場合は、【ストップ】を押します。

7.16 ECM モードを解除して送る（ECM オフ）

ECM オフとは、ECM モードを解除し、通信時間を短縮して送信する機能です。

ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信しますので、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止して通信することができます。

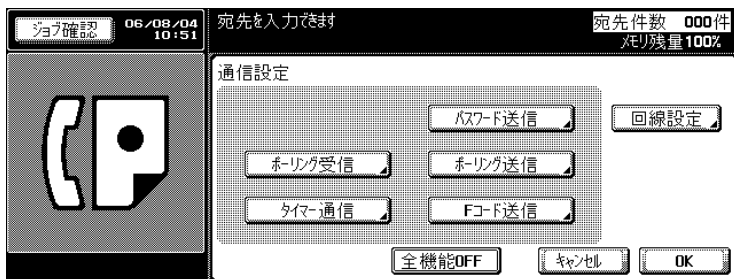
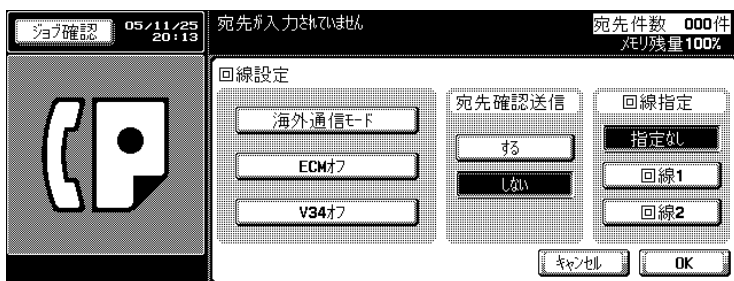
本機では、ECM オフを設定しない限り、ECM モードで送信されます。

原則

電話回線の雑音が多い場合、ECM モードは、ECM オフ時に比べて通信時間が若干長くなることがあります。
［ECM オフと併用できない機能］
ポーリング受信、ポーリング送信、V34 オフ、掲示板登録、掲示板ポーリング受信

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［通信設定］を押します。

3 ［回線設定］を押します。

4 ［ECM オフ］を押します。

- 設定を解除したいときは、もう一度［ECM オフ］を押します。
- 画面は、2 回線使用時の画面です。

5 ［宛先確認送信］を行う場合は［する］を押します。

［宛先確認送信］を［する］に設定すると、誤送信を防止することができます。
p. 7-47 をごらんください。

6 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

9 宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

10 原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

11 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.17 スーパー G3 モードを解除して送る（V34 オフ）

V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。

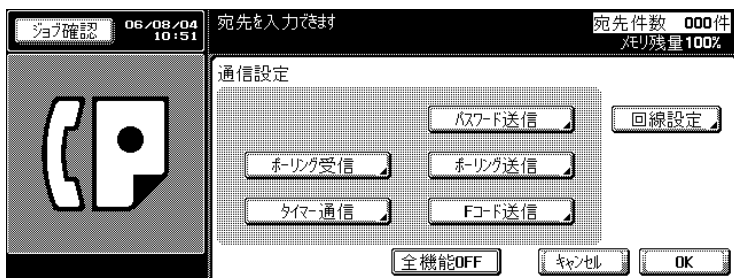
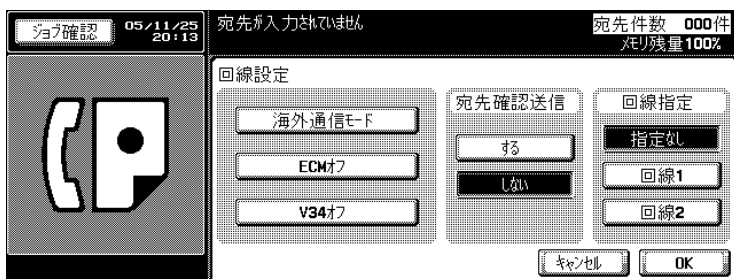
このような場合は、V34 オフを選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。送信が終わると自動的に V34 モードに戻ります。

原則

［V34 オフと併用できない機能］
ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、ECM オフ

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［通信設定］を押します。

3 ［回線設定］を押します。

4 ［V34 オフ］を押します。

- 設定を解除したいときは、もう一度［V34 オフ］を押します。
- 画面は、2 回線使用時の画面です。

7

5 ［宛先確認送信］を行う場合は［する］を押します。

6 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

9 宛先を指定します。

10 原稿をセットします。

11 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

［宛先確認送信］を［する］に設定すると、誤送信を防止することができます。
p. 7-47 をごらんください。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.18 共有 / 個人ボックスの文書をファクス送信する

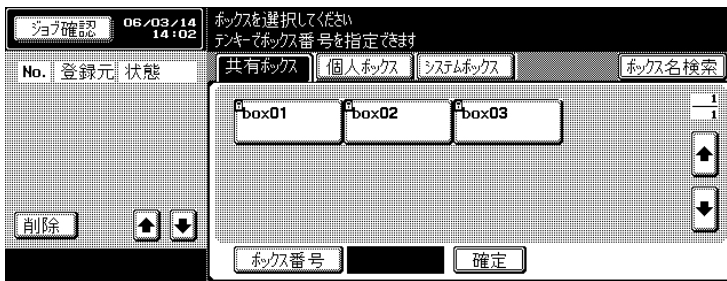
共有 / 個人ボックスに保存したファイルをファクス送信、プリントおよびネット配信できます。

またボックスにあるファイルは、名称を変更したり、他のボックスに移動（コピー）したり、確認用に 1 ページ目だけをプリントしたりできます。

ボックスからのネット配信機能については、「ユーザーズガイド（ボックス機能編）」をごらんください。

1. 操作パネルの【ボックス】を押します。

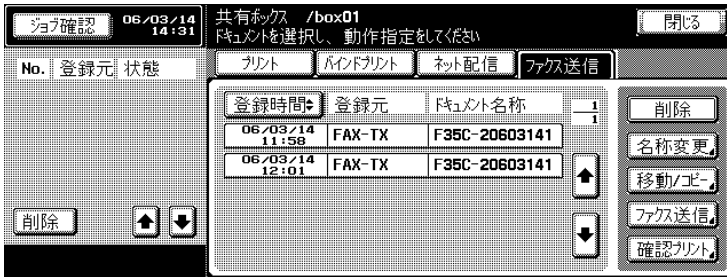
2. ［共有ボックス］または［個人ボックス］タブを選択し、ファクス送信、プリントおよびネット配信したいジョブがあるボックスを選択します。

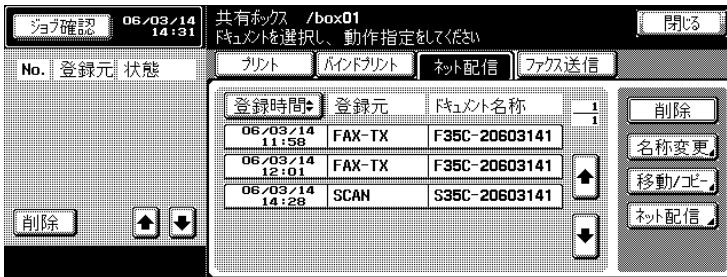
- ［ボックス番号］を押して、ボックス番号をテンキーで指定してボックスを選択することもできます。
- ユーザー認証機能が［ON］の場合、［個人ボックス］タブが表示されます。

3. ボックス閲覧用パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して［OK］を押します。

4. ボックスにあるジョブをプリントしたい場合は、［プリント］タブ画面でジョブを選択して［プリント］を押します。

- ジョブを削除する場合は［削除］を押します。
- ジョブの名称変更をしたい場合は、［名称変更］を押して、名称を変更します。
- ジョブを別のボックスに移動 / コピーする場合は、［移動 / コピー］を押して、移動先（コピー先）のボックスを指定します。
- 1 ページ目のみをプリントする場合は［確認プリント］を押します。

5

ボックスにあるジョブをファクス送信したい場合は、［ファクス送信］タブを押して、ジョブを選択して［ファクス送信］を押します。

6

ボックスにあるジョブをネット配信したい場合は、［ネット配信］タブを押して、ジョブを選択して［ネット配信］を押します。

7

［閉じる］を押して画面を閉じます。

- ジョブを削除する場合は［削除］を押します。
- ジョブの名称変更をしたい場合は、［名称変更］を押して、名称を変更します。
- ジョブを別のボックスに移動 / コピーする場合は、［移動 / コピー］を押して、移動先（コピー先）のボックスを指定します。
- 1 ページ目のみをプリントする場合は［確認プリント］を押します。

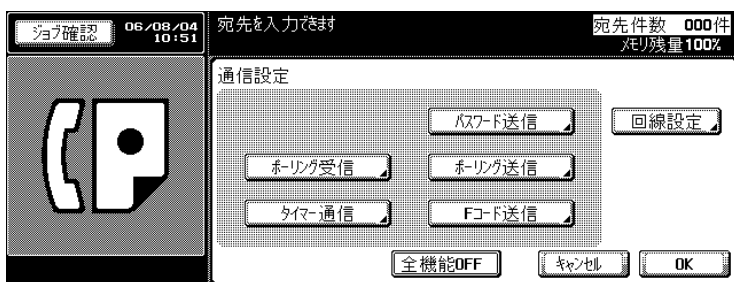
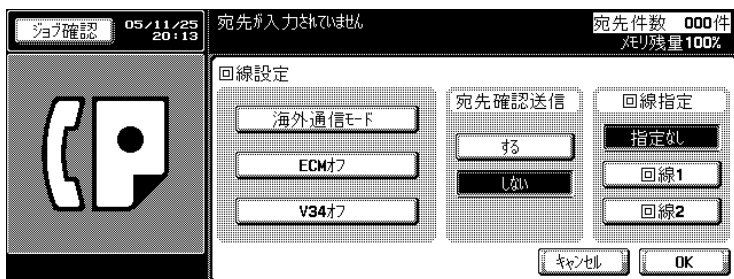
ネット配信については、「ユーザーズガイド（ボックス機能編）」をごらんください。

7.19 相手機を確認して送信する (宛先確認送信)

送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報 (CSI) を比較して、一致した場合のみ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止することができます。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［通信設定］を押します。

3 ［回線設定］を押します。

4 ［宛先確認送信］の［する］を押します。

5 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

短縮宛先登録時に宛先確認送信を設定することもできます。宛先確認送信設定は、短縮宛先に登録されている内容よりも、ファクス画面の通信設定で設定した内容が優先されます。

7

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

8 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

9 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

10 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

指定したファクス番号と、相手機に登録されている番号とが一致した場合のみ送信します。

詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-38 をごらんください。
- 受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては p. 2-31 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 5-2 をごらんください。

7.20 宛先を再確認して送信する (宛先確認表示)

宛先指定が完了してスタートキーを押した後、宛先の一覧画面が件数表示とともに表示されます。宛先を再確認してから送信するので、宛先間違いによる誤送信を防止することができます。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 必要に応じて、［読込設定］、［通信設定］を設定します。

参照

宛先確認表示機能を使用するには、機能 ON/OFF 設定で宛先確認表示機能を ON に設定しておく必要があります。

宛先確認表示機能の設定については p. 11-34 をごらんください。

3 宛先を指定します。

参照

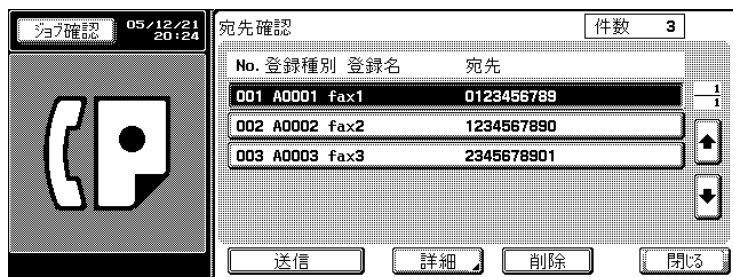
宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

4 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

5 【スタート】を押します。

宛先確認画面が表示されます。

6 指定した宛先が正しいことを確認して、［送信］または【スタート】を押します。

7

7.21 回線を指定して送信する (回線指定)

原則

2 回線使用時のみ設定できます。
また、複数回線使用設定の回線 2 通信設定が［受信専用］の場合は回線指定できません。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

複数回線使用設定については、p. 11-62 をごらんください。

2 ［通信設定］を押します。

3 ［回線設定］を押します。

4 ［回線指定］で使用する回線を選択します。

［指定なし］を選択した場合は、空いている回線を使用します。

5 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

8 宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-21 をごらんください。

9 原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

10 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

第 8 章
便利な受信

便利なファクス受信について説明します。

8.1 外部電話から受信の指示をする（リモート受信）

リモート受信番号を入力することで、外部電話から受信の指示をすることができます。

リモート受信番号は、設定メニューの［リモート受信設定］で変更することができます。

原則

リモート受信を使用する場合は受信モードを手動受信に設定してください。

1 電話の呼び出し音が鳴ったら、外部電話の受話器を上げ、相手がファクスであることを確認します。

2 外部電話で、リモート受信番号（2 桁）をダイアルします。

受信が開始されます。

3 受話器を戻します。

受信モードが自動受信に設定されている場合は、リモート受信させる前に自動受信します。

参照

- ［リモート受信設定］を変更する操作については p. 11-45 をごらんください。
- 手動受信に設定する操作については、p. 11-28 をごらんください。

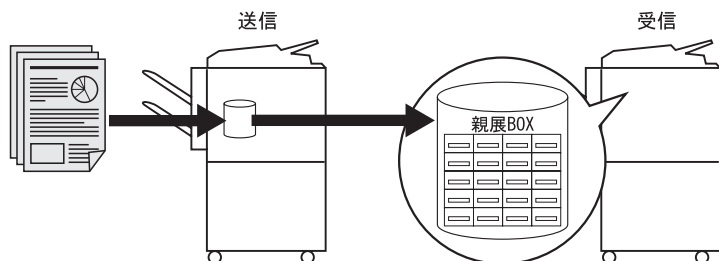
詳しく説明します

- 操作の前に、リモート受信機能が ON に設定されていることを確認してください。リモート受信機能を使用する場合は、0 〜 9、*、# を使用してリモート受信番号（2 桁）を設定してください。
- 相手がファクスの場合は、「ピーッ」という音がするか、または無音です。

詳しく説明します

- ダイアル（パルス）回線でリモート受信を利用する場合、外部電話でパルスをトーンに切り替える必要があります。この機能を持っていない外部電話ではパルス回線でリモート受信ができませんので、ご注意ください。
- パルスをトーンに切り替える機能については、電話機の取扱説明書をごらんください。

8.2 親展受信した文書を利用する

親展通信とは、特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信する機能です。相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信と呼びます。ここでは、親展ボックス内の受信文書をプリントする手順、親展ボックス内の受信文書を削除する手順についてそれぞれ説明します。

原則

- 本機で親展受信をする場合は、p. 10-46 を参照して、親展ボックスや通信パスワードを設定してください（通信パスワードは省略可能）。
- 親展ボックス No. と通信パスワードは、親展送信する相手に知らせてください。
- この機能は、相手機が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。
- F コードについては付録のファクス用語集をごらんください。

■ 親展受信した文書をプリントする

親展受信すると親展受信レポートが自動的にプリントされます。親展ボックスに登録されている文書をプリントしたい場合は、次の手順で操作します。

1 操作パネルの【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。

2 オプションのハードディスクを装着している場合は、[共有ボックス] または [個人ボックス] から親展ボックスとして設定したボックスを選択します。
ハードディスクが装着されていない場合は、[親展受信ボックス] からボックスを選択します。

3 ボックス閲覧用パスワードが設定されている場合は、表示された画面でパスワードを入力し、[OK] を押します。

- パスワードは 1 ～ 8 桁以内で入力します。

8

4 ▼または▲を押し、プリントしたい親展受信文書を選択し、［プリント］を押します。

5 【スタート】を押します。

指定した親展ボックス内の文書がプリントされます。

- ［閉じる］を押すと、操作が中止されます。

■ 親展受信した文書を削除する

親展ボックスに登録されている文書を削除したい場合は、次の手順で操作します。

1 操作パネルの【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。

2 オプションのハードディスクを装着している場合は、［共有ボックス］または［個人ボックス］から親展ボックスとして設定したボックスを選択します。
ハードディスクが装着されていない場合は、［親展受信ボックス］からボックスを選択します。

3 ボックス閲覧用パスワードが設定されている場合は、表示された画面でパスワードを入力し、［OK］を押します。

詳しく説明します

- パスワードは 1 ～ 8 桁以内で入力します。

4 ▼または▲を押し、削除したい親展受信文書を選択し、［削除］を押します。

詳しく説明します

- ［閉じる］を押すと、操作が中止されます。

5 表示された確認画面で［はい］を押します。

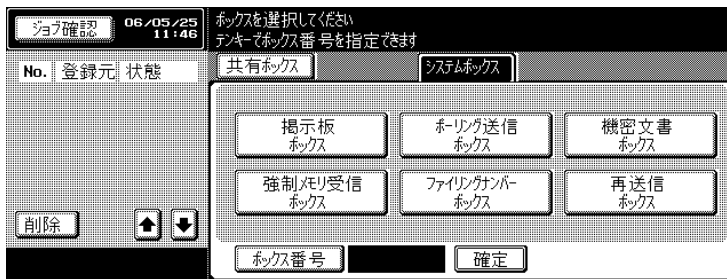
指定した親展ボックス内の文書が削除されます。

8.3 受信文書のプリントを禁止する（強制メモリ受信）

受信した文書をメモリに蓄積し、必要に応じてプリントすることができます。この機能を強制メモリ受信と呼びます。ここでは、強制メモリ受信が設定されている場合に、受信文書をプリントする手順、受信文書を削除する手順について説明します。

■ 受信文書をプリントする

メモリに蓄積されている受信文書をプリントしたい場合は、次の手順で操作します。

1. 操作パネルの【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。
2. オプションのハードディスクを装着している場合は、［システムボックス］タブを選択します。
3. ［強制メモリ受信ボックス］を押します。

4. パスワードを入力し、［OK］を押します。

強制メモリ受信の設定については p. 11-39 をごらんください。

ユーザー認証機能が［ON］の場合、［個人ボックス］タブが表示されます。

- ［キャンセル］を押すと、操作が中止されます。
- 【クリア】を押すと、入力した内容が全て削除されます。

8

5

▼または▲でプリントしたい受信文書を選択し、［プリント］を押します。

6

【スタート】を押します。

指定した受信文書がプリントされます。

- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼、または▲を押します。
- 操作を中止するときは、［プリント］を押す前に［閉じる］を押します。
- ［確認プリント］を押すと、選択されたファイルの1枚目をプリントし、内容を確認することができます。

■ 受信文書を削除する

メモリに蓄積されている受信文書を削除したい場合は、次の手順で操作します。

1

操作パネルの【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。

2

オプションのハードディスクを装着している場合は、［システムボックス］タブを選択します。

3

［強制メモリ受信ボックス］を押します。

4

パスワードを入力し、［OK］を押します。

- ［キャンセル］を押すと、操作が中止されます。
- 【クリア】を押すと、入力した内容が全て削除されます。

▼ または ▲ で削除したい受信文書を選択し、［削除］を押します。

表示された確認画面で［はい］を押します。

指定した受信文書が削除されます。

- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼ または ▲ を押します。
- 操作を中止するときは、［閉じる］を押します。

8

8.4 受信時の記録

■［受信原稿両面記録］が［ON］に設定されているときは

❍ 設定メニューの［送信 / 受信設定］で、［受信原稿両面プリント］が［ON］に設定されている場合は、用紙の両面に記録されます。
詳しくは p. 11-31 をごらんください。

おもて面

From:　2002/09/20 09:38 #002 P.001

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE　BOOLE　DORSET　BH25 8ER
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronized with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organization.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

受信時刻: 2002/09/20 09:38　受信番号:002 P.001

受信時刻: 2002/09/20 09:38

うら面

第 9 章
ポーリング

ポーリング送信、ポーリング受信について説明します。

9.1 ポーリング原稿を準備する（ポーリング送信）

ポーリング送信とは、受信側からのポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめ本機に原稿を蓄積しておく機能です。

ポーリング送信を指示した原稿は、システムボックスのポーリング送信ボックスに蓄えられ、受信側からのポーリング指示で送信が開始されます。ポーリング送信には、ポーリング送信ボックスに原稿を蓄積しておくポーリング送信と、掲示板ボックスに原稿を蓄積しておく掲示板ポーリング送信があります。ここでは、ポーリング送信ボックスを使ったポーリング送信について説明します。

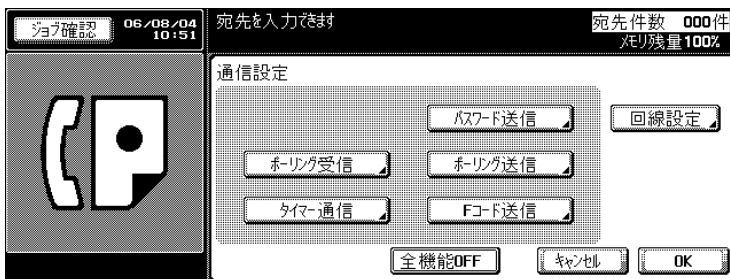
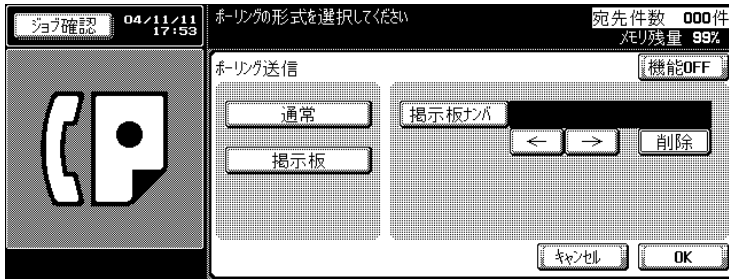
掲示板を使ったポーリング送信については p. 9-7 をごらんください。

原則

ポーリング送信は 1 文書のみ登録できます。
自動的にメモリ送信が設定されます。
［ポーリング送信と併用できない機能］
ポーリング受信、タイマー通信、海外通信モード、ECM オフ、F コード送信、パスワード送信、V34 オフ、掲示板登録、掲示板ポーリング受信

■ ポーリング送信文書を予約する

ポーリング送信をする場合は、次の手順で操作します。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［通信設定］を押します。
3. ［ポーリング送信］を押します。

4 ［通常］を押します。

詳しく説明します

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

5 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-12 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 7-4 をごらんください。

8 原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-6 をごらんください。

9 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、ポーリング送信文書としてメモリに蓄積され、受信側からポーリングの指示がくると送信されます。

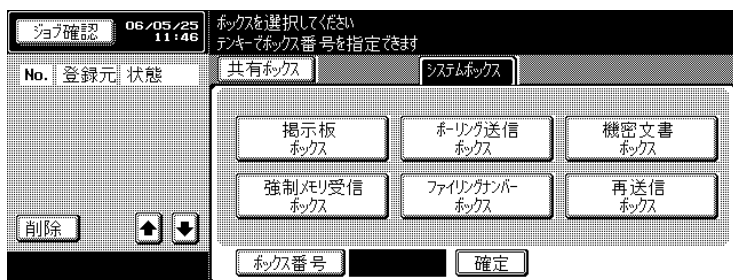
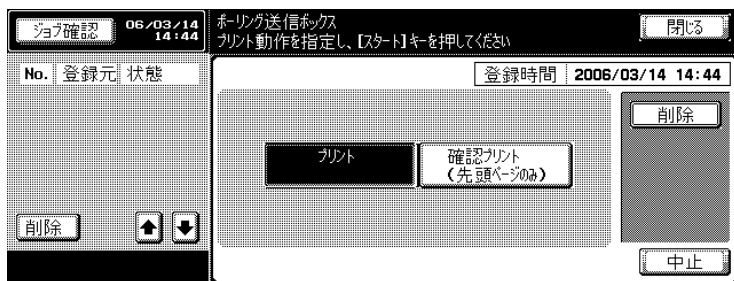
参照

送信できない場合は、p. 5-2 をごらんください。

9

■ ポーリング送信ボックスの文書をプリントする

ポーリング送信ボックスの文書をプリントできます。

1. 操作パネルの【ボックス】を押します。
2. オプションのハードディスクを装着している場合は、［システムボックス］タブを押します。
3. ［ポーリング送信ボックス］を押します。

4. ［プリント］を押し、【スタート】を押します。

5. ［閉じる］を押して画面を閉じます。

- ポーリング文書を削除する場合は、［削除］を押します。
- 1 ページ目のみをプリントする場合は［確認プリント］を押します。

9.2 受信側からの指示で送信させる（ポーリング受信）

ポーリング受信とは、送信側にセットされている原稿や、ポーリング送信予約された原稿を受信側からの指示で送信させる機能です。電話料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

複数の宛先を指定してポーリング受信することを、順次ポーリング受信と呼びます。

順次ポーリング受信が終了すると、順次ポーリング受信結果レポートがプリントされます。

相手機により使用できない場合があります。

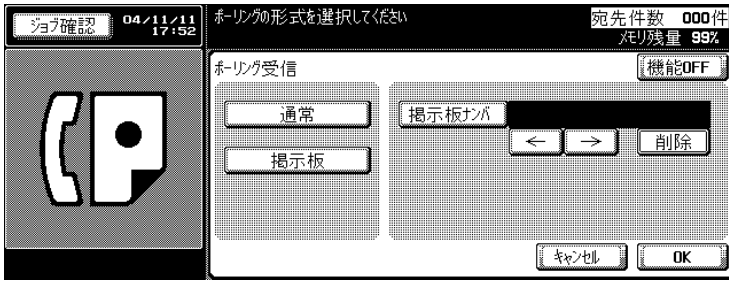
順次ポーリング受信予約レポート、順次ポーリング受信結果レポートについては p. 12-23、p. 12-17 を参照してください。

原則

［ポーリング受信と併用できない機能］
枠消し、読込みサイズ、混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、両面とじ方向、親展送信、中継依頼、ECM オフ、海外通信モード、ポーリング送信、パスワード送信、V34 オフ、連続読み設定、掲示板登録、掲示板ポーリング受信

ポーリング受信には、通常のポーリング受信と、相手機の掲示板に登録されている原稿をポーリングする掲示板ポーリング受信があります。ここでは、通常のポーリング受信について説明します。掲示板を使ったポーリング受信については p. 9-9 をごらんください。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［通信設定］を押します。
3. ［ポーリング受信］を押します。

4 ［通常］を押します。

5 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

7 宛先を指定します。

8 【スタート】を押します。

送信側にセットされた原稿、またはポーリング送信予約された原稿の受信が始まります。

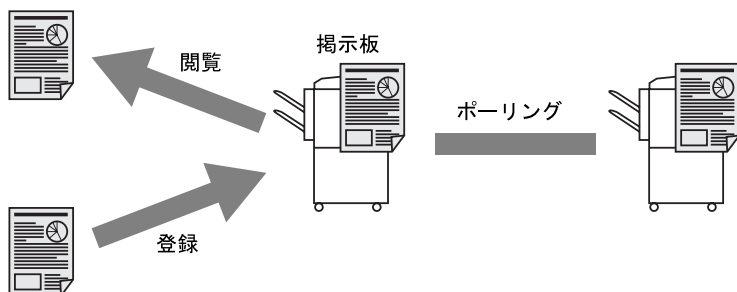
設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

参 照

- 宛先の指定については、p. 2-21 をごらんください。
- 複数の宛先を指定することもできます。

9.3 文書を指定してポーリングする（掲示板）

本機では、掲示板を登録し、閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておくことができます。ここでは、文書を掲示板に登録する手順、相手機の掲示板に登録された文書をポーリング受信する手順についてそれぞれ説明します。

掲示板はあらかじめ登録しておく必要があります。

原則

［掲示板のスペック］
この機能は、相手機が F コード機能を持つ機種の場合にだけ使用できます。F コードについてはファクス用語集をごらんください。
ひとつの掲示板に登録できる文書は 1 文書だけです。
［掲示板登録と併用できない機能］
ポーリング送信、タイマー通信、海外通信モード、ECM オフ、パスワード送信、V34 オフ、F コード送信
［掲示板ポーリング受信と併用できない機能］
枠消し、読込みサイズ、混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、両面とじ方向、ポーリング送信、海外通信モード、ECM オフ、パスワード送信、F コード送信、V34 オフ、連続読み設定

■ 掲示板に文書を登録する

掲示板に文書を登録したい場合は、次の手順で操作します。

原則

指定した掲示板にすでに別の文書が登録されている場合は、上書きされます。

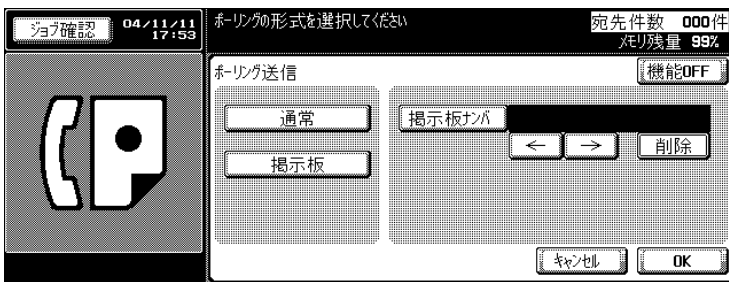
1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. ［通信設定］を押します。

9

3 ［ポーリング送信］を押します。

4 ［掲示板］を押します。

5 ［掲示板ナンバ］にテンキーで掲示板ナンバを入力します。

6 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

- ［掲示板ナンバ］には、1 ～ 999999999（9 桁）まで入力することができます。
- 誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
- 【クリア】を押すと、入力した掲示板 No. がすべて削除されます。

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定についてはp. 2-12を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定についてはp. 7-4をごらんください。

9 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについてはp. 2-6をごらんください。

10 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿が掲示板に登録されます。

原稿読み込み中に、登録を中止したい場合は、【ストップ】を押し、ジョブ中止確認画面で［はい］を押します。

■ 掲示板の文書をポーリング受信する

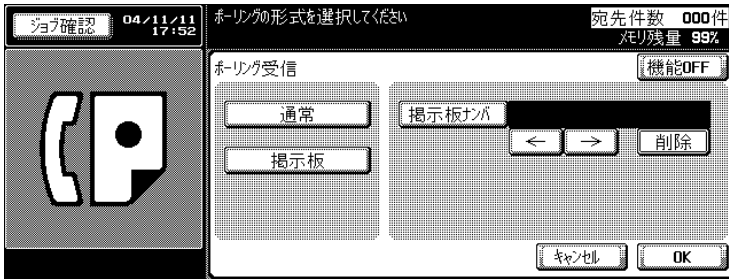
相手機の掲示板に登録されている文書を、ポーリング受信することができます。ポーリング受信する場合は、次の手順で操作します。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［通信設定］を押します。

3 ［ポーリング受信］を押します。

9

4 ［掲示板］を押します。

5 ［掲示板ナンバ］にテンキーで掲示板ナンバを入力します。

- ［掲示板ナンバ］には、20桁まで入力することができます。
- 誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
- 【クリア】を押すと、入力した掲示板 No. がすべて削除されます。

6 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

詳しく説明します

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-21 ごらんください。

9 【スタート】を押します。

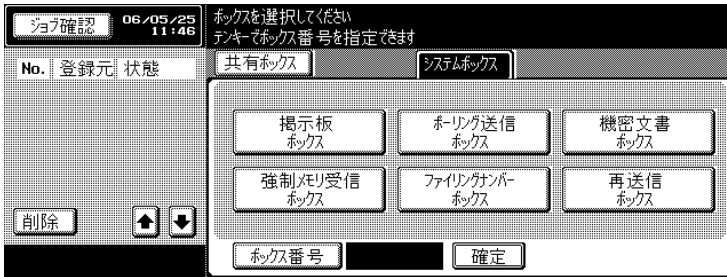
相手機の掲示板のポーリング受信がスタートします。

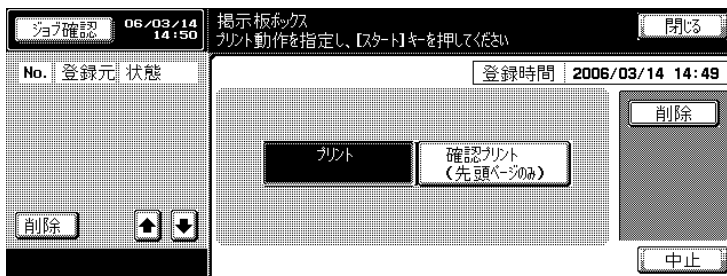
■ 掲示板文書をプリントする

掲示板ボックスの文書をプリントできます。

1 操作パネルの【ボックス】を押します。

2 オプションのハードディスクを装着している場合は、［システムボックス］タブを押します。

3 ［掲示板ボックス］を押します。

4 掲示板ボックスを選択します。

5 ［プリント］を押し、【スタート】を押します。

6 ［閉じる］を押して画面を閉じます。

- 掲示板文書を削除する場合は、［削除］を押します。
- 1 ページ目のみをプリントする場合は［確認プリント］を押します。

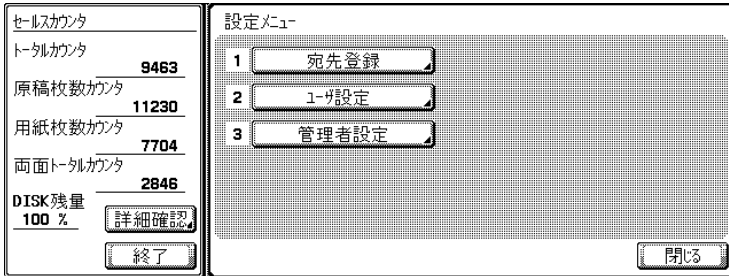
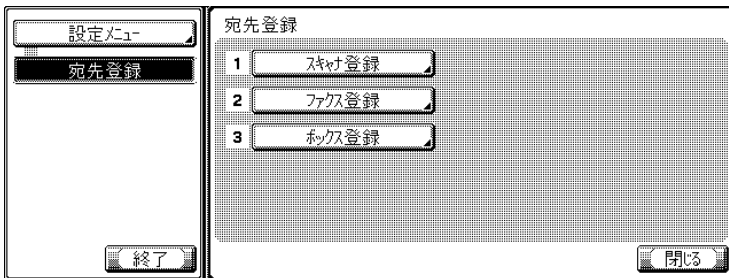
第 10 章

登録／設定する

短縮宛先やプログラム宛先などの登録方法を説明しています。

10.1 ファクス登録の画面を表示する

ファクス登録の画面を表示する場合は、次の手順で操作します。

1 操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［ファクス登録］を押します。

ファクス登録画面が表示されます。

- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「1」を入力します。
- 設定メニューの［ユーザ操作禁止設定］で［変更禁止設定］を［禁止］に設定している場合、［宛先登録］の登録 / 変更はできません。［宛先登録］の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

10.2 短縮宛先を登録する

頻繁に送信する宛先のファクス番号や E-Mail アドレス、登録されているボックスを短縮宛先に登録できます。登録された短縮宛先はファクス画面の短縮 / アドレス、ダイレクト入力から使用できます。

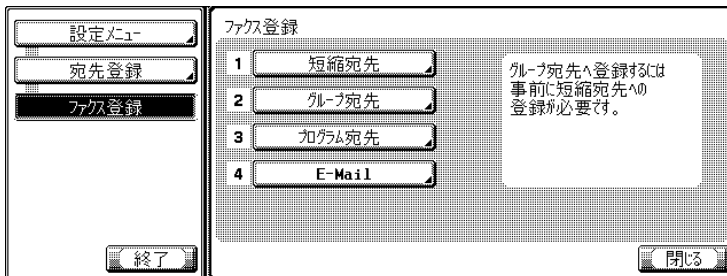
- オプションのハードディスクを装着している場合、短縮宛先はスキャナなど、本機の他の機能の短縮宛先を合わせ、2000 か所（0001 ～ 2000）まで登録できます。（ハードディスクを装着していない場合は、1000 か所まで登録できます。）
- 短縮宛先を登録するときに、検索文字を登録しておくと、検索文字を利用して宛先を指定することができます。
- 短縮宛先には、宛先のファクス番号（ダイアル宛先）、E-Mail 宛先、ボックス宛先を登録できます。

ここでは、短縮宛先を登録する操作、一度登録した短縮宛先を変更する操作、登録した宛先を削除する操作について説明しています。

原則

登録名と宛先、E-Mail アドレスまたはボックス名を設定しないと登録できません。

■ 短縮宛先にファクス番号を登録する

短縮宛先にファクス番号を登録する場合は、次の手順で操作します。

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

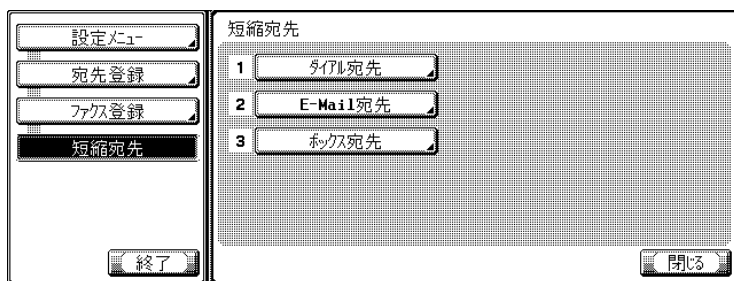
2 ［短縮宛先］を押します。

- 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。PageScope Web Connection の使い方については、「第 13 章 PageScope Web Connection」または、ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。
- 登録した内容は、短縮宛先リストで確認できます。

参照

短縮宛先リストについて詳しくは、「短縮宛先リスト」（p. 12-33）をごらんください。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［短縮宛先］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

3 ［ダイアル宛先］を押します。

4 ［新規登録］を押します。

5 ［登録名］を押し、短縮宛先の名前を入力します。

参照

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

- 名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。
- ［登録 No.］には、未使用の登録 No. が表示されます。

6

テンキーで宛先のファクス番号を入力します。

次のキーを使用できます。

- [トーン] ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には [T] と表示されます。
- [ポーズ] ダイアルに間をあけたいときに使用します。[ポーズ] 1 回で 1 秒の間隔を入力でき、繰り返して入力することもできます。画面には [P] と表示されます。
- [-] ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。画面には [-] と表示されます。
- [→] カーソルが右に移動します。
- [←] カーソルが左に移動します。
- [削除] カーソルの位置の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。
- [外線] PBX 接続設定が ON の場合は、[外線] を指定することができます。選択すると [E-] と表示されます。

- 38 桁まで入力できます。
- 誤って入力した場合は、[削除] を押して 1 文字ずつ削除するか、または【クリア】を押してすべて削除して訂正します。
- PBX（構内交換機）接続が [ON] に設定されている場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに [ポーズ] を押します。画面には [P] と表示されます。

PBX 接続設定については、p. 11-57 をごらんください。

7

登録名に日本語を設定した場合は、[検索文字] を押し、検索文字を登録します。

- [常用] ～ [etc] の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに [常用] を選択しておくと、短縮宛先の選択で最初に表示させることができます。
- 登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。

8 回線設定を設定する場合は、［回線設定］を押し、機能を設定して［OK］を押します。

詳しく説明します

回線設定については、p. 7-50 をごらんください。

9 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

登録を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

11 サブエリアの［終了］を押します。

■ 短縮宛先に E-Mail 宛先を登録する

短縮宛先に E-Mail 宛先を登録しておくと、読み込んだ原稿を E-Mail の添付ファイルとして送信できます。ファイル形式は TIFF または PDF 形式です。

短縮宛先に E-Mail 宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

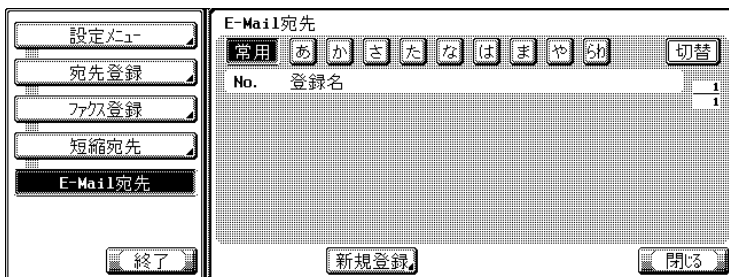
1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［短縮宛先］を押します。

3 ［E-Mail 宛先］を押します。

4 ［新規登録］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［短縮宛先］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

5 ［登録名］を押し、短縮宛先の名前を入力します。

6 ［E-Mail アドレス］を押します

7 表示された画面で、登録する E-Mail アドレスを入力し、［OK］を押します。

- ❍ ［→］　カーソルが右に移動します。
- ❍ ［←］　カーソルが左に移動します。
- ❍ ［削除］　カーソルの位置の文字が1文字ずつ削除されます。
  カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

8 登録名に日本語を設定した場合は、［検索文字］を押し、検索文字を登録します。

9 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

10 ［閉じる］を押します。

短縮宛先の登録を続けるときは、手順 **4** に戻ります。

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

詳しく説明します

- 名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。
- ［登録 No.］には、未登録登録 No. が表示されます。

詳しく説明します

- E-Mail アドレスは、最大で半角 320 文字まで入力できます。
- 【クリア】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。

詳しく説明します

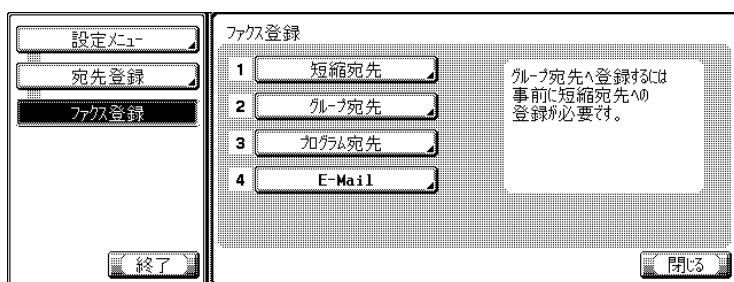
- ［常用］～［etc］の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに［常用］を選択しておくと、短縮宛先の選択で最初に表示させることができます。
- 登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。

登録を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

サブエリアの［終了］を押します。

■ 短縮宛先にボックス宛先を登録する

短縮宛先にボックス宛先を登録しておくと、読み込んだ原稿をボックスに保存できます。保存時のファイル形式は TIFF 形式です。

短縮宛先にボックス宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［短縮宛先］を押します。

3 ［ボックス宛先］を押します。

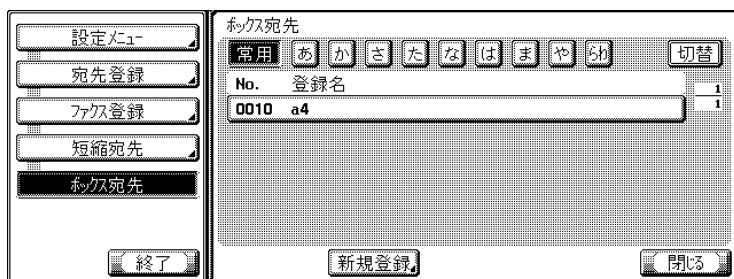
4 ［新規登録］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［短縮宛先］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

5

［登録名］を押し、短縮宛先の名前を入力します。

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

- 名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。
- ［登録 No.］には、未使用の登録 No. が表示されます。

6

［ボックス名］を押します。

7

表示された画面で、登録するボックスを選択し、［OK］を押します。

ボックスを選択するには、ボックスを登録しておく必要があります。
ボックスの登録方法については、ユーザーズガイド（ボックス機能編）をごらんください。

8

登録名に日本語を設定した場合は、［検索文字］を押し、検索文字を登録します。

- ［常用］～［etc］の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに［常用］を選択しておくと、短縮宛先の選択で最初に表示させることができます。
- 登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。

9

［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

10

［閉じる］を押します。

短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

11

サブエリアの［終了］を押します。

登録を中止する場合は、
［キャンセル］を押します。

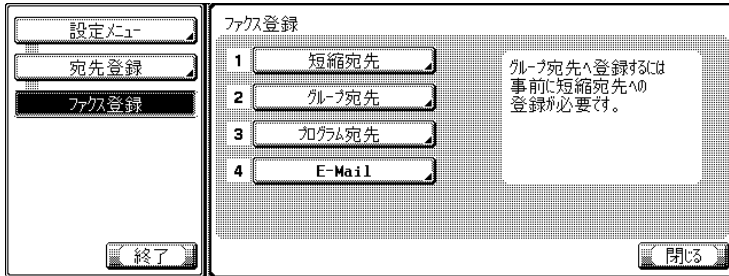
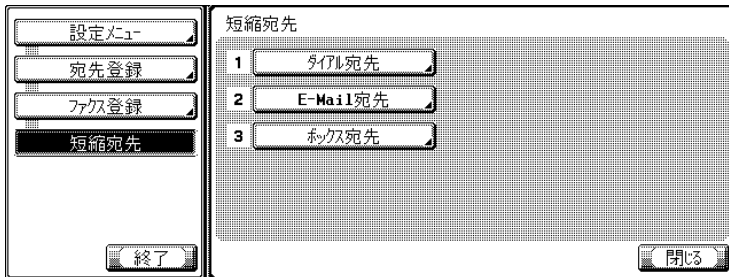
■ 短縮宛先を変更する

短縮宛先を変更する場合は、次の手順で操作します。

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［短縮宛先］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［短縮宛先］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

3 ［ダイアル宛先］、［E-Mail 宛先］、［ボックス宛先］のいずれかを押します。

4 変更したい短縮宛先を選択し、［編集］を押します。

5 変更したい項目を選択し、表示された画面で内容を変更して［OK］を押します。

6 変更した内容を確認し、［OK］を押します。

変更を続ける場合は、手順 5 に戻ります。

変更を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

7 ［閉じる］を押します。

8 サブエリアの［終了］を押します。

10

■ 短縮宛先を削除する

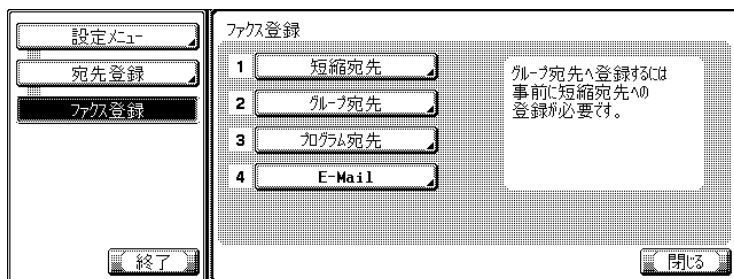
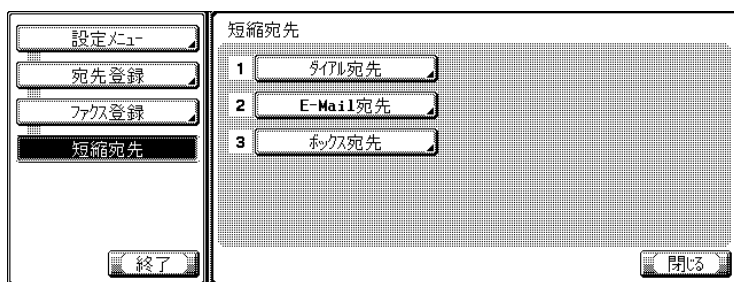
短縮宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

原則

短縮宛先を削除すると、削除した短縮宛先を使用しているグループ宛先およびプログラム宛先からも削除されます。

1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［短縮宛先］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［短縮宛先］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

3. ［ダイアル宛先］、［E-Mail 宛先］、［ボックス宛先］のいずれかを押します。

4. 削除したい短縮宛先を選択し、［削除］を押します。

5. 表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押します。

   削除を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

削除を中止する場合は、［いいえ］を押します。

6. ［閉じる］を押します。

7. サブエリアの［終了］を押します。

10.3 グループ宛先を登録する

複数の短縮 No. をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。同じ内容を順次同報や順次ポーリング受信することが多い場合に便利です。

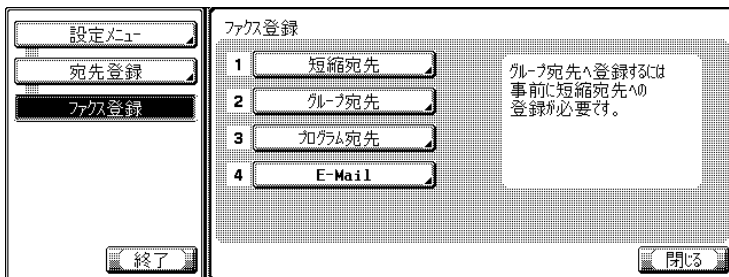
- グループ宛先は、スキャナ機能で使用するグループとあわせて、100 グループ（01 ～ 99、00）まで登録できます。
- ひとつのグループ宛先には短縮 No. を 500 か所まで登録できます。
- グループ宛先に登録できる宛先は短縮宛先です。宛先を短縮宛先に登録してからグループ宛先登録の操作をしてください。
- 各グループにグループ名を登録できます。

ここでは、グループ宛先に宛先とグループ名を登録する操作、一度登録したグループ宛先を変更する操作、登録したグループ宛先を削除する操作について説明しています。

原則

登録名と宛先、E-Mail アドレスまたはボックス名を設定しないと登録できません。

■ グループ宛先を登録する

グループ宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［グループ宛先］を押します。

- 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
PageScope Web Connection の使い方については、「第 13 章 PageScope Web Connection」または、ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。
- 登録した内容は、グループ宛先リストで確認できます。

参照

- グループ宛先リストについて詳しくは、「グループ宛先リスト」(p. 12-36) をごらんください。
- 短縮宛先の登録について詳しくは、「短縮宛先を登録する」(p. 10-3) をごらんください。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［グループ宛先］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

3 ［新規登録］を押します。

- すでにグループ宛先が登録されている場合は、ここで［編集］を押して内容を変更することもできます。p. 10-18 をごらんください。
- ファクス登録で登録したグループのみが表示されます。

4 ［登録名］を押し、グループ宛先の名前を入力します。

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

- 名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。
- ［登録 No.］には、未使用の登録 No. が表示されます。

5 ［宛先］を押します。

6 ［ダイアル宛先］、［ボックス宛先］または［E-Mail 宛先］からグループ宛先に登録する短縮宛先が登録されているカテゴリーを選択します。

ひとつのグループ宛先に登録できる短縮宛先は、500 か所までです。

グループ宛先に登録する短縮宛先を選択します。

- [名前から検索]:
  検索文字の検索キーを押して、短縮宛先を表示させる場合、選択します。
- [No. から検索]:
  登録順につけられる No. が 100 ごとに表示されます。登録する短縮宛先の No. があてはまる No. のキーを押し、短縮宛先を表示させます。

  ◀または▶を押すと、表示する No. のキーをスクロールできます。

8

[OK] を押します。

9

[閉じる] を押します。

10

[OK] を押します。

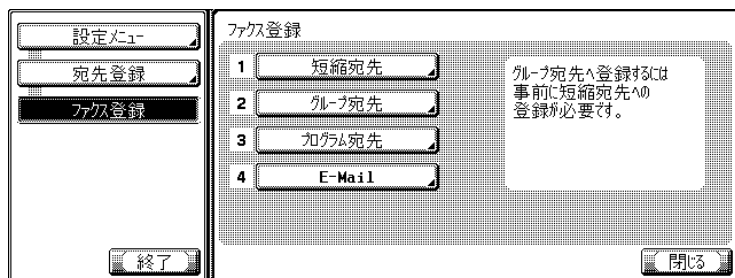
グループ宛先の登録を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

11

サブエリアの [終了] を押します。

■ グループ宛先を変更する

グループ宛先を変更する場合は、次の手順で操作します。

1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［グループ宛先］を押します。

3. 変更したいグループ宛先を選択し、［編集］を押します。

4. 変更したい項目を選択し、表示された画面で内容を変更して［OK］または［閉じる］を押します。

5. 変更した内容を確認し、［OK］を押します。

   変更を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

6. サブエリアの［終了］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［グループ宛先］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

▼ または ▲ を押すと、表示するページを変更できます。

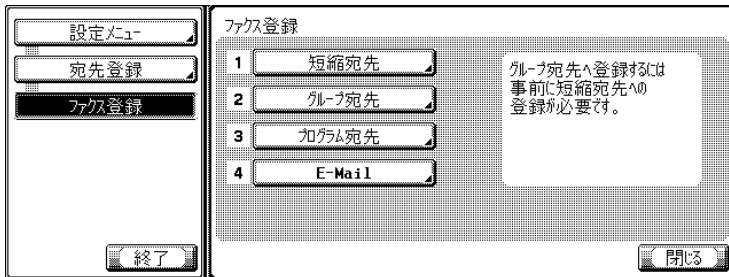
変更を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

■ グループ宛先を削除する

グループ宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

原則

グループ宛先を削除すると、削除したグループ宛先を使用しているプログラム宛先からも削除されます。

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［グループ宛先］を押します。

3 削除したいグループ宛先を選択し、［削除］を押します。

4 表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押します。

削除を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

5 サブエリアの［終了］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［グループ宛先］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

詳しく説明します

- ▼または▲を押すと、表示するページを変更できます。
- グループ宛先を選択して［設定確認］を押すと、設定状態を確認できます。

削除を中止する場合は、［いいえ］を押します。

10.4 プログラム宛先を登録する

頻繁に送信する宛先（ファクス番号、ボックス、E-Mail）と定型で使う読込設定や通信設定を組み合わせて、プログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、［プログラム］のプログラムキーを押すだけで、登録されている宛先と読込設定や通信設定の機能を設定して送信できます。

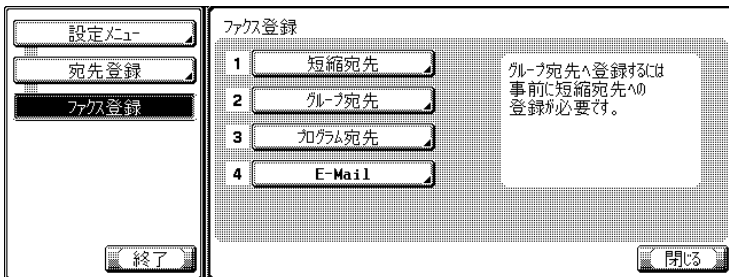
- オプションのハードディスクを装着している場合は、プログラム宛先は、スキャナなど、本機の他の機能のプログラム宛先を合わせ、400 個（001 ～ 400）まで登録できます。（ハードディスクを装着していない場合は、200 個まで登録できます。）
- プログラムには、プログラム名を登録できます。

ここでは、プログラム宛先を登録する操作、プログラム宛先を変更する操作、プログラム宛先を削除する操作について説明しています。

原則

登録名と読込設定、通信設定、または宛先のいずれかを設定しないと登録できません。

■ プログラム宛先を登録する

プログラム宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［プログラム宛先］を押します。

- 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。

PageScope Web Connection の使い方については、「第 13 章 PageScope Web Connection」または、ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［プログラム宛先］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

登録したいプログラム宛先を選択し、［編集］を押します。

❍ 読込設定および通信設定の表示

設定値：	［する］	［しない］	［未登録］
表示：	［＊］	［－］	［空白］

4

［登録名］を押し、プログラム宛先の名前を入力します。

5

［宛先］を押します。

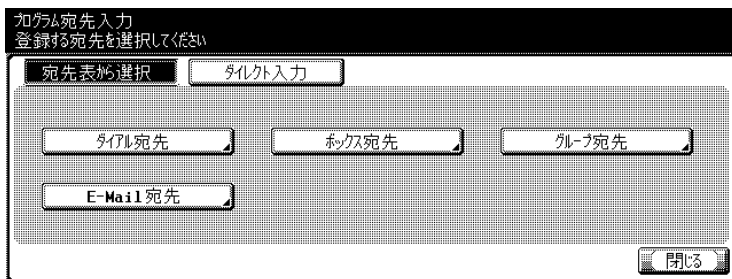
- ［ページ一覧］の左側にある▼または▲を押すと、表示するページを変更できます。1 ページに対し 15 宛先ずつ表示されます。
- ［ページ一覧］を押すと、プログラム宛先の表示をページ単位で指定できます。
- ページ一覧の画面で、ページを選択して［ページ名変更］を押すと、表示するページ名を変更できます。
- ▼または▲を押すと、ページ内の次のプログラム宛先を表示できます。
- スキャナの宛先の場合は、「スキャナの宛先です」と表示されます。

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。

10

［宛先表から選択］または［ダイレクト入力］を押して、宛先を入力します。

- ［宛先表から選択］を押した場合
  すでに登録されている短縮宛先またはグループ宛先から宛先を選択して設定します。
  1. ［ダイアル宛先］、［ボックス宛先］、［グループ宛先］または［E-Mail 宛先］から登録する宛先を選択します。

  2. ［名前から検索］、［No. から検索］のどちらかを押し、宛先を選択します。
     - ［名前から検索］：
       検索文字の検索キーを押して、短縮宛先を表示させる場合、選択します。
     - ［No. から検索］：
       登録順につけられる No. が 100 ごとに表示されます。登録する短縮宛先の No. があてはまる No. のキーを押し、短縮宛先を表示させます。
       ◀ または ▶ を押すと、表示する No. のキーをスクロールできます。
  3. ［OK］を押します。

● ［ダイレクト入力］を押した場合
次の手順で、宛先を入力して設定します。

1. ［ダイアル宛先］、［ボックス宛先］または［E-Mail 宛先］を押します。

2. 宛先を入力または選択し、［OK］を押します。

❍ PBX 接続設定が ON の場合は、［ダイアル宛先］で［外線］を指定することができます。選択すると［E-］と表示されます。

- ダイアルの入力については、p. 10-5 をごらんください。
- ボックス宛先の入力については、p. 10-11 をごらんください。
- E-Mail アドレスの入力については、p. 10-8 をごらんください。
- PBX 接続設定については、p. 11-57 をごらんください。

7 読込設定または通信設定を設定する場合は、［読込設定］または［通信設定］の［する］を押し、機能を設定して［OK］を押します。

❍ ［通信設定］-［E-Mail 設定］を押して表示される画面で、［E-Mail 通知］を設定することができます。［E-Mail 通知］を［する］に設定しておくと、ジョブ終了後に、［E-Mail 通知］の宛先に E-Mail を送信させることで、ジョブの終了を確認することができます。

［読込設定］、［通信設定］については、「第 7 章 便利な送信」をごらんください。

登録を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

8 ［閉じる］を押します。

プログラム宛先の登録を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

9 サブエリアの［終了］を押します。

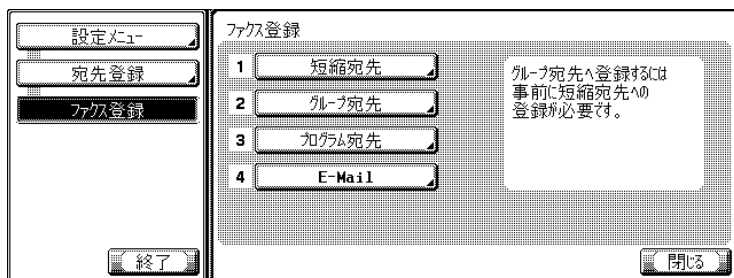
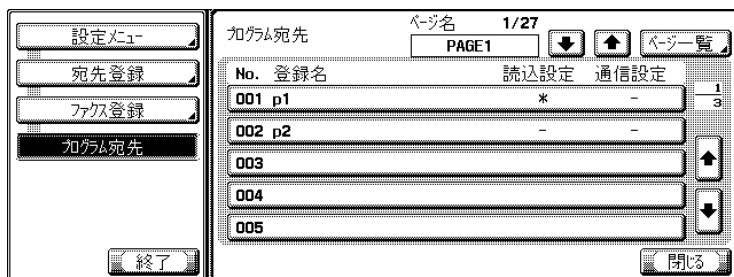
10

■ プログラム宛先を削除する

プログラム宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［プログラム宛先］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［プログラム宛先］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

3 削除したいプログラム宛先を選択し、［削除］を押します。

詳しく説明します

- ［ページ一覧］の左側にある▼または▲を押すと、表示するページを変更できます。1 ページに対し15 宛先ずつ表示されます。
- ［ページ一覧］を押すと、プログラム宛先の表示をページ単位で指定できます。
- ページ一覧の画面で、ページを選択して［ページ名変更］を押すと、表示するページ名を変更できます。
- ▼または▲を押すと、ページ内の次のプログラム宛先を表示できます。
- スキャナの宛先の場合は、「スキャナの宛先です」と表示されます。
- プログラム宛先を選択して［設定確認］を押すと、設定状態を確認できます。

表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押します。

削除を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

サブエリアの［終了］を押します。

削除を中止する場合は、［いいえ］を押します。

10.5 E-Mail のタイトルや本文を登録する

E-Mail のタイトルや本文を登録できます。ここでは、E-Mail のタイトルと本文について、それぞれ、登録する操作、変更する操作、削除する操作、初期値を設定する操作について説明します。

E-Mail のタイトルは 10 件まで、本文は 10 件まで登録できます。

■ E-Mail のタイトルを登録する

E-Mail のタイトルを登録する場合は、次の手順で操作します。

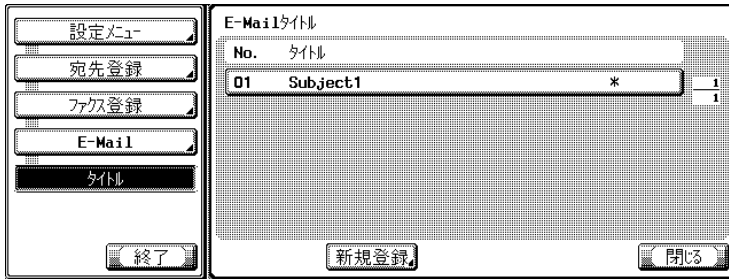
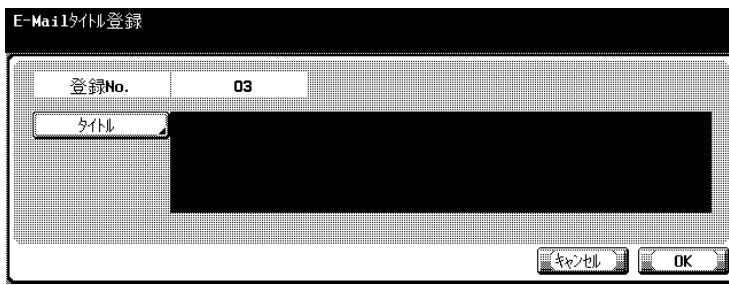
1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［E-Mail］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

3. ［タイトル］を押します。

［新規登録］を押します。

5

［タイトル］を押します。

6

表示された画面で、タイトルを入力し、［OK］を押します。

7

［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

8

［閉じる］を押します。

タイトルの登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9

サブエリアの［終了］を押します。

- E-Mail のタイトルは全角 32 文字（半角 64 文字）まで入力できます。
- ［登録 No.］には、未使用の登録 No. が表示されます。

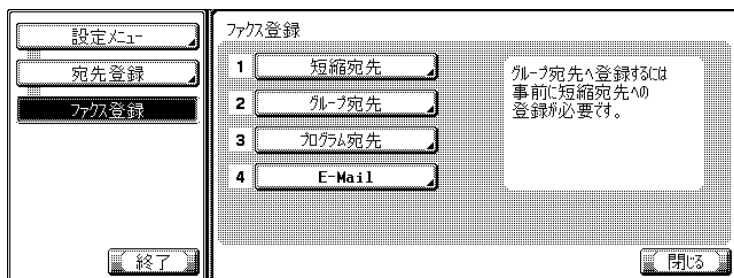
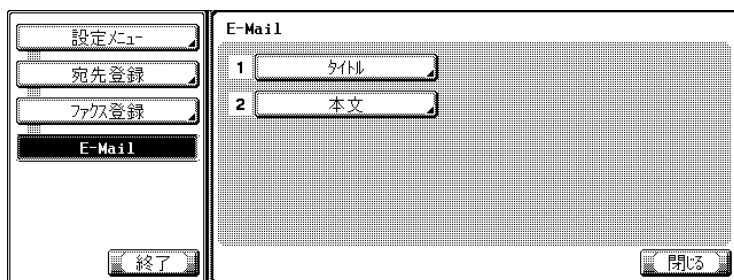
文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

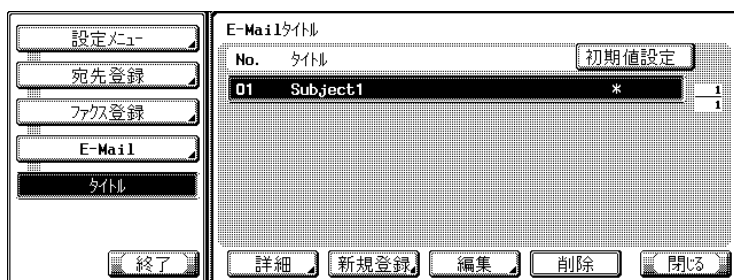
登録を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

■ E-Mail のタイトルを変更する

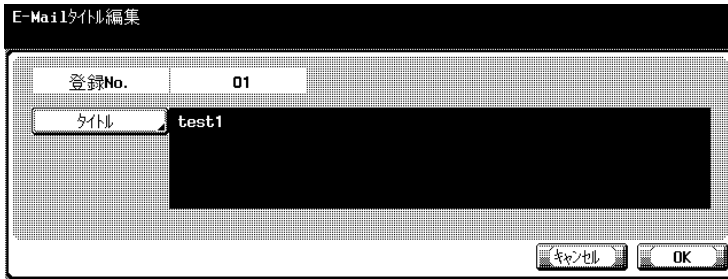
E-Mail のタイトルを変更する場合は、次の手順で操作します。

1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［E-Mail］を押します。

3. ［タイトル］を押します。

4. 変更したいタイトルを選択し、［編集］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

- ▼ または ▲ を押すと、表示するページを変更できます。
- タイトルを選択して［詳細］を押すと、設定状態を確認できます。

5 ［タイトル］を押します。

6 表示された画面で、タイトルを変更し、［OK］を押します。

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

7 ［OK］を押します。

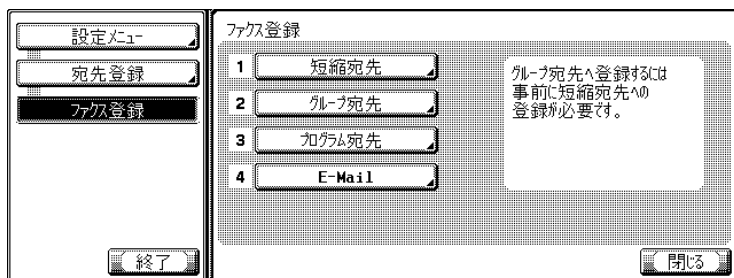
タイトルが変更されます。

変更を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

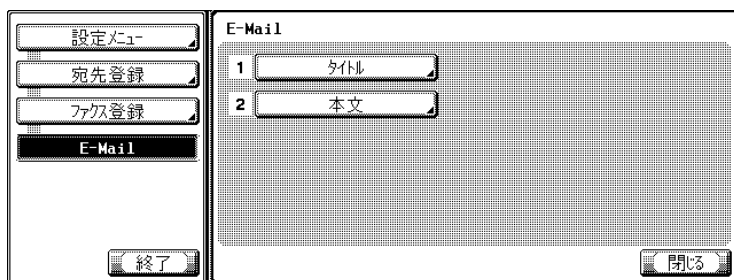
8 ［閉じる］を押します。

タイトルの変更を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9 サブエリアの［終了］を押します。

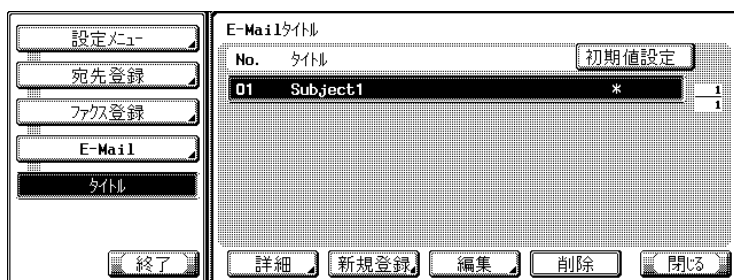
■ E-Mail のタイトルを削除する

E-Mail のタイトルを削除する場合は、次の手順で操作します。

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［E-Mail］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

3 ［タイトル］を押します。

4 削除したいタイトルを選択し、［削除］を押します。

- または を押すと、表示するページを変更できます。
- タイトルを選択して［詳細］を押すと、設定状態を確認できます。

5 表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押します。

タイトルが削除されます。

削除を中止する場合は、［いいえ］を押します。

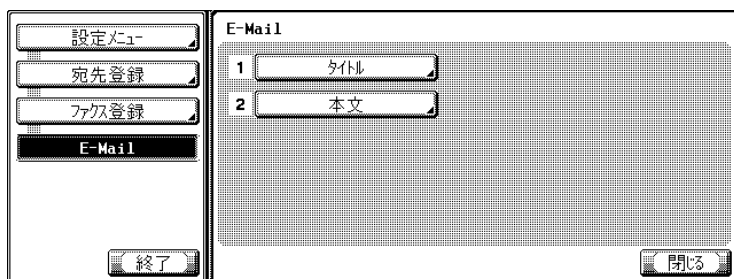
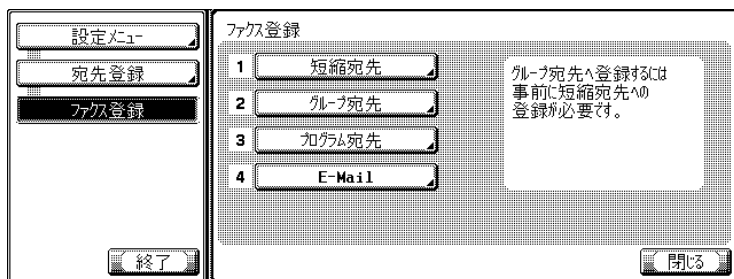
6 ［閉じる］を押します。

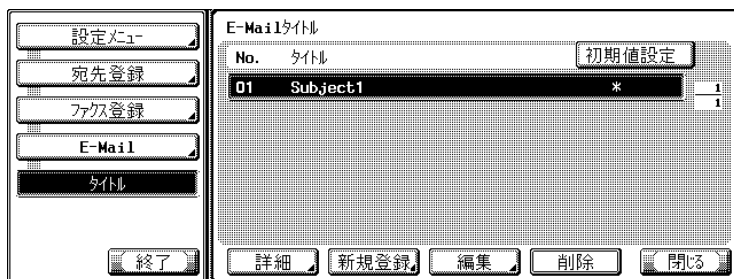
タイトルの削除を続けるときは、手順 4 に戻ります。

7 サブエリアの［終了］を押します。

■ E-Mail のタイトルの初期値を設定する

ファクス画面から E-Mail 送信する場合に、ここで初期値に設定したタイトルがコンピューターに送られます。E-Mail のタイトルの初期値を設定する場合は、次の手順で操作します。

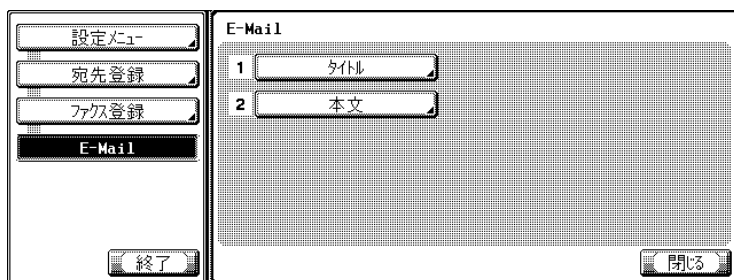
1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［E-Mail］を押します。

3. ［タイトル］を押します。

4. 初期値に設定したいタイトルを選択し、［初期値設定］を押します。

5. ［閉じる］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

サブエリアの［終了］を押します。

■ E-Mail の本文を登録する

E-Mail の本文を登録する場合は、次の手順で操作します。

1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

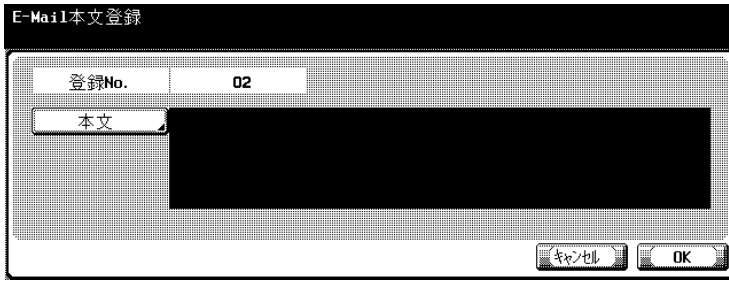
2. ［E-Mail］を押します。

3. ［本文］を押します。

4. ［新規登録］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

5 ［本文］を押します。

- E-Mail の本文は全角 128 文字（半角 256 文字）まで入力できます。
- ［登録 No.］には、未使用の登録 No. が表示されます。

6 表示された画面で、本文を入力し、［OK］を押します。

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

7 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

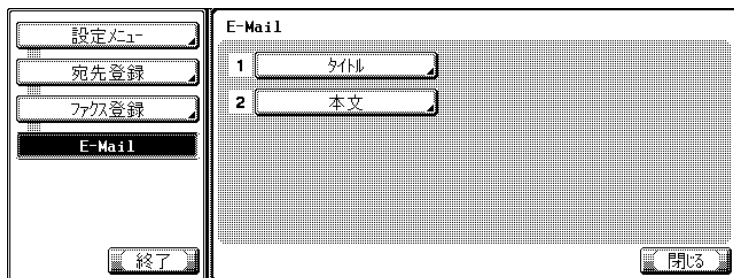
登録を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

8 ［閉じる］を押します。

本文の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9 サブエリアの［終了］を押します。

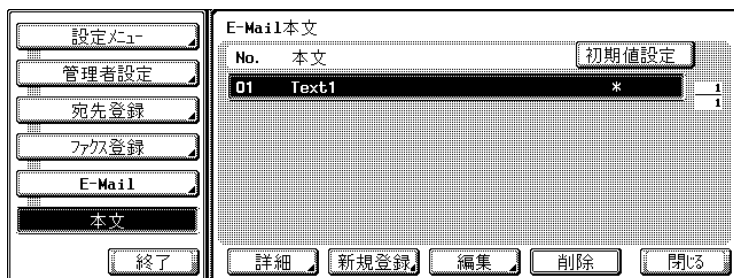
■ E-Mail の本文を変更する

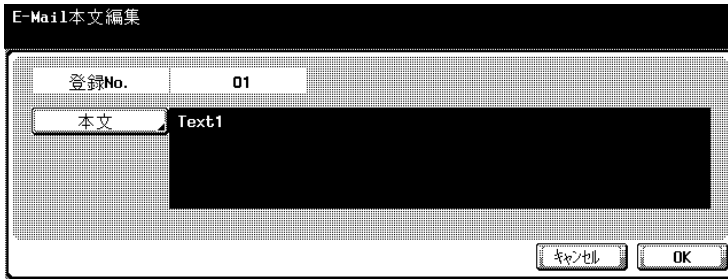
E-Mail の本文を変更する場合は、次の手順で操作します。

1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［E-Mail］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

3. ［本文］を押します。

4. 変更したい本文を選択し、［編集］を押します。

- ▼または▲を押すと、表示するページを変更できます。
- 本文を選択して［詳細］を押すと、設定状態を確認できます。

5 ［本文］を押します。

6 表示された画面で、本文を変更し、［OK］を押します。

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

7 ［OK］を押します。

本文が変更されます。

変更を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

8 ［閉じる］を押します。

本文の変更を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9 サブエリアの［終了］を押します。

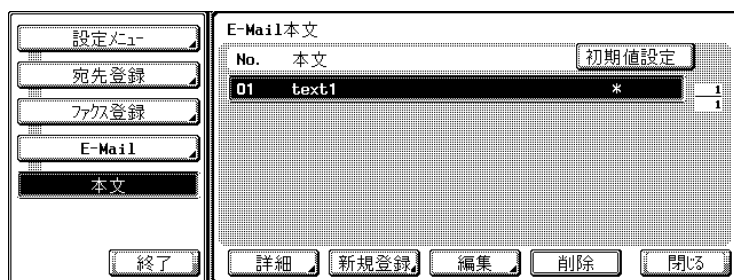
■ E-Mail の本文を削除する

E-Mail の本文を削除する場合は、次の手順で操作します。

1. 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［E-Mail］を押します。

3. ［本文］を押します。

4. 削除したい本文を選択し、［削除］を押します。

5. 表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押します。

   本文が削除されます。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

- ▼ または ▲ を押すと、表示するページを変更できます。
- 本文を選択して［詳細］を押すと、設定状態を確認できます。

削除を中止する場合は、［いいえ］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

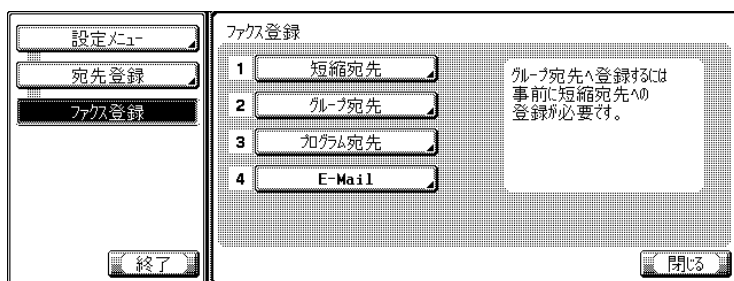
本文の削除を続けるときは、手順 4 に戻ります。

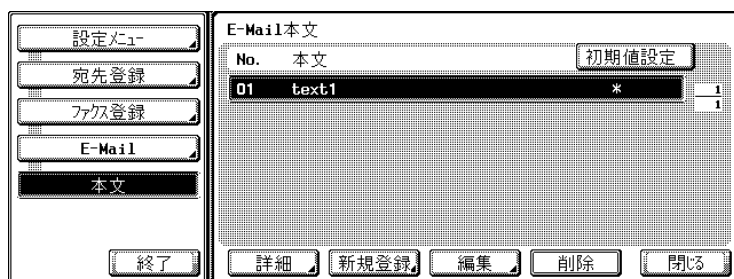
7 サブエリアの［終了］を押します。

■ E-Mail の本文の初期値を設定する

ファクス画面から E-Mail 送信する場合に、ここで初期値に設定した本文がコンピューターに送られます。E-Mail の本文の初期値を設定する場合は、次の手順で操作します。

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［E-Mail］を押します。

3 ［本文］を押します。

4 初期値に設定したいタイトルを選択し、［初期値設定］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

サブエリアの［終了］を押します。

10

10.6 着信拒否宛先を登録する

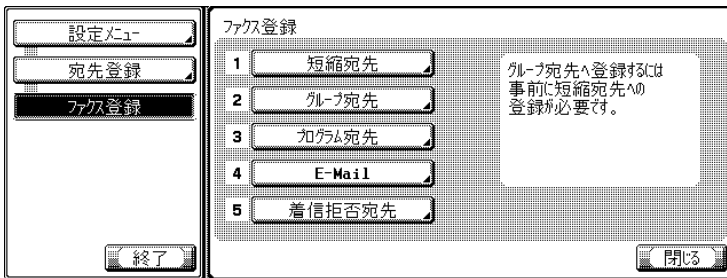
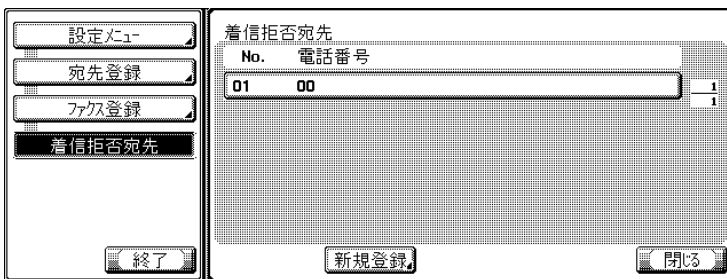
着信拒否したい相手の番号をあらかじめ登録しておき、迷惑ファクスを受信しないように設定できます。

登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合は、受信しません。

原則

NTT とナンバーディスプレイ機能の契約が必要になります。契約完了後に機能を設定してください。

■ 着信拒否宛先を登録するには

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［着信拒否宛先］を押します。

3 ［新規登録］を押します。

着信拒否宛先を登録するには、設定メニューの機能 ON/OFF 設定で、ナンバーディスプレイを ON に設定しておく必要があります。機能 ON/OFF 設定については、11-34 ページをごらんください。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［着信拒否宛先］の場合は、テンキーで「5」を入力します。

テンキーで［電話番号］に着信拒否したい番号を入力します。

- ❍［着信履歴一覧から選択］ 着信履歴から登録したい場合は、［着信履歴一覧から選択］を押します。
- ❍［ - ］ ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。画面には［-］と表示されます。
- ❍ [→] カーソルが右に移動します。
- ❍ [←] カーソルが左に移動します。
- ❍［削除］ カーソルの位置の文字が1文字ずつ削除されます。
  カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

5 「OK」を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

6 ［閉じる］を押します。

登録を続けるときは、手順 3 に戻ります。

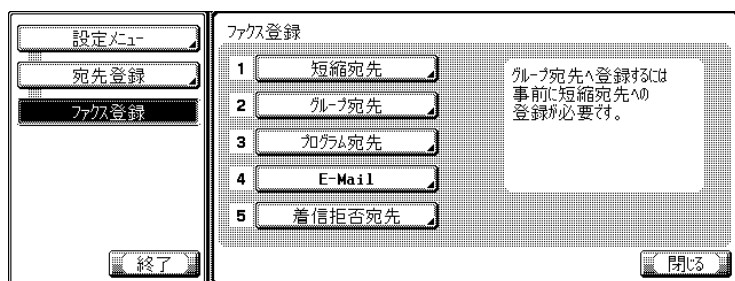
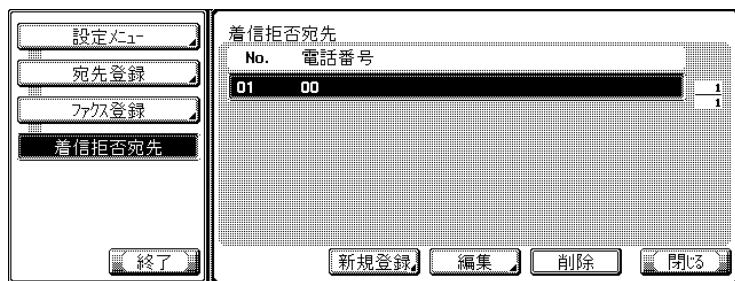
7 サブエリアの［終了］を押します。

- ［登録 No.］には、未使用の登録 No. が表示されます。
- 登録を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

10

■ 着信拒否宛先を変更するには

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［着信拒否宛先］を押します。

3 一覧から変更したい宛先を選択して［編集］を押します。

4 テンキーで［電話番号］に変更する番号を入力します。

❍ 着信履歴から登録したい場合は、［着信履歴一覧から選択］を押します。

5 「OK」を押します。

内容が変更され、一覧に表示されます。

6 ［閉じる］を押します。

変更を続けるときは、手順 **3** に戻ります。

7 サブエリアの［終了］を押します。

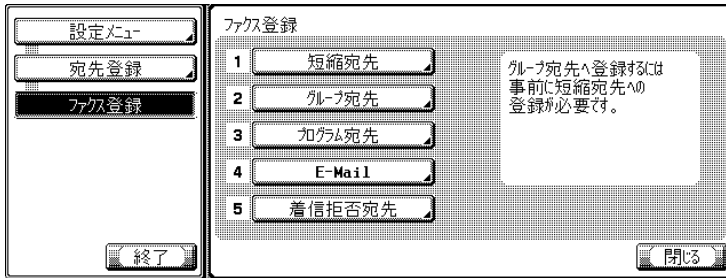
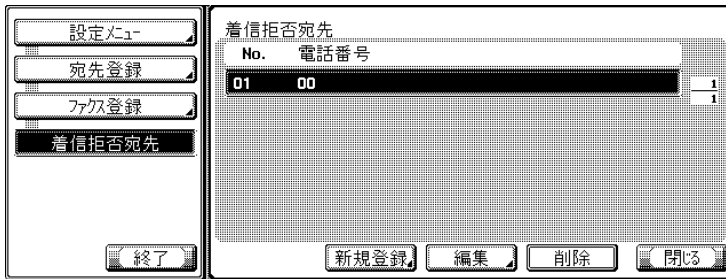
設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［着信拒否宛先］の場合は、テンキーで「5」を入力します。

- 入力した番号を削除したい場合は［削除］を押します。
- 変更を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

■ 着信拒否宛先を削除するには

1 「10.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［着信拒否宛先］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［着信拒否宛先］の場合は、テンキーで「5」を入力します。

3 一覧から削除したい宛先を選択して［削除］を押します。

4 表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押します。

選択した着信拒否宛先が削除されます。

詳しく説明します

削除を中止する場合は、［いいえ］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

削除を続けるときは、手順 **3** に戻ります。

6 サブエリアの［終了］を押します。

10.7 親展ボックスを設定する

本機では、F コードを使用した親展通信を利用することができます。

親展受信をするためには、親展ボックスを登録しておく必要があります。親展ボックスは、最大 20 個まで登録できます。

親展ボックスに設定したボックス No. と通信パスワードは、送信側に知らせてください。

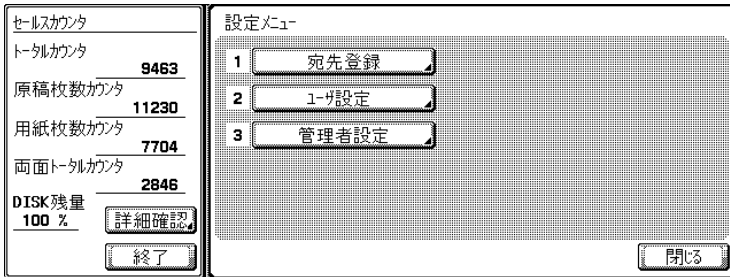
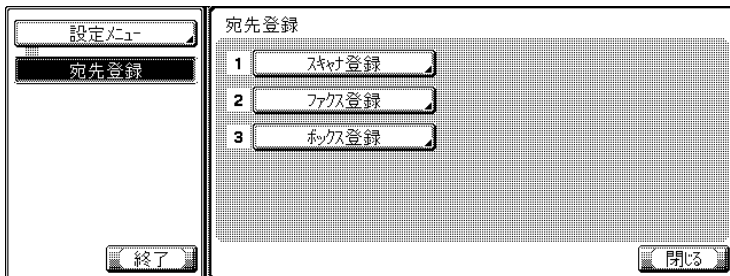
- 親展通信の操作については、p. 7-35 をごらんください。

■ 親展ボックスを登録する（ハードディスク装着時）

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［ボックス登録］を押します。

参照

親展ボックスは、PageScope Web Connection からも登録できます。
PageScope Web Connection については、「第 13 章 PageScope Web Connection」をごらんください。

［共有 / 個人ボックス］を押します。

5

［新規登録］を押します。

6

［ボックス No.］、［ボックス名］、［パスワード］を設定します。

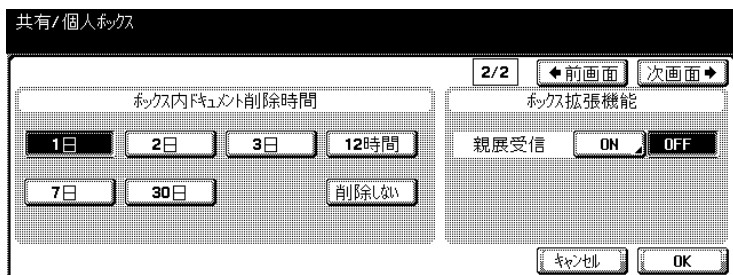
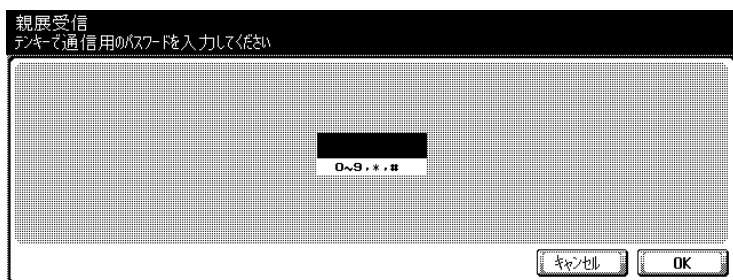
7

［次画面］を押します。

登録画面（2/2）が表示されます。

［検索文字］、［ボックスタイプ］、［ボックス内ドキュメント削除時間］については、ユーザーズガイド（ボックス機能編）をごらんください。

8 ボックス内ドキュメント削除時間を設定します。

9 ボックス拡張機能の［親展受信］を［ON］に設定します。

10 通信パスワード（8 桁以内の 0 ～ 9、*、#）を入力します。

11 ［OK］を押します。

12 ［閉じる］を押します。

ボックスが登録されます。

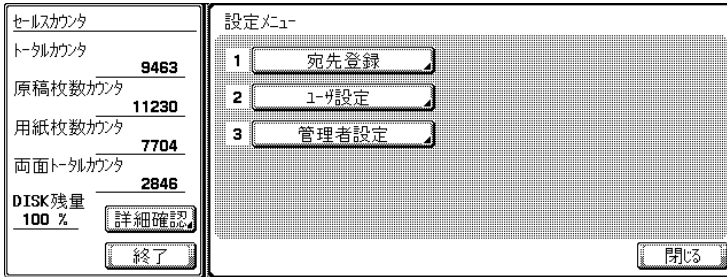
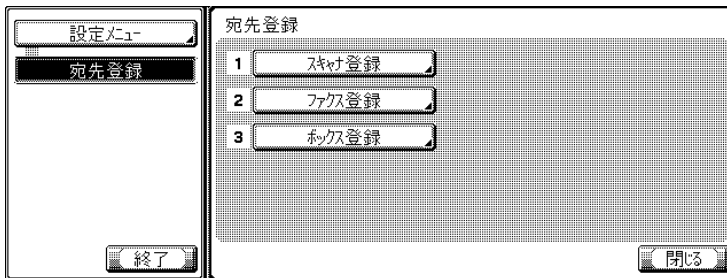
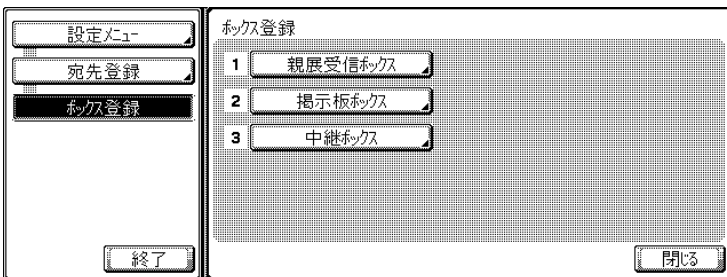
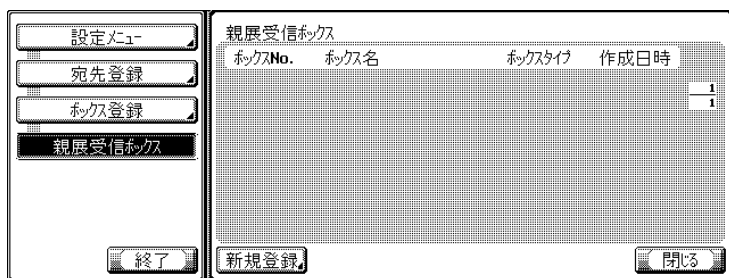
13 サブエリアの［終了］を押します。

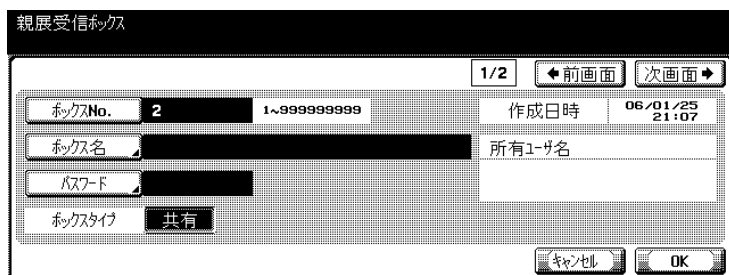
通信パスワードを設定しない場合でも、親展受信は可能です。その場合は、送信側にボックス No. のみ知らせてください。

通信パスワードを設定しない場合は、［キャンセル］を押すか、［OK］を 2 回押します。

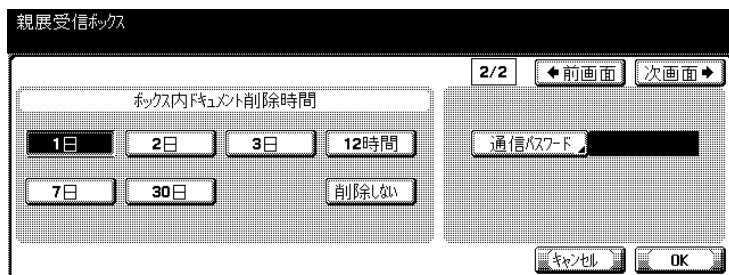
■ 親展ボックスを登録する（ハードディスク非装着時）

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［ボックス登録］を押します。

4 ［親展受信ボックス］を押します。

5 ［新規登録］を押します。

6 ［ボックス No.］、［ボックス名］、［ボックスパスワード］を設定します。

［ボックスタイプ］、［ボックス内ドキュメント削除時間］については、ユーザーズガイド（ボックス機能編）をごらんください。

7 ［次画面］を押します。

登録画面（2/2）が表示されます。

8 通信パスワード（8 桁以内の 0 ～ 9、*、#）を入力します。

通信パスワードを設定しない場合でも、親展受信は可能です。その場合は、送信側にボックス No. のみ知らせてください。

9 ［OK］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

ボックスが登録されます。

11 サブエリアの［終了］を押します。

■ 親展通信のしくみ

親展通信では、それぞれのファクスが次のような役割で動作します。

親展送信側 親展ボックスを指定して送信する	親展受信側 親展ボックスを開き、内容を確認する
親展ボックス No. と通信パスワードを指定し、ファクスを送信する。 ⇨	受信した文書は、メモリ内の指定された親展ボックスに蓄積される。 ↓ 親展ボックス内の文書をプリント / 削除する。

10

10.8 掲示板を設定する

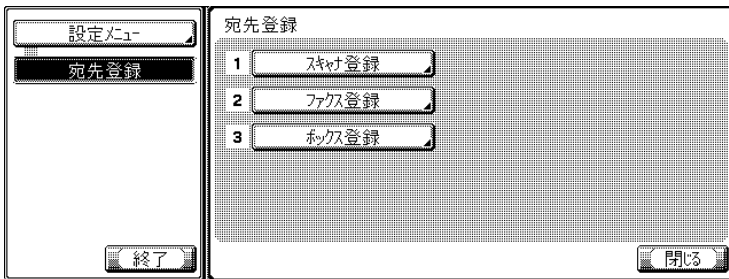
本機では、F コードを使用した掲示板ポーリング送信 / 受信を利用することができます。掲示板を使用するためには、掲示板ボックスを設定しておく必要があります。掲示板ボックスは、最大 10 個まで登録できます。

- 設定した内容は、掲示板ポーリングを受信するファクス側に知らせてください。
- 掲示板の操作については、p. 9-7 をごらんください。

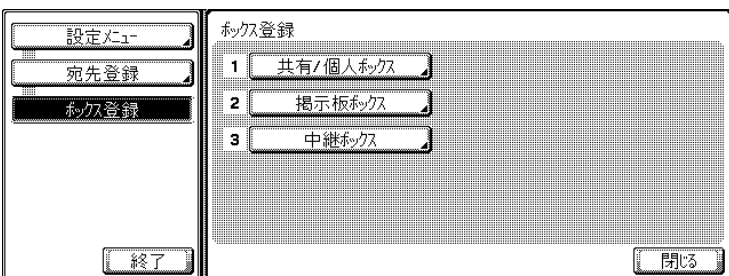
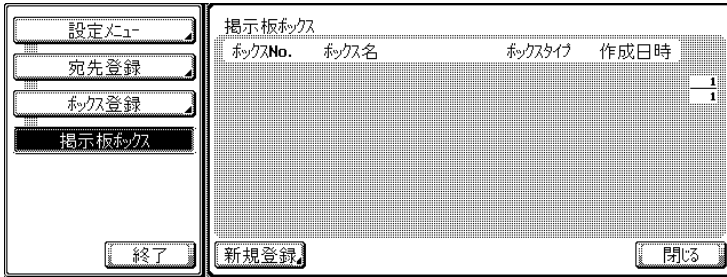
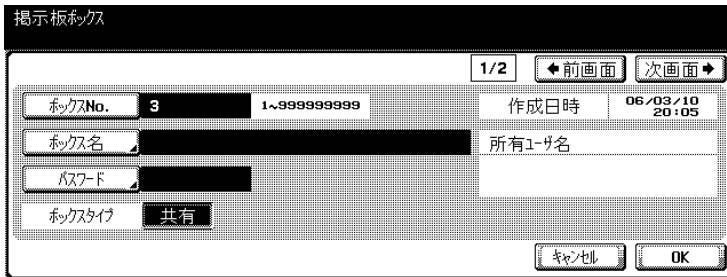
参照

掲示板ボックスは、PageScope Web Connection からも登録できます。PageScope Web Connection については、「第 13 章 PageScope Web Connection」をごらんください。

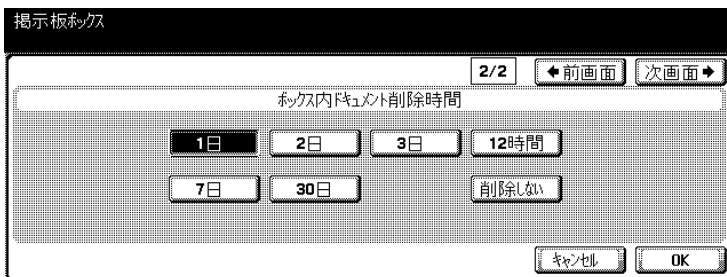
■ 掲示板ボックスを登録する

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［ボックス登録］を押します。

4 ［掲示板ボックス］を押します。

5 ［新規登録］を押します。

6 ［ボックス No.］、［ボックス名］、［パスワード］を設定します。

7 ［次画面］を押します。

登録画面（2/2）が表示されます。

8 ボックス内ドキュメント削除時間を設定します。

9 ［OK］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

ボックスが登録されます。

11 サブエリアの［終了］を押します。

- ボックス名は半角 20 文字（全角 10 文字）以内で設定します。
- パスワードは英数字 8 桁以内で設定します。
- ボックスタイプについては、ユーザーズガイド（ボックス機能編）をごらんください。

［ボックス内ドキュメント削除時間］については、ユーザーズガイド（ボックス機能編）をごらんください。

■ パスワード（アクセスパスワード）

パスワードを英数字で 8 桁以内で設定します。

掲示板ポーリング送受信時のファクスの動作

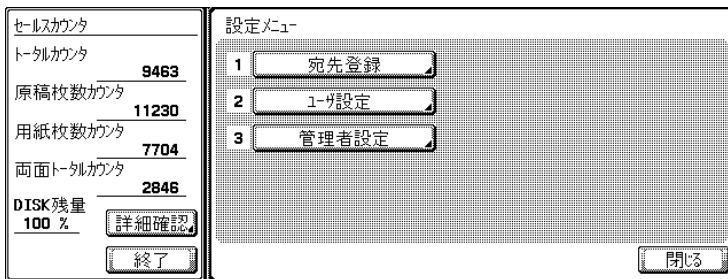
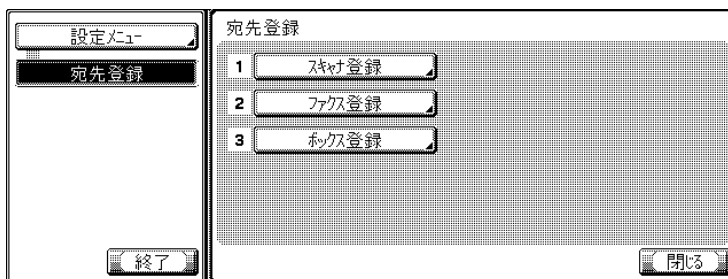
掲示板のポーリング送信側 掲示板からポーリング送信する	掲示板のポーリング受信側 掲示板を指定してポーリング受信する
掲示板に、ポーリング送信する文書を蓄積しておく。 ⇨	ボックス No. を指定し、ポーリング受信指示をする。

掲示板ボックスの登録時に設定したパスワードを使用してボックスに登録してある原稿をプリントすることができます。

10.9 中継ボックスを設定する

本機では、F コードを使用した中継配信機能を利用することができます。本機を中継配信局として利用するには、設定メニューの機能 ON/OFF 設定で、中継受信機能を ON に設定し、さらに中継ボックスを登録する必要があります。中継ボックスは、最大 5 個まで登録できます。

- 設定した内容は、文書を送信する中継指示局側に知らせてください。
- 中継配信機能を利用するには、あらかじめ中継配信先をグループとして登録しておく必要があります。

参照

- 中継受信機能の設定については、p. 11-34 をごらんください。
- 中継先を指定して送る操作（中継指示局の操作）については、p. 7-38 をごらんください。
- グループの登録については、p. 10-15 をごらんください。

■ 中継ボックスを登録する

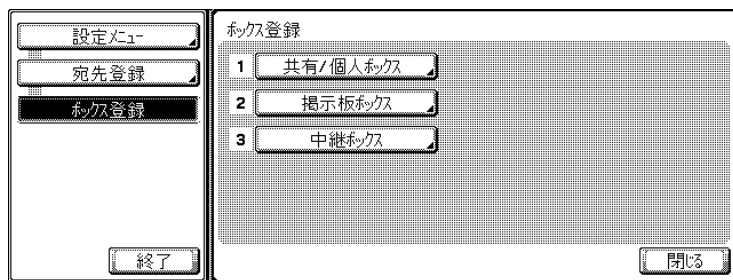
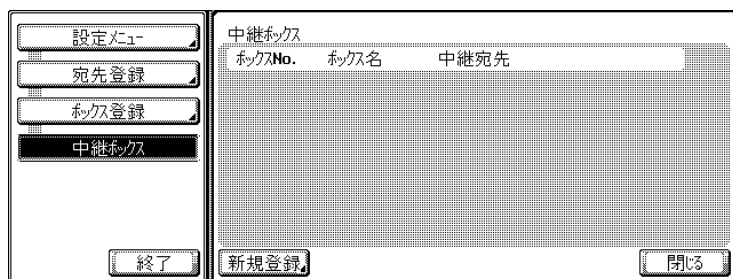
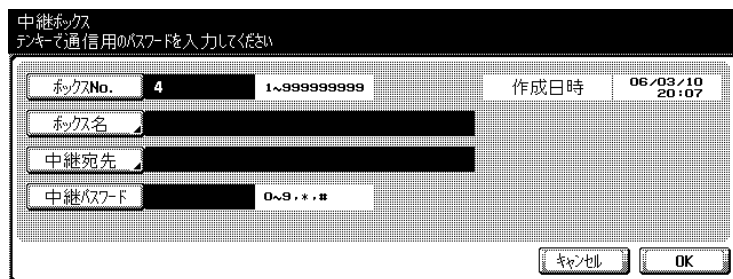
1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［ボックス登録］を押します。

参照

中継ボックスは、PageScope Web Connection からも登録できます。PageScope Web Connection については、「第 13 章 PageScope Web Connection」をごらんください。

4 ［中継ボックス］を押します。

5 ［新規登録］を押します。

6 ［ボックス No.］、［ボックス名］、［中継宛先］、［中継パスワード］を設定します。

7 ［OK］を押します。

8 ［閉じる］を押します。

ボックスが登録されます。

9 サブエリアの［終了］を押します。

- ボックス名は半角 20 文字（全角 10 文字）以内で設定します。
- 中継宛先は、あらかじめ設定してあるグループを指定します。
- 中継パスワードは、0 ～ 9、*、# で入力します。

■ 中継配信のしくみ

中継配信では、それぞれのファクスが次のような役割で動作します。

中継配信時のファクスの動作

中継指示局 中継を依頼する	中継配信局 中継配信を行う	中継配信先 受信する
中継 BoxNo. 中継パスワードを指定し、中継配信局にファクスを送信する。 ⇨	中継指示局から送信された文書が、一時的にメモリ内の指定された中継ボックスに蓄積される。 ↓ 中継ボックスに登録されている宛先グループに対し、中継ボックス内の文書を同報送信する。 ⇨	中継局から送信された文書を受信する。

中継配信局において、機能 ON/OFF 設定の［中継プリント］を ON に設定すると、中継配信後に中継した文書をプリントします。詳しくは、p. 11-34 をごらんください。

10

10.10強制メモリ受信ボックスを設定する

設定メニューで、［強制メモリ受信設定］が ON に設定されている場合は、受信文書は強制メモリ受信ボックスに保存されます。

参照

強制メモリ受信での受信文書のプリント方法については、p. 8-5 をごらんください。

第 11 章

設定メニュー

設定メニューのファクス設定の操作、画面切り替えの操作について説明します。

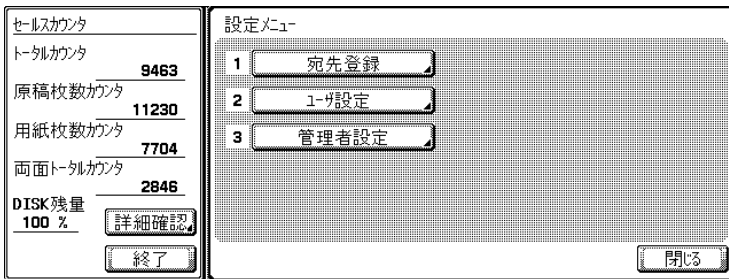
11.1 設定メニューの操作について

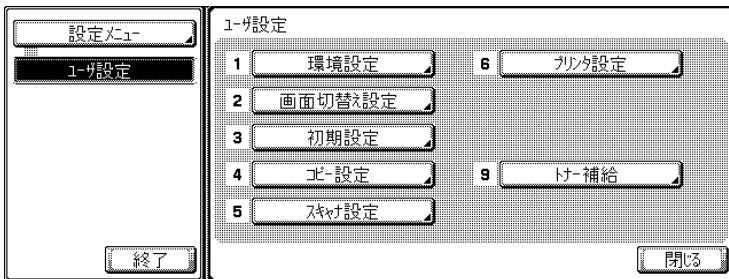
設定メニューには、本機の管理にかかわる設定が用意されています。混乱をきたさないために、本機を管理する管理者をお決めいただくことをおすすめします。

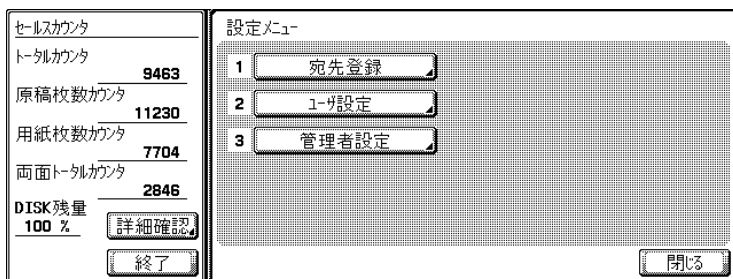
ここでは、設定メニューのうち、[ユーザ設定] および [管理者設定] について、画面を表示する方法、終了する方法を説明します。

■ ユーザ設定画面を表示するには

1 操作パネルの【ファクス】を押し、【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 [ユーザ設定] を押します。

■ ユーザ設定画面を終了するには

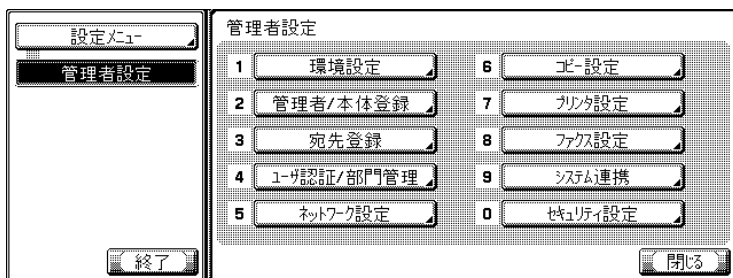
1 サブエリアの [終了] を押します。

■ 管理者設定画面を表示するには

1 操作パネルの【ファクス】を押し、【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

- 管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

■ 管理者設定画面を終了するには

1 サブエリアの［終了］を押します。

11.2 設定メニュー一覧

ファクスに関連したユーティリティ操作には、次の設定項目があります。

* はお買い上げ時の初期値です。

■ ユーザ設定＞画面切替え設定＞ファクス設定

ファクス画面の初期状態を設定します。（p. 11-14）

項目	説明	設定できる値
基本画面表示	ファクス画面の宛先欄の初期値を設定します。	プログラム * / グループ / 短縮 / アドレス / ダイレクト入力
プログラム初期表示	プログラムキーの初期値を設定します。	一時配信 / PAGE1 * ～ PAGE27
短縮 / アドレス初期表示	短縮 / アドレスの初期値を設定します。	常用 * / あ～ etc
宛先種類記号表示	宛先種類の記号を表示するかどうかを設定します。	する * / しない
宛先名表示文字数	宛先名の表示文字数を設定します。	14 文字 * / 24 文字

■ ユーザ設定＞画面切替え設定＞ファクス動作中画面

送信中、受信中のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。（p. 11-16）

項目	説明	設定できる値
送信中画面表示	［送信中］のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。	ON / OFF *
受信中画面表示	［受信中］のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。	ON / OFF *

■ ユーザ設定＞初期設定

ファクス機能の初期設定値を設定できます。（p. 11-18）

項目	説明	設定できる値
ファクス設定	ファクス機能初期値を設定します。	現在の設定値 / 出荷時の設定値 *

■ 管理者設定＞環境設定＞パワーセーブ設定＞パワーセーブ移行 - ファクス

パワーセーブ状態への移行について設定します。（p. 11-20）

項目	説明	設定できる値
パワーセーブ移行 - ファクス	即時に設定すると、パワーセーブ中に受信した場合、印字完了後即時にパワーセーブ状態になります。	通常 * / 即時

■ 管理者設定＞環境設定＞ユーザ操作禁止設定＞操作禁止設定＞ファクス複数宛先禁止

ファクスの複数宛先の送信を禁止します。（p. 11-22）

項目	説明	設定できる値
ファクス複数宛先禁止	ファクスの複数宛先の送信を禁止します。	する / しない *

■ 管理者設定＞ファクス設定＞発信元 / ファクス ID 登録

発信元名とファクス ID を登録します。（p. 11-24）

項目	説明	設定できる値
発信元名	登録した名前が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。	全角 15 文字（半角 30 文字）以内
ファクス ID	登録したファクス ID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。通常はマシンのファクス番号を入力します。	0 ～ 9、＋、スペース、＊、＃を使って 20 文字以内
発信元名登録	送信時に指定できる発信元名を登録します。	全角 15 文字（半角 30 文字）以内

■ 管理者設定＞ファクス設定＞発信元 / 受信情報

発信元情報と受信情報の付けかたを設定します。（p. 11-26）

項目	説明	設定できる値
発信元情報	発信元情報を印字する位置を設定します。	原稿内 / 原稿外＊ / OFF
相手先印字	ON の場合は、発信元名と宛先が発信元情報として印字されます。 OFF の場合は、発信元名とファクス ID が発信元情報として印字されます。	ON ＊ / OFF
受信情報	受信日付、受信時刻と受信番号を受信文書に印字するかを設定します。	原稿内 / 原稿外 / OFF ＊

■ 管理者設定＞ファクス設定＞回線パラメータ設定

発信や着信に関する項目を設定します。（p. 11-28）

項目	説明	設定できる値
ダイアル方式	ダイアル方式を設定します。	20pps * / PB / 10pps
受信方式	自動受信する場合は自動受信に、外部電話を接続している場合などで電話がかかる機会が多い場合や、リモート受信機能をお使いの場合には、手動受信に設定します。	自動受信 * / 手動受信
着信回数設定	着信回数を設定します。着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーン回数を設定します。	0 ～ 15 回（2 回 *）
オートリダイアル回数	相手が話し中などで応答できない場合にリダイアルする回数を設定します。	0 ～ 7 回（3 回 *）
オートリダイアル間隔	リダイアルの間隔を設定します。	1 ～ 15 分（3 分 *）
TEL/FAX 自動切換え	外部電話を接続している場合で、ファクスを優先して使うときに ON に設定します。着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。ファクスの場合は受信が開始され、TEL の場合はスピーカーから擬似リングバックトーンが鳴ります。	ON / OFF *
外部 TEL 呼出モニター音	外部電話の回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。 この設定は、［TEL/FAX 自動切換え］が ON に設定されている場合に表示されます。	ON / OFF *
外部 TEL 呼出時間	外部電話を接続している場合に、着信してから外部電話を呼び出すまでの時間を設定します。 この設定は、［TEL/FAX 自動切換え］が ON に設定されている場合に表示されます。	5 / 10 / 15 / 20 * / 25 / 30 / 60 / 90 / 120 / 150 / 180 / 210 / 240sec
留守番電話接続設定	外部電話として留守番電話を接続する場合に、ON に設定します。	ON / OFF *
回線モニター音	通信時に回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。	ON / OFF *
回線モニター音レベル	スピーカーの音量を設定します。	0 ～ 31（16 *）

■ 管理者設定＞ファクス設定＞送信 / 受信設定

ポーリング送信時のファイルの扱いや、受信時のプリント方法を設定します。

受信に関する項目を設定します。（p. 11-31）

項目	説明	設定できる値
受信原稿両面プリント	ON に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。	OFF ＊ / ON
インチ系用紙優先選択	ON に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。	OFF ＊ / ON
記録用紙優先選択	各サイズの優先を設定した場合：優先サイズに記録されます。優先サイズが設定されていない場合は、もっとも近いサイズに記録されます。 各サイズの固定を設定した場合：設定したサイズだけに記録されます。	自動選択＊／サイズ固定／サイズ優先
記録用紙サイズ [*1]	受信文書を出力する用紙サイズを設定します。 初期設定は［インチ系用紙優先選択］の設定によって異なります。	A3 / B4 / A4 ＊ / $8^1/_2$ × 11 / $8^1/_2$ × 14 / 11 × 17
ボックス番号エラー動作（オプションのハードディスクが装着されていない場合、表示されません）	ボックスを使用したファクス受信において、未登録のボックス番号が指定された場合の動作を設定します。［ボックス自動生成］を選択すると、入力された番号のボックスが作成されます。	プリント＊ / 通信エラー / ボックス自動生成
着信拒否時の動作	着信拒否宛先に登録した番号から着信した場合の動作を設定します。	応答しない / 回線断＊
給紙トレイ固定 [*2]	受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に用紙トレイを設定します。	自動＊ / トレイ 1 / トレイ 2 / トレイ 3 / トレイ 4
縮小率	受信原稿の出力倍率を設定します。	87 ～ 96% ＊ / 等倍
ページ分割記録	ON に設定すると定形サイズより長い原稿を受信した場合に、ページ分割して記録されます。	OFF ＊ / ON
ポーリング送信後文書	ポーリング送信が終了した原稿を削除するかどうかを設定します。	削除する＊ / 削除しない
受信プリント部数	受信した文書をプリントする部数を設定します。	1 ＊～ 10

[*1] ［記録用紙サイズ］の設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。

[*2] トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定

送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。（p. 11-34）

項目		説明	設定できる値
機能 ON/ OFF 設定	F コード送信機能	F コード送信機能を使用するかどうかを設定します。 F コード送信について、詳しくは p. 7-38 をごらんください。	ON ＊ / OFF
	中継受信機能	中継配信局として、中継指示局から受信した文書を中継配信先に同報送信します。中継配信機能を利用するには、中継ボックスを登録する必要があります。	ON ＊ / OFF
	中継プリント	中継指示局から受信した文書をプリントします。	ON/ OFF ＊
	宛先確認表示機能	ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。	ON/ OFF ＊
	ナンバーディスプレイ機能	ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、着信中の発信者情報の表示方法を設定します。	ON / OFF ＊ ナンバーを表示 / ネームを表示＊
ダイアルイン設定		ダイアルイン機能を使用するかどうかを設定します。 ON に設定する場合は、ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を設定します。	ON / OFF ＊ 次の番号を 11 桁以内で設定 ・ファクス番号 ・電話番号 ・PC-FAX 番号（PC-FAX 受信設定が ON の場合のみ表示されます。）
強制メモリ受信設定		強制メモリ受信機能を使用するかどうかを設定します。 ON に設定する場合は、プリント時に使用するパスワード（8 桁以内）を設定します。 強制メモリ受信とは、受信した文書をすぐにプリントせず、いったんメモリに蓄積し、指示をしてからプリントする機能です。	ON / OFF ＊ パスワードを 8 桁以内で設定
閉域受信設定		閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定する場合は、閉域受信に使用するパスワード（4 桁）を設定します。 閉域受信とは、パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能です。	ON / OFF ＊ パスワードを 4 桁で設定

項目	説明	設定できる値
転送ファクス設定	転送ファクス機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定する場合は、転送先を設定します。 転送ファクスとは、受信した原稿を、予め設定しておいた相手に転送する機能です。	OFF * / ON（常時プリント）/ ON（不達時のみプリント） 転送先設定
リモート受信設定	リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定する場合は、リモート受信に使用する番号を設定します。 リモート受信とは、外部電話から受信の指示をする機能です。	ON / OFF * リモート受信番号設定
再送信設定	通信エラーや相手機が電話中などの理由でオートリダイアルでも送信できなかった文書を再送信ボックスに一時的に保存します。	ON/ OFF * ON に設定した場合は、ファイル保持時間を 12 時間 /24 時間 /48 時間 /72 時間から指定します。
PC-FAX 受信設定 （オプションのハードディスクが装着されていない場合、表示されません）	PC-FAX 受信機能を使用するかどうかを設定します。 ON に設定する場合は、受信出力先を設定します。 PC-FAX 受信とは、受信した原稿ファイルをハードディスクの中にあるボックスに保存することです。 PC-FAX 受信設定を ON にすると、受信後にプリントするかどうかの設定とパスワードチェックの設定ができます。	OFF * / ON / ダイアルインのみ（ダイアルインが設定されている場合のみ表示されます。） 強制メモリ受信ボックス / 指定ボックス 受信後プリント （する / しない*） パスワードチェック （する / しない*）
TSI 受信振分け設定 （オプションのハードディスクが装着されていない場合、表示されません）	受信したファクスの TSI 情報で受信した原稿を振り分ける機能です。また登録されていない TSI 情報で受信した場合の動作を設定します。	ON / OFF * 受信プリント* / 強制メモリ受信ボックス 受信後プリント （する / しない*）

■ 管理者設定＞ファクス設定＞ PBX 接続設定

PBX 回線の接続方法を設定します。（p. 11-57）

項目	説明	設定できる値
PBX 接続機能	本機が PBX 回線に接続されている場合に、ON に設定します。 ON に設定した場合は、0 ～ 9999 の範囲で外線番号を設定します。外線番号は、0 発信の 0 のように外線に接続するための番号のことです。 短縮宛先やプログラム宛先に登録されているファクス番号が外線に設定されている場合は、登録されている電話番号の前に、ここで設定した外線番号がダイアルされます。	ON / OFF ＊ ON の場合は、外線番号

■ 管理者設定＞ファクス設定＞レポート出力設定

レポートのプリント方法を設定します。（p. 11-59）

項目	説明	設定できる値
通信管理レポート	レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。	OFF / 毎日 / 100通信毎＊ / 100/ 毎日 通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時間も設定できます。
送信結果レポート		常時 / エラー時のみ＊ / OFF
順次通信結果レポート		ON ＊ / OFF
予約レポート		ON ＊ / OFF
親展受信レポート		ON ＊ / OFF
掲示板送信結果レポート		ON ＊ / OFF
中継結果レポート		ON ＊ / OFF
中継依頼受付レポート		ON ＊ / OFF
PC-FAX 送信エラーレポート		ON / OFF ＊
同報結果レポート出力	同報送信結果レポートのプリント方法を設定します。	全宛先一括＊ / 一宛先毎
送信結果レポート画面	送信結果レポートの選択画面を表示するかどうかを設定します。［表示する］に設定すると、送信のたびに表示されます。	表示しない＊ / 表示する

■ 管理者設定＞ファクス設定＞設定値リスト

設定値リストについては、p. 12-45 をごらんください。

■ 管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定

増設回線に関する項目を設定します。（p. 11-62）
2 回線使用時のみ設定できます。

項目		説明	設定できる値
回線パラメータ設定	ダイアル方式	回線 2（増設回線）のダイアル方式を設定します。	20pps＊ /PB/10pps
	着信回数設定	回線 2（増設回線）の着信回数を設定します。着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーン回数を設定します。	0 ～ 15 回（2 回＊）
	回線モニター音	回線 2（増設回線）の通信時に、回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。	ON/OFF ＊
	回線モニター音レベル	スピーカーの音量を設定します。	0 ～ 31（16 ＊）
機能設定	PC-FAX 送信設定	PC-FAX 送信をする場合の回線を設定します。	指定なし＊ / 回線 1/ 回線 2
	ナンバーディスプレイ機能	回線 2（増設回線）のナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、着信中の発信者情報の表示方法を設定します。	ON / OFF ＊ ナンバーを表示 / ネームを表示＊
複数回線使用設定	回線 2 通信設定	回線 2（増設回線）の通信方法を設定します。	送受信兼用＊ / 受信専用 / 送信専用
ファクス ID		回線 2（増設回線）のファクス ID を登録します。	0 ～ 9、＋、スペース、＊、＃を使って 20 文字以内

■ 管理者設定＞システム連携＞ Pre/Suffix 自動設定

本機では使用しません。

■ 管理者設定＞セキュリティ設定＞セキュリティ詳細＞ FAX 送信禁止

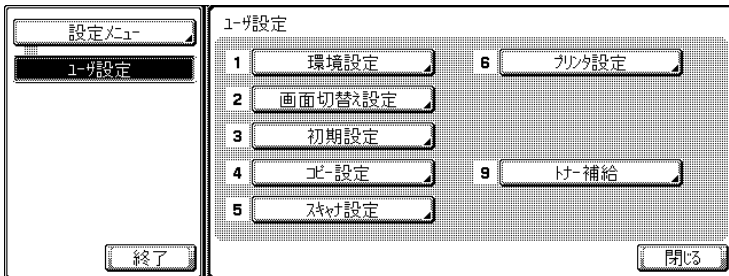
ファクス送信に関する機能を禁止します。（p. 11-70）

項目	説明	設定できる値
FAX 送信禁止	ファクス送信に関する機能をすべて禁止し、操作パネルの【ファクス】ボタンからの操作を受け付けません。	ON / OFF ＊

11.3 ファクス画面の初期状態を設定する（ファクス設定）

ファクス画面の初期状態を設定します。ここで選択した項目が初期値として表示されます。

- 基本画面表示: プログラム* / グループ / 短縮 / アドレス / ダイレクト入力
  - ファクス画面の宛先欄の初期値を設定します。
- プログラム初期表示：一時配信 / PAGE1 *～ PAGE27
  - プログラムキーの初期値を設定します。
- 短縮 / アドレス初期表示：常用* / あ～ etc
  - 短縮 / アドレスの初期値を設定します。
- 宛先種類記号表示：する* / しない
  - 宛先種類の記号を表示するかどうかを設定します。
- 宛先名表示文字数：14 文字* / 24 文字
  - 宛先名の表示文字数を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「ユーザ設定画面を表示するには」（p. 11-2）を参照し、ユーザ設定画面を表示します。

2 ［画面切替え設定］を押します。

3 ［ファクス設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［画面切替え設定］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

設定したい項目を選択します。

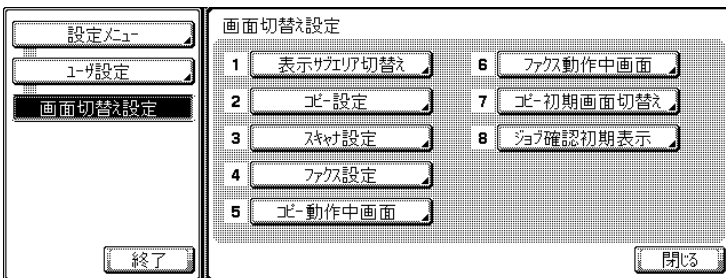
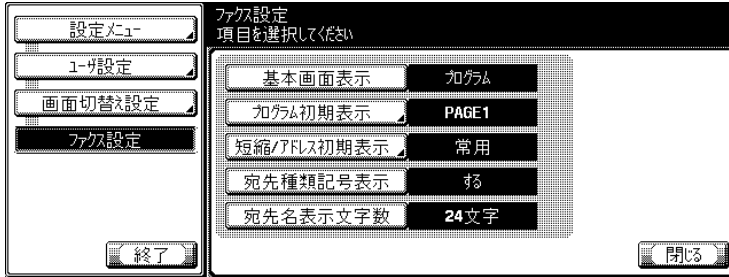
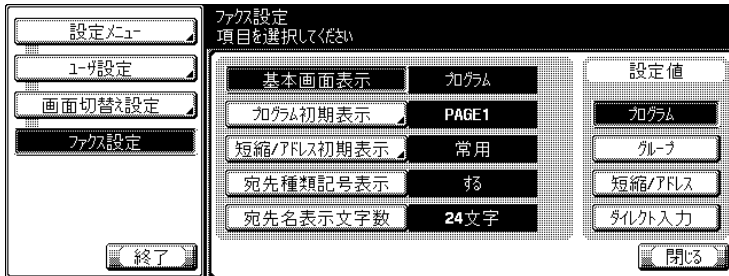
5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

詳しく説明します

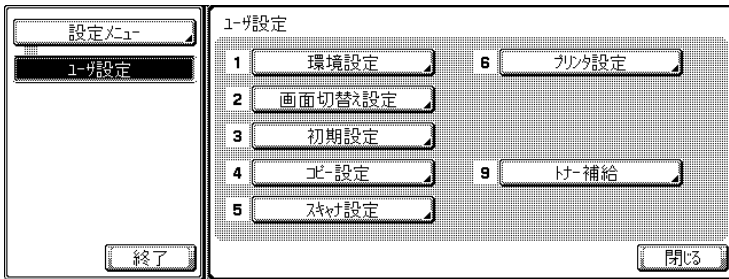
設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

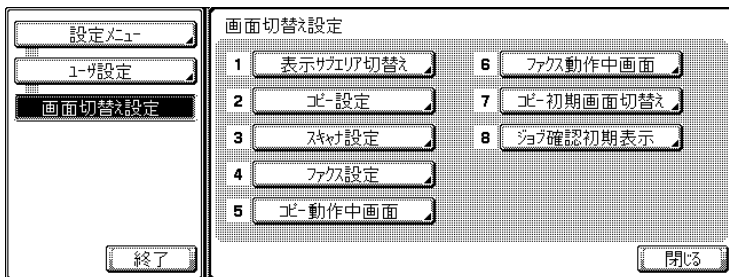
11.4 ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）

送信中、受信中のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。

- 送信中画面表示：ON / OFF *
  - 「送信中」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。
- 受信中画面表示：ON / OFF *
  - 「受信中」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「ユーザ設定画面を表示するには」(p. 11-2) を参照し、ユーザ設定画面を表示します。

2 ［画面切替え設定］を押します。

3 ［ファクス動作中画面］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［画面切替え設定］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

［送信中画面表示］または［受信中画面表示］を選択します。

5

［ON］または［OFF］のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

11.5 ファクス機能の初期設定値を設定する（初期設定）

ファクス機能の初期設定値を設定できます。

主電源を [ON] にしたとき、または【リセット】を押したときに選択されるファクス機能を設定できます。

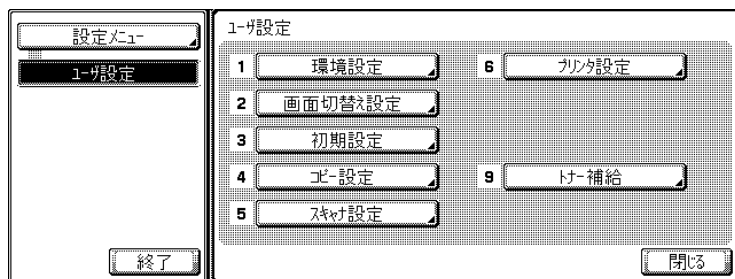
- ファクス：現在の設定値 / 出荷時の設定値＊
  - ［出荷時の設定値］
    設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がファクス機能の初期設定として登録されます。
  - ［出荷時の設定値］
    工場出荷時の設定値がファクス機能の初期設定に登録されます。

＊はお買い上げ時の初期値です。

原則

本設定を行うには、ファクスの基本画面を表示した状態で設定メニューに入ります。

1 「ユーザ設定画面を表示するには」（p. 11-2）を参照し、ユーザ設定画面を表示します。

2 ［初期設定］を押します。

3 ［出荷時の設定値］を押し、［OK］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［初期設定］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

4 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

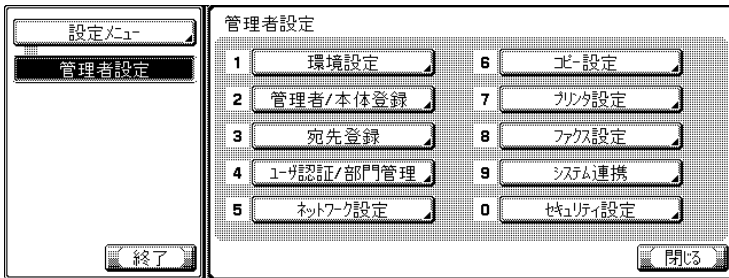
5 サブエリアの［終了］を押します。

11.6 パワーセーブ移行 - ファクス

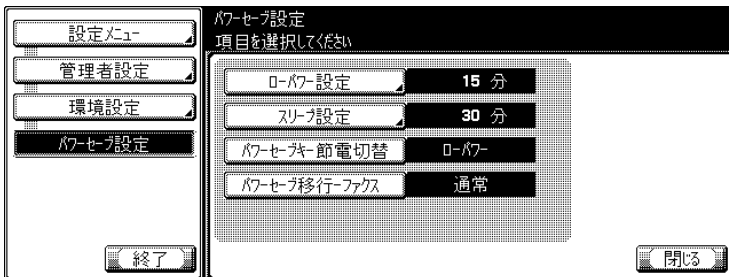
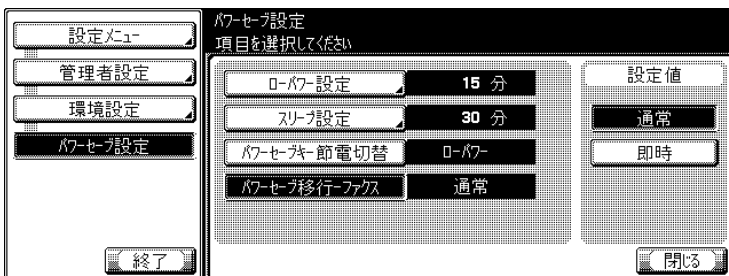
パワーセーブ状態への移行について設定します。

- パワーセーブ移行 - ファクス：通常* / 即時
  - ❍ 即時に設定すると、パワーセーブ中に受信した場合、印字完了後即時にパワーセーブ状態になります。

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」(p. 11-3) を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 [環境設定] を押します。

3 [パワーセーブ設定] を押します。

4 [パワーセーブ移行 - ファクス] を押します。

5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。[環境設定] の場合は、テンキーで「1」を入力します。

6. ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

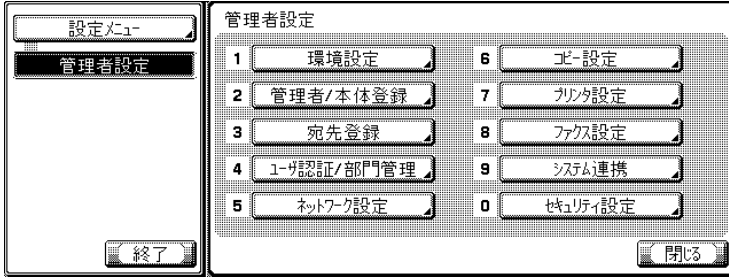
7. サブエリアの［終了］を押します。

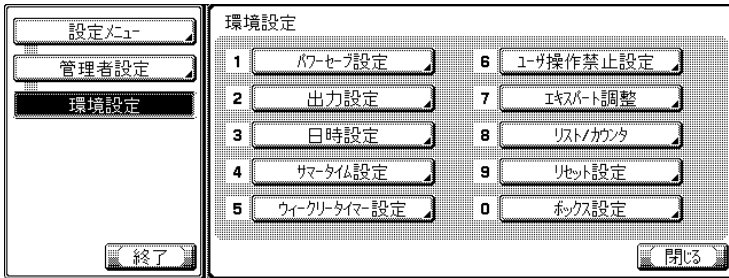
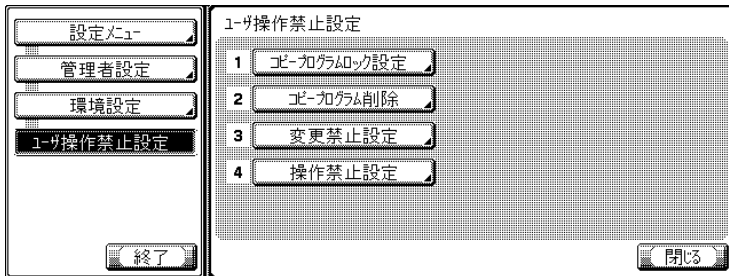
11.7 ファクス複数宛先禁止

ファクスの複数宛先の送信を禁止します。

- ファクス複数宛先禁止：する / しない*

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」(p. 11-3) を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［環境設定］を押します。

3 ［ユーザ操作禁止設定］を押します。

4 ［操作禁止設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

5 ［ファクス複数宛先禁止］を押して［する］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7 サブエリアの［終了］を押します。

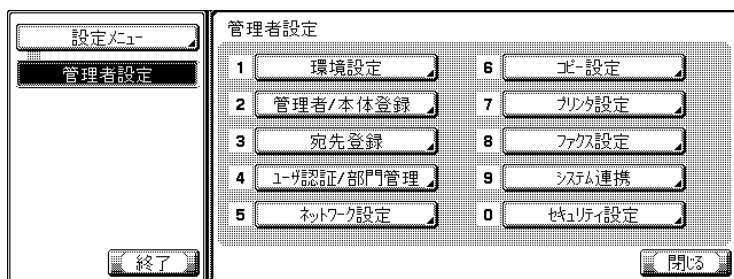
11.8 発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）

発信元名とファクス ID を登録します。

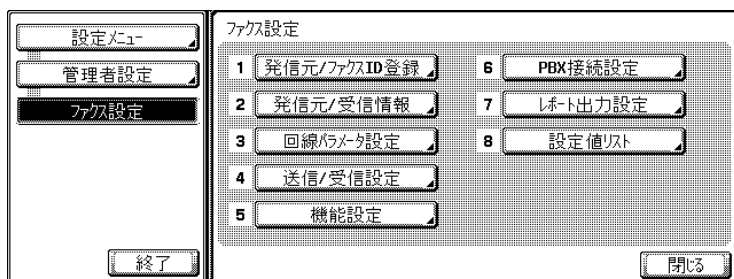
- 発信元名：全角 15 文字（半角 30 文字）以内
  - 登録した名前が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。
- ファクス ID：0 〜 9、＋、スペース、＊、＃を使って 20 文字以内
  - 登録したファクス ID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。
- 発信元名登録：
  - 送信時に指定できる発信元名を登録します。

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

［ファクス設定］を押します。

3

［発信元 / ファクス ID 登録］を押します。

4

［発信元名］を押します。

名前入力画面が表示されます。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

5 発信元名を入力し、［OK］を押します。

6 テンキー、[+]、［スペース］、［←］、［→］、を使ってファクス ID を入力します。

参照

文字入力の操作については、p. 14-4 をごらんください。

入力した文字を訂正する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

- ［+］ ：＋が入力されます。
- ［スペース］ ：スペースが入力されます。
- ［←］ ：カーソルが左に移動します。
- ［→］ ：カーソルが右に移動します。
- ［削除］ ：カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。
  カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

詳しく説明します

- 設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。
- 入力した文字を全て削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

7 複数の発信元名を登録する場合は、［発信元名登録］を押します。

8 登録したいリストを選択して［編集］を押し、登録名を入力して［OK］を押し、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

- 発信元名は 20 件まで登録できます。
- 登録した発信元名は、送信時に読込設定画面から選択できます。詳しくは、p. 7-28 をごらんください。

9 ［OK］を押して、［閉じる］を押します。

発信元名とファクス ID が登録されます。

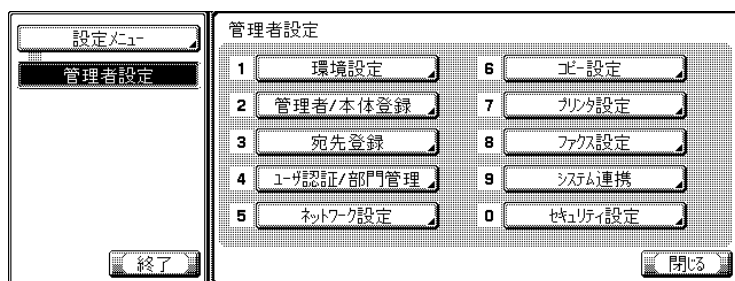
10 サブエリアの［終了］を押します。

11.9 発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）

発信元 / 受信情報の記録方法を設定します。

発信元情報、受信情報の記録方法には、それぞれ次の種類があります。

- 発信元情報
  - 原稿外 * : 原稿の外側に発信元情報が印字されます。
  - 原稿内 : 発信元情報が原稿に上書きして印字されます。
  - OFF : 発信元情報は印字されません。
- 相手先印字
  - ON * : 発信元名と宛先が発信元情報として印字されます。
  - OFF : 発信元名とファクス ID が発信元情報として印字されます。
- 受信情報
  - 原稿外:受信文書の下部に受信時刻と受信番号が印字されます。
  - 原稿内:受信時刻と受信番号が受信文書に上書きして印字されます。
  - OFF * : 受信情報は印字されません。

* はお買い上げ時の初期値です。

「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

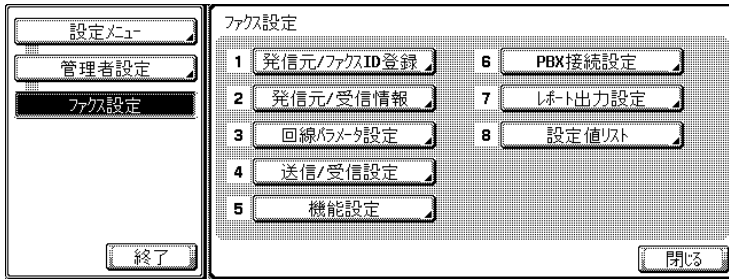
- 発信元情報は、相手側の受信文書に印字されます。詳しくは p. 2-49 をごらんください。
- 受信情報については、詳しくは p. 3-17 をごらんください。

2

［ファクス設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

3

［発信元 / 受信情報］を押します。

4

設定したい項目を選択します。

詳しく説明します

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

11.10発信 / 着信方法を設定する（回線パラメータ設定）

発信や着信に関する項目を設定します。

- ダイアル方式：20pps＊ / PB / 10pps
  - ダイアル方式を設定します。
- 受信方式：自動受信＊ / 手動受信
  - 自動受信する場合は自動受信に、外部電話を接続している場合などで電話がかかる機会が多い場合や、リモート受信機能をお使いの場合には、手動受信に設定します。
- 着信回数設定：0 ～ 15 回（2 回＊）
  - 着信回数を設定します。着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーン回数を設定します。
- オートリダイアル回数：0 ～ 7 回（3 回＊）
  - 相手が話し中などで応答できない場合にリダイアルする回数を設定します。
- オートリダイアル間隔：1 ～ 15 分（3 分＊）
  - リダイアルの間隔を設定します。
- TEL/FAX 自動切換え：ON / OFF＊
  - 外部電話を接続している場合で、ファクスを優先して使うときに ON に設定します。着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。
    ファクスの場合は受信が開始され、TEL の場合はスピーカーから擬似リングバックトーンが鳴ります。
- 外部 TEL 呼出モニター音：ON / OFF＊
  - 外部電話の回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。
    この設定は、［TEL/FAX 自動切換え］が ON に設定されている場合に表示されます。
- 外部TEL呼出時間:5 / 10 / 15 / 20＊ / 25 / 30 / 60 / 90 / 120 / 150 / 180 / 210 / 240sec
  - 外部電話を接続している場合に、着信してから外部電話を呼び出すまでの時間を設定します。この設定は、［TEL/FAX 自動切換え］が ON に設定されている場合に表示されます。
- 留守番電話接続設定：ON / OFF＊
  - 外部電話として留守番電話を接続する場合に、ON に設定します。
- 回線モニター音：ON / OFF＊
  - 通信時に回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。
- 回線モニター音レベル：0 ～ 31（16＊）
  - スピーカーの音量を設定します。

＊はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［回線パラメータ設定］を押します。

4 設定したい項目を選択します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

- 次のページまたは前のページを表示したい場合は、↓ または ↑ を押します。
- 設定を中止したい場合は、サブエリアの［終了］を押します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

［回線モニター音レベル］を変更するには、［回線モニター音レベル］を押して、［小さく］または［大きく］を押して、レベルを設定し、［OK］を押します。

11.11送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）

ポーリング送信時のファイルの扱いや、受信時のプリント方法を設定します。

- 受信原稿両面プリント：OFF * / ON
  - ON に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。
- インチ系用紙優先選択：OFF * / ON
  - ON に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。
- 記録用紙優先選択：自動選択 * / サイズ固定 / サイズ優先
  - サイズの優先を設定した場合：
    優先サイズに記録されます。優先サイズが設定されていない場合は、もっとも近いサイズに記録されます。
  - サイズの固定を設定した場合：
    設定したサイズだけに記録されます。
- 記録用紙サイズ [*1]：A3 / B4 / A4 * / $8^1/_2$ × 11 / $8^1/_2$ × 14 / 11 × 17
  - 受信文書を出力する用紙サイズを設定します。
    初期設定は［インチ系用紙優先選択］の設定によって異なります。
- ボックス番号エラー動作：プリント * / 通信エラー/ ボックス自動生成
  - ボックスを使用したファクス受信において、未登録のボックス番号が指定された場合の動作を設定します。
    ［ボックス自動生成］を選択すると、入力された番号のボックスが作成されます。
- 着信拒否時の動作 [*2]：応答しない / 回線断 *
  - 着信拒否宛先に登録した番号から着信した場合の動作を設定します。
- 給紙トレイ固定 [*3]：自動 * / トレイ 1 / トレイ 2 / トレイ 3 / トレイ 4
  - 受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に用紙トレイを設定します。

［ページ分割記録］が ON の場合には表示されません。

*1 ［記録用紙サイズ］の設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。

パスワード規約が ON に設定されている場合は、［ボックス自動生成］は選択できません。
パスワード規約については、「ユーザーズガイド (コピー機能編)」をごらんください。

*2 機能 ON/OFF 設定で、ナンバーディスプレイ機能を ON にした場合に表示されます。

*3 トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。

- 縮小率：87 ～ 96% * / 等倍 *4
  - 受信原稿の出力倍率を設定します。

*4 記録時の縮小率を［等倍］に設定した場合は、記録用紙優先選択、選択トレイ固定機能の設定は［自動］となります。また、ページ分割記録は［OFF］となります。

- ページ分割記録：OFF * / ON
  - ON に設定すると定形サイズより長い原稿を受信した場合に、ページ分割して記録されます。

［受信原稿両面プリント］が ON の場合には表示されません。

- ポーリング送信後文書：削除する * / 削除しない
  - ポーリング送信が終了した原稿を削除するかどうかを設定します。
- 受信プリント部数：1 * ～ 10
  - 受信した文書をプリントする部数を設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

3 ［送信 / 受信設定］を押します。

設定したい項目を選択します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

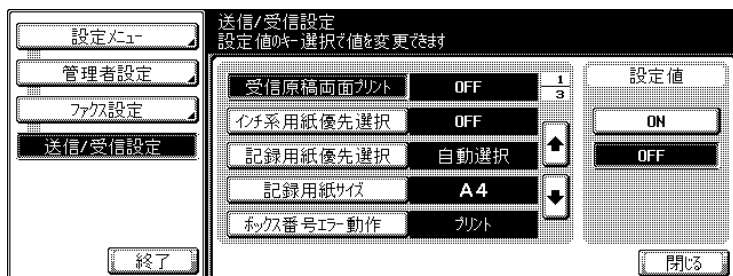
設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

詳しく説明します

- 次のページまたは前のページを表示したい場合は、↓ または ↑ を押します。
- 設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

11

■ 機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）

送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。

- F コード送信機能：ON * / OFF
  - ❍ F コード送信機能を使用するかどうかを設定します。

親展機能について、詳しくは p. 7-35 をごらんください。

F コード送信について、詳しくは p. 7-38 をごらんください。

- 中継受信機能：ON * / OFF
  - ❍ 中継配信局として、中継指示局から受信した文書を中継配信先に同報送信します。中継配信機能を利用するには、中継ボックスを登録する必要があります。

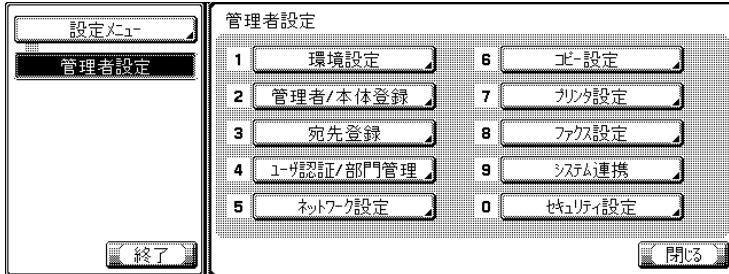
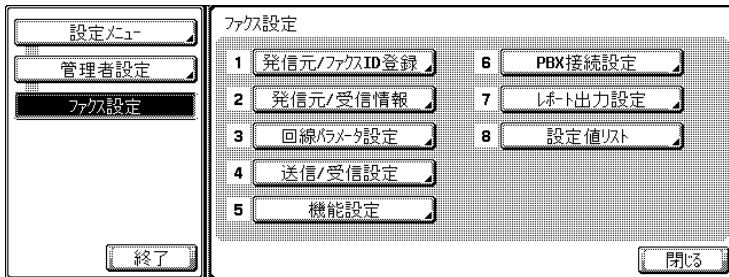
参 照

中継ボックスの登録については、p. 10-55 をごらんください。

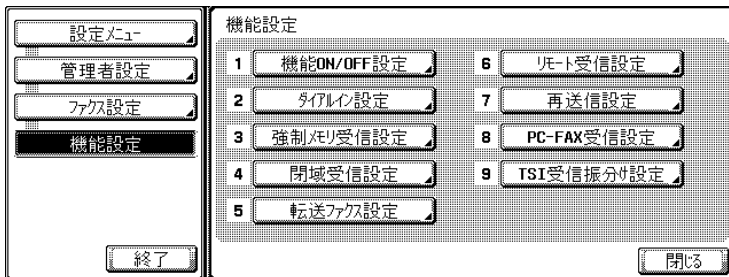
- 中継プリント：ON / OFF *
  - ❍ 中継指示局から受信した文書をプリントします。
- 宛先確認表示機能：ON / OFF *
  - ❍ ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。
- ナンバーディスプレイ機能
  - ❍ ナンバーディスプレイ機能：ON / OFF *
    ナンバーディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。
  - ❍ ネームディスプレイ機能：ON / OFF *
    - ❍ ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。
  - ❍ 着信中の発信者情報表示 : ナンバーを表示 / ネームを表示 *
    - ❍ 着信中の発信者情報の表示方法を設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

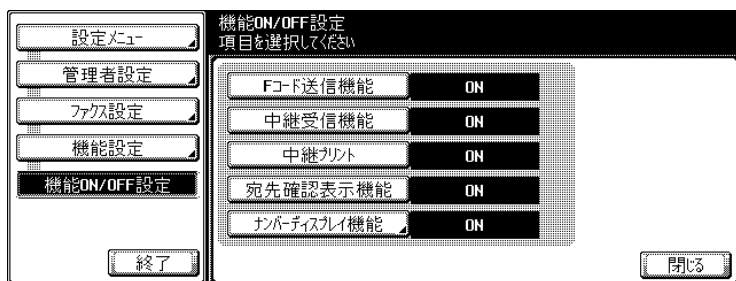
- ナンバーディスプレイ機能を ON にしないとネームディスプレイ機能を設定することはできません。
- 登録してあるファクス番号が着信中の発信者番号と一致する場合、登録名またはファクス番号が表示されます。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［機能設定］を押します。

4 ［機能 ON/OFF 設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

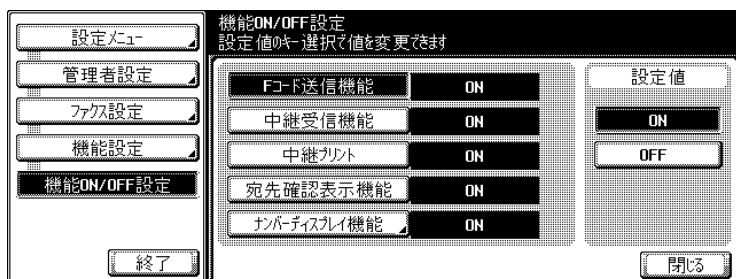
詳しく説明します

［強制メモリ受信］、［転送ファクス設定］、［PC-FAX受信設定］、［TSI 受信振り分け設定］のいずれかの機能が ON の場合、他の項目は表示されません。

11

5 設定したい項目を選択します。

6 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

7 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

8 サブエリアの［終了］を押します。

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

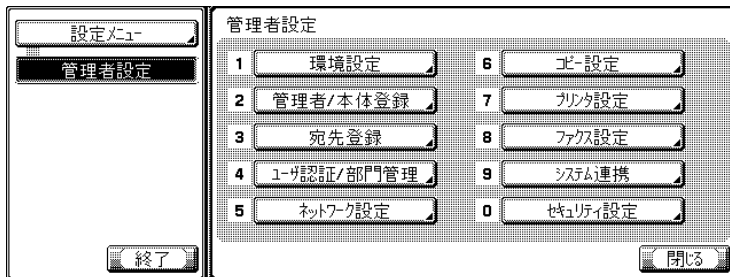
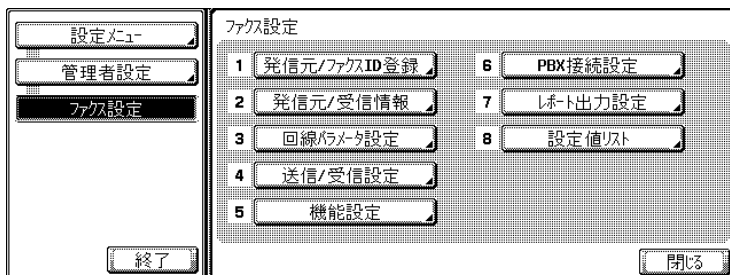
■ ダイアルインを設定する（ダイアルイン設定）

ダイアルイン機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定する場合は、ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を設定します。

ダイアルインとは、ファクス用の電話番号と、電話用の電話番号を別にもつことができる機能です。ファクス用の番号に着信するとファクスとして動作し、電話用の番号に着信すると、ファクスとしては動作しません。なお、ダイアルイン機能を使用するためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。

- ダイアルイン設定：ON / OFF *
  - ❍ ON に設定した場合は、以下を設定
- ファクス番号：11 桁以内
- 電話番号：11 桁以内
- PC-FAX 番号：11 桁以内

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

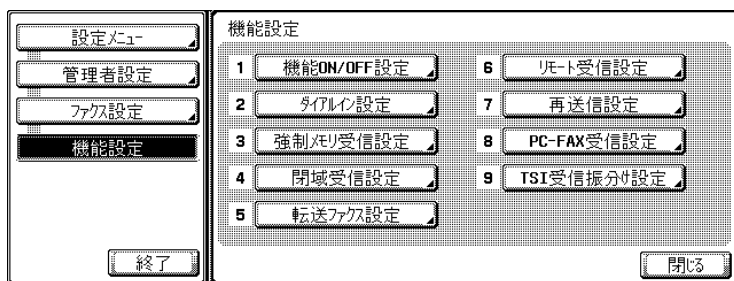
3 ［機能設定］を押します。

本機のダイアルイン機能は、モデムダイアルインに限定されます。

［PC-FAX 受信設定］が ON の場合のみ PC-FAX 番号は入力できます。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

11

4 ［ダイアルイン設定］を押します。

5 ［ダイアルイン機能］で［ON］を選択し、［ファクス番号］、［電話番号］、［PC-FAX 番号］を入力します。

ダイアルイン設定
番号をテンキーで入力してください
ダイアルイン機能
ON
OFF
ファクス番号
電話番号
PC-FAX番号
キャンセル
OK

6 ［OK］を押して、［閉じる］を押します。

7 サブエリアの［終了］を押します。

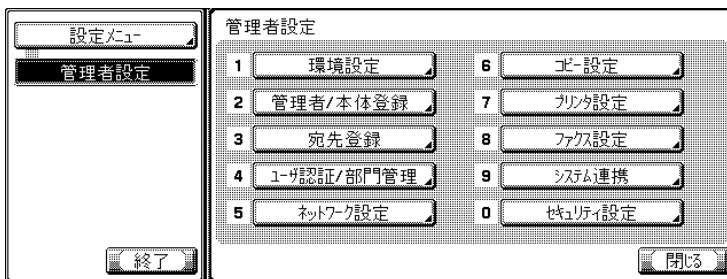
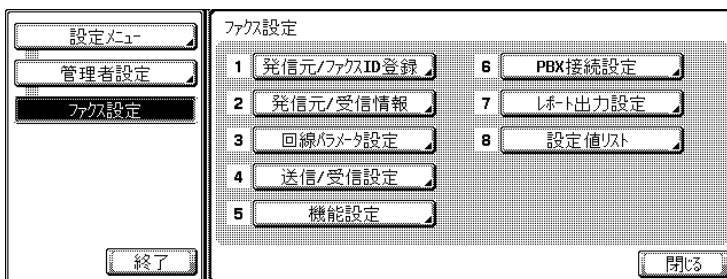
設定が変更されます。

- ［ファクス番号］、［電話番号］、［PC-FAX 番号］には、市外局番を含めた電話番号を入力してください。
- 【クリア】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。
- ［ファクス番号］と［PC-FAX 番号］に同じ電話番号を入力した場合は、ファクス番号が優先されます。
- 設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。
- ［PC-FAX 受信設定］が OFF の場合、［PC-FAX 番号］は表示されません。

■ 強制メモリ受信を設定する（強制メモリ受信設定）

強制メモリ受信機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定した場合は、プリント時に使用するパスワードを 8 桁以内で設定します。

強制メモリ受信とは、受信した文書をすぐにプリントせず、いったんメモリに蓄積し、指示をしてからプリントする機能です。

- 強制メモリ受信機能：ON / OFF ＊
  - ❍ ON に設定した場合は、パスワードを設定
- パスワード：1 ～ 8 桁以内

＊はお買い上げ時の初期値です。

- 強制メモリ受信を［ON］に設定した場合、PC-FAX 受信設定、TSI 受信振分け設定、転送ファクス設定は使用できません。
- 強制メモリ受信した文書のプリント方法などについては、p. 8-5 をごらんください。

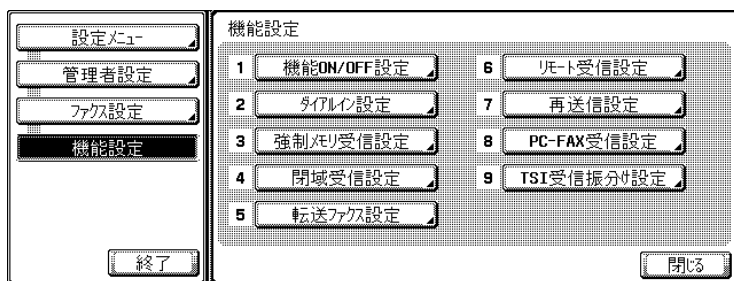
1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

3 ［機能設定］を押します。

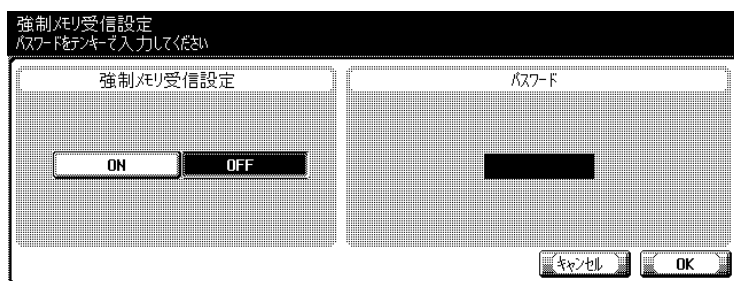
4

［強制メモリ受信設定］を押します。

5

［強制メモリ受信設定］で［ON］を選択し、［パスワード］に、プリント時に入力するパスワードを 8 桁以内で入力します。

6

［OK］を押して、［閉じる］を押します。

7

サブエリアの［終了］を押します。

設定が変更されます。

詳しく説明します

設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

■ 閉域受信を設定する（閉域受信設定）

閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定した場合は、閉域受信に使用するパスワードを、4 桁で設定します。

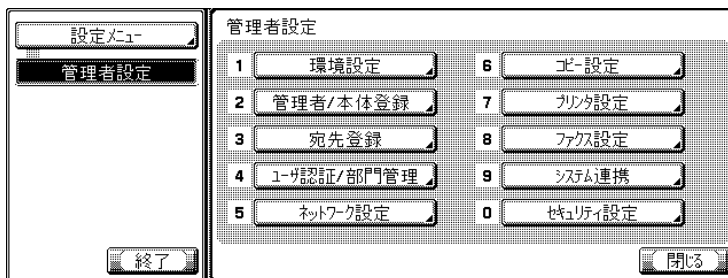
閉域受信とは、パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能です。

閉域受信が ON に設定されている場合は、相手機から送られてきたパスワードと、ここで設定したパスワードを照合し、パスワードが一致しない場合や、パスワードが付与されていない場合は通信エラーとなります。

原則

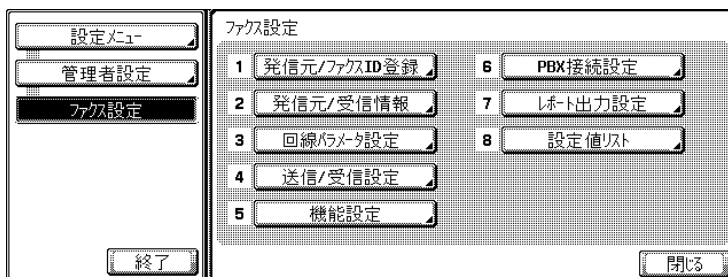
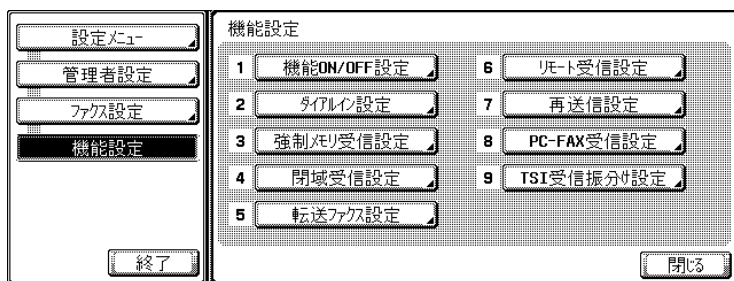
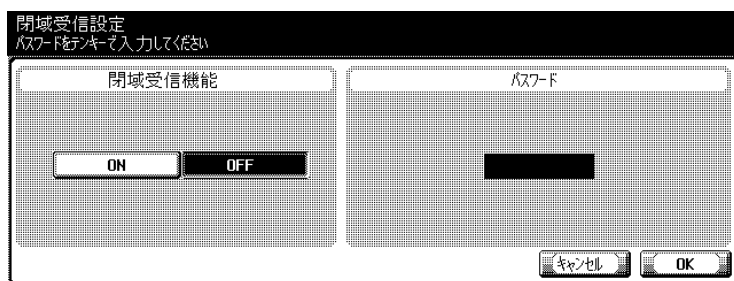
この機能は、相手機がパスワード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

- 閉域受信機能：ON / OFF ＊
  - ON に設定した場合は、パスワードを設定
- パスワード：4 桁
  - ＊はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［機能設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

11

4 ［閉域受信設定］を押します。

5 ［閉域受信機能］で［ON］を選択し、［パスワード］に、閉域受信に使用するパスワード（数字 4 桁）を入力します。

6 ［OK］を押して、［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7 サブエリアの［終了］を押します。

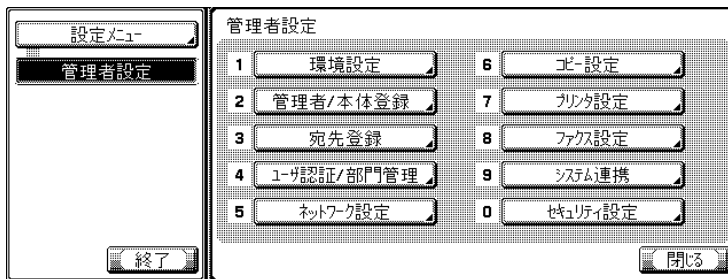
- 【クリア】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。
- 設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

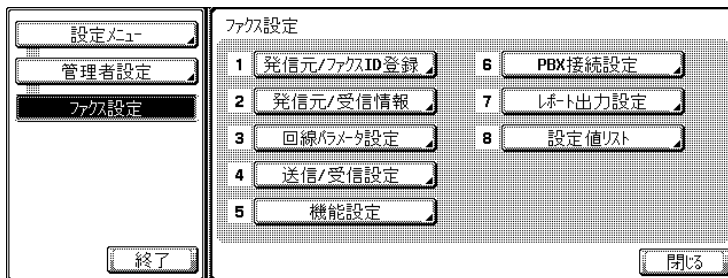
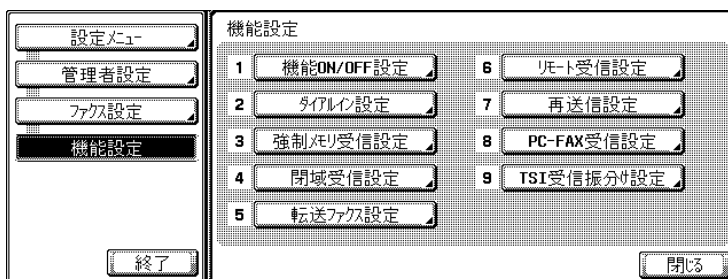
■ 受信文書を転送する（転送ファクス設定）

転送ファクスを設定します。転送ファクスとは、受信した原稿を、予め設定しておいた相手に転送する機能です。

- 転送ファクス設定：OFF＊ / ON（常時プリント）/ ON（不達時のみプリント）
  - ❍ ON に設定した場合は、転送先を設定
- 転送先：0 ～ 9、短縮、トーン、ポーズ、-

＊はお買い上げ時の初期値です。

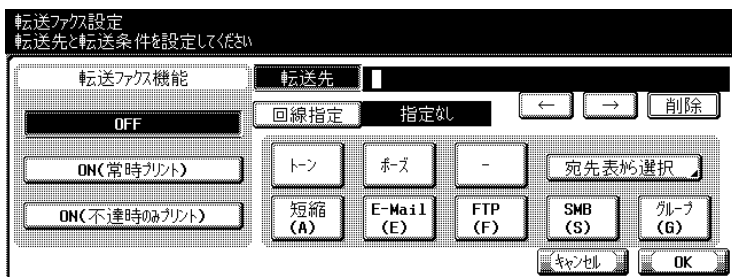
1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［機能設定］を押します。

4 ［転送ファクス設定］を押します。

転送ファクス設定を ON に設定した場合、強制メモリ受信設定、PC-FAX 受信設定、TSI 受信振分け設定は使用できません。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

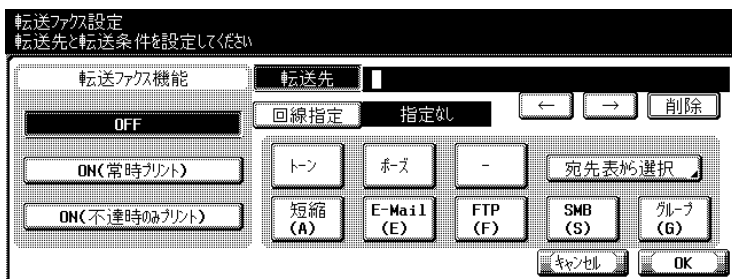
5

［転送ファクス機能］で［ON（常時プリント）］または［ON（不達時のみプリント）］を選択します。

❍［OFF］　受信文書は転送されません。

❍［ON（常時プリント）］
受信文書が転送され、本機でもプリントされます。

❍［ON（不達時のみプリント）］
受信文書が転送され、転送できなかった場合に本機でプリントされます。

6

［転送先］に、受信文書を転送する相手のファクス番号を入力します。
2 回線使用時は、回線指定もできます。

7

［OK］を押して、［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

8

サブエリアの［終了］を押します。

- ファクス番号は 38 桁まで入力できます。
- ［トーン］、［ポーズ］、［-］を使用できます。これらのキーの使いかたについては、p. 2-25 をごらんください。
- ［宛先表から選択］を押すと、登録されている宛先表から転送先を指定するこができます。
- ［短縮］、［E-Mail］、［FTP］、［SMB］または［グループ］を押して、テンキーで登録 No. を入力することで転送先を指定できます。
- 【クリア】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。
- 設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

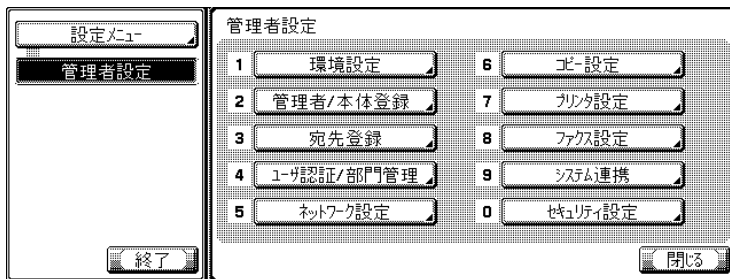
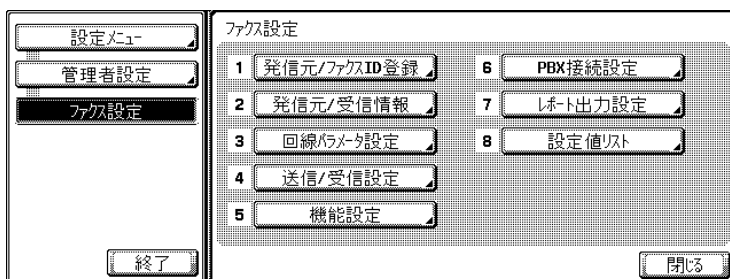
■ リモート受信を設定する（リモート受信）

リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定する場合は、リモート受信に使用する番号を 2 桁で設定します。

リモート受信とは、外部電話から受信の指示をする機能です。外部電話の受話器を上げた場合に、相手がファクスのときは、設定した 2 桁のリモート受信番号をダイアルすると、受信を開始することができます。

- リモート受信設定：ON / OFF *
  - ON に設定した場合は、リモート受信番号を設定
- リモート受信番号：2 桁

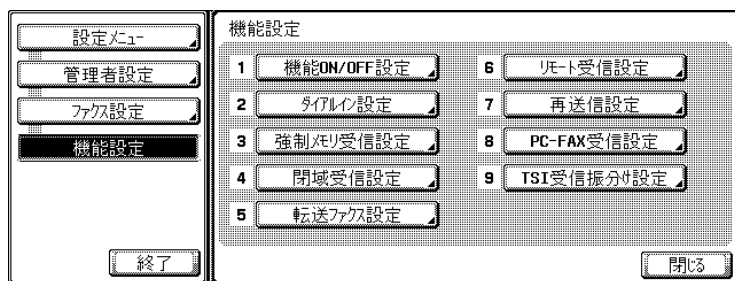
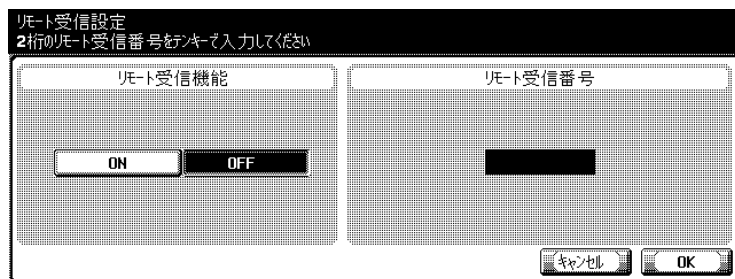
* はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［機能設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

11

4　［リモート受信設定］を押します。

5　［リモート受信機能］で［ON］を選択し、［リモート受信番号］に、リモート受信番号（数字 2 桁）を入力します。

6　［OK］を押して、［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7　サブエリアの［終了］を押します。

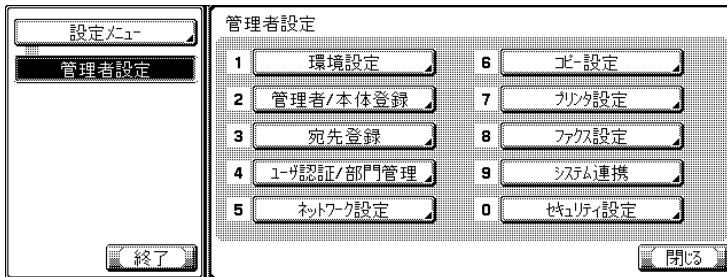
- 【クリア】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。
- 設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

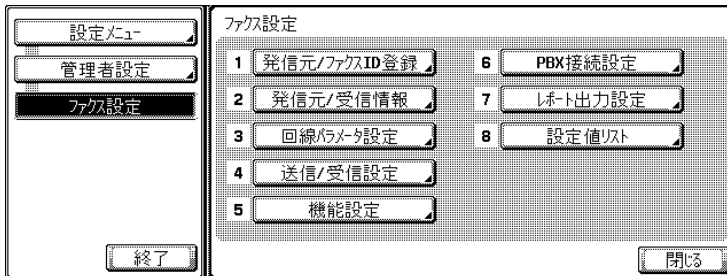
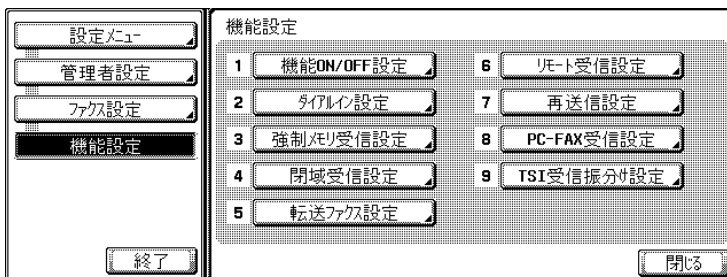
■ 再送信を設定する

通信エラーや相手機が電話中などの理由で、オートリダイアルでも送信できなかった文書を再送信ボックスに一時的に保存します。

- 再送信機能：ON / OFF ＊
  - ❍ ON に設定した場合は、ファイル保持時間を設定
- ファイル保持時間：12 時間 /24 時間 /48 時間 /72 時間

＊はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［機能設定］を押します。

4 ［再送信設定］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

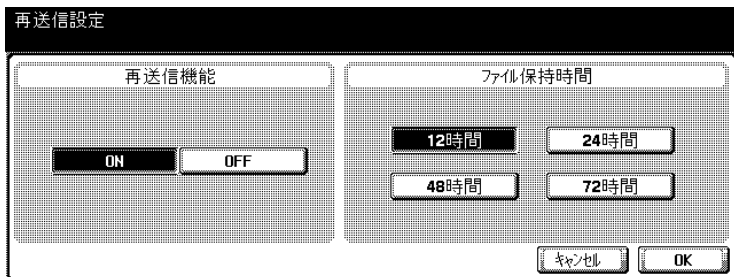
5

［再送信機能］で［ON］を選択し、［ファイル保持時間］を指定します。

6

［OK］を押して、［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

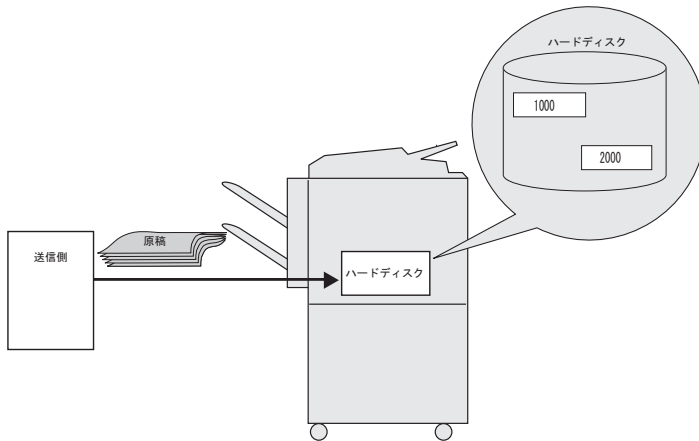
7

サブエリアの［終了］を押します。

設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

■ ハードディスク内のボックスに受信する（PC-FAX 受信設定）

PC-FAX 受信機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定する場合は、出力先のボックスを設定します。PC-FAX 受信とは、ファクスで受信した原稿ファイルをハードディスクの中にあるボックスに保存することです。保存されたファイルは、ネットワーク上のコンピューター上に取り込むことができます。

原則

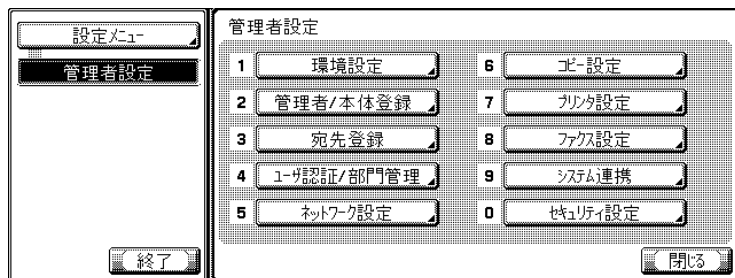
PC-FAX 受信機能を使用するには、オプションのハードディスクが必要になります。

- PC-FAX 受信設定：ON / OFF * / ダイアルインのみ
  - ON に設定した場合は、受信出力先を設定
- 受信出力先：強制メモリ受信ボックス * / 指定ボックス
  - 指定ボックスに設定すると、F コード（SUB）で指定されているボックスに保存されます。
- 受信後プリント：する / しない *
  - PC-FAX 受信設定を ON にすると、受信後にプリントするかどうかを設定できます。
- パスワードチェック：する / しない *
  - 受信出力先で［指定ボックス］を選択した場合は、通信パスワードを設定することができます。

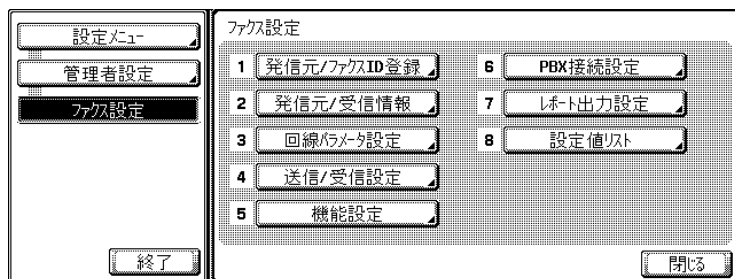
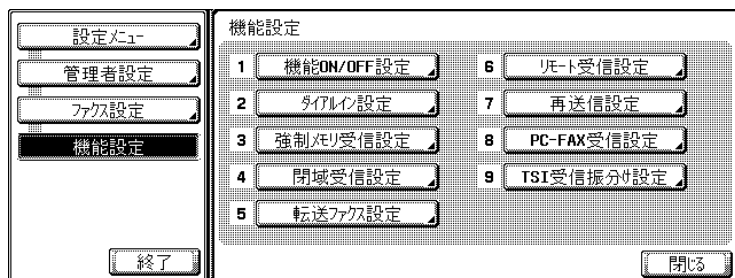
* はお買い上げ時の初期値です。

PC-FAX 受信設定を ON に設定した場合、強制メモリ受信、転送ファクス設定、TSI 受信振分け設定は使用できません。

詳しく説明します

- ［ダイアルインのみ］は、ダイアルイン設定が ON に設定されている場合に使用できます。ダイアルイン設定については、p. 11-37 をごらんください。
- ファクス受信文書は、TIFF 形式で強制メモリ受信ボックス、指定ボックスに保存されます。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［機能設定］を押します。

4 ［PC-FAX 受信設定］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

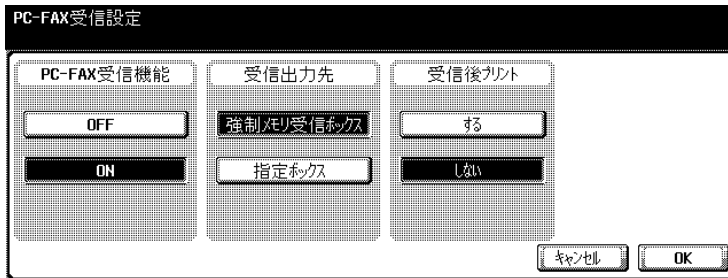
5

［PC-FAX 受信機能］で［ON］または［ダイアルイン］を選択します。

❍［OFF］PC-FAX 受信はされません。

❍［ON］ファクス番号、PC-FAX 番号のどちらを受けても PC-FAX 受信し、指定したボックスに受信文書が保存されます。

❍［ダイアルインのみ］
PC-FAX 番号のダイアルイン番号へ着信したときにのみ PC-FAX 受信し、指定したボックスに受信文書が保存されます。

- ［機能設定］の［ダイアルイン設定］を［OFF］に設定していると表示されません。

6

［受信出力先］で、PC-FAX 受信した文書を保存するボックスを選択します。

❍［強制メモリ受信ボックス］
強制メモリ受信ボックスに転送されます。

❍［指定ボックス］
送信側が指定した F コード（SUB）により転送されます。

PC-FAX 受信時の動作については、1-20 ページをごらんください。

設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

7

受信後にプリントをするかどうかを設定します。

8

受信出力先で［指定ボックス］を選択した場合は、パスワードのチェックをするかどうかの設定をします。

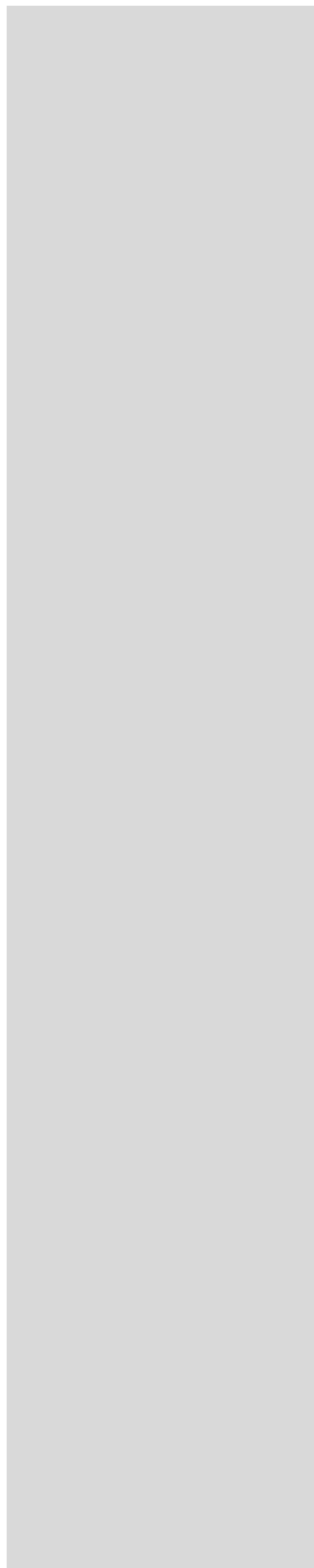
パスワードチェックを［する］にした場合は、通信パスワード（8 桁以内）を入力します。

9

［OK］を押して、［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

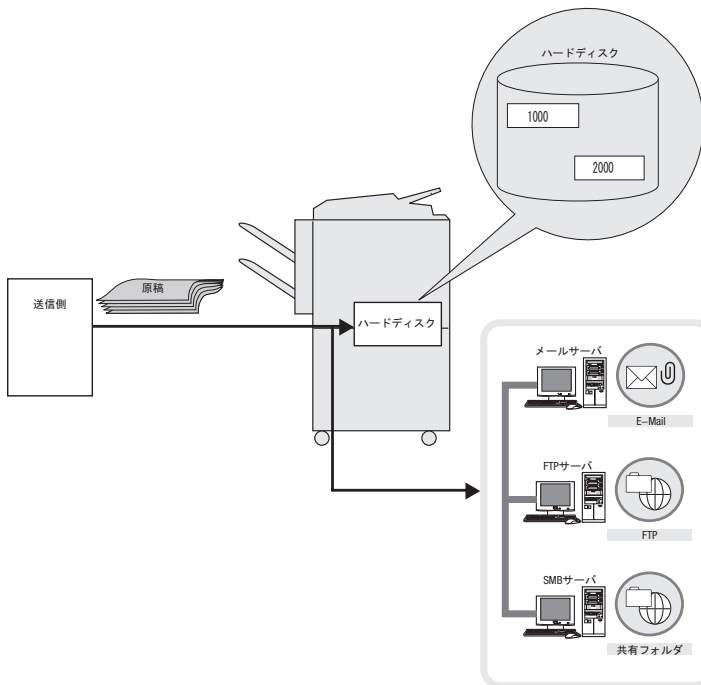
11

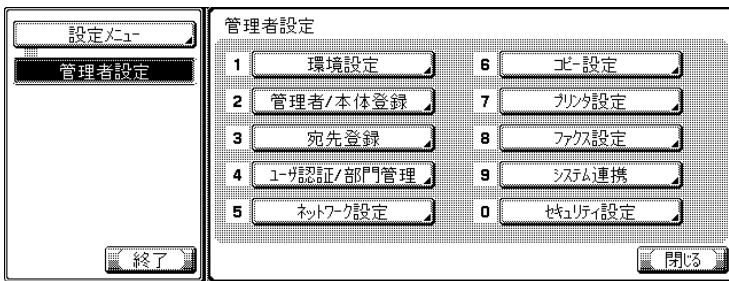
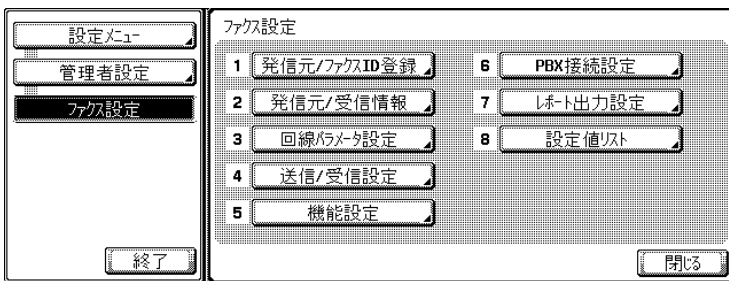
サブエリアの［終了］を押します。

■ 送信者ごとに受信原稿を振り分ける（TSI 受信振分け設定）

TSI 受信振分け機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、TSI 受信振分け先を登録します。

送信者のファクス ID(TSI) で受信した文書を、送信者ごとに用意した振分け先 (ボックス宛先 /E-mail 宛先 /FTP 宛先 /SMB 宛先) に配信します。

原則

TSI 受信振分け設定を使用するには、オプションのハードディスクが必要になります。

正常に配信が終了しなかった場合は、受信文書はプリントされます。

- TSI 受信振分け機能：ON / OFF *
  - ON に設定した場合は、振り分け先を設定します。
- 該当ボックスなし設定：受信プリント* / 強制メモリ受信ボックス
  - 登録されていない TSI 情報を受信したときの動作を設定します。
- 受信後プリント：する / しない*
  - 受信後にプリントをするかどうかを設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

詳しく説明します

- TSI 受信振分け設定を［ON］に設定した場合、強制メモリ受信、転送ファクス設定、PC-FAX 受信設定は使用できません。
- 受信後プリント機能は、振分け先が E-mail/FTP/SMB 宛先の場合にのみ有効です。

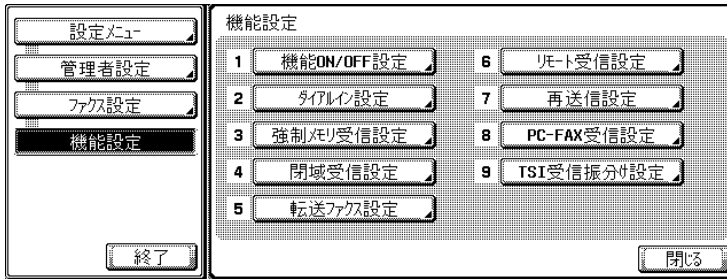
1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

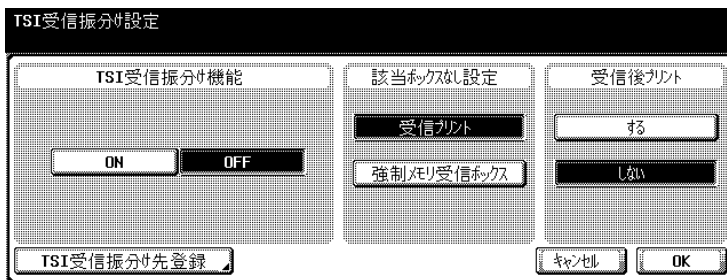
2 ［ファクス設定］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

3 ［機能設定］を押します。

［TSI 受信振分け設定］を押します。

5

TSI 受信振分けを設定するには [ON] を押します。

6

［該当ボックスなし設定］で、登録されていない TSI 情報を受信した場合の動作を選択します。

- [受信プリント］
  受信した文書をプリントします。
- ［強制メモリ受信ボックス］
  受信した文書を強制メモリ受信ボックスに保存します。

7

［受信後プリント］で、受信後にプリントするかどうかを設定します。

8

[TSI 受信振分け先登録] を押します。

登録 No. の選択画面が表示されます。

9 登録したい No. を選択し、［編集］を押します。

- 振分け先を削除したい場合は、削除したい振分け先を選択して［削除］を押します。
- 振分け先は、128 個まで登録できます。
- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼または▲を押します。

10 テンキー、[+]、［スペース］、［←］または［→］を使って、送信元の発信元情報（ファクス ID）を入力します。

詳しく説明します

- 実際の通信時には、[+]、［スペース］は、無視されます。
- 入力した文字を全て削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。
- 設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

❍ [+]	＋が入力されます。
❍［スペース］	スペースが入力されます。
❍ ［←］	カーソルが左に移動します。
❍ ［→］	カーソルが右に移動します。
❍［削除］	カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。 カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

11 ［宛先表から選択］、［ボックス No. 入力］または［宛先登録 No. 入力］を押し、振分け先を指定します。

- ボックス No. は、1 ～ 999999999 を指定できます。
- 親展ボックスは振分け先の対象外です。

12 ［OK］を押して、［閉じる］を押します。

13 ［OK］を押します。

TSI 受信振分けが設定されます。

14 サブエリアの［終了］を押します。

11.13構内交換機に関する機能を設定する（PBX 接続設定）

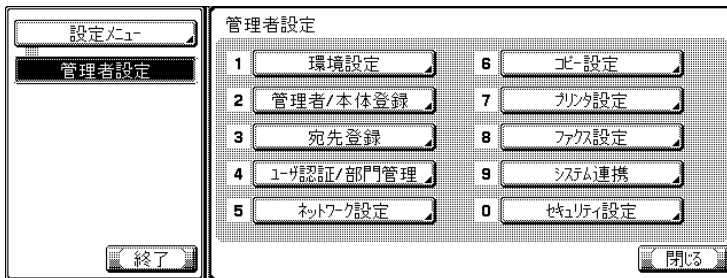
PBX 回線の接続方法を設定します。

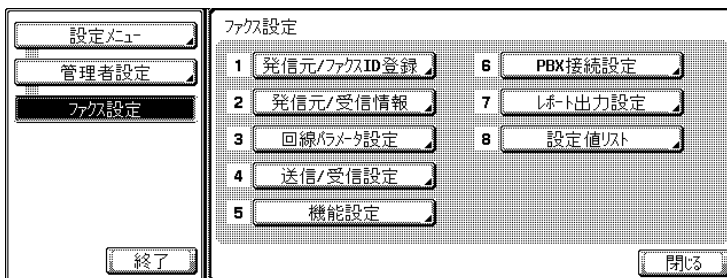
- PBX 接続機能：ON / OFF ＊
  - ❍ 本機が PBX 回線に接続されている場合に、ON に設定します。ON に設定した場合は、外線番号を設定します。
- 外線番号：0 〜 9999
  - ❍ PBX 接続モードが ON の場合に、外線アクセスコードを設定します。
    外線番号は、0 発信の 0 のように外線に接続するための番号のことです。
    短縮宛先やプログラム宛先に登録されているファクス番号が外線に設定されている場合は、登録されている電話番号の前に、ここで設定した外線番号がダイアルされます。

＊はお買い上げ時の初期値です。

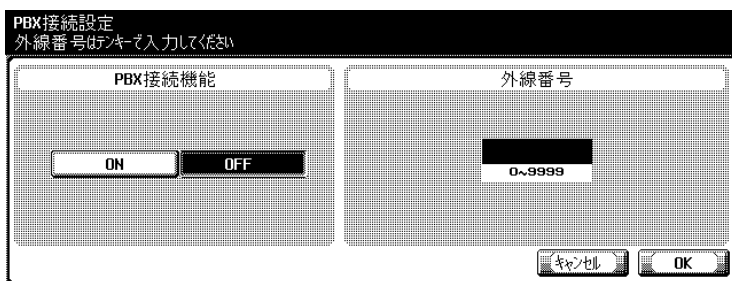
原則

PBX 接続設定を ON に設定する場合、ナンバーディスプレイ機能は OFF に設定してください。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［PBX 接続設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

11

4 ［PBX 接続機能］で、［ON］を選択します。

5 ［外線番号］に、テンキーで外線番号を入力します。

6 ［OK］を押して、［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7 サブエリアの［終了］を押します。

- 入力した文字を削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。
- 設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

11.14レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）

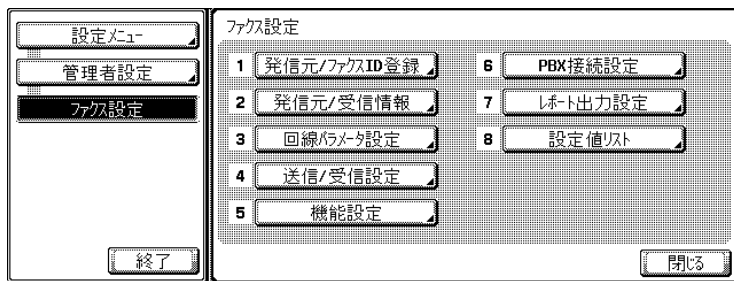
レポートのプリント方法、およびレポートをプリントするときの給紙トレイを設定します。

- 通信管理レポート：OFF / 毎日 / 100 通信毎 ＊ / 100/ 毎日
  - 通信管理レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。
- 送信結果レポート：常時 / エラー時のみ＊ / OFF
  - 送信結果レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。
- 順次通信結果レポート：ON ＊ / OFF
  - 順次通信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 予約レポート：ON ＊ / OFF
  - 予約レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 親展受信レポート：ON ＊ / OFF
  - 親展受信レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 掲示板送信結果レポート：ON ＊ / OFF
  - 掲示板送信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 中継結果レポート：ON ＊ / OFF
  - 中継結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 中継依頼受付レポート：ON ＊ / OFF
  - 中継依頼受付レポートをプリントするかどうかを設定します。
- PC-FAX 送信エラーレポート：ON / OFF ＊
  - PC-FAX 送信エラーレポートをプリントするかどうかを設定します。
- 同報結果レポート出力：全宛先一括＊ / 1 宛先毎
  - 同報送信結果レポートのプリント方法を設定します。

通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時間も設定できます。

［1 宛先毎］選択時は、リダイアルを行っても送信できない場合にのみ、同報送信結果レポートを出力します。送信が正常に終了した場合は出力しません。

11

- 送信結果レポート画面 *1：表示しない * / 表示する
  - 送信結果レポートの選択画面を表示するかどうかを設定します。［表示する］に設定すると、送信のたびに表示されます。

* はお買い上げ時の初期値です。

*1 ［送信結果レポート画面］で［表示する］に設定した場合は、ファクス送信時に表示された画面で［はい］を押すと送信結果レポートがプリントされます。［いいえ］を押すとプリントされません。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

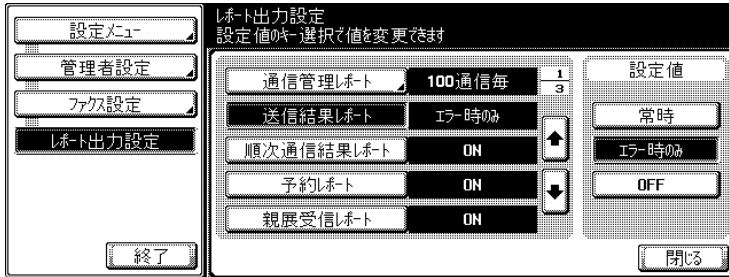
2 ［ファクス設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

3 ［レポート出力設定］を押します。

4 設定したい項目を選択します。

- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、⬇または⬆を押します。
- 設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7 サブエリアの［終了］を押します。

11.15増設回線を設定する

増設回線に関する項目を設定します。

原則

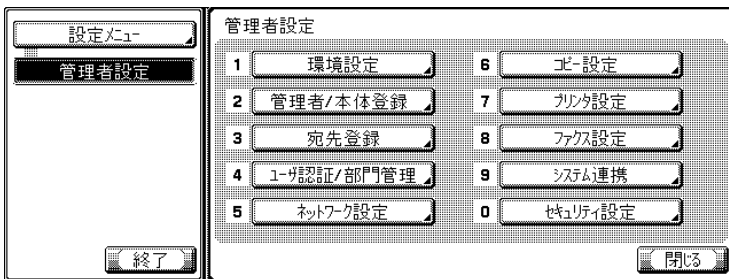
増設回線設定は、2 回線使用時のみ設定できます。

■ 回線パラメータ設定

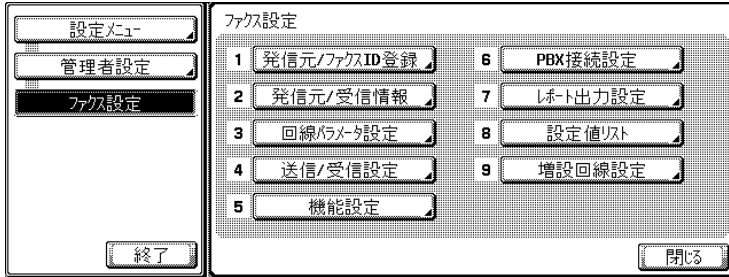
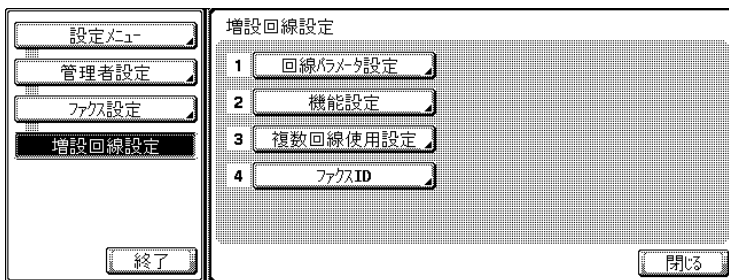
増設回線のパラメータを設定します。

- ダイアル方式：20pps＊ / PB /10pps
  - 回線 2（増設回線）のダイアル方式を設定します。
- 着信回数設定：0 ～ 15 回（2 回＊）
  - 回線 2（増設回線）の着信回数を設定します。着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーン回数を設定します。
- 回線モニター音：ON / OFF＊
  - 回線 2（増設回線）の通信時に、回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。
- 回線モニター音レベル：0 ～ 31（16＊）
  - スピーカーの音量を設定します。

＊はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

3 ［増設回線設定］を押します。

4 ［回線パラメータ設定］を押します。

5 設定したい項目を選択します。

6 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

7 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

8 サブエリアの［終了］を押します。

詳しく説明します

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

■ 機能設定

増設回線の機能を設定します。

- PC-FAX 送信設定：指定なし* / 回線 1/ 回線 2
  - ❍ PC-FAX 送信をする場合の回線を設定します。
- ナンバーディスプレイ機能
  - ❍ ナンバーディスプレイ機能：ON / OFF *
    - ❍ 回線 2（増設回線）のナンバーディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。
  - ❍ ネームディスプレイ機能：ON / OFF *
    - ❍ 回線 2（増設回線）のネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。
  - ❍ 着信中の発信者情報表示：ナンバーを表示 / ネームを表示*
    - ❍ 着信中の発信者情報の表示方法を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［増設回線設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

[機能設定] を押します。

5

設定したい項目を選択します。

6

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

7

[閉じる] を押します。

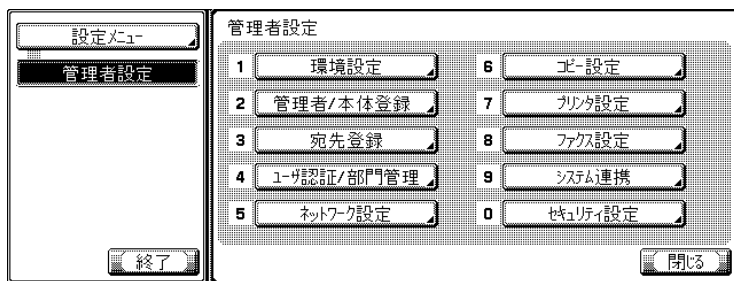
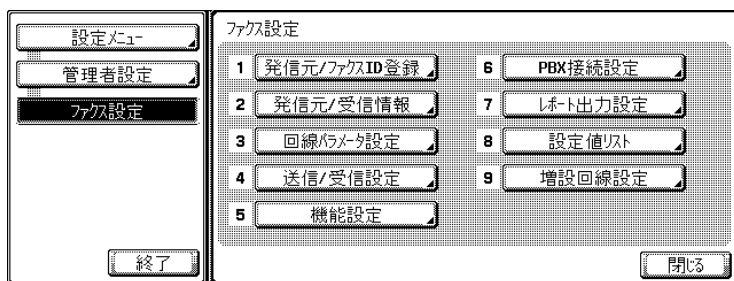
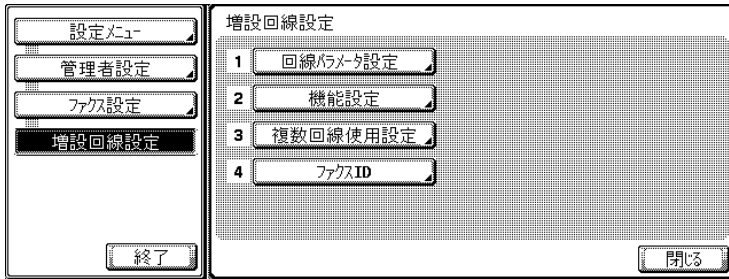
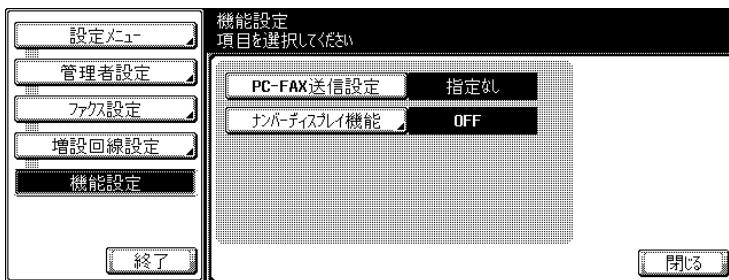
設定が変更されます。

8

サブエリアの [終了] を押します。

詳しく説明します

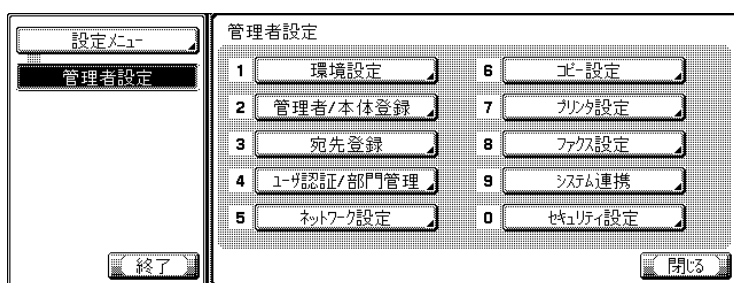
設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの [終了] を押します。

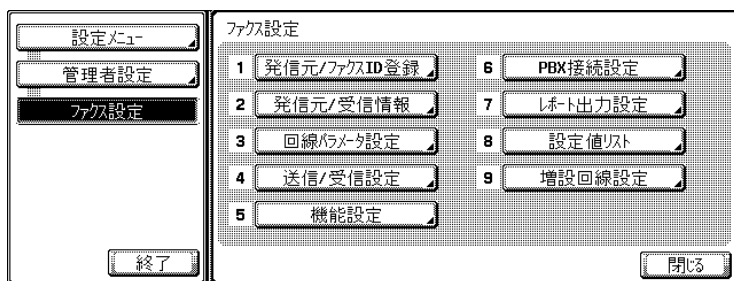
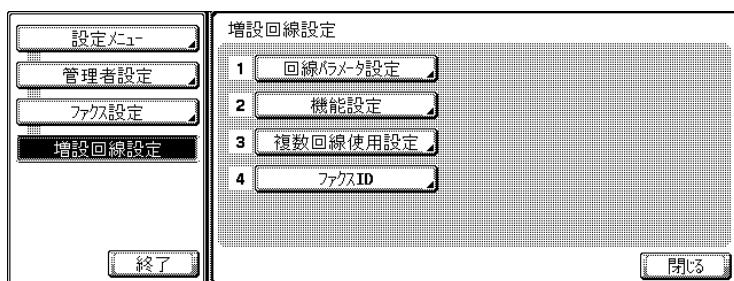
11

■ 複数回線使用設定

回線 2(増設回線) の通信方法を設定します。

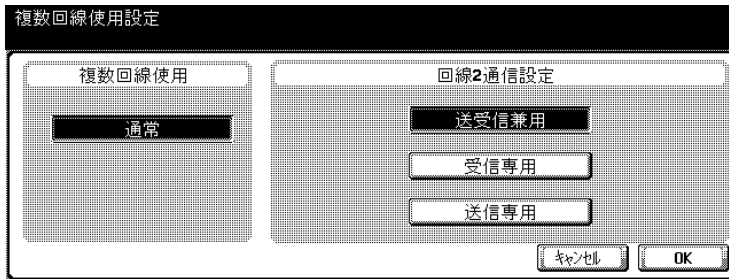
- 回線 2 通信設定：送受信兼用* / 受信専用 / 送信専用
  - ❍ 回線 2（増設回線）の通信方法を設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［増設回線設定］を押します。

4 ［複数回線使用設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6 ［OK］を押します。

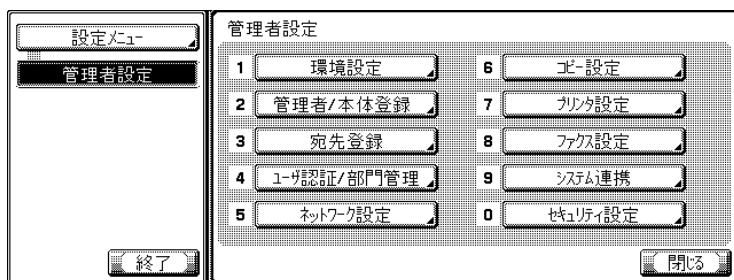
設定が変更されます。

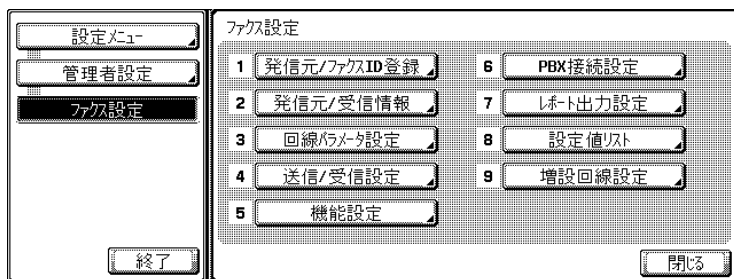
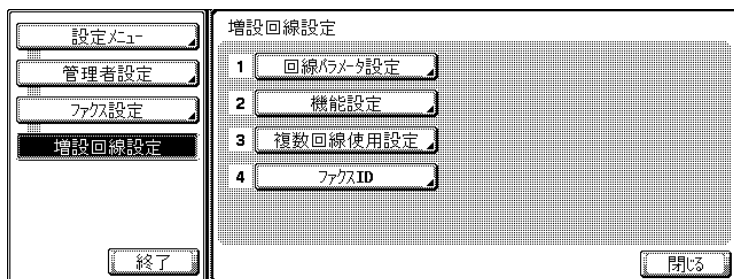
7 サブエリアの［終了］を押します。

■ ファクス ID

増設回線のファクス ID を登録します。

- ファクス ID：ファクス ID：0 ～ 9、＋、スペース、*、# を使って 20 文字以内
  - ❍ 登録したファクスID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。

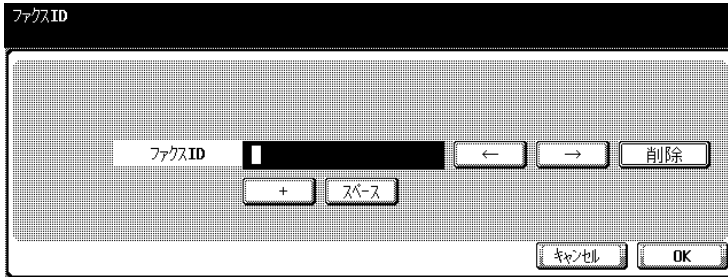
1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［増設回線設定］を押します。

4 ［ファクス ID］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

5

テンキー、[+]、[スペース]、[←]、[→]、を使ってファクス ID を入力します。

- [+] : +が入力されます。
- [スペース] : スペースが入力されます。
- [←] : カーソルが左に移動します。
- [→] : カーソルが右に移動します。
- [削除] : カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。
  カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

6

[OK] を押します。

ファクス ID が登録されます。

7

サブエリアの [終了] を押します。

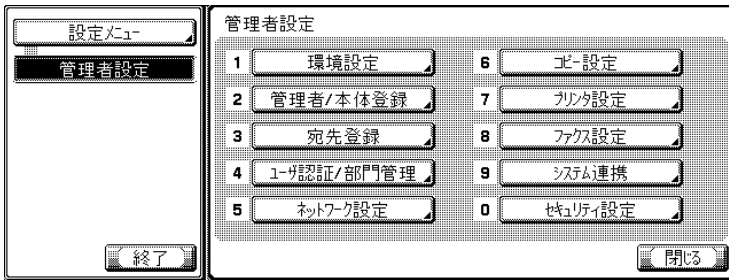
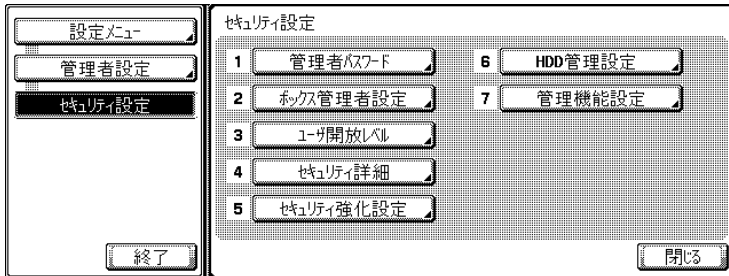
11.16ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止）

ファクス送信に関する機能をすべて禁止し、操作パネルの【ファクス】ボタンからの操作を受け付けません。

- FAX 送信禁止：ON / OFF *
  - ファクスの送信機能を禁止します。

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［セキュリティ設定］を押します。

3 ［セキュリティ詳細］を押します。

4 ［ ↓ ］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［セキュリティ設定］の場合は、テンキーで「0」を入力します。

詳しく説明します

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

5

［FAX 送信禁止］を押します。

6

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

7

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

8

サブエリアの［終了］を押します。

第 12 章
レポート／リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

12.1 レポート／リストの種類

本機からプリントされるレポート / リストには、次の種類があります。

■ レポート

レポートには、自動的にプリントされるレポート、プリント方法を設定できるレポート、必要に応じてプリントの指示をするレポートがあります。

レポート名	説明
通信管理レポート	送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて 100 通信分が送信、受信それぞれ別のページに記録されます。 通信管理レポートは自動的にプリントされるだけでなく、必要に応じて送信だけの記録、受信だけの記録、送受信の記録それぞれをプリントすることができます。 設定メニューの管理者設定で、プリントする間隔を OFF*/ 毎日 /100 通信毎 /100/ 毎日から選択できます。 通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時間も設定できます。 ［ジョブ確認］、［ファクス送信］タブ、［履歴リスト］、［通信リスト］の順に押すと、次の内容を選択してプリントできます。 送信管理レポート、受信管理レポート、通信管理レポート
送信結果レポート	送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ /OFF から選択できます。
ポーリング送信結果レポート	設定メニューの管理者設定で、送信結果レポートが常時またはエラー時のみに設定されている場合、ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。
ポーリング受信結果レポート	設定メニューの管理者設定で、送信結果レポートが常時またはエラー時のみに設定されている場合に、ポーリング受信の結果が自動的にプリントされます。
同報送信結果レポート	設定メニューの管理者設定で、順次通信結果レポートが ON に設定されている場合に、順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。
順次ポーリング受信結果レポート	設定メニューの管理者設定で、順次通信結果レポートが ON に設定されている場合に、複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。
通信予約レポート	設定メニューの管理者設定で、予約レポートが ON に設定されている場合に、送信予約をしたときに自動的にプリントされます。

レポート名	説明
ポーリング送信予約レポート	設定メニューの管理者設定で、予約レポートが ON に設定されている場合に、ポーリング送信予約をしたときに自動的にプリントされます。
同報送信予約レポート	設定メニューの管理者設定で、予約レポートが ON に設定されている場合に、順次同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。
1 宛先ポーリング受信予約レポート	設定メニューの管理者設定で、予約レポートが ON に設定されている場合に、一つの宛先にポーリングを予約したときに自動的にプリントされます。
順次ポーリング受信予約レポート	設定メニューの管理者設定で、予約レポートが ON に設定されている場合に、複数の宛先にポーリングを予約したときに自動的にプリントされます。
親展受信レポート	設定メニューの管理者設定で、親展受信レポートが ON に設定されている場合に、親展受信をしたときに自動的にプリントされます。
掲示板送信結果レポート	設定メニューの管理者設定で、掲示板送信結果レポートが ON に設定されている場合に、掲示板送信の結果が自動的にプリントされます。
中継結果レポート	設定メニューの管理者設定で、中継結果レポートが ON に設定されている場合に、中継配信の結果が自動的にプリントされます。
中継依頼受付レポート	設定メニューの管理者設定で、中継依頼受付レポートが ON に設定されている場合に、中継受信の結果が自動的にプリントされます。
PC-FAX 送信エラーレポート	設定メニューの管理者設定で、PC-FAX 送信エラーレポートが ON に設定されている場合に、PC-FAX 送信でエラーがおきた場合に自動的にプリントされます。

■ リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

リスト名	説明
短縮宛先リスト	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
プログラム宛先リスト	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。
グループ宛先リスト	グループダイアルの登録内容をプリントできます。
タイトル・本文リスト	登録した E-Mail のタイトル / 本文のリストをプリントできます。
設定値リスト	設定メニューのファクス設定の内容をプリントできます。

12.2 通信管理レポート

通信管理レポートは、送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて 100 通信分が、送信、受信それぞれ別のページに記録されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけではなく、必要に応じて送信だけの記録（送信管理レポート）、受信だけの記録（受信管理レポート）、送受信の記録（通信管理レポート）をプリントすることができます。

■ 自動プリント

通信管理レポートがプリントされる間隔は、設定メニューの［レポート出力設定］で設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

■ 手動プリント

次の操作でプリントできます。

1. ［ジョブ確認］を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［ファクス送信］タブを押します。
3. ［履歴リスト］を押します。

1 回線の場合

2 回線の場合

2 回線使用時は、［ファクス送信］の実行中リストで回線別にリスト表示ができます。
回線 1 の実行中リストを表示したい場合は、［L1］を、回線 2 の実行中リストを表示したい場合は、［L2］を押します。

［通信リスト］を押します。

5

［通信管理レポート］、［送信管理レポート］、［受信管理レポート］のいずれかのキーを押します。

6

［プリント実行］を押します。

レポートがプリントされます。

通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:00
Serial No.
TC: 580

送信

番号	宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
047	0123456789	12-07 18:53	00:00 16	001/001	OK	L1
048	0123456789	12-07 18:54	00:00 17	001/001	OK	L1
049	0123456789	12-07 18:55	00:00 16	001/001	OK	L1

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ

通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ

P 2
2005/12/07 19:00
Serial No.
TC: 580

受信

番号	宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
029	0123456789	12-07 18:56	00:00 17	001/001	OK	L1
030	0123456789	12-07 18:58	00:00 18	001/001	OK	L1
031	0123456789	12-07 18:59	00:00 16	001/001	OK	L1

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ

- 番号 : 送信、受信それぞれに連番が付けられます。
- 宛先 :
  次のいずれかが記載されます。情報がない場合はブランクとなります。
  - 短縮宛先に名前が登録されている場合は名前
  - 相手の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 :
  通信した枚数が記載されます。メモリ送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。

詳しく説明します

オプションの設定によって記載されない項目があります。

12

継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.3 送信結果レポート

■ 手動プリント

設定メニューの［レポート出力設定］－［送信結果レポート画面］が、［表示する］に設定されている場合は、送信のたびに送信結果レポート出力確認画面が表示されます。

［はい］を押すと、送信結果レポートがプリントされます。［いいえ］を押すと、プリントされません。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

■ 自動プリント

設定メニューの［レポート出力設定］－［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ /OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

送信結果レポート

P 1
2005/12/07 19:02
Serial No.
TC: 582

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
0123456789	12-07 19:02	00:00 16	001/001	OK	L1

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載モード送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fコード指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に名前が登録されている場合は名前
  - 相手の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 :
  通信した枚数が記載されます。メモリ送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果 :
  - OK: 通信が正常に終了した場合に記載されます。
  - S-OK:
    通信を中止した場合に記載されます。
  - NG: 通信エラーが発生した場合に記載されます。
  - 話中 :
    相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
  - 無応答 : 相手が応答しなかった場合に記載されます。
  - TEL: 電話がかかってきた場合に記載されます。

12

- ❍ 継続 :
  送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
- ❍ メモリフル :
  受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。
- ❍ 拒否 :
  着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。

● 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.4 ポーリング送信結果レポート

ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ /OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:08
Serial No.
TC: 584

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
0123456789	12-07 19:08	00:00 11	001/001	OK	L1 POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ

- 宛先 : 相手機の ID が記載されます。
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 :
  通信した枚数が記載されます。メモリ送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送

12

PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.5 ポーリング受信結果レポート

ポーリング受信をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ /OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

ポーリング受信結果レポート

P 1
2005/12/07 19:10
Serial No.
TC: 585

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
0123456789	12-07 19:09	00:00 18	001/001	OK	L1 POL

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載モード送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fコード指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - 相手先の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 : 通信した枚数が記載されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送

12

PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.6 同報送信結果レポート

順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。また、［同報結果レポート出力］でレポート出力タイミング (全宛先一括 /1 宛先毎) を指定できます。p. 11-59 をごらんください。

同報送信結果レポート

P 1
2005/12/07 19:16
Serial No.
TC: 587

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
FAX1	12-07 19:15	00:00 25	001/001	OK	L1
FAX2	12-07 19:15	00:00 17	001/001	OK	L1

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - 相手の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 :
  通信した枚数が記載されます。送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信

12

MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.7 順次ポーリング受信結果レポート

複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

順次ポーリング受信結果レポート

P 1
2005/12/07 19:19
Serial No.
TC: 589

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
FAX1	12-07 19:18	00:00 18	001/001	OK	L1 POL
FAX2	12-07 19:19	00:00 18	001/001	OK	L1 POL

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載モード送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fコード指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 : 通信した枚数が記載されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向

12

SP	：特殊原稿	FCODE	：F コード指定
RTX	：再送信	RLY	：中継
MBX	：親展	BUL	：掲示板

12.8 通信予約レポート

タイマー通信を指定したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

通信予約ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:22
Serial No.
TC: 591

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
0123456789	12-07 19:21	12-07 20:00	001	TMR

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に名前が登録されている場合は名前
  - 相手の電話番号
- 作成時刻 : 送信を予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻 :
  タイマー通信をしている場合は、指定した時刻が記載されます。
- 枚数 : 読み込んだ原稿枚数が記載されます。
- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12

12.9 ポーリング送信予約レポート

ポーリング送信予約をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ送信予約ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:06
Serial No.
TC: 583

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
	12-07 19:06	----- --:--	001	

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

- 宛先 : 記載されません。
- 作成時刻:ポーリング送信を予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻 : 記載されません。
- 枚数 : 読み込んだ原稿枚数が記載されます。
- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.10同報送信予約レポート

順次同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［予約レポート］でON/OFF を設定することができます。詳しくはp. 11-59 をごらんください。

同報送信予約ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:24
Serial No.
TC: 592

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
FAX1	12-07 19:24	12-07 20:00	001	TMR
FAX2	12-07 19:24	12-07 20:00	001	TMR

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - ❍ テンキーで宛先を指定した場合は、相手の電話番号
- 作成時刻 : 送信を予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻 :
  タイマー通信をしている場合は、指定した時刻が記載されます。
- 枚数 : 読み込んだ原稿枚数が記載されます。
- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12

12.111 宛先ポーリング受信予約レポート

1 宛先へのポーリングを予約をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］ー［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

1宛先ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ受信予約ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:25
Serial No.
TC: 593

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
0123456789	12-07 19:25	12-07 20:00	000	TMR POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

- 宛先 : 相手の電話番号が記載されます。
- 作成時刻 : ポーリングを予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻 :
  タイマー通信をしている場合は、指定した時刻が記載されます。
- 枚数 : 通信した枚数が記載されます。
- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.12順次ポーリング受信予約レポート

複数の宛先へのポーリングを予約をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［予約レポート］でON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

順次ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ受信予約ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:27
Serial No.
TC: 597

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
FAX1	12-07 19:27	12-07 20:00	000	TMR POL
FAX2	12-07 19:27	12-07 20:00	000	TMR POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

- 宛先 : 相手の電話番号が記載されます。
- 作成時刻 : ポーリングを予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻 :
  タイマー通信をしている場合は、指定した時刻が記載されます。
- 枚数 : 通信した枚数が記載されます。
- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12

12.13親展受信レポート

親展受信をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［親展受信レポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

親展受信ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:30
Serial No.
TC: 599

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
0123456789	12-07 19:30	00:00 17	001/001	OK	L1 MBX1

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - 相手の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 : 通信した枚数が記載されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送
PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向

SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.14掲示板送信結果レポート

掲示板に登録されている文書をポーリング送信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［掲示板送信結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:32
Serial No.
TC: 600

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
0123456789	12-07 19:32	00:00 10	001/001	OK	L1 BUL3

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - 相手の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 : 通信した枚数が記載されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送

PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.15中継結果レポート

中継配信局として中継配信先に中継送信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［中継結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

中継結果ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2006/03/10 14:53
Serial No.
TC: 2014

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
FAX1	03-10 14:52	00:00 14	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.8
FAX2	03-10 14:52	00:00 16	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.8
FAX3	03-10 14:53	00:00 15	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.8

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 : 通信した枚数が記載されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送

PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.16中継依頼受付レポート

中継配信局として中継指示局から文書を受信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［中継依頼受付レポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

中継依頼受付レポート

P 1
2006/03/10 14:52
Serial No.
TC: 2013

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
	03-10 14:51	00:00 17	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.8

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定
FME:枠消し送信 MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信
CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿
FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:復活送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - 相手の電話番号
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます。
- 枚数 : 通信した枚数が記載されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考 : 次のいずれかが記載されます。

L1	: 主回線	L2	: 副回線
TMR	: タイマー通信	POL	: ポーリング
ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	CALL	: 手動通信
CSRC	: 遠隔診断	FWD	: 転送

PC	: PC-FAX	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	FCODE	: F コード指定
RTX	: 再送信	RLY	: 中継
MBX	: 親展	BUL	: 掲示板

12.17PC-FAX 送信エラーレポート

PC-FAX 送信でエラーがおきたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［PC-FAX 送信エラーレポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 11-59 をごらんください。

PC-FAX送信エラーレポート

P 1
2006/03/10 15:49
Serial No.
TC: 2043

宛先	作成時刻	開始時刻	要因	名称
6	03/10 15:49	00:00	ログインエラー	test.txt

送信できませんでした。状態を確認して、再度送信してください

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - 相手の電話番号
- 作成時刻 : PC 上で PC-FAX 送信を開始した時刻が記載されます。
- 開始時刻 : タイマー送信を指定した場合は、指定時刻が記載されます。タイマー送信でない場合は、「-- : --」と表示されます。
- 要因 : 送信エラーの原因が記載されます。
- 名称 : ジョブ名またはユーザ名が記載されます。

12.18短縮宛先リスト

登録した短縮宛先のリストをプリントできます。
次の操作でプリントできます。

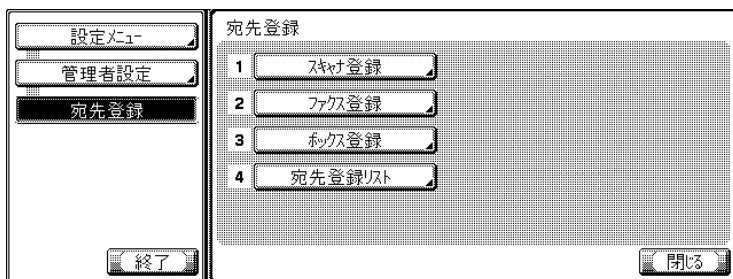
1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［管理者設定］を押します。

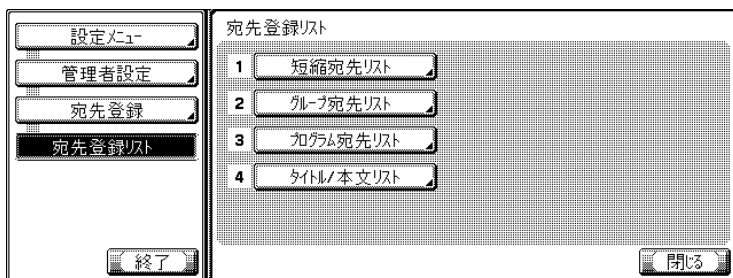
3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

詳しく説明します

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

4 ［宛先登録］を押します。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

6 ［短縮宛先リスト］を押します。

［登録 No.］にプリントしたい登録 No. の範囲をテンキーで入力し、［宛先種別］で［E-mail］、［ボックス］、［ファクス］を選択します。

8 ［プリント］を押します。

9 プリントに使用するトレイを選択します。

10 【スタート】を押します。

短縮宛先リストがプリントされます。

詳しく説明します

- 100 件まで指定できます。
- を押すとカーソルが左側に、を押すとカーソルが右側に移動します。
- 入力した文字を削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

［短縮宛先リストの見かた］

短縮宛先リスト

P 1
2005/12/07 19:45
Serial No.
TC: 602

G3FAX

No.	検索文字	名称	電話番号	回線設定
0001	TUV	user01	0123456789	-
0002	TUV	user02	1234567890	-
0003	TUV	user03	2345678901	-
0004	TUV	user04	3456789012	*
0005	TUV	user05	4567890123	-

No.: 短縮番号です。

名称 : 登録されている宛先名です。

電話番号：登録されているファクス番号です。

回線設定 : 回線設定が指定されている場合に * が記載されます。

12.19グループ宛先リスト

登録したグループ宛先のリストをプリントできます。
次の操作でプリントできます。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

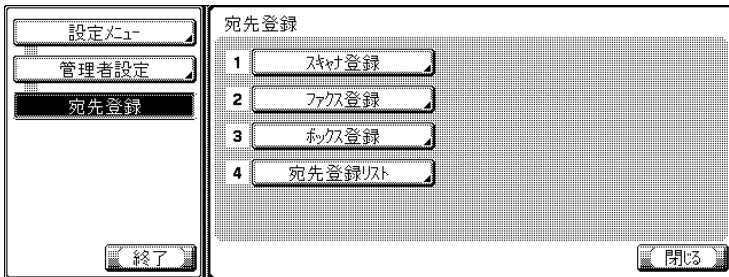
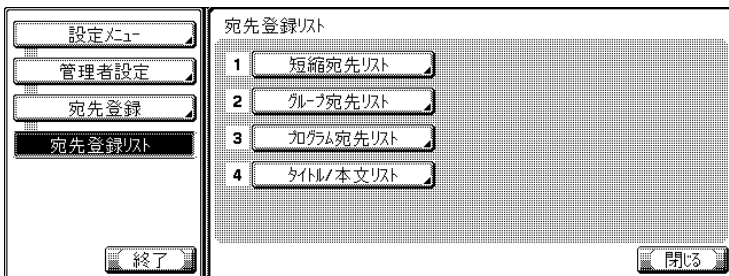
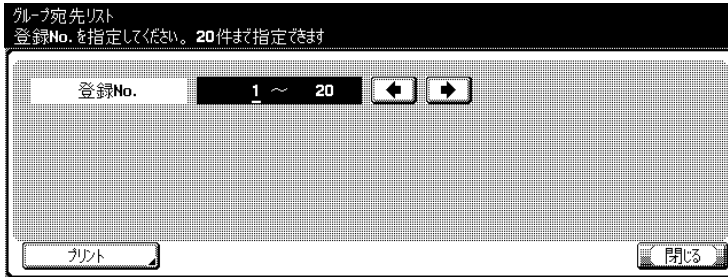
4 ［宛先登録］を押します。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

6 ［グループ宛先リスト］を押します。

［登録 No.］にプリントしたい登録 No. の範囲をテンキーで入力します。

- 20 件まで指定できます。
- を押すとカーソルが左側に、を押すとカーソルが右側に移動します。
- 入力した文字を削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

8 ［プリント］を押します。

9 プリントに使用するトレイを選択します。

10 【スタート】を押します。

グループ宛先リストがプリントされます。

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

12

［グループ宛先リストの見かた］

グループ宛先リスト

P 1
2005/12/07 19:46
Serial No.
TC: 603

No.	名称	短縮宛先No.	登録件数
001	group1	0001 0002 0003	3
002	group2	0004 0005	2

No.: グループ番号です。

名称 : 登録されているグループ名です。

短縮宛先 No.: グループに登録されている短縮 No. です。

登録件数 : グループに登録されている短縮 No. の数です。

12.20プログラム宛先リスト

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。
次の操作でプリントできます。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［管理者設定］を押します。

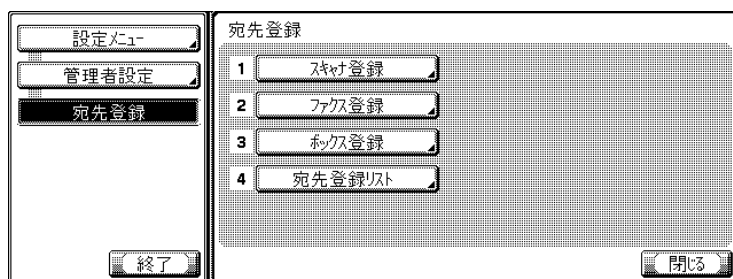
3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

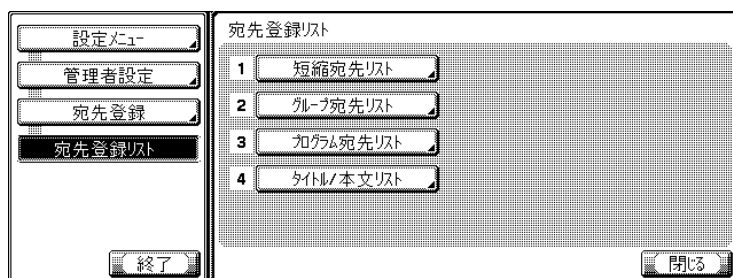
詳しく説明します

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

4 ［宛先登録］を押します。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

6 ［プログラム宛先リスト］を押します。

12

［登録 No.］にプリントしたい登録 No. の範囲をテンキーで入力し、［短縮 No.］、［グループ No.］または［ダイレクト入力］のいずれかを選択します。

詳しく説明します

- ［ダイレクト入力］を選択すると、［E-mail］、［FTP］、［SMB］、［ボックス］または［ファクス］を指定できます。
- 50 件まで指定できます。
- ⬅を押すとカーソルが左側に、➡を押すとカーソルが右側に移動します。
- 入力した文字を削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

8 ［プリント］を押します。

9 プリントに使用するトレイを選択します。

10 【スタート】を押します。

プログラム宛先リストがプリントされます。

詳しく説明します

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

［プログラム宛先リストの見かた］

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ宛先ﾘｽﾄ

P 1
2005/12/07 19:47
Serial No.
TC: 604

短縮宛先

No.	名称	短縮宛先
001	program1	A0001

項目	設定
片面/両面	片面
原稿画質	文字
濃度	0
解像度	精細
下地調整	0
両面とじ方向	上下とじ
読込みｻｲｽﾞ	自動
混載原稿	指定無し
連続読み設定	指定無し
上枠消し量	なし
下枠消し量	なし
右枠消し量	なし
左枠消し量	なし
ﾀｲﾄﾙ指定	F
本文指定	
通信時刻	指定無し
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ送信	指定無し
Fｺｰﾄﾞ	指定無し

No.: プログラム宛先番号です。

名称：プログラム登録名です。

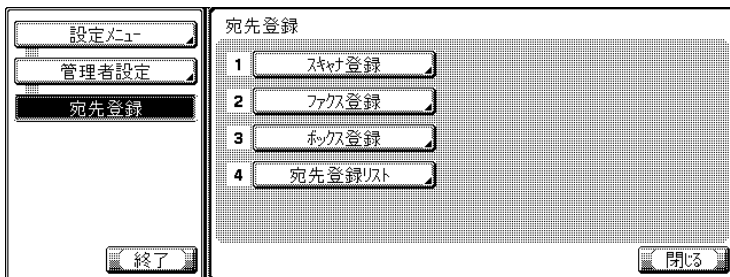
短縮宛先：短縮宛先 No. です。

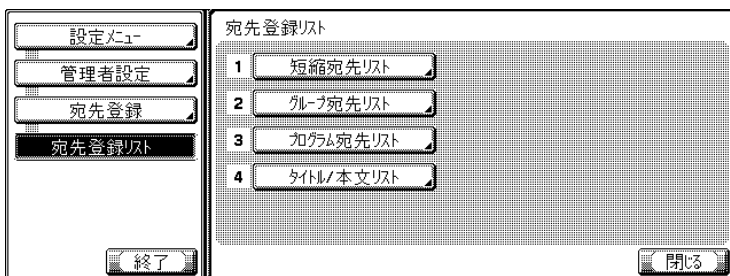
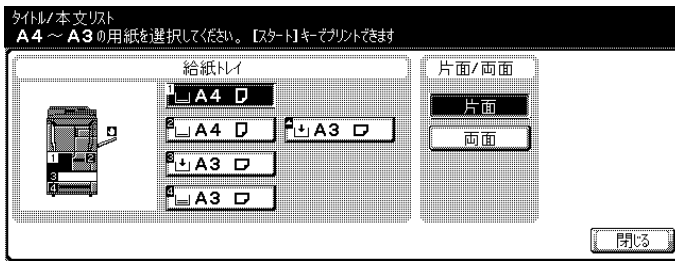
12.21タイトル / 本文リスト

登録した E-Mail のタイトル / 本文のリストをプリントできます。
次の操作でプリントできます。

1. 【設定メニュー / カウンタ】を押します。
2. ［管理者設定］を押します。
3. 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

4. ［宛先登録］を押します。
5. ［宛先登録リスト］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

6. ［タイトル / 本文リスト］を押します。

プリントに使用するトレイを選択します。

8

【スタート】を押します。

E-Mail のタイトル / 本文のリストがプリントされます。

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

［タイトル / 本文リストの見かた］

タイトル・本文リスト

P 1
2005/12/08 18:24
Serial No.
TC: 656

タイトルリスト

No.	タイトル
01	Message from MFP

本文リスト

No.	本文
01	Image data has been attached to this e-mail.

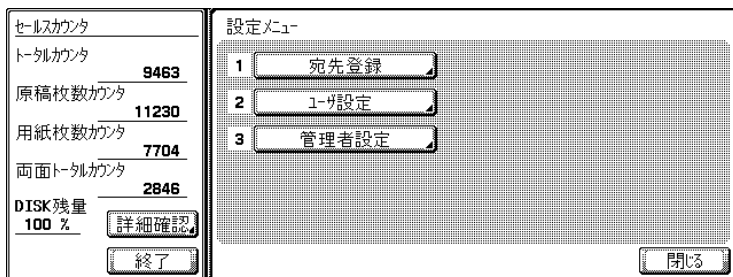
No.：E-Mail のタイトルの登録番号です。
タイトル：登録してあるタイトルです。

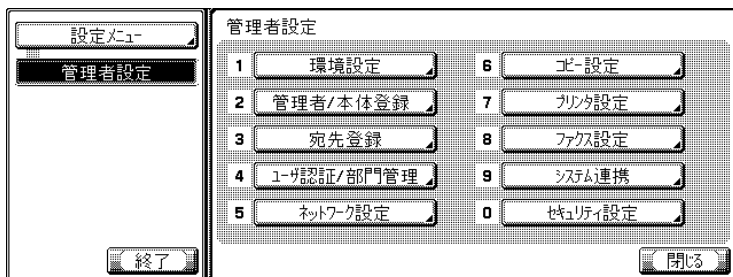
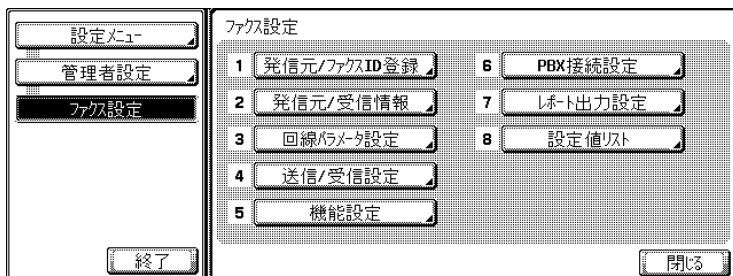
No.：E-Mail の本文の登録番号です。
本文：登録してある本文です。

12.22設定値リスト

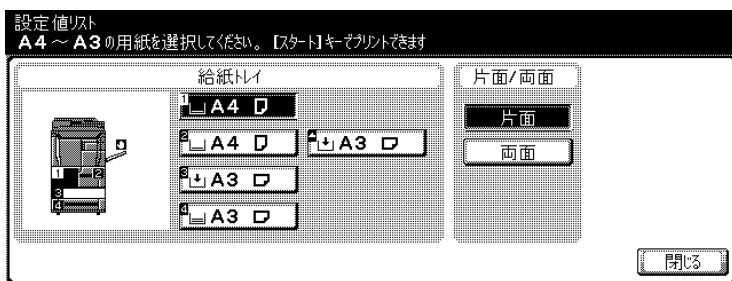
本機で設定したファクスの設定値リストをプリントできます。

1 操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

4 ［ファクス設定］を押します。

5 ［設定値リスト］を押します。

詳しく説明します

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

プリントに使用するトレイを選択します。

7

【スタート】を押します。

本機の設定がプリントされます。

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

［FAX 設定リストの見かた］

FAX設定ﾘｽﾄ

P 1
2006/08/25 19:51
Serial No.
TC: 25259

FAX初期画面設定

項目	設定	項目	設定
基本画面表示 ｵｰﾄﾘｾｯﾄまでの時間 FAX初期画面設定	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 1 分 OFF	短縮/ｱﾄﾞﾚｽ初期表示 受信中画面表示 送信中画面表示	常用 OFF OFF

発信元/ﾌｧｸｽID登録

項目	設定
発信元名 ﾌｧｸｽID	

発信元/受信情報

項目	設定	項目	設定
発信元情報 受信情報	原稿外 OFF	相手先印字	ON

回線ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定

項目	設定	項目	設定
ﾀﾞｲｱﾙ方式 着信回数設定 ｵｰﾄﾘﾀﾞｲｱﾙ間隔 外部TEL呼出ﾓﾆﾀｰ音 留守電接続設定 回線ﾓﾆﾀｰ音ﾚﾍﾞﾙ	20pps 2 回 3 分 OFF OFF 16	受信方式 ｵｰﾄﾘﾀﾞｲｱﾙ回数 TEL/FAX自動切換え 外部TEL呼出時間 回線ﾓﾆﾀｰ音	自動受信 3 回 OFF 20 sec OFF

送信/受信設定

項目	設定	項目	設定
ﾎﾞｯｸｽ番号ｴﾗｰ動作 ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ移行ﾃｰﾌｧｸｽ 記録用紙ｻｲｽﾞ ﾍﾟｰｼﾞ分割記録 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ送信後文書 着信拒否時の動作	ﾌﾟﾘﾝﾄ 通常 A4 OFF 削除する 回線断	受信ﾌﾟﾘﾝﾄ出力設定 ｲﾝﾁ系用紙優先選択 縮小率 給紙ﾄﾚｲ固定 受信原稿両面ﾌﾟﾘﾝﾄ 受信ﾌﾟﾘﾝﾄ部数	一括ﾌﾟﾘﾝﾄ OFF 96 自動 OFF 1

ﾚﾎﾟｰﾄ出力設定

項目	設定	項目	設定
通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ 順次通信結果ﾚﾎﾟｰﾄ 親展受信ﾚﾎﾟｰﾄ 送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ画面 中継結果ﾚﾎﾟｰﾄ PC-FAX送信ｴﾗｰﾚﾎﾟｰﾄ	100通信毎 ON ON 表示しない ON OFF	送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ 予約ﾚﾎﾟｰﾄ 掲示板送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ 同報結果ﾚﾎﾟｰﾄ出力 中継依頼受付ﾚﾎﾟｰﾄ	ｴﾗｰ時のみ ON ON 全宛先一括 ON

PBX接続設定

項目	設定
PBX接続機能	OFF

項目 : 設定メニューの項目です。

設定 : 設定状態です。

FAX設定リスト

P 2
2006/08/25 19:51
Serial No.
TC: 25259

機能ON/OFF設定

項目	設定	項目	設定
ナンバーディスプレイ機能 宛先確認表示機能 中継プリント	OFF OFF OFF	Fコード送信機能 中継受信機能	ON ON

転送ファクス設定

項目	設定
転送条件 転送先	OFF 未登録

ダイアルイン設定

項目	設定	項目	設定
ダイアルイン設定 電話番号	OFF 未登録	FAX番号 PC-FAX番号	未登録 未登録

リモート受信設定

項目	設定
リモート受信設定	OFF

強制メモリ受信設定

項目	設定
強制メモリ受信設定	OFF

閉域受信設定

項目	設定
閉域受信設定	OFF

PC-FAX受信設定

項目	設定	項目	設定
PC-FAX受信設定 受信後プリント	OFF ***	受信出力先 パスワードチェック	*** ***

再送信設定

項目	設定	項目	設定
再送信設定	OFF	ファイル保持時間	12時間

■ 増設回線設定

項目 : 設定メニューの項目です。

設定 : 設定状態です。

FAX設定リスト

P 3
2006/08/25 19:51
Serial No.
TC: 25259

増設回線設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式 回線モニター音 ナンバーディスプレイ機能 回線モニター音レベル	20pps OFF OFF 16	着信回数設定 PC-FAX送信設定 複数回線使用設定	2 回 指定なし 送受信兼用

項目	設定
ファクスID	

■ 中継一覧

- No.: 中継ボックス番号です。
- グループ No.：中継配信先として登録されているグループです。
- パスワード：中継パスワードです。

FAX設定リスト

P 4
2006/08/25 19:51
Serial No.
TC: 25259

中継一覧

No.	グループNo.	パスワード
000000004	001	4

■ 送信者別（TSI）受信ボックス

- No.: 送信者別（TSI）受信の登録番号です。
- 送信者（TSI）: 登録した発信元情報です。
- 振分け先 : 指定した振分け先です。

FAX設定リスト

P 5
2006/08/25 19:52
Serial No.
TC: 25259

送信者別(TSI)受信ボックス

No.	送信者(TSI)	振分け先
001	1234567890	B000000001
002	0987654321	E0002

備考: E:E-Mail F:FTP S:SMB G:Group B:Box

■ 親展・掲示板一覧

- No. : 親展・掲示板で登録したボックス番号です。
- 名前 : 登録した名前です。
- パスワード : 親展パスワードです。
- 種別 : 親展か掲示板かを表示します。

FAX設定リスト

P 6
2006/08/25 19:52
Serial No.
TC: 25259

親展・掲示板一覧

No.	名前	パスワード	種別
000000003	bulletin03		掲示板
000000002	box02		親展Box

■ 着信拒否登録データ

- 番号 : 着信拒否登録 No. です。
- 電話番号 : 着信拒否する電話番号です。

第 13 章
PageScope Web Connection

ファクス機能に関する PageScope Web Connection の使い方を説明しています。

13.1 PageScope Web Connection で設定できる項目

PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバが提供するデバイス管理ユーティリティです。

ネットワークに接続しているコンピュータで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection へアクセスして本機の設定を変更できます。

設定を変更するのに、手元のコンピュータ上から手軽に操作できるので便利です。

本章では、ファクス機能に関する PageScope Web Connection の使い方として、以下の設定方法を説明しています。

- 短縮宛先
- グループ宛先
- プログラム宛先
- 親展ボックス（共有ボックス）
- 掲示板ボックス
- ポーリング送信ボックス
- 強制メモリ受信ボックス
- 中継ボックス

■ 動作環境

ネットワークコンピュータ側のアプリケーション	Ethernet（TCP/IP）
	対応 Web ブラウザ： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨（*）（JavaScript 有効、Cookie 有効）、 Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash® Player（Ver.7.0 以降のプラグイン必須） （*）Internet Explorer Ver.5.5 を使用している場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必要です。

ひとこと

Windows NT 4.0、Mac OS 8/9 は、Flash Player 8 以降をサポートしていません。
これらの OS をお使いの場合は、Adobe サイトより Flash Player 7 をダウンロードしてご使用いただくか、または PageScope Web Connection の表示形式で HTML を選択してください。

■ アクセス方法

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザを使用して直接アクセスできます。

Web ブラウザを起動します。

URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］を押します。

- http:// ＜本機の IP アドレス＞ /
  （例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
  http://192.168.1.20/

ひとこと

ユーザ認証機能が有効の場合は、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。

13

■ 画面構成

PageScope Web Connection へのアクセス直後に表示される画面は「ユーザモード」と呼ばれる画面でパブリックユーザとしてログインした状態で表示されます。

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。

No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.com
2	PageScope WebConnection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます
3	ログインモード	現在ログインしているモード（パブリック、登録ユーザ、部門名、ボックス管理者、管理者）が表示されます。
4	[ログアウト]	現在のモードからログアウトするときにクリックします。
5	ステータス表示	本機プリンタ部分と本機スキャナ部分の状態が、アイコンで表示されます。
6	メッセージ表示	本機にエラーが発生している場合に、トラブル／エラーの状態とエラーの内容が表示されます。

No.	項目	説明
7	ヘルプ	「オンラインマニュアルホームページ」で設定したホームページへジャンプします。設定方法については、「ユーザーズガイド プリンタ機能編」をごらんください。
8	表示の更新	クリックすると画面の表示を更新します。
9	機種名	現在アクセスしている機種名が表示されます。
10	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザモードでは、以下のタブが表示されます。 • システム • ジョブ • ボックス • プリンタ • スキャナ登録
11	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
12	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

■ Web ブラウザのキャッシュ機能について

Web ブラウザにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザでキャッシュ機能を無効にしてください。

原則

キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

Internet Explorer の場合

1. ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。
2. ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。
3. ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

Netscape Navigator の場合

1. ［編集］メニューから［設定］を選択します。
2. 左側の［カテゴリ］で［詳細］－［キャッシュ］を選択します。
3. ［キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：］で［ページにアクセスするたび］を選択します。

ひとこと

Web ブラウザのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは Web ブラウザのヘルプをごらんください。

13.2 ログインとログアウト

PageScope Web Connection にアクセスすると、パブリックユーザとしてログインした画面が表示されます。ユーザ認証を行っているときに登録ユーザとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

■ ログアウトの方法

画面左上の［ログアウト］をクリックします。

❍ ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

ひとこと

- ログインした状態で操作が一定時間行われないと、自動的にタイムアウトとなり操作ができなくなります。
- ユーザモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間は管理者モードの［認証設定］－［自動ログアウト時間］で設定できます。

13

■ ユーザモードへのログイン（パブリックユーザ）

ユーザモードには、登録ユーザとしてログインする方法とパブリックユーザとしてログインする方法があります。ユーザ認証を行っていない場合はパブリックユーザとしてログインしてください。

ログイン画面で［パブリックユーザ］を選択します。

❍ 必要に応じて表示言語をドロップダウンリストから選択します。

2

［ログイン］をクリックします。

ユーザモードの画面に切り替わります。

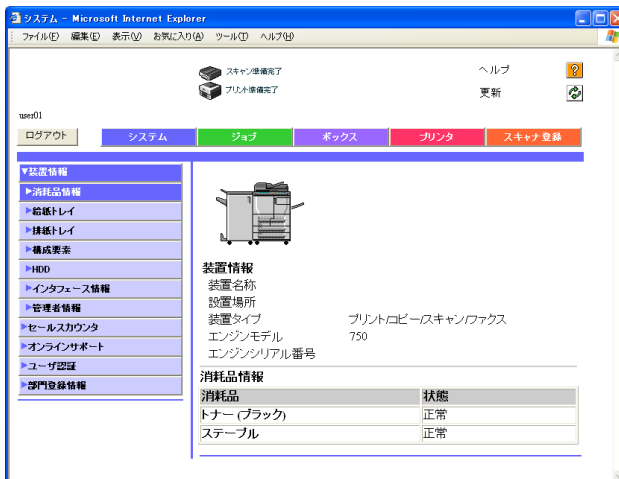
■ ユーザモードへのログイン（登録ユーザ／ボックス管理者）

ユーザモードには、登録ユーザとしてログインする方法とパブリックユーザとしてログインする方法があります。ユーザ認証を行っていて特定のユーザ名でログインする手順を説明します。

1 ログイン画面でユーザ名とパスワードを入力します。

- ボックス管理者としてログインする場合は、ID に［boxadmin］、パスワードに［ボックス管理者設定］で設定したパスワードを入力します。
- 必要に応じて表示言語をドロップダウンリストから選択します。

2 ［ログイン］をクリックします。

ユーザモードの画面に切り替わります。

ひとこと

［ユーザ名］の右側のアイコンをクリックすると一覧からユーザ名を選択できます。

参照

ボックス管理者設定について、くわしくは「ユーザーズガイド（ボックス機能編）」をごらんください。

■ 管理者モードへのログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

ログイン画面で［管理者］を選択します。

❍ 必要に応じて表示言語をドロップダウンリストから選択します。

2

本機の管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

管理者モードの画面に切り替わります。

ひとこと

- 管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
- 本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。

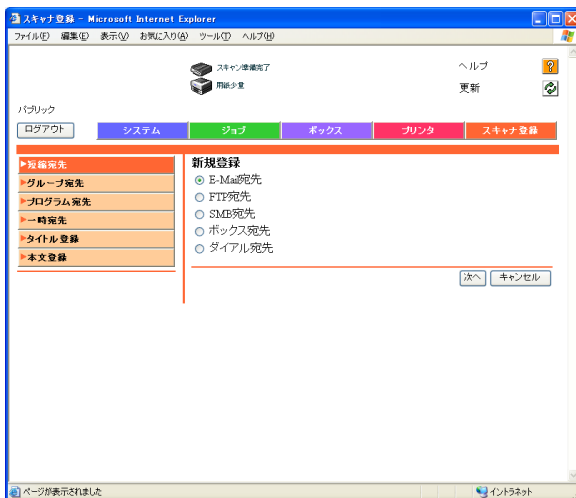
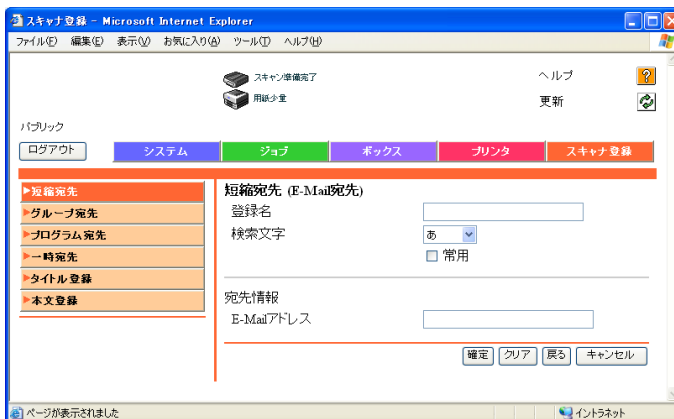
13.3 短縮宛先

ファクス / スキャン機能での送付先を登録します。
ユーザによる登録が有効になっている場合のみ表示されます。

■ 短縮宛先の登録

1 ［スキャナ登録］タブをクリックし、［短縮宛先］を選択します。

2 ［新規登録］をクリックします。

3 送信する方法を選択し、［次へ］をクリックします。

4 各項目を入力し、［確定］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

短縮宛先が登録されます。

13

「E-Mail 宛先」を選択した場合	
登録名	宛先の名称を入力します（半角 24 文字、全角 12 文字以内）。
検索文字	宛先検索用の検索文字を選択します。
E-Mail アドレス	送信先メールアドレスを入力します（半角 320 文字以内）。
「ボックス宛先」を選択した場合	
登録名	宛先の名称を入力します（半角 24 文字、全角 12 文字以内）。
検索文字	宛先検索用の検索文字を選択します。
ボックス No.	送信先ボックス番号を入力します（入力範囲：1-999999999）。をクリックして一覧画面から選択します。
「ダイアル宛先」を選択した場合	
登録名	宛先の名称を入力します（半角 24 文字、全角 12 文字以内）。
検索文字	宛先検索用の検索文字を選択します。
宛先	送信先の Fax 番号を入力します（38 文字以内、0 ～ 9 の数字と“#”“*”“-”“T”“P”“E”が入力可能）。
回線指定	使用する回線を選択します (指定なし / 回線 1/ 回線 2)。
V34 オフ	ON/OFF を選択します。
ECM オフ	ON/OFF を選択します。
海外通信	ON/OFF を選択します。
宛先確認送信	宛先確認機能の ON/OFF を選択します。

回線指定は、2 回線使用時に表示されます。

■ 短縮宛先の編集

1

［スキャナ登録］タブをクリックし、［短縮宛先］を選択します。

2

変更したい宛先の をクリックします。

3

編集画面が表示されるので、内容を変更します。

❍ 設定項目は登録時と同じです。

4

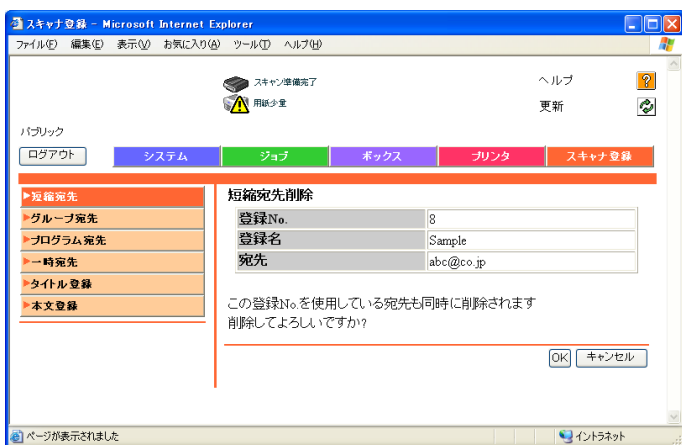
［OK］をクリックします。

短縮宛先が変更されます。

■ 短縮宛先の削除

1 ［スキャナ登録］タブをクリックし、［短縮宛先］を選択します。

2 削除したい宛先の 🗑 をクリックします。

3 削除する場合は［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

短縮宛先が削除されます。

13.4 グループ宛先

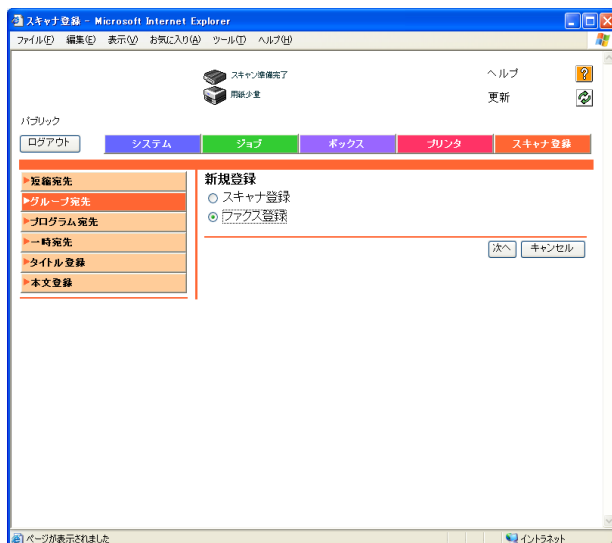
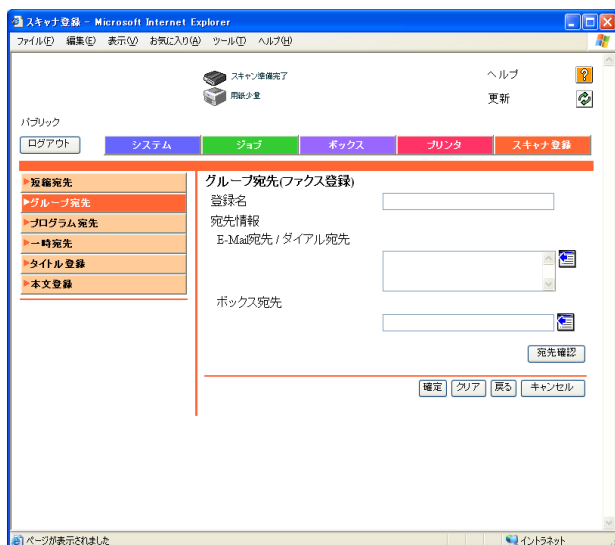
短縮に登録されている宛先の中から、複数の送信先をグループとして登録できます。

■ グループ宛先の登録

1 ［スキャナ登録］タブをクリックし、［グループ宛先］を選択します。

2 ［新規登録］をクリックします。

3 ［ファクス登録］を選択し、［次へ］をクリックします。

13

4 登録名を入力します。

5 送信モード別に宛先を選択します。

❍ 送信モードを選択します。

❍ をクリックします

6 表示される宛先一覧画面で、グループに登録したい宛先を選択し、［確定］をクリックします。

7 ［OK］をクリックします。

グループ宛先が登録されます。

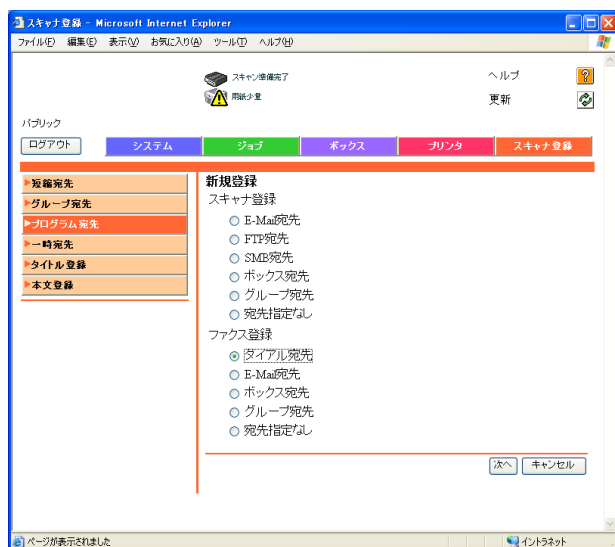
送信条件と宛先をプログラムとして登録できます。

■ プログラム宛先の登録

1. ［スキャナ登録］タブをクリックし、［プログラム宛先］を選択します。

2. ［新規登録］をクリックします。

3. 送信する方法を選択し、［次へ］をクリックします。

13

各項目を入力し、［確定］をクリックします。

5

［OK］をクリックします。

プログラム宛先が登録されます。

「ダイアル宛先（ファクス登録）」を選択した場合	
登録 No.	登録番号を入力します。
登録名	登録名を入力します（半角 24 文字以内）。
宛先表から選択	をクリックして一覧画面から宛先を選択すると、短縮番号が表示されます。
ダイレクト入力	宛先を直接入力します。入力は以下の項目を入力します。 • 宛先（ファクス番号）（38 桁以内） • 回線指定 • V34 オフ • ECM オフ • 海外通信 • 宛先確認送信
解像度	解像度を選択します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。
片面 / 両面	片面／両面／表紙 + 両面を選択します。
原稿画質	文字、写真など原稿の画質を選択します。
連続読み設定	する / しないを選択します。
濃度	濃度を選択します。
下地調整	下地の濃さを調整します。
読込みサイズ	原稿サイズ（自動／定型サイズ）を選択します。
通紙方向	出力用紙の方向を指定します。
タイマー通信	タイマー送信の ON/OFF を指定します。ON を指定した場合は、送信時刻を設定します。
パスワード送信	パスワード送信の ON/OFF を指定します。 ON を指定した場合は、パスワードを入力します。
F コード	F コードの ON/OFF を指定します。ON を指定した場合は SUB アドレスとパスワードを入力します。（半角 20 文字以内）
両面とじ方向	原稿とじ位置を選択します。
特殊原稿	混載原稿 /Z 折れ原稿 / 長尺原稿を指定できます。
枠消し	原稿の周囲の消去幅を指定します。
スタンプ	済みスタンプの ON/OFF を設定します。

回線指定は、2 回線使用時に表示されます。

13

「E-mail 宛先（ファクス登録）」を選択した場合	
登録 No.	登録番号を入力します。
登録名	登録名を入力します（半角 24 文字以内）。
宛先表から選択	をクリックして一覧画面から宛先を選択すると、短縮番号が表示されます。
ダイレクト入力	宛先の E-Mail アドレスを直接入力します（半角 320 文字以内）。
解像度	解像度を選択します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。
タイトル	タイトルを指定します。［指定なし］を選択した場合は、デフォルトのタイトルを使用します。
本文	本文を指定します。
片面 / 両面	片面／両面／表紙 + 両面から選択します。
原稿画質	文字、写真など原稿の画質を選択します。
連続読み設定	する / しないを選択します。
濃度	濃度を選択します。
下地調整	下地の濃さを調整します。
読込みサイズ	原稿サイズ（自動／定型サイズ）を選択します。
通紙方向	出力用紙の方向を指定します。
ファイル名	ファイル名を入力します（半角 30 文字以内）。
両面とじ方向	原稿とじ位置を選択します。
特殊原稿	混載原稿 /Z 折れ原稿 / 長尺原稿を指定できます。
枠消し	原稿の周囲の消去幅を指定します。
スタンプ	済みスタンプの ON/OFF を設定します。

ひとこと

タイトル、本文の内容は をクリックすると確認できます。

「ボックス宛先（ファクス登録）」を選択した場合	
登録 No.	登録番号を入力します。
登録名	登録名を入力します（半角 24 文字以内）。
宛先表から選択	をクリックして一覧画面から宛先を選択すると、短縮番号が表示されます。
ダイレクト入力	宛先ボックス番号を直接入力します（入力範囲：1-999999999）。
解像度	解像度を選択します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。
片面 / 両面	片面／両面／表紙 + 両面から選択します。
原稿画質	文字、写真など原稿の画質を選択します。
連続読み設定	する / しないを選択します。
濃度	濃度を選択します。
下地調整	下地の濃さを調整します。
読込みサイズ	原稿サイズ（自動／定型サイズ）を選択します
通紙方向	出力用紙の方向を指定します。
E-Mail 通知	ファイルのアップロード先を指定したアドレスへ通知できます。
宛先	をクリックして、通知先アドレスを選択します。
ファイル名	ファイル名を入力します（半角 30 文字以内）。
両面とじ方向	原稿とじ位置を選択します。
特殊原稿	混載原稿 /Z 折れ原稿 / 長尺原稿を指定できます。
枠消し	原稿の周囲の消去幅を指定します。
スタンプ	済みスタンプの ON/OFF を設定します。

「グループ宛先（ファクス登録）」を選択した場合	
登録 No.	登録番号を入力します。
登録名	登録名を入力します（半角 24 文字以内）。
グループ宛先	グループ番号を表示します。
解像度	解像度を選択します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。
タイトル	タイトルを指定します。［指定なし］を選択した場合は、デフォルトのタイトルを使用します。
本文	本文を指定します。
片面 / 両面	片面／両面／表紙 + 両面から選択します。
原稿画質	文字、写真など原稿の画質を選択します。
連続読み設定	する / しないを選択します。
濃度	濃度を選択します。
下地調整	調整下地の濃さを調整します。
読込みサイズ	原稿サイズ（自動／定型サイズ）を選択します。
通紙方向	出力用紙の方向を指定します。
E-Mail 通知	ファイルのアップロード先を指定したアドレスへ通知できます。
宛先	をクリックして、通知先アドレスを選択します。
ファイル名	ファイル名を入力します（半角 30 文字以内）。
タイマー通信	タイマー送信の ON/OFF を指定します。ON を指定した場合は、送信時刻を設定します。
パスワード送信	パスワード送信の ON/OFF を指定します。ON を指定した場合は、パスワードを入力します。
F コード	F コードの有効／無効を指定します。ON を指定した場合は SUB アドレスとパスワードを入力します。（半角 20 文字以内）
両面とじ方向	原稿とじ位置を選択します。
特殊原稿	混載原稿 /Z 折れ原稿 / 長尺原稿を指定できます。
枠消し	原稿の周囲の消去幅を指定します。
スタンプ	済みスタンプの ON/OFF を設定します。

ひとこと

タイトル、本文の内容は をクリックすると確認できます。

「宛先指定なし（ファクス登録）」を選択した場合	
登録 No.	登録番号を入力します。
登録名	登録名を入力します（半角 24 文字以内）。
解像度	解像度を選択します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。
片面 / 両面	片面／両面／表紙 + 両面から選択します。
原稿画質	文字、写真など原稿の画質を選択します。
連続読み設定	する / しないを選択します。
濃度	濃度を選択します。
下地調整	下地の濃さを調整します。
読込みサイズ	原稿サイズ（自動／定型サイズ）を選択します。
通紙方向	出力用紙の方向を指定します。
タイマー通信	タイマー送信の ON/OFF を指定します。ON を指定した場合は、送信時刻を設定します。
パスワード通信	パスワード送信の ON/OFF を指定します。ON を指定した場合は、パスワードを入力します。
F コード	F コードの有効／無効を指定します。ON を指定した場合は SUB アドレスとパスワードを入力します。（半角 20 文字以内）
両面とじ方向	原稿とじ位置を選択します。
特殊原稿	混載原稿 /Z 折れ原稿 / 長尺原稿を指定できます。
枠消し	原稿の周囲の消去幅を指定します。
スタンプ	済みスタンプの ON/OFF を設定します。

13.6 親展ボックス

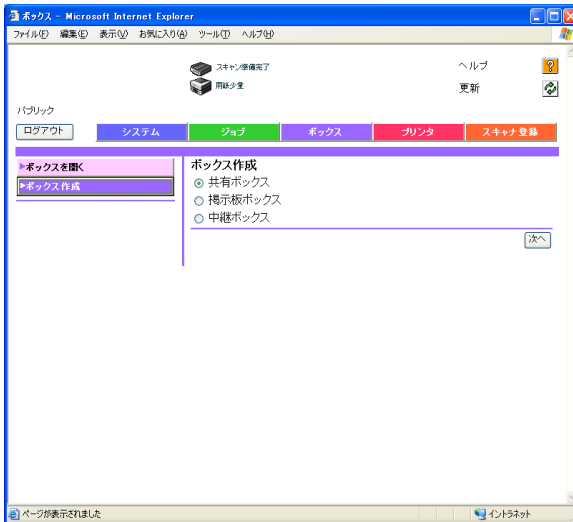
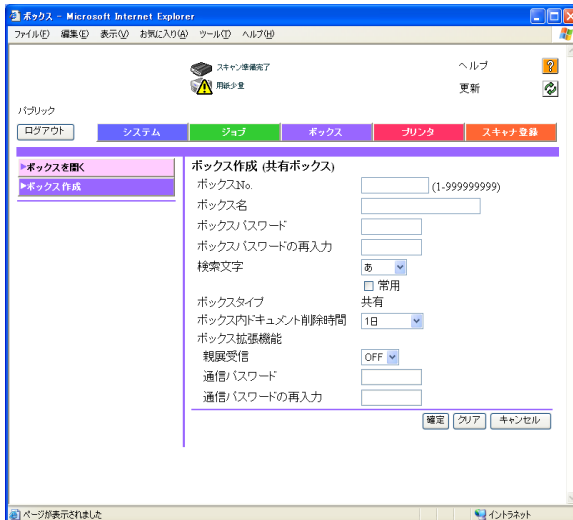
PageScope Web Connection から親展ボックスの登録および
ボックスを開いて内容を確認することができます。

参照

ボックスについて、くわしくは「ユーザーズガイド（ボックス機能編）」をごらんください。

■ 親展ボックスを登録する

1 ［ボックス］タブをクリックして［ボックス作成］を選択します。

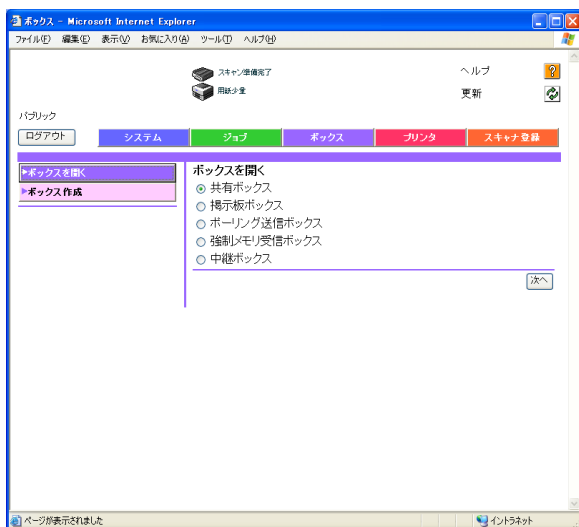
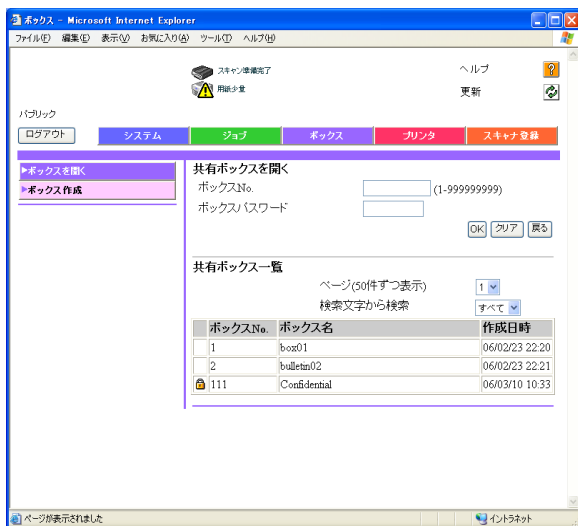
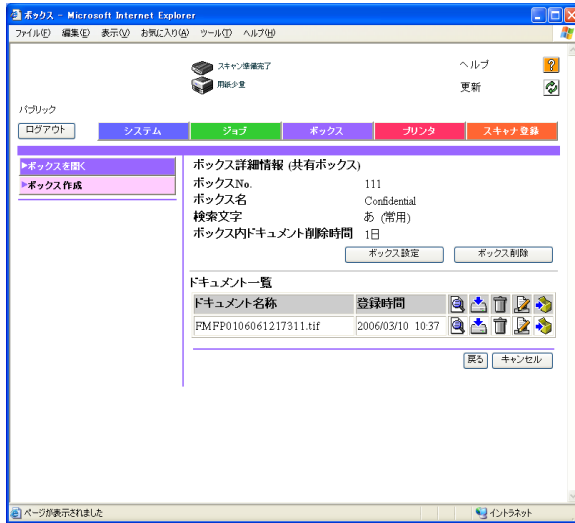
2 ［共有ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3 必要な項目を入力し、［確定］をクリックします。

［OK］をクリックします。

ボックス No.	ボックス No. を入力します。
ボックス名	ボックス名を半角で 20 文字（全角で 10 文字）までで設定します。
ボックスパスワード	ボックス内の文書を閲覧するためのボックスパスワードを入力します。
ボックスパスワードの再入力	ボックスパスワードの確認用に再入力します。
検索文字	ボックス検索用の検索文字を選択します。
常用	検索文字を常用として設定します。
ボックスタイプ	ユーザ認証機能が有効の場合は、ボックスのタイプを［共有］または［個人］から選択します。
ボックス内ドキュメント削除時間	ボックス内のドキュメントを自動削除する時間を設定します。
親展受信	親展受信機能を ON に設定します。
通信パスワード	親展受信時の通信パスワード (8 桁以内の 0 ～ 9、*、#) を入力します。
通信パスワードの再入力	通信パスワードの確認用に再入力します。

■ 親展ボックスを開く

1. ［ボックス］タブをクリックして［ボックスを開く］を選択します。

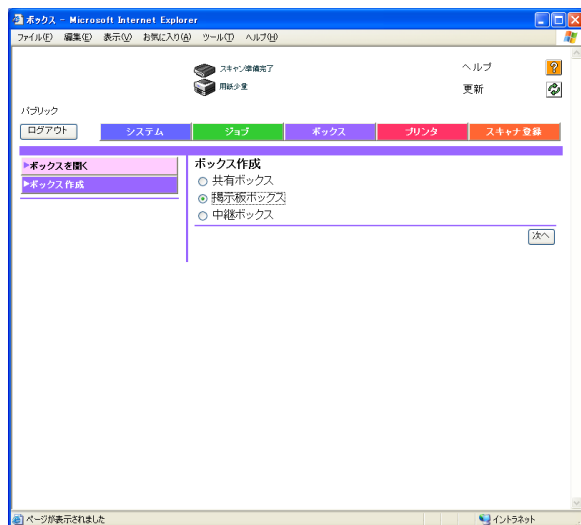
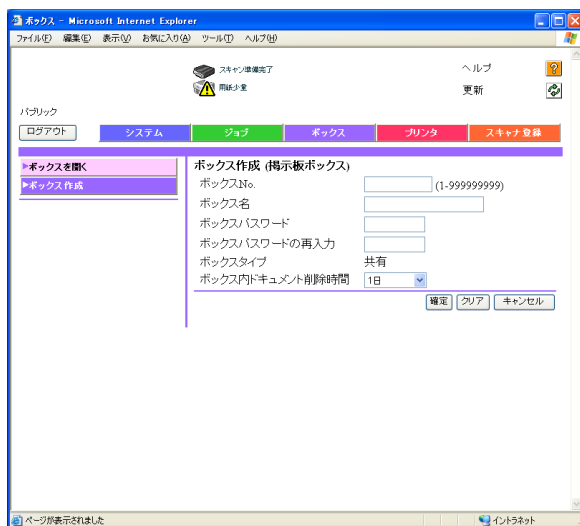
2. ［共有ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3. 表示したいボックスのボックス No. を入力し、必要に応じてボックスパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

ボックスの内容を確認します。

ボックス設定	ボックスの属性を編集します。
ボックス削除	ボックスを削除します。
	ドキュメントの詳細情報を表示します。
	ドキュメントをダウンロードします。
	ドキュメントを削除します。
	ドキュメントの名称を変更します。
	ドキュメントを別のボックスへ移動またはコピーします。

13.7 掲示板ボックス

PageScope Web Connection から掲示板ボックスの登録および
ボックスを開いて内容を確認することができます。

■ 掲示板ボックスを登録する

1 ［ボックス］タブをクリックして［ボックス作成］を選択します。

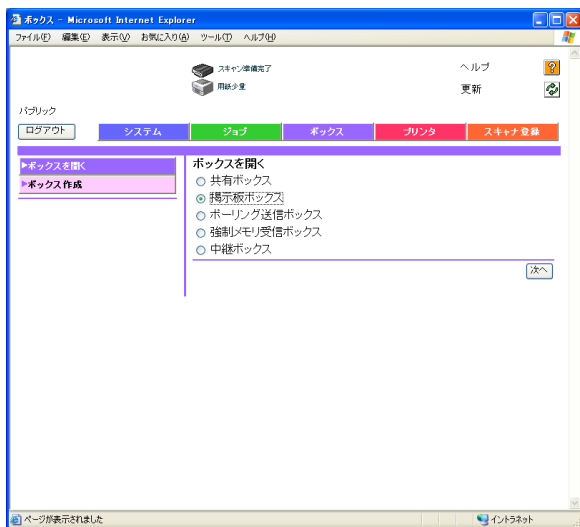
2 ［掲示板ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3 必要な項目を入力し、［確定］をクリックします。

［OK］をクリックします。

ボックス No.	ボックス No. を入力します。
ボックス名	ボックス名を半角で 20 文字（全角で 10 文字）までで設定します。
ボックスパスワード	ボックス内の文書を閲覧するためのボックスパスワードを入力します。
ボックスパスワードの再入力	ボックスパスワードの確認用に再入力します。
ボックスタイプ	ユーザ認証機能が有効の場合は、ボックスのタイプを［共有］または［個人］から選択します。
ボックス内ドキュメント削除時間	ボックス内のドキュメントを自動削除する時間を設定します。

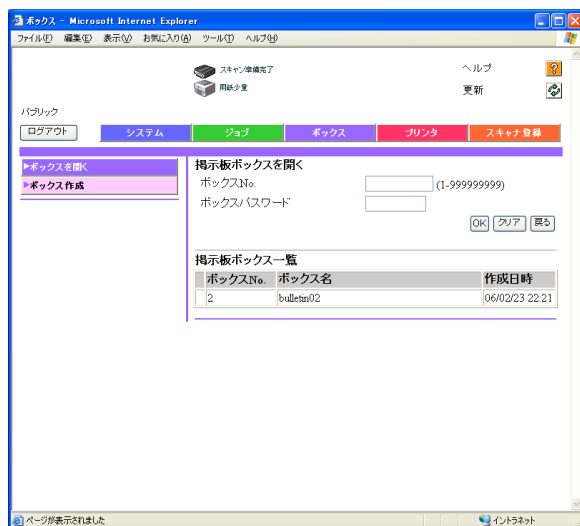
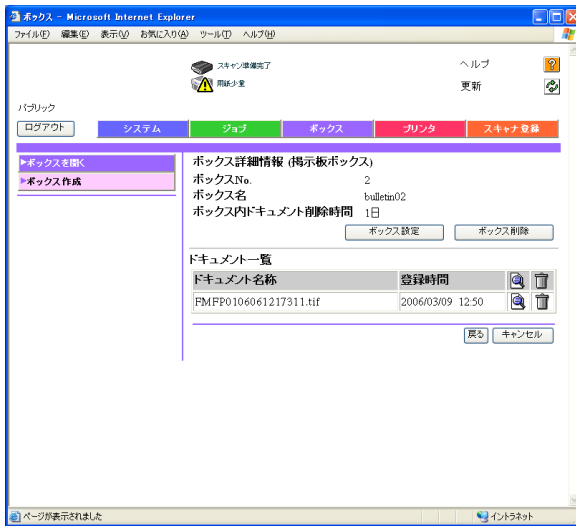
■ 掲示板ボックスを開く

1. ［ボックス］タブをクリックして［ボックスを開く］を選択します。

2. ［掲示板ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3. 表示したいボックスのボックス No. を入力し、必要に応じてボックスパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

ボックスの内容を確認します。

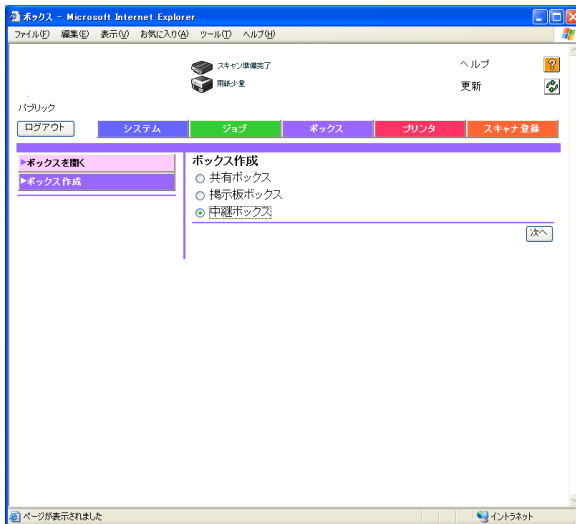
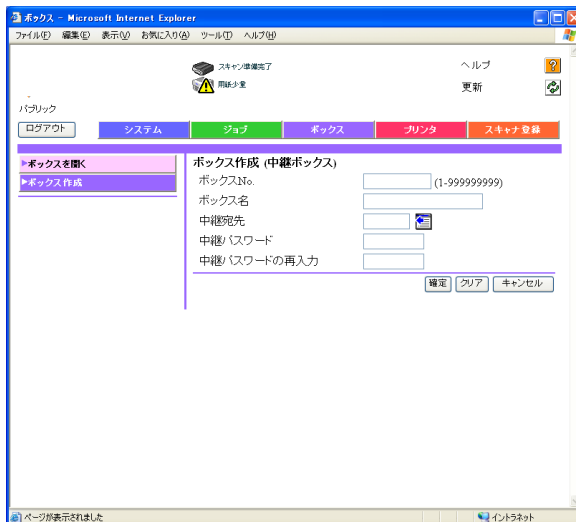
ボックス設定	ボックスの属性を編集します。
ボックス削除	ボックスを削除します。
	ドキュメントの詳細情報を表示します。
	ドキュメントを削除します。

13

13.8 中継ボックス

PageScope Web Connection から中継ボックスの登録および
ボックスを開いて内容を確認することができます。

■ 中継ボックスを登録する

1. ［ボックス］タブをクリックして［ボックス作成］を選択します。

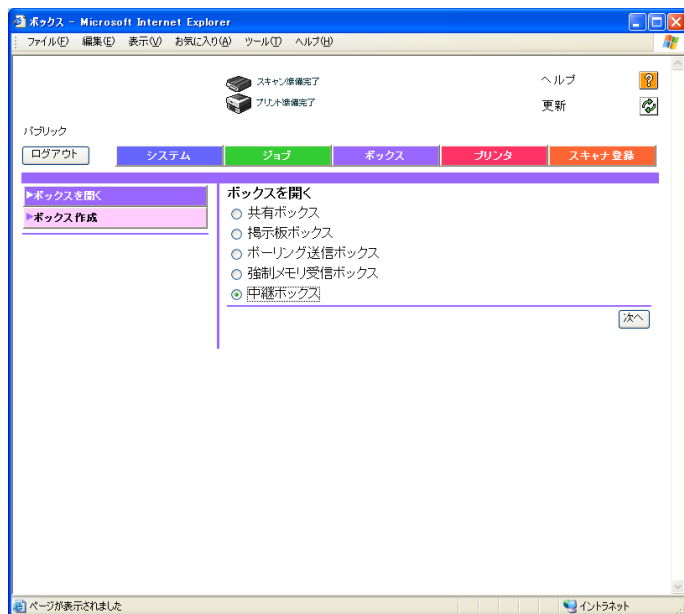
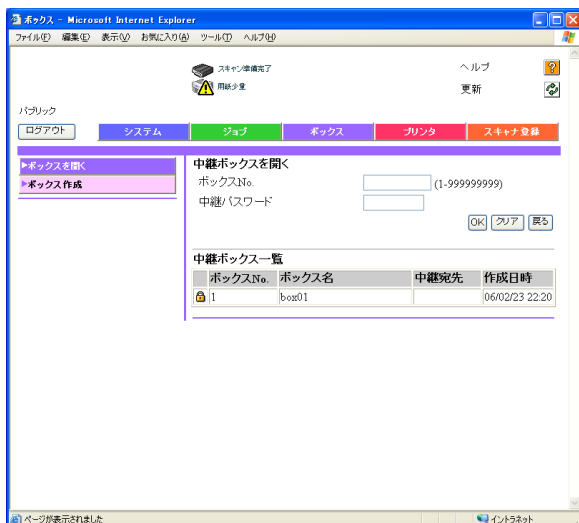
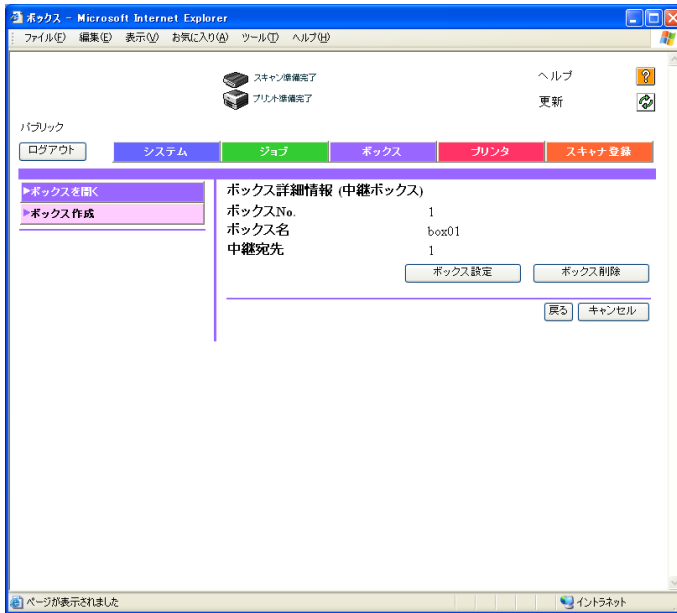
2. ［中継ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3. 必要な項目を入力し、［確定］をクリックします。

［OK］をクリックします。

ボックス No.	ボックス No. を入力します。
ボックス名	ボックス名を半角で 20 文字（全角で 10 文字）までで設定します。
中継宛先	をクリックして、中継配信先にするグループを指定します。
中継パスワード	中継ボックスのパスワードを入力します。
中継パスワードの再入力	中継パスワードの確認用に再入力します。

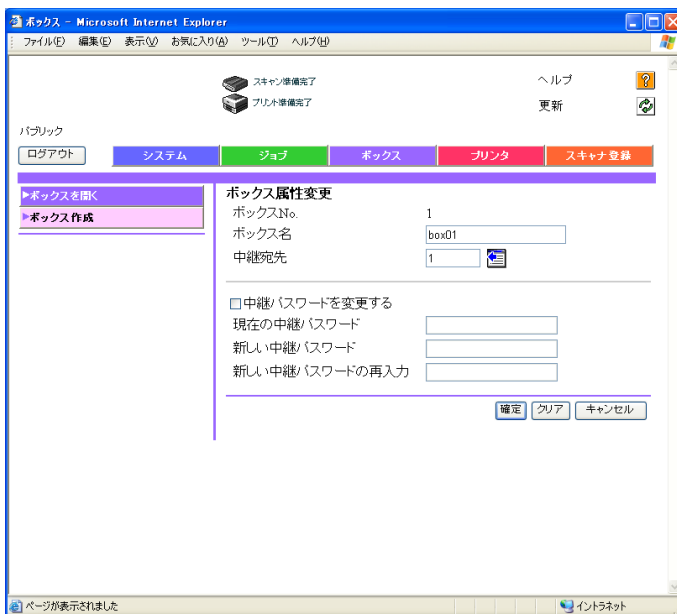
13

■ 中継ボックスを開く

1 ［ボックス］タブをクリックして［ボックスを開く］を選択します。

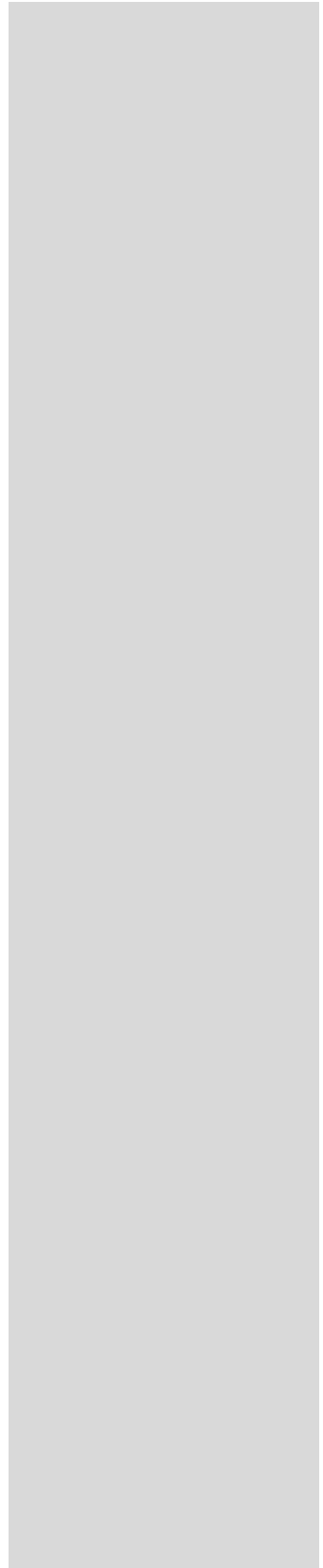
2 ［中継ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3 表示したいボックスのボックス No. を入力し、中継パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

［ボックス設定］をクリックします。

5

ボックスの内容を確認します。

6

中継パスワードを変更する場合は、［中継パスワードを変更する］チェックボックスを ON にして、［現在の中継パスワード］を入力して、［新しい中継パスワード］を入力します。

13

確認のために［新しい中継パスワードの再入力］に新しいパスワードを再入力して［確定］をクリックします。

［OK］をクリックします。

13.9 ポーリング送信ボックス

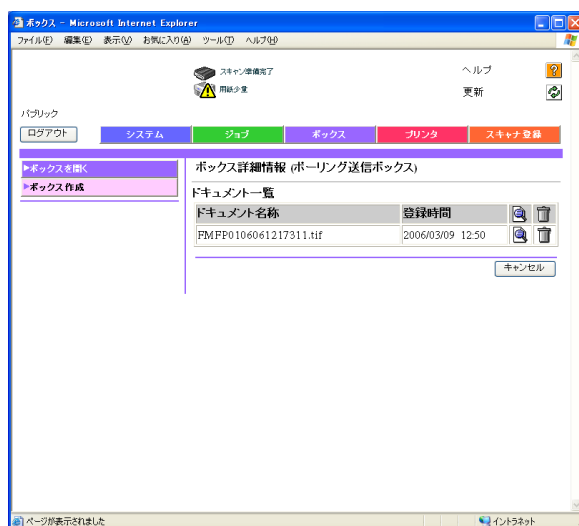
PageScope Web Connection からポーリング送信ボックスを開いて内容を確認することができます。

■ ポーリング送信ボックスを開く

1 ［ボックス］タブをクリックして［ボックスを開く］を選択します。

2 ［ポーリング送信ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3 ボックスの内容を確認します。

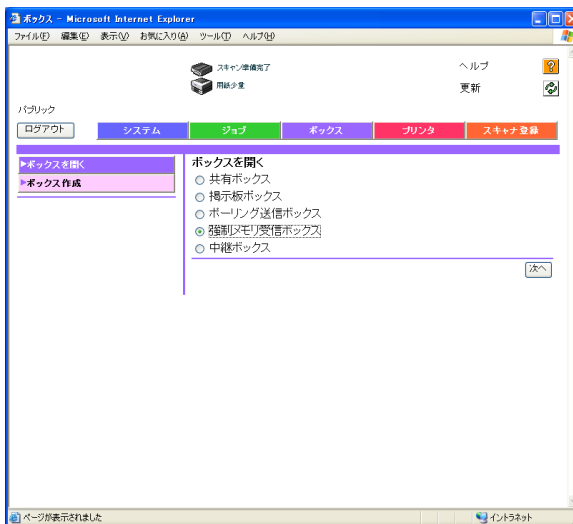
13

	ドキュメントの詳細情報を表示します。
	ドキュメントを削除します。

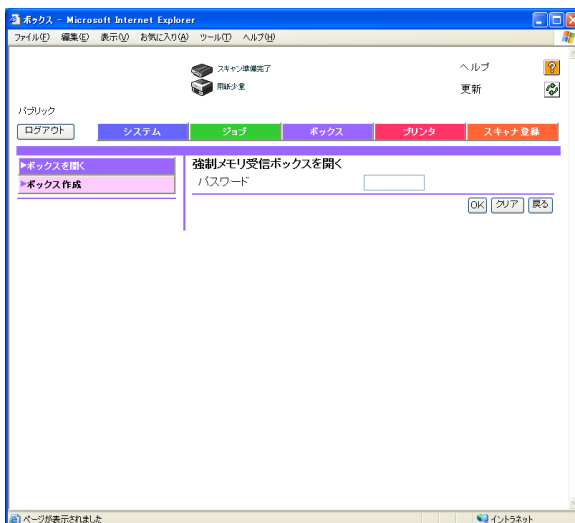
13.10強制メモリ受信ボックス

PageScope Web Connection から強制メモリ受信ボックスを開いて内容を確認することができます。

■ 強制メモリ受信ボックスを開く

1 ［ボックス］タブをクリックして［ボックスを開く］を選択します。

2 ［強制メモリ受信ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3 必要に応じてパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

13

ボックスの内容を確認します。

	ドキュメントの詳細情報を表示します。
	ドキュメントをダウンロードします。
	ドキュメントを削除します。

第 14 章

付録

困ったときの対処、文字の入力方法について説明します。またファクスで使用する用語の解説を記載していますので、必要に応じてお読みください。

■ ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。

- 契約内容や詳しい操作方法については、ご利用になるファクス情報サービスの提供元にお問い合わせください。
- 必要に応じ、回線モニター音レベルを調整しておきます。回線モニター音レベルは、0 ～ 31 の範囲で調整できます（工場出荷時は 16 に設定されています）。ファクス情報サービスの音声ガイダンスを聞き取りやすくするため、大きめに設定しておくことをお薦めします。

1 ファクス画面の［オフフック］を押し、ファクス情報サービスの電話番号を指定します。

サービスに接続するとアナウンスが聞こえます。

ダイアル（パルス）回線をお使いの場合は、パルスをトーンに切り替える必要があります。サービスコードを入力する前に、［トーン］または㊀を押し、トーンを送出できる状態にしてください。

2 サービスの案内に従って、必要なサービスコードを指定します。

3 ［受信］を押し、サービスの案内に従って画面の【スタート】を押します。

受信が開始されます。

❍ 操作パネルの【スタート】を押した場合は、確認画面が表示されます。［はい］を押すと受信が開始されます。

ADF、または原稿ガラスに原稿がセットされている場合は、着信しても［受信］は反転表示しません。この場合は、［受信］を押して反転表示させてください。

■ メモリへの蓄積枚数について

本機にはオプションで 40 GB のハードディスクが用意されています。

オプションのハードディスクをインストールすると、ファクス画像をハードディスク中の 30GB の領域に保存することができます。

ハードディスクには、各機能（コピー、プリント、スキャン、ボックス、ファクス）から保存 / 受信した原稿を A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、9000 枚程度蓄積することができます。

ハードディスクが装着されていない場合、画像メモリ容量は 32MB で、蓄積枚数は約 2000 枚です。

オプションのハードディスクについては、サービス管理店にお問い合わせください。

原稿の読み込み中に、メモリがいっぱいになりオーバーフローすることがあります。この場合は、途中まで読み込んだ原稿を送信するか、もう一度最初から送信するかを選択することができます。

14.2 文字を入力するには

短縮宛先やプログラム宛先の登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

パスワード入力画面：

不定形紙名称変更画面：

ここでは、文字入力の方法を不定形紙名称変更画面で説明します。

ひとこと

ユーザ名、プログラム名、BOX 名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「～」を使用した場合、PC から参照すると文字化けをおこすことがあります。

■ 英数字を入力する

1 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- ❍ 大文字、記号を入力する場合は、[Shift] を押します。
- ❍ 全角の英数字を入力する場合は [全角] を押します。
- ❍ 数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

■ ひらがなを入力する

1 [日本語] を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- ❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」)、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、[他かな] を押します。

3 [無変換] を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

[キャンセル] を押すと設定は変更されません。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

[キャンセル] を押すと設定は変更されません。

14

■ カタカナを入力する

1. ［日本語］を押します。
2. ［カタカナ］を押します。
3. 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。
   - ❍ 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」)、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、［他カナ］を押します。
   - ❍ 半角のカタカナを入力する場合は［半角］を押します。

   文字ボックスに入力した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 漢字を入力する

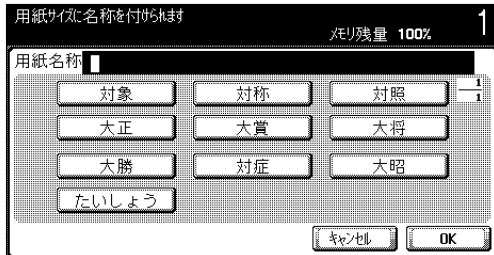
1 ［日本語］を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。

3 ［変換］を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4 表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。

- 熟語単位で変換できます。
- 入力した文字が、変換の対象になります。
- 変換を中止するときは、［キャンセル］を押します。

［OK］を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

候補が 12 個以上ある場合に、［↑］または［↓］のキーが現れます。

- ［↑］を押すと前候補が表示されます。
- ［↓］を押すと次候補が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

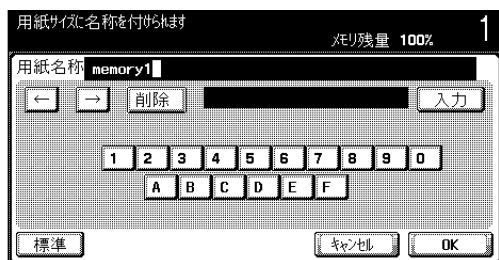
［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 文字コードで入力する

16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

［文字コード入力］を押します。

2

表示されているキーボードから、文字コードを入力し、［入力］を押します。

文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

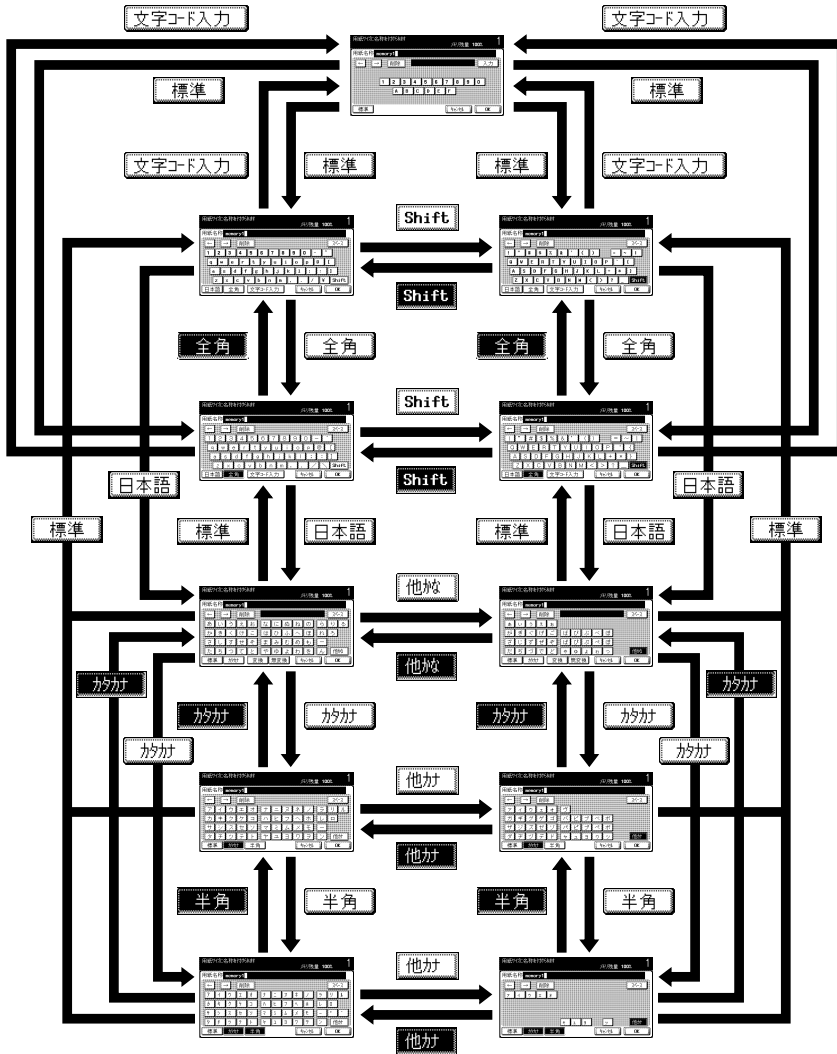
- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。
- 設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

14

入力画面

文字コード入力
文字コード入力
標準
標準
文字コード入力
標準
標準
文字コード入力
Shift
Shift
全角
全角
全角
全角
Shift
Shift
日本語
日本語
標準
標準
日本語
標準
日本語
標準
他かな
他かな
カタカナ
カタカナ
カタカナ
カタカナ
カタカナ
カタカナ
カタカナ
カタカナ
他カナ
他カナ
半角
半角
半角
半角
他カナ
他カナ

<table>
<tr><td>ひらがな</td><td>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむ
めもやゆよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼ
ぱぴぷぺぽ

ぁぃぅぇぉゃゅょゎっ　ー</td></tr>
<tr><td>カタカナ（全角）</td><td>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミム
メモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボ
パピプペポヴ

ァィゥェォャュョヮッ　ー</td></tr>
<tr><td>カタカナ（半角）</td><td>ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝ

ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ ｰﾟﾞ</td></tr>
<tr><td>英数字／記号
（全角）</td><td>ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ
　(スペース)！”＃＄％＆’（）＋，－．／＼：；＜＝＞？＠［］＾＿‘｛｜｝～＊０１２３４５６７８９</td></tr>
<tr><td>英数字／記号</td><td>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 (スペース)!"#$%&'()+,-./\:;<=>?@[]^_`{|}~*0123456789</td></tr>
</table>

14

14.4 ファクス用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。
本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
記号・アルファベット	2in1	2 枚の原稿を 1 枚の用紙に集約し、見開きの状態にして送信する機能のことです。
	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1 秒間に送るデータ量を表します。
	ECM	（Error Correction Mode: 誤り訂正方式） G3 通信の誤り再送方式です。相手に正しくデータが送られたかどうかを確認し、正しく送られていない場合はそのデータを再送しながら通信します。相手側が ECM モードをもっていれば、本機では ECM オフを指定しない限り、ECM で通信されます。
	F コード	ITU-T（国際電気通信連合）で標準化された T.30 ＊のサブアドレスの使い方について、日本通信機工業会が定めた通信手順のことです。F コード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、F コードを使用したいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で F コードを使っています。（＊通信の規格のことです）
	G3	ITU-T（国際電気通信連合）が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
	PB	プッシュ回線のことです。
	Super G3（SG3）	ITU-T　V.34 に準拠した G3 通信のモードです。通常の G3 通信より高速（最高 33,400bps）で通信することができます。
	V34	スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式のことです。相手機又は自社機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は、V34 オフを選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿の場合に、いったん原稿サイズを確定してから原稿を読み込み送信する機能のことです。この機能は、原稿を ADF で読み込む場合にだけ使用できます。

	用語	説明
あ行	一括送信	宛先、送信時刻、メモリ送信や解像度などの送信条件が同じ文書がメモリに蓄積されると、指定した時刻にひとつの文書として自動的に送信されることです。
か行	海外通信	国外の相手と通信をすることです。海外通信モードに設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも、通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておくと、確実に通信することができます。
	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細かくなり、送信にかかる時間（電送時間）が長くかかります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社（NTT）グループが提供している公衆電話回線のことです。
	強制メモリ受信	受信した文書をメモリに蓄積し、必要に応じてプリントする機能のことです。
	クイックメモリ送信	原稿を 1 ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法のことです。原稿の枚数が多い場合にもメモリオーバーすることなく送信する機能のことです。
	グループ	複数の短縮 No. をグループ化しておくことです。同じ宛先に順次同報や順次ポーリング受信をすることが多い場合に便利です。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿枚数	原稿の総ページ数を付けて送信することで、クイックメモリ送信の場合に使います。原稿が正しく届いたかを確認するのに便利です（メモリ送信の場合は、自動的に総ページ数が付けられます）。
	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能のことです。

	用語	説明
さ行	再送信	メモリに保存されている送信できなかった文書を選択して、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信する機能のことです。
	下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能のことです。
	シャープネス	文字のエッジを強調して送信する機能のことです。
	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。

	用語	説明
た行	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 /10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 /20PPS）の 3 種類があります。
	代行蓄積文書	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
	代行転送	操作パネルの設定確認ボタンを使い、出力待ちの受信原稿を手動で転送する機能のことです。代行転送は、ファクス画面が表示されているとき、紙なし、または紙づまりで動作が中断しているときに設定します。
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	短縮 / アドレス	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮 / アドレスを登録するときに、宛先名と検索文字を登録しておくと、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。
	着信拒否番号	着信拒否したい相手の電話番号を予め登録し、迷惑ファクスを受信しないようにする機能のことです。登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合、［着信拒否］とメッセージを表示し受信されません。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に同報をするファクスのことです。本機には、中継配信の機能はありません。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信をすることで、全体の通信料金を削減することができます。
	長尺原稿	A3 サイズ（420 mm）より長い、長尺サイズの原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くかかります。
	伝送速度	ファクスではモデムの伝送速度のことをいいます。本機では、33,600bps などの高速な伝送速度で通信できます。海外通信モードに設定しておくと、7200bps や 4800bps のノイズに強い伝送速度で通信します。
	同報	ひとつの原稿を 1 回の操作で複数の相手に送信することです。

	用語	説明
は行	パスワード送信	パスワードをつけて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信	電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイアルすることです。
	発信元名	漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	発信元記録	ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	ファクス ID	ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	副走査	原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	プログラム	頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。プログラム選択のプログラムキーを押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	ポーズ	間隔をあけてダイアルすることです。本機ではポーズを 1 回押すと、1 秒の間隔をあけることができます。
	ポーリング	相手側にセットされているか、またはメモリに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。
ま行	メモリ	データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。
	メモリオーバーフロー	読み込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリが一杯になった状態をいいます。
	メモリ送信	原稿を読み取り、メモリに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリ送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリオーバーすることがあります。
や行	読み込み	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読込みサイズ	原稿を読み込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。

	用語	説明
ら行	リダイアル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイアルをすることです。 手動でリダイアルする方法と、自動的にリダイアルされる自動リダイアルがあります。
	両面とじ方向	ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿の綴じ位置を設定する機能です。両面原稿の綴じ位置には、原稿の上側（または下側）に綴じ位置がある上下綴じと、原稿の左（または右側）に綴じ位置がある左右綴じがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。
	リモート受信	外部電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
わ行	枠消し	ADF を開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能のことです。

第 15 章
索引

15.1 使用別索引

■ あ行

■ か行

■ さ行

■ た行

■　な行

■ は行

■ ま行

■ や行

■ ら行

15.2 項目別索引

れ

わ

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名 ______

電話番号 ______

担当部門 ______

担当者 ______

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL ______

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 **http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-510010（受付時間：土、日、祝日を除く9:00〜12:00 / 13:00〜17:00）